



# 交通運輸労働者 の力の構築

世界大会議事録

第44回ITF世界大会  
2018年 於シンガポール





ご挨拶



Suntec  
SINGAPORE

#ITFC2019

TRANSPORT  
WORKERS  
BUILDING  
POWER

第44回ITF世界大会が2018年10月にシンガポールで開催された意義はいくつかある。まず、シンガポールは何年も前から「仕事の未来」の最先端を行っており、持続可能な方法で交通運輸や経済、社会に新技術を導入する事例を示している。

我々は、シンガポール大会において、重要だが、時として難しいこの問題を大会で議論し、多くの難題を自身に問いかけた。そして、新技術が世界の交通運輸労働者とその組合に利益をもたらすよう、向こう5年間の活動計画が約2千人の大会参加者に承認された。また、テクノロジー企業が多くの交通運輸部門に参入している問題に関して、これらの新しい使用者をITFの重点分野とすることが承認された。

シンガポールはアジア太平洋地域の重要ハブの一つとみなされている。アジア太平洋地域は交通運輸産業の成長も著しいため、同地域をITFの二番目の重点分野に位置付けることも承認された。シンガポールの港湾と空港は世界最大かつ最新である。航空とFOCキャンペーンが向こう5年間の重点分野に位置付けられたのはこのような背景がある。

技術革新の時代に交通運輸労働者の力を構築する方法として、3つの方法-組織人員の拡大と活性化、革新的な運動（キャンペーン）の展開、グローバルおよび地域レベルの政策への影響力行使-が確認された。我々はこれらの新しい交通運輸労働者を代表し、デジタル経済のルールを作り上げ、そのルールの実現のために闘わなければならない。

シンガポール大会では、ITFの非正規、女性、青年の労働者の力が示された。ITF史上最多となる443人の女性（代議員129人、アドバイザー314人）、280人の青年（代議員73人、アドバイザー207人）が参加し、参加者全体の24%を占めた。労働力人口に占める青年の割合は今後も増加するだろう。ITFは女性のエンパワーメントも引き続き行い、公正でバランスのとれた経済を求めていく。

参加者一人一人が開かれた議論と経験の共有を通じて、5年間の活動方針を形成した。ITFは最も影響力のある国際産別組織（GUF）として認識されている。これはひとえに加盟組織の力のおかげだ。

シンガポール大会はこれまでの大会とは全く異なり、大会参加者は、フリンジ（サイドイベント）、ラーニング・ジャーニー（職場視察）、VR体験等を通じて、現在と未来の重要課題を肌で感じる事ができた。

ITFよ、永遠なれ！

書記長  
スティーブ・コットン

# 数に見る シンガポール大会

交通運輸労働者の力の構築



28,806

ウェブサイト閲覧者数



280

青年参加者数



5,265

ツイート数



# 1380万

インプレッション数



## 443

女性参加者数



## 126

参加国数



## 1856

総参加者数



## 456

参加組織数

# 数に見る シンガポール大会

## プログラム



## 参加者



1856

参加者数



456

参加組織数



126

参加国数

5,216,205

組織人員数

## コミュニケーション

### #ITFCONGRESS2018

インプレッション:1,150万回  
エンゲージメント:95,000回  
メッセージ:2,698件

### [www.itfcongress2018.org](http://www.itfcongress2018.org)

ユーザー:28,806人  
ページビュー:117,000回  
セッション:42,830回

### #ITFCongress2018

### #YourCongressYourVoice

インプレッション:1,380万回  
ツイート:5,265回  
投稿者:1,774人

### 大会アプリ

ログインした大会参加者:1533人  
ページビュー:331,882回  
個別セッション:3,321回  
質問:584件

# 目次

---

<b>全体会議の概要</b>	<b>10</b>
会長挨拶	11
ホスト組合と来賓の挨拶	12
議題の採択	14
投票集計・検査人の選出	14
議事運営規則の採択	14
資格審査委員と決議委員の選出	14
物故者	15
資格審査委員会の報告	15
決議委員会の報告	16
活動報告	17

---

<b>大会テーマと今後の戦略：</b>	
<b>交通運輸労働者の力の構築</b>	<b>20</b>
動議	29
規約改正	33
会計報告および会計監査報告	35
加盟費	35
意思決定機関、監査人、書記長、会長、副会長の選挙	36
ITF本部所在地	39
青年交運労働者総会、女性交運労働者総会、各産別総会の報告	40
金バッジ	41

---

<b>第44回世界大会で採択された決議</b>	<b>42</b>
第1号決議：非公式労働者の組織化	43
第2号決議：グローバル・デリバリー・サプライチェーンとEコマース	45
第3号決議：セーフレート(安全報酬)と顧客責任を追及するグローバル闘争の強化	47
第4号決議：ITF加盟組合協議会(NCC)と各国の連絡窓口(NPC)の役割	49
第5号決議：レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、 クィア、インターセックス(LGBTQI)に関する、他の国際産別組織(GUF)の労働組合の方針の促進	51
第6号決議：朝鮮半島および東アジアの和平への支持と交通運輸労働者の役割	52
第7号決議：パレスチナの交通運輸労働者の支援	53
第8号決議：勤務地固定の倉庫・ロジスティックス・ターミナル労働者	54
第9号決議：抗議とブラジル政府の評判-労働改革に関する憂慮	55
第10号決議：ベネズエラ・ボリバル共和国に対する国際的な攻撃と封鎖に反対する動議	58
第11号決議：イランのトラック運転手のストに関する死刑判決	59
第12号決議：アルゼンチンの組合の自由を守る動議	60
第13号決議：競争法を通じた、団体交渉に対する攻撃	61
第14号決議：イエメン	62
第15号決議：業務上過失致死罪	63



第16号決議：船員のためのビザに関するグローバルな方針の促進	64
第17号決議：船員の権利	65
第18号決議：地中海 - 便宜の海	66
第19号決議：ノルウェー人船員の雇用に対する攻撃	67
第20号決議：青年船員および青年港湾労働者の権利の保護	68
第21号決議：河川クルーズキャンペーン2.0	69
第22号決議：開発途上国の内陸水運労働者のための国際および地域の労働・福利・安全基準の向上	71
第23号決議：内陸運輸部会の活動の効果を改善する	72
第24号決議：タグボートとトウボート	73
第25号決議：水産	74
第26号決議：デルタ航空の組織化に対するITFの全面的支援の再確認	75
第27号決議：安全で利用しやすい鉄道	76
第28号決議：トランスデブ	77
<hr/>	
資格審査委員会報告書	82
第1回決議委員会報告書	86
第2回決議委員会報告書	107
民間航空部会総会報告書	123
港湾部会総会報告書	127
水産部会総会報告書	131
内陸水運部会総会報告書	134
船員港湾合同総会報告書	137
鉄道部会総会報告書	145
路面運輸部会総会報告書	148
船員部会総会報告書	152
観光サービス部会総会報告書	156
都市交通委員会報告書	158
女性総会報告書	161
青年総会報告書	165
<hr/>	
<b>世界大会参加者</b>	<b>169</b>
来賓とオブザーバー	207
書記局	211
通訳者	215
シンガポールの青年ボランティア	217

# 全体会議の概要

## 会長挨拶



**パディ・クラムリン会長**が第44回世界大会の代議員、アドバイザー、オブザーバーを歓迎し、受入国のシンガポールの組合に感謝しつつ、次のように述べた。世界大会には、活動の優先付け、未来に向けた機会の創出、前進する勇気の形成など、真の意義がある。組合と労働者が違いを超えて団結し、個人と集団のアイデンティティに誇りを持ちながら、力を行動に変える時だ。ここシンガポールには、政労使の三者構成主義に基づく成長への意欲と決意があふれている。港湾ターミナル運営会社のPSA等で行われている労使対話は職場の姿を変える力を持っている。第44回世界大会はITF史上最大規模の大会だ。この大会に集い、変化を生み出すこ

とを選択した代議員の皆さんに敬意を表する。社会の変化を呼び起こすのは労働組合だ。大会期間中に様々な政策・方針が採択される。青年と女性が政治・産業・社会政策の変化を導く。スティーブ・コットン書記長やシャロン・バロー国際労働組合総連合（ITUC）書記長のリーダーシップの下、ITFは労働者の力を取り戻す運動の最前線で闘い、大きな成果を生み出す。

## ホスト組合と来賓の挨拶



メアリー・リュウ（シンガポール商船職員組合）が参加者を歓迎し、次のように述べた。今大会の来賓参加者はITF史上最多の2,000人を超えた。職場視察を行う「ラーニング・ジャーニー」やアジア諸国の文化を紹介する夜間交流イベント「ゲートウェイ・トゥー・アジア」等、シンガポールの産業・文化を垣間見ることのできる様々なプログラムが用意されている。シンガポールの労働者がどのようにテクノロジーを扱い、未来を形成しているかを御覧いただけるだろう。シンガポールITF加盟組合協議会とITF職員の皆さんの準備作業に感謝する。参加者全員に大会を楽しんでもらいたい。



シャロン・バロー（国際労働組合総連合書記長）は、交通運輸労働者が国際労働組合運動の要であることを強調し、次のように述べた。ITFの力と成長は世界中の労働者にとってなくてはならないものだ。ITUCの組織人員は目標の2億人を超え、2億7千万人に達した。国際労働組合運動の成長に対するITFの貢献に感謝する。しかし、組織人員の拡大だけでは十分とは言えない。労働者の力の構築こそ重要だ。ITFは3つの運動を展開している。奴隷労働の撤廃、企業の力の抑制、気候正義の実現だ。労働者が技術変化と仕事の未来の形を作り、あらゆる雇用形態において労働者の権利を確保するためには、オルグが不可欠だ。男女平等は依然として世界的な課題だ。世界最大の民主的な運動主体である我々労働組合は、集団としての目的・理念を実現し、ルールを変える力を持っている。



**シンガポール全国労働組合会議 (SNTUC) のウン・チー・メン書記長** は、ITFの世界大会がシンガポールで開催されたことに感謝するとともに、シンガポールの交通運輸産業の課題、取り組み、自身の考えについて次のように語った。陸上輸送に関しては、ライドシェアが5年前に参入し、アプリが急速に普及している。シンガポールのタクシー労組は、業界の動向に敏感に対応し、問題が発生する前から将来を予測し、技術変化に備えて学び、立ち向かい、変化を形作ることの重要性を経験から学んだ。三者構成主義の一環として、バス・鉄道産業においても、できるだけ早い時期に組合と関与することで、労働者のための円滑な移行が実現している。海事部門に関しては、シンガポールの港湾労働者は常に新技術に向き合ってきた。港湾の自動化が進む中で、高度なスキルを持つ労働力が要求されるようになり、未来の仕事に備えるプロセスを組合主導で

構築してきた。シンガポールの船員組合は、シンガポール人が船員という職業に魅力を感じられるよう、画期的な活動を展開してきた。現在は、船員が次世代船舶に適応し、キャリアを形成する方法を検討している。産業部門に関わらず、労働者が新しい仕事の世界に備えることが重要だ。いわゆる「第四次産業革命」は、全ての人に恩恵をもたらす、労働者が賃金、福利、キャリアの向上を実現させて初めて意義を持つ。

## 議題の採択

議題(44c議題)が提案通り全会一致で**採択**された。

## 投票集計・検査人の選出

執行委員会の勧告に基づき、6人の投票集計・検査人が次の通り**選出**された。

1. Simon Sang (DWU、ケニア)
2. Hani Qadi (GTUWATT、ヨルダン)
3. Wayne Butson (RMTU、ニュージーランド)
4. Vladimir Svalina (SUC、クロアチア)
5. Cinthia Magali Diaz (CPOFPCM、アルゼンチン)
6. Luke Pyles (IPA、米国)

## 議事運営規則の採択

議事運営規則(44c議事運営規則)が提案通り**採択**された。

## 資格審査委員と決議委員の選出

執行委員会の勧告に基づき、11人の資格審査委員が次の通り**選出**された。

1. Adewale Adeyanju (MWUN、ナイジェリア)
2. Dorsaf Sayhi (FNT、チュニジア)
3. CA Rajasridhar (AIRF、インド)
4. Gwee Guo Duan (SMOU、シンガポール)
5. Agis Tselentis (PNO、ギリシャ)
6. Karsten John Kristensen (3F、デンマーク)
7. Jaine Peacock (英国、UNITE)
8. Torben Seebold (VER.DI、ドイツ)
9. David Massiah (AWU、アンティグア・バーブダ)
10. Mike Murphy (TWU、米国)
11. Leslie Dias (UNIFOR、カナダ)

執行委員会の勧告に基づき、2014年に選出された決議委員が大会期間中に全ての動議を取り扱うことが**承認**された。

執行委員会の勧告に基づき、14人の決議委員が次の通り**選出**された。

1. Tabudi Abner Ramakgolo (SATAWU、南アフリカ)
2. George Turkieh (LCCA、レバノン)
3. P M Mohammed Haneef (CPSA、インド)
4. Max Abad (AMOSUP、フィリピン)
5. Mich-Elle Myers (MUA、オーストラリア)
6. Mark Dickinson (NIUK、英国)
7. Brigitta Paas (FNV、オランダ)
8. Diana Holland (UNITE、英国)
9. Dorotea Zec (SUC、クロアチア)
10. Karsten John Kristensen (3F、デンマーク)
11. Julian Sosa (SLF、アルゼンチン)
12. Carlos Muller (CONTTMAF、ブラジル)
13. Owen Herrnstadt (IAMAW、米国)
14. Rob Ashton (ILWU、カナダ)

## 物故者

運動に貢献した物故者に1分間の黙祷が捧げられた。

## 資格審査委員会の報告

**ギー・グオ・ドウアン (SOMU、シンガポール)** 資格審査委員会議長が、10月14日開催の資格審査委員会の報告書を紹介し、次の通り報告した。1組織を除き、全ての組織の資格が満たされていた。この1組織は、大会期間中に加盟手続きを完了するまで、オブザーバー資格で参加登録した。

126カ国、456組織から代議員838名、アドバイザー1,018名の参加登録がなされた。(そのうち13組織が代理出席だった。) 投票数は5,216,205で、ITF登録人員570万人の9割に相当する。

女性の代議員は129人、アドバイザーは314人。98%の組織が大会代議員の女性の割合に関する勧告を遵守した。青年の代議員は73人、アドバイザーは207人。98%の組織が大会代議員の青年の割合に関する勧告を遵守した。

書記長選の立候補者は1名だけだった。

資格審査委員会の報告が提案通り**採択**された。



## 決議委員会の報告

決議委員会議長のマーク・ディキンソン（ノースラス・インターナショナル、英国）が10月14日に開催された決議委員会の報告書を紹介し、全体会議と部会総会に付託される動議について説明した。第1号、2号、3号、4号、5号緊急動議は緊急性の基準を満たしており、全体会議あるいは部会総会に付託されることを報告した。

決議委員会の第1回報告書が提案通り**採択**された。

パディ・クラムリン会長が執行委員会提案の以下の規約改正動議を紹介した。これらの動議が採択されれば、全体会議に引き続き開催される部会総会、女性総会、青年総会、各地域の選挙グループ会議で各動議の内容を実施できるからであった。

## 動議A

### 投票手続き

産別部会、女性総会、青年総会での投票手続きに一定の一貫性をもたせるために本動議が提案された。

動議Aは提案通り**採択**された。

## 動議B

### 選挙

各産別部会の議長が自動的に執行委員となること、および各地域を代表する副会長と当該地域の議長の役職を一本化することを確認するとともに、アフリカ地域とアラブ地域の選挙グループの分離提案により、両地域代表の女性議席が増えるため、執行委員議席を1名増やすために本動議が提案された。

アフリカ地域とアラブ地域を別々の地域に分離する提案は**承認**され、動議Bはそのまま**採択**された。

パディ・クラムリン会長は、アフリカ地域とアラブ地域の別々の選挙グループを認めることで、両地域のアイデンティティ構築や加盟組織の力やITFへの関与が強化されるだろうと述べ、この決定の歴史的意義を強調した。



## 活動報告

オーストラリアの港湾で繰り広げられたパトリック争議の20周年記念ビデオが上映され、国際連帯や国際的な連携が確保された闘いは真の勝利と後世に残る財産をもたらすというメッセージが伝えられた。

**スティーブ・コットン書記長**が活動報告の議題を紹介した後、加盟組合の代表者が労働者の証言を盛り込ませた活動報告を行い、労働者こそ組合やITFの主役であり、変化を生み出す存在であることを示す旨、説明した。また、これらの報告は別個の存在ではなく、全てITFの運動や力の拡充につながっていることや、各地域・部門で組合の力を構築する活動を行っていることを説明した。

**デブ・ハインデル船員部会議長**の要請を受け、**ノーチラス・インターナショナルのマーセル・ヴァンデン・ブローク**が船員の有罪化に関するビデオ（ジェルクリス・ロンテルの話）を紹介し、船員は公正なルールや利益代表を享受できないことが多く、家から遠く離れた場所で、現地の文化、言葉、司法制度も分からないまま、ITFの支援に頼ることとなる現状を説明した。

鉄道部会議長のオイステン・アスラクセンが、4年間の鉄道民営化闘争についてビデオで報告する**CAラジャスリダール（AIRF、インド）**を紹介した。CAラジャスリダールは、民営化が賃金、労働時間規制、訓練基準に対する圧力を意味すること、広範なアウトソーシングは鉄道労働者の社会的な権益を剥奪するものであること、この細分化に対抗し、労働者とコミュニティーを守る戦略が必要であることを強調した。

**マリア・クリスティーナ・カダヴィッド・バルベラ（ACAV、コロンビア）**が4年間の中南米・カリブ海地域の航空労働者の力の構築について、次の通り報告した。地域最大手のLATAMの組織化の成果を踏まえ、アビアンカを次のターゲットとした。アビアンカはLATAMに次ぐ大手航空会社だが、猛烈な反労組の歴史を持つ。ITF・LATAM/アビアンカネットワークの支援を受け、コロンビアのアビアンカパイロットがパイロット史上最長のストを実施し、経営に2,900万ドルの損失と大幅な混乱をもたらした。コロンビアの組合の行動の直後に、アビアンカ航空はアウトソースしたランプ労働者の雇用を余儀なくされた。ITF・LATAM/アビアンカネットワークはここ4年間で拡大し、グアテマラ、エルサルバドル、パナマの組合が積極的に参加するようになった。これは、全地域の組合が航空業界の攻撃に対して相互に支援し合う準備ができたことを意味する。

**港湾部会副議長のトーベン・シーボルト**が、オルグと精巧な運動により組合の力が発揮されることを示すビデオを紹介した。シーボルトは、港湾労働者は組合の分断、弱体化、嫌がらせを目的とする反労組戦術に直面することがしばしばあることを説明し、「連帯」の組合員であるグダニスク・コンテナターミナルの港湾労働者がITF港湾部会や欧州のITF加盟組合の支援を得ながら成功を収めた勇気と忍耐のストーリーは、連帯の有効性を示していると語った。

**都市交通委員会議長のアズビオン・ウォールと内陸水運部会議長のニック・ブラムレー**が、ITFの「私たちの公共交通」プログラムのビデオを上映する**ウォルサン・リエム(KPTU、韓国)**を紹介した。ウォルサン・リエムは、ITFは組合間の関係を強化しながら旅客輸送の多国籍企業をめぐる国際連帯やネットワーキングを調整していると述べるとともに、唯一民営化されているソウル地下鉄9号線の労働者が公営の同僚と比べて劣る労働条件を押し付けられていることや、9号線の労働者、乗客や政党の支援を得ながら、公有化を目指す運動を開始したこと等を報告した。

**路面運輸部会議長のトニー・シェルダン**が、ロジスティクス大手のトール社に対する運動を報告するビデオを上映する**マイケル・ケイン(TWU、オーストラリア)**を紹介した。マイケル・ケインは、TWUが草の根の運動を開始し、今やアジア、オーストラレーシア、北米の交通運輸労組が参加するまでになり、世界中のトールの何千人もの従業員が「グローバル憲章」で保護されるようになったことを報告した。また、トールがどこに進出しようとも、組合は追いかけると述べた。

**ETF会長のフランク・モリール**が国際トラック運送部門の基準引き上げを目指すITFの活動について、次の通り報告した。ITFはDHLに対するキャンペーンを展開し、同社との協約締結に成功したが、その過程で、サプライチェーンの運送会社に影響を与える賢明な手法を取る必要性等、いくつかの教訓を学んだ。サプライチェーンのトップに君臨する「経済的使用者」が力を持っていることが多い。欧州のITF加盟組合が集めたエビデンスによると、トラック運転手が衝撃的な状況で搾取されており、ITFはIKEAに対してサプライチェーンの状況改善を求めることとなった。活発なキャンペーンにより、IKEAを話し合いにつかせることに成功したが、闘いは終わりにはほど遠く、IKEAや業界全体の問題に対する幅広い戦略を実施していく。さらに、ITFとIUFは初めてユニバー社とサプライチェーンの真の責任を追及するデュー・デリジェンスモデルの構築の取り組みを開始した。

**水産部会議長のジョニー・ハンセン**がアイルランドの外国人漁船員を守る水産キャンペーンのビデオを紹介し、水産業では権利侵害や人身取引が未だに行われていることや、途上国出身の外国人漁船員の強制労働が欧州においてすら継続していること、ITFとITF加盟組合は外国人漁船員にディーセントワークの機会を与えるために闘っていることを報告した。

**アラブ地域副議長のセデック・ベラーマ**がカタール航空キャンペーンに関するビデオを上映する**ファティマ・アジュ(LCCA、レバノン)**を紹介した。ファティマ・アジュは、急速な成長を遂げているカタール航空が労働法制が脆弱な国の反労組の航空会社であることや、ITFがペルシャ湾岸の反労組の航空会社に対するキャンペーンを立ち上げ、アラブ地域の加盟組織を支援しながら、労働者を怯えさせる差別的な慣行・方針を是正させたことを報告した。

**女性委員会議長のダイアナ・ホランド**が女性交通運輸労働者の意識啓発プログラムに関するビデオを上映する**マル・メイレ・アマロ(SINA、ブラジル)**を紹介した。マル・メイレ・アマロは、ITFが世界11カ国の19の加盟組織と協力しながらこの画期的なプログラムに取り組んだことや、ユニフォー(カナダ)による職場の暴力対策として始まったこの取り組みが、スウェーデンのSEKOやユニオン・トゥー・ユニオンの支援を得ながら急速に拡大し、女性の人生を変える影響を及ぼすまでに至ったことを報告した。

**メアリー・リュー(SMOU、シンガポール)**が交通運輸産業におけるジェンダーに基づく暴力の撤廃を目指す運動の進捗状況を次の通り報告した。2018年のILO総会で、仕事の世界における暴力とハラスメントの問題が初めて議題に上がった。ITFとITF加盟組織は、この問題に関するILO条約の採択を目指す国際労働組合総連合(ITUC)主導のキャンペーンで中心的な役割を果たし、ILO総会における第1回目の議論に積極的に参加した。当初、強い文言が採択されたが、使用者は文言を弱め、労働者保護を緩めるために政府への

ロビーイングを続けていた。交通運輸労組と交通運輸労働者にとって、この条約は暴力撤廃のための重要なツールとして必要であるため、ITFは条約の採択を目指して労働者グループ内で主導的な役割を果たし続けていく。

**民間航空部会議長のオリバー・リチャードソンと観光部会議長の後藤常康**が、ライアンエア・キャンペーンに関するビデオを上映する**ジョー・オフリン (SIPTU、アイルランド)**を紹介した。ジョー・オフリンは、LCCモデルを追求するライアンエアが執拗に労働者の権利を踏みにじり続けていることや、2017年にITFとETFがライアンエアを標的にすることを決定したこと、ライアンエアは反労組のビジネスモデルを全アイルランドに広げ、航空業界全体に影響を及ぼしていたこと、ついに、2017年末までに組合を認知する旨、発表したことを報告した。

**青年委員会共同議長のシャロン・リーとフリアン・ソーサ**が、ウガンダのインフォーマル部門の青年労働者に関するビデオを上映する**シャニタ・ビルンギ (ATWGU、ウガンダ)**を紹介した。シャニタ・ビルンギは、ウガンダでは特にボダボダの運転手やその他の労働者グループが協会を設立し、国、地域、国際レベルで組合活動を行っていることを報告した。

**ITFのステーブ・コットンITF書記長**が、各報告はITFが現場の交通運輸労働者との関係を深めていることを示していると述べた。また、組織拡大と影響力の増大は、労働者の勇気を物語っており、未来に向けての励みであると述べた。

討論が開始された。

**モンセフ・ベン・ロンデー (FNT、チュニジア)**は、ITFが加盟組合の支援で非常に重要な役割を果たしているため、アラブ地域の加盟人員数は何度も増えてきたと述べた。また、パディ・クラムリン会長とステーブ・コットン書記長への支持を表明しつつ、目の前に大きな課題があるとの認識を示し、サウジアラビアやアラブ首長国連邦のように結社の自由を認めない国もあるため、外国人労働者の組織化・支援を継続していると述べた。さらに、このような課題にもかかわらず、アラブ地域のITF加盟組合は力をつけ、世界全地域のあらゆる組合を支援する決意を持っていると述べた。

**シバ・ゴパル・ミシュラ (AIRF、インド)**は、1998年のデリー大会以降、交通運輸労働者の力は増大し続けてきたと述べた。また、インドでは、労働者の50%以上が若年層であり、組織する必要があることから、ITFが女性や青年の関与に成功していることは非常に意義があると述べた。さらに、インドの鉄道労働者にとって民営化は依然として重要な問題であり、万人のための質の高い公共交通を確保するために、インドの加盟組合は力強く闘い続けることを強調した。

活動報告書は提案通り**採択**された。

全体会議を中断し、部会総会の後に再開することになった。

# 大会テーマと今後の戦略： 交通運輸労働者の力の構築

ロブ・ジョンストン書記次長が大会テーマ文書について説明した。大会テーマ文書は、国際労働組合運動が引き続き成長を続けるために、全加盟組合にとっての課題を提示している。課題の背景には、世代と仕事の未来を決める、いわゆる「デジタル革命」が存在する。書記次長は、課題を明確にする必要があると述べた。企業は、自動化について、仕事は必然的になくなり、労働者はそれを阻止することはできないという論調を展開している。しかし、調査によると、自動化されるのは仕事ではなく作業だ。自動化は政策の選択肢の一つであり、必然ではない。また、交通運輸労働者にとって、自動化は新しいものではない。ITFはこれまでも交通運輸革命にかかわってきた。これからもそうであろう。技術の効果を決めるのは社会だ。自動化で不平等が悪化するならば、それは社会が許したからだ。オルグは重要な反撃手段だ。女性の仕事は男性の仕事よりも自動化される可能性が15%高い。青年労働者の8割は非正規雇用だ。ITFは、弱い立場の労働者グループが底辺層で搾取されるのを阻止するために闘う必要がある。青年の利益代表と参加を強化したり、女性労働者が公正かつバランスのとれた経済を要求し続けたりすることで、また、真の国際連帯を通じて、交通運輸労働者は力をつけることができるだろう。ITFファミリーは組織拡大と行動主義を実現し、加盟組合主導の力強い運動を展開し、政策立案者に影響力を行使する必要がある。データは現代の経済の潤滑油であり、仕事の未来を形成する幅広い計画の一貫として、労働者はデータを所有する必要がある。

各部会・地域と幅広い協議を行い、気候変動問題から部門別の優先課題等のさまざまな問題をまとめたグローバル戦略計画をスティーブ・コットン書記長が提案した。

# ITFグローバル戦略

ビジョン

## 交通運輸労働者の力の構築

戦略の方向性

組織人員の拡大と活性化

革新的な運動展開(キャンペーン)

グローバルおよび地域レベルの政策に影響を及ぼす

重点分野

既存の加盟組合と新たな加盟組合  
今後のキャンペーン  
交通運輸の成長  
非公式労働者、女性、青年

前例を打ち立てる  
加盟組合のリーダーシップ育成  
テクノロジーの変化  
デジタル・ツール

貿易政策  
テクノロジーの変化  
労働基準

成長が見込まれる分野

航空

FOC(便宜置籍船)キャンペーン

ハイテク企業

アジア太平洋

主な戦略-「4つのレバー」戦略を基に前進する

ハブとコリドールの統合

業界の主要プレイヤーに影響を及ぼす

地理的シフトを捉える

テクノロジーを形成する

書記長は、**航空**産業は2022年までに33%の成長が見込まれ、切り下げ競争を阻止するために産業全体でより多くの活動を実施する必要があると指摘し、次のように述べた。女性と青年が主導的な役割を果たす必要がある。**FOC**キャンペーンは2018年に70周年を迎えたが、引き続き船員の利益を守るとともに、サプライチェーンに対して影響力を行使するために、FOC船の協約締結率100%を目指すべきだ。**ハイテク企業**は様々な部門で存在感を増しており、それらの企業が労働者の権利に及ぼす脅威に対して闘うための新たな戦略が必要だ。アマゾン等の巨大企業はサプライチェーンに大きな

圧力をかけており、労働者は組合の力でこれに応じるべきだ。大きな成長の可能性を秘めた**アジア**は依然として世界経済のエンジンである。

自動化とデジタル化は重要な課題と機会を突き付けている。仕事の未来に焦点を当て、より強力な支援を行う強いITFを実現するための体制やキャンペーンを通じて、労働者の利益を代表する。

パネルディスカッションや登壇者を通じて、3つの戦略的方向性が提案された。

# 組織人員の拡大と活性化

組織人員の拡大と活性化に関するパネルディスカッションが行われた。

レン・マクラスキー (UNITE、英国)  
ロベルト・フールタド (UCOC、パナマ)  
ドロシー・ナンデラ (ATGWU、ウガンダ)  
ドロテア・ゼック (SUC、クロアチア)  
プリティ・シン (AIRF、インド)

**レン・マクラスキー (ユナイテ、英国)** がITFの戦略的方向性を紹介した後、オルグが組合運動の中核にあることを強調し、次の通り語った。オルグは組合に力をもたらす、組合員の利益代表を適切に行うことができる。ITFは組合員の利益を代表できる国際組織である。なぜならば、単に決議を採択するだけでなく、決議を行動で実践し、真の国際連帯を促進させるからである。このパネルディスカッションは、将来に向けて行動主義と正義を実践する献身的な青年労働者がパネリストとなっており、ITFの前進を反映している。

**ウェープリング海事研究所 (SMOU、シンガポール) の青年組合員であるジェイ・チュア・ロン・ジーの「誰を、なぜ、オルグする必要があるのか？」を問うビデオメッセージでディスカッションが始まった。**

**ドロシー・ナンデラ (ATGWU、ウガンダ)** は、特にアフリカでは交通運輸産業で大きな役割を担っている非公式の青年労働者のオルグを重視する必要があることを強調し、次のように述べた。ウガンダでは、組合がボダボダ (タクシー) の運転手グループ等にプラットフォームを提供する取り組みを行っている。ATGWUはアフリカで女性労働者の指導力を開発する組合に助言・指導を行っている。オルグは継続が非常に重要だ。組合の持続可能性を確保するためには、労働者が組合のオーナーシップ (当事者意識、責任感) を持つ必要がある。

**プリティ・シン (AIRF、インド)** は、組合の成長・発展にはオルグと訓練が重要だと補足し、次のように述べた。AIRFは、ここ数か月間、大勢の女性を含む1万人の鉄道労働者の訓練を実施した。組合が生き残るためには、青年をオルグする必要がある。

**ドロテア・ゼック (SUC、クロアチア)** は、青年をできるだけ早くオルグする必要があるとし、次のように述べた。多くの青年労働者が組合の存在や価値を認識していないため、組合が彼らのために何ができるかを示す必要がある。

**ロベルト・フールタド (UCOC、パナマ)** は、多くの青年労働者が自分たちの権利を認識していないと指摘し、次のように述べた。意識啓発の一つの方法として、ソーシャルメディアの活用が考えられるが、組合のメッセージを伝えることを恐れない熱意のある青年活動家を見つけることが重要だ。自分の権利を行使したり、組合に加入したりすることの利益を青年に感じてもらう必要がある。このことを契機に、オルグの会話をスタートさせることができるだろう。

**レン・マクラスキー**は、日雇い労働者の搾取等が世界に広がっており、組合が青年労働者に権利を認識させる必要があり、その一つの方法として、学校のカリキュラムの中に組合運動を盛り込ませることを加盟国に義務付けるILO条約の採択をITFがILOに要求することが考えられると述べた。

**ドロテア・ゼック**は、学校での講演は重要な第一歩であることに同意し、クロアチアでは、青年船員に対して、仕事で求められるものについてだけでなく、労働組合の権利についても教育しており、労働組合が青年のために何ができるかを示していると説明した。

**ロベルト・フールタド**は、これらの目標を達成するために超えるべきハードル (マスコミによる反労組の報道や、パナマ運河の企業による有期雇用の導入や労働者の分断の試み等) を挙げた。

**プリティ・シン**は、主なハードルは意識であるとし、研修は、労働組合とは何か、労働組合ができることは何かについての教育から始めるべきであると述べた。また、インドの研修では、基本的権利に関するモジュールで始めると説明した。

**レン・マクラスキー**は、新自由主義のメディアの問題を強調しながらも、デジタル革命を我々にとって有利な形で利用できれば機会もあると述べた。

参加者から質問を募ったところ、**アレックス・トキ（ユニフォーム、カナダ）**が、「青年労働者の組織化にとって重要な課題は何か？」と尋ねた。

**ドロテア・ゼック**が、労働組合がいかに青年のキャリア開発を支援できるかや、集団で考えたり行動を起こしたりすることのメリットを示すことが重要だと回答した。

**プリティ・シン**は、多くの青年が別の収入源を望む結果、自営を好んでいること、また、青年が権利の行使や団体行動の利益を感じていないことを補足した。また、労働組合は青年のスキル開発や訓練を支援できる必要があると述べた。

**ロベルト・フールタド**は、労働者は組合加入を恐れる傾向があると指摘し、労働者が自身の権利や選択に自信を持てるよう、新規組合員や潜在的な組合員に積極的・一貫的に関与する必要があると述べた。

**レン・マクラスキー**は、労働者の組合加入を阻止することはほとんどの国で違法とされているが、使用者は積極的に組合加入を邪魔していると述べた。また、保護は組織拡大を通じて勝ち取ることができるが、40年間にわたり世界中で新自由主義が蔓延った結果、個人主義が台頭したため、労働組合は、職場での個人の尊厳等の共通のテーマを通じて、集団の利益を示す必要があると述べた。

参加者の中から**ジャック・プトロス（TWU、オーストラリア）**が「プラットフォームあるいはギグ・エコノミーの労働者を組織する上での最大の課題は何か？」と尋ねた。

**プリティ・シン**は、プラットフォーム労働者は情報の共有が非常に難しいグループだと述べた。

**ドロシー・ナンデラ**が、プラットフォーム労働者は雇用形態が不明瞭なため、所属意識を持つことが非常に難しいと補足した。

**ドロテア・ゼック**は、労働者が組合に接触するツールが必要だと述べた。

**ロベルト・フールタド**は、コミュニケーションの手段を正しく活用することが重要だと強調し、労働組合は様々なプラットフォームを分析し、オルグへの活用方法を検討する必要があると述べた。

**レン・マクラスキー**は、労働組合は勇気を出してプラットフォーム労働者を組織するべきだと述べた。また、英国では、プラットフォーム労働者は組合加入を望んでおり、組合はソーシャルメディアを通じたオルグを行っていることを説明し、プラットフォーム労働者はアプリを通じて仕事を得ているため、組合もアプリを通じて彼らとコミュニケーションを行う必要があると述べた。さらに、ITFがこれらの問題への取り組みを主導し、加盟組合を支援することが重要だと述べた。

参加者の中から**ビンセント・オムバティ（MWU、ケニア）**が「オルグがパネリストの皆さんにとって意味するものは？オルグが青年・女性労働者にとって意味するものは？」と尋ねた。

**ドロテア・ゼック**が、オルグとは労働者に自らの権利について知ってもらうとともに、共に行動することで達成できるかもしれないことについて理解してもらうことであると述べた。

**ドロシー・ナンデラ**は、オルグとは労働者に労働組合と自分との関連性や可能性を理解してもらうことであるが、異なる労働者グループの違いを組合が認識することが重要だと述べた。また、ウガンダでは、女性のオルグが一部の社会に新たな可能性を切り開くことがしばしばあると説明し、組合は、様々な労働者グループの声を聴き、彼らの問題（非公式労働者の問題等）に対する解決策を見出す場を設けるべきであると述べた。

**プリティ・シン**は、オルグは問題解決や多様な労働者グループをまとめることを通じて、より良い職場を作ることに同意した。

**ロベルト・フールタド**は、問題の解決策は、労働者グループのみならず、地域によっても異なることを強調し、組合は特定の問題や特定の行事（5月1日のメーデー等）に対する労働者の関心を集める方法を探る必要があると述べた。

**レン・マクラスキー**は、オルグとは新しい組合員を受け入れ、変化に備えることであり、変化や新しい声に応じることが重要であると述べた。また、組合員主導とは、組合員のニーズに応えることを意味し、女性労働者の機構を整えたり、適切な時間・場所において会議を開催したりすることであると述べ、組合は労働者にオルグの意味を尋ね、組合と組合員との関連性を高める努力をすべきであると主張した。

参加者の中から**アレックス・ハイウッド (ユナイテッド、英国)**が、「**ITFの女性機構および青年機構の重要性は?**」と尋ねた。

**ドロテア・ゼック**は、青年機構は青年労働者が共通のテーマについて議論する場を提供し、活動を進めるための関係を構築することを可能とするものであると述べ、青年労働者が真の経験共有を行い、集団で解決策を見出すために、全てのITF加盟組織に青年機構が必要であると主張した。また、ITFはこの分野を先導しており、ITFの女性機構は加盟組合や他の組合にとってのベンチマークとなっていると述べ、ITFの女性の存在が目に見えることで、より多くの女性交通運輸労働者が力をつけ、前に出てくるようになったと説明した。

**プリティ・シン**は、これらの機構は労働者が真の声を上げ、力をつける機会を与えていると述べた。

**レン・マクラスキー**は、青年労働者はこれらの機構の中で活力やエネルギーを共に高め、彼らの熱意や洞察力が全ての労働者に利益をもたらしていると述べた。

**アビタル・シャピラ (Histadrut労組、イスラエル)**が、契約労働者を組織し、団体協約を締結させる闘争について発言した。また、スト権が脅かされていることが大きな問題となっており、組合はスト権を守り、労働者を支援するために共に活動する必要があると述べた。

まとめとして、**パディ・クラムリン会長**が組合運動の根幹としてスト権が重要であることや、スト権を法律で保障する必要性を強調し、次のように述べた。住宅や医療健康問題等に関して、幅広い社会的変化をもたらすためにも、団体行動や組合運動がますます重要になっている。オルグは我々をコミュニティと一体化させる。組合運動は、(雇用形態にかかわらず) 青年を支援する必要がある。大会テーマ文書には、戦略的方向性の一つである「組織人員の拡大と活性化」を実践するための目標と明確な体制が提案されている。

ライブポール(ネットを用いたアンケート調査)では、デジタル経済において組合が力を発揮することが容易になるとの回答が38%、困難になるとの回答が62%だった。

戦略的方向性「組織人員の拡大と活性化」はそのまま採択された。

これに関連して、**パディ・クラムリン会長**が非公式労働者の組織化に関する第1号動議の票決を求めた。

## 第1号合体動議

### 非公式労働者の組織化

**アジャイ・クマール・ライ (NETWON、ネパール)**が、これまでの組織化に関する議論に照らし、非公式労働者の組織化の重要性を強調し、本動議を紹介した。雇用は多くの国できちんと規制されていないため、ITFが非公式労働者を組織するという課題に取り組むことは極めて重要だ。

大会代議員は第1号合体動議に**賛成票**を投じた。



# 革新的な運動展開 (キャンペーン)

以下のパネリストが革新的キャンペーンに関するパネルディスカッションを主導した。

ジェームズ・ホッフア (チームスター、米国)  
 クリステイン・ベール (ver.di、ドイツ)  
 セディック・ベラマ (FNNT、アルジェリア)  
 エカテリーナ・ヨルダノヴァ (FTTUB、ブルガリア)  
 トニー・シェルダン (TWU、オーストラリア)

**ジェームズ・ホッフア (チームスター、米国)** が、職場における強い労働者の結束が力の構築に不可欠な第一歩であると強調し、戦略的方向性を紹介するにあたり、次のように述べた。巨大多国籍企業やグローバルな課題に立ち向かうため、企業のグローバルな勢力範囲と資源に、戦略的かつ創造的で革新的な運動展開で対抗せざるを得なかった。ITFが創設されたのは、労働組合の勢力をグローバルレベルに拡大するためであり、そうすることでサプライチェーンを通じ、全ての職場において労働者が確実に尊重されるよう担保するために労働組合が行った決定事項から企業が免れることができないようにするためだった。工場からトラックへ、港湾から船舶や航空機へと製品が行き来しているので、交運労働者はITFのもとに団結し、お互いを支援して活動する必要がある。

**青年労働者のバワナ・チャウラシア (NFIR労務部、インド)** がビデオメッセージを通じ、「21世紀の組合の運動展開とはどうあるべきで、その理由は何か？」とパネリストに質問し、議論の口火を切った。

**ジェームズ・ホッフア**は近代の運動展開は多面的に、地域社会を巻き込んで行う必要があると指摘し、次のように語った。米国で最近、民間のスクールバス運転手の組織化に成功したが、これは長らく多国籍企業のナショナル・エクスプレス社(NEX)と闘ってきた末の結果であり、この過程でITFの支援を受けてきたおかげだった。英国のユニイト労組はNEXと良好な労使関係を築いてきていたが、同社は米国では組合敵対的行動を取っていた。組合の運動を通じ、同社の安全面での問題

が公表された際、地域の住民を憤慨させた。その他の側面としては、株主総会に決議を提出したり、企業の顧客に連絡を取ったりした。このように、様々な戦略を組み合わせるのが成功のカギである。

**セディック・ベラマ (FNNT、アルジェリア)** は、アラブ地域が展開している、雇用維持と労働者の機会拡大のための国際キャンペーンについて次のように説明した。キャンペーンの計画策定はラマダン前後に行い、具体的な組織化の目標設定と結果を出すにあたり、広範な地域社会を巻き込んだ。主な資材やソーシャルメディア上の活動が組合員の勧誘と組合員の活性化の成功をもたらした。

**エカテリーナ・ヨルダノヴァ (FTTUB、ブルガリア)** は、地域社会に組合の運動に賛同してもらうには、人間的な話をするのが重要だとして、次のように述べた。万人の参加を促し、インスピレーションを与えるような運動が必要である。ブルガリアで行った私たちの公共交通(OPT)キャンペーンは、交通運輸の公有を確保するというものだったが、同じ問題に関して世界の他の組合の経験をベースにすることが出来たため、成功した。FTTUBは気候変動問題と持続可能な開発目標(SDGs)を活用し、意思決定者にプレッシャーをかけた。サービスの質向上と雇用の質を結びつけることにより、地域住民を味方につけることができた。この運動は広範なITFのOPTキャンペーンの一環として行い、世界中の労働組合を支援して、都市で様々な交通モードをあまねく組織化することを支援するものだった。

**トニー・シェルダン (TWU、オーストラリア)** は貨物ロジスティクス巨大企業のTNT社の組織化の経験について、次のように語った。企業の本社所在地の労使関係を海外進出先でも維持することが重要だ。一社や一国を超えて市場全体を組織化するためには、組合が先見の明をもたなくてはならない。国内外の労働者を保護するため、全世界的な協定を活用し、それを国内の協約に落とし込むことが重要だ。労働組合は組合員に誰が最終的な使用者あるいは「経済的使用者」かを尋ねる必要があった。オーストラリアでは、究極的には大手小売り2社が顧客に提供する料金を管理しており、それゆえに、大勢の交通運輸労働者を管理していることをTWUが把握した。同一企業内の個々の協約を合体させ、同社のサプライチェーン全体で力を発揮



できるようにした。活動を調整し、顧客や関係者を通じ、経済的使用者にプレッシャーをかけ、彼らの責任を追求することは可能だ。

**クリスティン・ベール**は格安航空会社のライオンエアに対する運動と、ある国で締結された協約が、別の国の協約の条件を下回っている問題にどう対処したかについて、次のように説明した。権利のために立ち上がろうとした労働者が解雇され、組合に支援を求めてきた。強力なメディア露出、政治家から支援など、広範な運動展開を行った結果、一般市民が同社を嫌うようになった。その結果、ライオンエアは組合を承認せざるを得なくなり、組合との交渉を開始した。ベールはまた、成功した運動の側面と、運動のプロセスで何を学んだかパネリストに尋ねた。

**ジェームズ・ホツファ**は国内外どちらかのネットワークを通じ、適切な支援を取り付けられないと組合の運動は失敗する点を強調した。また、運動を急ぎすぎたり、計画をよく立てない場合にも失敗すると述べた。

**セディッキ・ベラーマ**は民間部門の組合員を増やすためにアルジェリアで実施した運動が、一般市民が組合を

誤解したことで失敗したことについて語った。使用者が組合の運動に激しく抵抗し、組合のマイナスイメージを広げ、とても対抗できないレベルになってしまったと述べた。

**クリスティン・ベール**は組合のマイナスイメージにつがるマスコミ報道に対抗する手段として、ソーシャルメディア (SNS) 活用の機会について助言し、SNSは活用することを検討すべきものであると述べた。

**トニー・シェルダン**は、労働者との双方向のコミュニケーションや関係の構築にあたり、様々な方法を活用する必要があり、それらをこれまでの組織化の方法に代わるものとするのではなく、これまでの手法を補完するものと見なすべきだと解説した。組合の運動は明確なビジョンと何をもってして「勝利」と見なすかが明確でない場合には失敗すると述べた。また、組合は企画段階で資源や能力に関する明確な考えをもち、明確な目標とそれを達成するための手段を設定する必要があると述べた。

**ドミニク・ヨン (SMOUA、シンガポール)**が質問し、「ITFの地域事務所はどのような形でITF加盟組合の運動展開を支援できるか？」と尋ねた。

**エカテリーナ・ヨルダノーヴァ**が、ITFはその経験、知識、スキルゆえに、活動家を育成できる唯一無二の立場にあると述べた。また、他の国際産別との連携を強化し、運動展開能力を増強したり、同様の問題を抱える交通運輸以外の産業の労働者にも協力の手を広げるなど、地域事務所にはもっとやれることがあると指摘し、地域事務所はローカルの問題をグローバルな文脈へとつなげ、ITFの知識やスキルがあらゆる労使交渉のテーブルで活用されるように担保するという役割を担っていると述べた。

**ジェームズ・ホツファ**はITFは加盟組合を支援し、団結させるためにあることを強調した。また、大会期間中にイランのトラック運転手がストライキをしていたが、ITF加盟組合が積極的に支援を動員し、ITFと交通運輸労働者の力を見せつけたことを報告した。

**クリスティン・ベール**はITF加盟組合は連帯行動や運動展開でお互いを支援する必要があると説明した。また、加盟組合が資源を共同で活用した場合、ITFは非常にユニークかつ力強い位置づけを得て効果的運動を展開し、成果を出すことができると述べた。

結論として、パディ・クラムリン会長は、労働組合は世界中で運動を展開し、労働者の権利を尊重しようとしていない世界の資本主義と闘っている点を強調した。また、組合は多国籍の多面的運動を展開しており、ITFが団結の力をもたらすことで、運動がより効果的になっていると述べた。

革新的キャンペーンの戦略的方向性は、提案通り採択された。

この戦略的方向性に沿って、パディ・クラムリン会長はグローバル・デリバリーのサプライチェーンとEコマースに関する第22号動議および顧客の責任とセイフレート（安全報酬）を求める世界的闘いの強化に関する第31号動議を承認するよう求めた。

## 第22号動議

### グローバル・デリバリー・サプライチェーンとEコマース

ティム・ビーティー（チームスター労組、米国）が革新的キャンペーンの戦略的方向性の文脈でこれらの分野に関して運動の調整と実施を改善する必要性を訴える、グローバル・デリバリー・サプライチェーンとEコマースに関する本動議を紹介した。

大会代議員は、第22号動議に提案のまま賛成した。

## 第31号動議

### セイフレート（安全報酬）と顧客責任を追及するグローバル闘争の強化

ドンジム・シム（KPTU、韓国）がセイフレート（安全報酬）と顧客責任を追及するグローバル闘争の強化に関する第31号動議を紹介し、この動議の内容は労働組合が先手を打ってサプライチェーン内で働く交運労働者を守るための主な戦略に焦点をあてていると述べた。

大会代議員は、第31号動議に提案のまま賛成した。

# グローバルおよび地域レベルの政策に影響を及ぼす

住野敏彦（私鉄総連、日本）が議題「グローバルおよび地域レベルの政策に影響を及ぼす」を紹介し、今、交通運輸労働者は「第4次産業革命」を経験しつつあるとし、次のように語った。労働者は雇用が置き換えられ、労働強化が起き、監視が増えて、不安定雇用も増えている。アジアは世界経済の中心に位置し、急速な変化の影響を大きく受けている。シンガポールはそうした技術革新の最前線に位置している。企業が投資を増やしているため、特に変化のスピードや深化が地域や国ごとに異なることを考慮し、ITFと加盟組合が適正労働（ディーセントワーク）確保に向けて柔軟な戦略を構築することが重要だ。

政策決定に労働者が関与することは極めて重要だ。小売り巨大企業や資本主義は国境に捉われずにEコマースなどの分野で労働者を搾取している。このような状況下、ITFはあらゆる職場や産業に適用できる政策を策定する必要がある。日本では、労働組合が市民のための公共交通政策と旅客および貨物輸送の原則を、企業や政府との交渉を通じて促進している。労働者の代表として、労働組合には政府や諸機関が決める政策や合意に流されている余裕はない。労働組合自身が政策を策定し、労働者に恩恵が行くように担保しなくてはならない。

青年労働者のアン・パトリス・バロ（AMOSUP技術研修員、フィリピン）がビデオを介して問題を提起し、「交通運輸労働者である自分にグローバルおよび地域レベルの政策はどう影響するか？」と尋ねた。

パディ・クラムリン会長が国際労働機関（ILO）のクリヌ・ヴァーハ労働基準局長を紹介した。

クリヌ・ヴァーハ局長は船内の労働条件についてITFに苦情を言ってきた船員を例に挙げ、国際労働基準、すなわち、国際レベルで政労使が決定した合意内容が

交通運輸労働者の日常にいかに関与的に影響を及ぼすかについて説明した。この事例では、国際基準が遵守されるまでの期間、船が拘留されることになったことを補足した。

世界中の船員の労働生活条件の改善に寄与した海上労働条約(MLC)に関しては、ITFの力強さと労働者の代表者としての立場がMLCの発展と実施で中心的な役割を果たしたと説明した。また、一般的にILO条約が力を発揮できる大きな潜在性があると述べ、ILO条約が採択され、批准されれば、各国の政府が条約実施のために講じた方策についてILOの監視メカニズムに報告することが義務化されると語った。さらに、全ての国内法、命令、政策が厳重に精査され、その国が批准したILO条約に適合しているかがチェックされており、定期的な監視に加え、ILO条約への深刻な違反が見られる場合は、ILOに苦情を申し立てることができる特別な手続きも存在すると説明し、ITFがこの提訴制度をカタール航空のケースで利用したことを紹介した。

最後に、国連は現在、改革を進めており、労働組合やITFの参画が将来を形成する上で不可欠であると述べるとともに、国際基準やメカニズムが確実に成果を出すよう担保するのは政労使共通の責任であることを強調した。

その後、会場から意見を聞き、ディベートが行われた。

**ビクター・ムーア (RTBU、オーストラリア)** が労働組合の各支部において組合員の高齢化が問題になっており、その対応策として、若い女性のネットワークを設置し、組合員の支援にあたらせたことを説明した。また、このネットワークのメンバーの間でリーダーとしての能力が開発され、女性指導者が誕生し、今では彼女らが組合の活動を主導していると報告した。

**パディ・クラムリン会長**がILO内におけるスト権の位置づけについて問題を提起した。

**ヴァーハ局長**は、この問題にはILO内で特別手続きと監視によって対応しており、この制度が国内レベルでの行動の力強い基盤となっていると説明した。

**アギス・テレンティス (PNO、ギリシア)** は、ILO87号条約や98号条約等の労働組合の権利が世界中で侵害されており、スト権すら否定している国もあると指摘した。また、ILO『勧告』にも問題があり、勧告が遵守されておらず、遵守しなくても国が罰せられることもないと述べた。

**ヴァーハ局長**はこれを受け、ILOは制裁を実施するというモデルではなく、協力のモデルをベースとしていると説明しつつ、ILOは各国政府に常に圧力をかけ続けており、より広範な国連機構の中で労働権に注意を払ってもらえるよう、動いていると述べた。

グローバルおよび地域の政策策定に影響力を及ぼすという戦略的方向性が提案のまま**採択**された。

大会テーマと今後の戦略が提案のまま**採択**された。

## 動議

マーク・ディキンソン（決議委員会議長）が第二回決議委員会の報告を行い、書き直した動議と3つの追加緊急動議を提起した。大会動議に関する政策案も決議委員会の報告書に添付され、次の大会までの期間の決議委員会の権限とともに採択のために大会に提示された。ディキンソン議長はまた、この大会を期に決議委員会の議長を退任したいと述べた。

パディ・クラムリン会長は決議委員会の活動と議長のリーダーシップに謝辞を述べた。

大会動議に関する方針が承認されるとともに、第2回決議委員会の報告が採択された。

パディ・クラムリン会長は決議委員会から全体会議に振り分けられ、まだ取り扱われていない以下の動議に関する投票を求めた。

### 第2号合体動議(第6号動議と第27号動議)

ITF加盟組合協議会(NCC)と各国の連絡窓口(NPC)の役割

ピニョールエアンパテック (SRUT、タイ)が本動議を提案し、次のように述べた。この動議により、優先課題や共通の問題について各国レベルで加盟組合が協力するよう支援するため、ITF書記局の負担はさらに増すことになるだろう。より一貫した計画と戦略策定のため、情報は地域レベルと国際レベルで再共有されるべきだ。

大会代議員は第2号合体動議に賛成票を投じた。

## 第8号動議

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クィア、インターセックス (LGBTQI) に関する、他の国際産別組織 (GUF) の労働組合の方針の促進

アレックス・ミリナール (オランダ、FNV) が本動議を紹介した。差別と長らく闘ってきたITFにとって、これは歴史的瞬間だった。

ロブ・アシュトン (カナダ、ILWU) が本動議を支持する立場で次の通り発言した。ILWUは1953年に組合運営の指針となる原則を構築した。この3か条からなる原則では、労働者が分断されることがあってはならないとされている。人種や肌の色、信条、出自、宗教、政治的信条、性別、ジェンダー、性的指向を理由とした差別は存在すべきではない。労働者の間のいかなる分断も使用者を喜ばせるだけだ。この動議を採択することにより、ITFが世界をよりよくするために立ち上がっていることを世界に示すことになる。カナダでは、人々の生活が変化し始めている。この動議は労働者に独りではないというメッセージを送ることになる。

テリー・ゴール (MUA、オーストラリア) も、自らゲイの船員であることをオープンにし、誇りあるMUA組合員として、本動議への支持を表明した。

ダニー・マックゴワン (NI、英国) は、性的指向を理由とした偏見や暴力に怯えながら、毎日出勤している人々がいると指摘し、次のように述べた。多くの組合が既にLGBTQI労働者を組織しているが、この動議により、この方面の活動を国際レベルで連携、調整させることができる唯一無二の機会に恵まれる。労働運動は1人たりとも労働者の権利が侵害されることを許容しない。

ヘレン・アーヘン (ユニオネン、スウェーデン) はLGBTQIの権利に関する最近の議論の変遷について、次の通り語った。万人が唯一無二の存在としてこの世に生まれ、社会は人間をあるがままの姿で受け入れるべきだ。LGBTQIの人々は依然として、最悪の場合は職場で公に嫌がらせを受けたり、いじめられたりしている。これは到底許容できない。性的指向を理由とした差別であり、基本的権利の擁護ができていないことを示している。

大会代議員は、拍手をもって第8号動議に提案のまま**賛成した**。スタンディングオベーションが起き、歴史的瞬間となった。

## 第19号動議 (修正後)

### 朝鮮半島および北東アジアの和平への支持と交通運輸労働者の役割

サンヒョン・パク (KPTU、韓国) が動議を紹介し、過去4年間、様々な争議を支援してくれたITFと加盟組合に深く感謝した。

大会代議員は、第19号動議 (修正後) に**賛成票を投じた**。

## 第23号動議

### パレスチナの交通運輸労働者の支援

ダジムディン・ムズギ (UMT、モロッコ) が本動議を紹介し、次のように述べた。ITFと加盟組合はパレスチナでの連帯行動について誇らしい経歴があり、パレスチナにおける実践的な交通運輸労働者のプロジェクトは、地域の持続可能な労働組合運動の実現活動の一環として継続するべきだ。

大会代議員は、第23号動議に提案のまま**賛成した**。

## 第28号動議

### 勤務地固定の倉庫・ロジスティックス・ターミナル労働者

ピーター・ロヴォクビスト (STF、スウェーデン) が本動議を紹介し、サプライチェーンに沿って働く全ての労働者を支援する上で、この部門の労働者は戦略的に極めて重要であることを説明した。また、より意義ある産業横断的な協力と運動展開を円滑化するため、ITFは彼らをグローバルなITFファミリーに加入させる必要があると述べた。

マヘンドラ・ガーラート (NMGKS、インド) が動議に賛成の立場で発言し、2年前にこれらのグループの労働者の存在が労働組合の優先的な組織化対象として認識

され、組織化を開始し、今年は1,000人以上の倉庫・ロジスティックス労働者を組合に加入させたと報告した。また、ITFがこの分野の活動を優先化したことは重要だったと述べた。

フェルナンド・パーフェイト (SIELAS、パナマ) が倉庫労働者は業界の変化の最前線にいるが、保護されていないため、世界中で組織化する必要があると述べた。また、倉庫関係の企業は労働組合を積極的に回避しようとしていると述べた。さらに、労働組合はパナマのDHLで組織化を進め、労働条件を改善した経験があるが、今はグローバルな戦略が必要であると主張した。

ジョン・ボンデブジャグ (3F、デンマーク) はこの動議を提出するまでに多くの活動を行ってきたことを強調し、倉庫は交通運輸に不可欠であり、この動議は港湾や路面運輸を含む交通運輸産業全体で労働組合の力を向上させることにつながるだろうと述べた。

カルパナ・デザイ (TDWUムンバイ、インド) は、この分野で必要な組織化の一環として、女性と女性のリーダーシップを信じることの重要性について発言した。TDWUムンバイは既に3,000人以上の倉庫労働者を組織しており、彼らをITFに加盟させる必要があると指摘するとともに、福利プログラムが組織化の取り組みと一体化しており、そこには女性も参画するべきだと述べた。

パディ・クラムリン会長は、倉庫・ロジスティックス労働者は現在、ITFの機構上では部門を持たないが、ともに力を合わせることによる巨大な機会がある点を大会参加者に想起するよう述べた。

大会代議員は、第28号動議に提案のまま**賛成した**。

## 第29号動議 (修正後)

### 抗議とブラジル政府の評判-労働改革に関する憂慮

フランシスコ・アパレススコ・フェリシオ (FNTEF、ブラジル) が本動議を紹介し、地域事務所、特にリオにある中南米・カリブ海事務所の強化をITFに要請した。

大会代議員は、第29号動議 (修正後) に**賛成票を投じた**。

## 第1号緊急動議

### ベネズエラ・ボリバル共和国に対する国際的な攻撃と封鎖に反対する

フランシスコ・トレアルバ (FBTTT、ブラジル) が本動議を紹介し、ベネズエラで起きている危険な状態が広く周辺地域にもたらしている影響について説明した。

マルセロ・スミット (SIMARJ、ブラジル) が本動議に賛成の立場で発言し、歴史を見ても、民主主義は労働者の闘争によって達成されてきたが、今、その民主主義が脅かされている国があると述べた。また、例えば、ブラジルの状況は、労働者の力を強化することによってのみ乗り越えられるとし、この地域全体で力強い政治主導の民主主義を強化する必要があると述べた。

ベニート・ベヘーナ・ロメ (ATM、メキシコ) は、この問題はメキシコと中南米地域全体に影響を及ぼすと指摘し、ITFが強い力を保ち、新自由主義の政府から独立している必要があると述べた。また、ITFの地域の意思決定プロセスの中で生まれた決定事項を実施する必要があると述べた。さらに、平和とは尊重であると主張した。

アラン・ストゥール (CGT、フランス) が動議を支持し、労働者の苦しい状況が余りにも長く続きすぎたので、今すぐ終わりにする必要があると述べた。

大会代議員は第1号緊急動議に賛成票を投じた。

## 第2号緊急動議

### イランのトラック労働者のストに関する死刑判決

トミー・レス (STF、スウェーデン) が本動議を紹介し、韓国の経験から労働組合権が弱いと労働者が投獄されることが起こり得ることが示されたと説明し、労働者の基本的人権が侵害されると重大な結果をもたらすことがあると述べた。また、この動議はイランの労働者に関するものだが、権利が守られるべき世界中の全ての労働者にもあてはまると主張した。

アラン・ストゥール (フランス、CGT) が本動議に対するCGTの支持を表明した。イランの状況は極めて困難であり、政府が抑圧的であるため、運転手たちはITFの支援を必要としていると述べた。

大会代議員は第2号緊急動議に賛成票を投じた。

## 第3号緊急動議

### アルゼンチンの組合の自由を守る

マルコス・カストロ (アルゼンチン、CCUOMM) が本動議を紹介し、アルゼンチンの保守政権の政策により、破壊的な影響が出ていることを次の通り説明した。10万人の雇用が失われ、社会保障制度も悪化している。医療制度も脅かされており、ベネズエラに対する借金もかさんでいる。これにより、青年の未来が影響を受けるだろう。プロパガンダに加え、政府は労働組合の自由を抑圧する新しい方法を見つけた。組合の指導者が罪に問われている。SOMUのオマル・スアレズは1年半の間、投獄されており、裁判はこれから行われる。労働運動に対する深刻な脅威に対し、ITFから支援を受け、抵抗している。

トニー・シェルダン (TWU、オーストラリア) が動議を支持する立場から発言し、ディーセントな (人間らしい) 賃金と労働条件をアルゼンチンで維持する必要があり、そのために政府の責任を問うべきだと述べた。また、他の国の政府もこのことを認識し、労働組合を擁護したメッセージを発するべきだと述べた。

大会代議員は第3号緊急動議に賛成票を投じた。

## 第4号緊急動議

### 競争法を通じた、団体交渉に対する攻撃

ピーター・ペレス (FSC-CCOO、スペイン) が本動議を紹介し、競争を理由に既に確立されている団体交渉権や結社の自由などの労働組合権を弱体化させるべきではないと述べた。

大会代議員は第4号緊急動議に賛成票を投じた。



## 第6号緊急動議

### イエメン

モンセフ・ベン・ロムドハンネ (FNT、チュニジア) が本動議を紹介し、イエメンで起きている人道問題と、既に起きている救済活動について報告した。

サイード・アブード・アルマアリ (LCACT、イエメン) が本動議を支持する立場で発言し、同国の交通運輸は死にかけていると述べた。また、空港は閉鎖され、港湾も攻撃の脅威に晒されており、国境を開放する必要があると説明し、労働者ができるだけ早急に職場に戻るようにする必要があると訴えた。

パディ・クラムリン会長は、ITFに加盟する全ての組合員がイエメンの労働者を全面的に支援している点を力説した。また、この運動は他の国際産別にも広がるだろうと述べた。

大会代議員は第6号緊急動議に**賛成票**を投じた。

## 第8号緊急動議

### 業務上過失致死罪

クリスティ・ケイン (MUA、オーストラリア) が本動議を紹介し、労働者の死に責任を負うものは刑務所に入るべきだと述べた。本動議はオーストラリア労働組合評議会(ACTU)によって採択された。

大会代議員は第8号緊急動議に**賛成票**を投じた。



## 規約改正

パディ・クラムリン会長が執行委員会が提案している規約改正動議についての投票を求めた。

規約改正動議AおよびBは最初の議案として取り扱われたため、その結論は各部会総会や青年総会、女性総会、各地域選挙グループの議事の中で実施される可能性があることを大会代議員は想起した。

### 規約改正動議C

#### 決議委員会の役割

マーク・ディキンソン（決議委員会議長）が本動議を紹介し、本動議は大会動議採択のプロセスの効率を向上させるため、大会までの期間に執行委員会が行ってきた広範な作業の中で生まれたものであると説明した。また、決議採択のプロセスや一般的な活動計画の策定に加盟組合がより参画できるようにするため、決議委員会の仕事は大会から大会まで継続することが重要であると述べた。

大会代議員は規約改正動議Cに賛成票を投じた。

### 規約改正動議D

#### 大会

マーク・ディキンソン（決議委員会議長）が大会から大会までの期間を5年間にする目的で規約を修正することを提案する本動議を紹介した。

大会代議員は規約改正動議Dに賛成票を投じた。

### 規約改正動議E

加盟組合のITF大会代議員により多くの青年交運労働者を含める

アレックス・トーキ（ユニフォー、カナダ）とドロテア・ゼック（SUC、クロアチア）が共同で本動議を紹介した。大会に参加している全ての青年が壇上に登壇し、ITFの全ての分野に青年が参加し、存在感を見せる必要があるというメッセージを発信した。

大会代議員は規約改正動議Eに賛成票を投じた。

### 規約改正動議F

ITF機構と規約における青年交運労働者と女性交運労働者の位置づけ

ダイアナ・ホランド（女性委員会議長）が本動議を紹介し、大会に出席している全ての女性が会場の前方に集まった。ホランドは、本動議の目的は各地域や部会の機構の中で女性や青年の地位を確立することであり、そうすることで各総会や委員会の規則を調和させることであると説明した。

大会代議員は規約改正動議Fに賛成票を投じた。

### 拘束力のない声明文

パディ・クラムリン会長がイスラエルとパレスチナの代議員に「拘束力のない声明文」を提案するよう求めた。

セディッキ・ベラーマ（FNNTT、アルジェリア）がパレスチナの人々と交運労働者を代表して、次の通り、声明文を提案した。ベラーマは、パレスチナの人々は基本的人権が保障されているにも関わらず、依然として国内を自由に動くことが禁じられている。交運労働者の生活は特に困難を極めている。ヨルダン川西岸地区とガザでの移動制限により、労働者は仕事をすることができず、地

域社会は基本的なサービスを奪われている。こうした状況は平和への道を頓挫させている。パレスチナ人は二国家共存による解決を依然目指しているが、宗教を理由とする分断は終わらせなくてはならない。国連決議の実施を通じて国際法を遵守するべきだ。トランプ大統領が一方的にエルサレムを椅子ライエルの首都と認め、米国大使館を設置したことは、国際的な決議に抵触し、これまでに確立されてきた手続きを回避し、より大きな危機を起こす危険があるため、これを強く遺憾に思う。パレスチナ人の殺害を非難し、国家の独立とより良い未来を目指し、和平のプロセスおよびパレスチナの労働者を支援することを各国政府・国民およびITF大会参加者に要請する。

これを受け、**アヴィ・エドリ (Histadrut労組、イスラエル)** が次のように発言した。大会代議員は組合の指導者であり、政治家ではない。大会期間中に行われた総会で一致団結に関する素晴らしい話を聞いた。Histadrut労組はパレスチナ人を含むイスラエルの全ての労働者を擁護した。イスラエルで働く8万人の建設労働者のうち、7万人がパレスチナ人だ。最近、37人の建設労働者が殺害されたが、うち26人がパレスチナ人だった。Histadrut労組は建設労働者を組織してはいないが、これらの建設労働者の安全を求め、ストを打った。ITFの指導者たちは世界中で交運労働者を保護している。我々は今後も団結し、共通の利益を守っていくべきだ。ボイコットを含むあらゆる策を労働者の条件向上のために講じるべきだ。パレスチナの仲間や全ての労働組合と協力することこそ、万人のための平和をもたらす唯一の方法だ。

**アピタル・シャピーラ (Histadrut労組、イスラエル)** はパレスチナを独立国家と認めることへの支持に繰り返し感謝し、次のように述べた。Histadrutは団体協約をアラビア語に翻訳して配布したり、パレスチナ人の労働者のための苦情処理委員会を設置したり、イスラエルの雇用法に従い、パレスチナ人労働者の利益を全面的に代表できるようにしたりした。パレスチナ人の組合費は通常の半額とした。イスラエル政府により多くのパレスチナ人を雇用するよう要請した。残念ながら、Histadrut

に反対する活動をする者がいるが、組合を支援してくれる人が圧倒的に多かったことを喜ぶべきである。労働組合は橋渡しと対話、連帯で平和をもたらす存在だ。

**サヘル・サード (PGFTU、パレスチナ)** は、シンガポールが世界で最も安全な国の一つであることをホスト組合に対して賞賛し、次のように述べた。パレスチナでは、生活のために仕事をするのにも検問所を2か所通過しなくてはならないのが通常だ。国土は依然として支配されている。イスラエルによるパレスチナの占領を止めさせ、入植地とアパルトヘイトの壁は撤去するべきだ。エルサレムを首都とする独立国家パレスチナが必要だ。ITF大会には世界中の交通運輸労働者が結集する。自動化やデジタル化は課題と機会の双方をもたらしている。世界の物資の9割が船で輸送されているが、このことはITFの強さを示している。パレスチナの労働者はITFに加盟していることを誇りに思っている。ITFとHistadrutが共同で視察を数多く行い、プロジェクトや連帯を構築している。パレスチナの労働者は、平等な処遇と安全な雇用機会確保のためのこうした活動を継続してくれるよう、ITFに要請している。パレスチナの人々はトランプ大統領の行動を拒絶している。万人が国連242号決議および338号決議を支持し、イスラエルによるパレスチナの占領を非難するべきだ。全ての国際産別組織がITFと同様のアプローチを取り、パレスチナの人々やパレスチナの労働運動、アラブ地域全体の平和構築の闘いを全面的に支持するべきだ。

**パディ・クラムリン会長**は関係者全員と協力し、国家としてのパレスチナの経済・社会の発展のために努力すると約束し、労働組合は平和で、団結した平等な世界を築くことをそもそもの目的としてきたと述べた。

**ネルミン・AI・シャリーフ (GFLTU、リビア)** がITF大会は意見交換を行う場であり、ITFに加盟する労働者を守るため、大会が統一したメッセージを発信するよう、ITFは担保するべきだと述べた。

## 会計報告および会計監査報告

サイモン・ウェラー(ITF内部監査人)が内部監査人を代表して会計報告と監査報告を提案した。基調をなす一般会計の残高は強化され、2014年の赤字から2017年には少額の黒字へと転換し、福利基金残高はさらに増加したことを報告することができ、内部監査人は満足していると述べた。また、ITFの一般的な財務管理は継続的に向上したと述べた。

会計報告と監査報告は提案通り、承認された。

## 加盟費

ロブ・ジョンストン書記次長が報告書と勧告を提案した。2019年から2023年の間、加盟人員一人当たりの加盟費は一年ごとに£0.05ずつ引き上げ得ることとなり、2019年の£1.75ポンド(2.9%引上げ)から2023年には£1.95ポンド(2.6%引上げ)となるであろうと述べた。

田野辺耕一(私鉄総連、日本)が2010年から2014年の間、日本の組合の組合員数と組合費収入が減少していると説明し、加盟費の引き上げに反対する立場から、次の通り発言した。日本の加盟組合はITFが必要なコスト削減策を実施するものと信じている。次の大会までの期間にITFが財政面でどのような改善策を実施するのかが明確ではなく、加盟費が引き上げられれば、日本の加盟組合はITFへの登録人員を引き下げざるを得ない可能性がある。しかし、日本の組合はITFが加盟費問題で引き続き加盟組合と協力して改善を図ろうとしてくれていることには感謝している。

パディ・クラムリン会長は全ての部会と地域が加盟人員戦略の構築で協力し、成長のための高い目標を設定することが重要だと述べた。また、ITFは特に日本において、組織拡大と費用対効果の向上を図る方法を探るために、加盟組合と協力していくことになることや、ITFの財務については執行委員会および運営委員会の指導のもと、注意深く監視していくことを説明した。

表明された懸念を受け止めた上で、次の大会までの期間において、ITFの財務状況を毎年検討し、執行委員会の承認に基づき許可される最大の値上げ幅と加盟費の引き上げの方法が合意された。

## 加盟人員戦略

トーベン・シーボルト(加盟問題検証グループ代表)が、2013年に運営委員会の下部機関として設置された加盟問題検証グループ(MVG)を代表して、ITFの加盟人員戦略を紹介した。また、MVGが実加盟人員の把握方法を確立したり、ITF登録人員を増やしたりするなどの優れた活動を通じて、目標設定や計画策定の面で効率を上げることができたと述べた。

アブドゥラガニ・セラ(インド、NUSI)が実人員を把握することに焦点があてられ過ぎたために、ITFへの登録人員を増やす作業が進まず、結果としてITFの財政的負担が増したのではないかと懸念を表明した。

パディ・クラムリン会長はこれを受け、ITFの登録人員を増やすために多大な努力をしていると答え、ニカラグアの路面運輸労組(NRTWU)がITF登録人員を40万人に引き上げたことを例に挙げた。同時に、ITFの登録人員は上級執行委員の指針のもとに透明性のある適切なプロセスを通じて取り扱われる重要事項であると述べた。

加盟問題検証グループ(MVG)と運営委員会・加盟問題検証グループ(MCMWG)の活動継続が承認されるとともに、減額措置の新たな階層プロセスの実施を監督する権限が執行委員会に附与された。

# 意思決定機関、監査人、書記長、会長、副会長の選挙

## 書記長選挙

パディ・クラムリン会長が、あらゆる地域のあらゆる組合から179通の推薦書が送られ、その全てが書記長にスティーブ・コットンを推薦するものだったと報告した。

シト・パントーヤ (IAM、米国) がITF加盟組合を代表し、書記長に改めてスティーブ・コットンを推薦した。

スティーブ・コットンが全会一致でITF書記長に選出された。

スティーブ・コットンは大会参加者に対し、ITF書記長に任命されたことを誇りに思うと述べた。コットン書記長の再選は、多くの人々のこの4年間の努力の結果であり、全ての加盟組合の決意と進歩の証であるが、同時にITFがもっと多くを達成し得るとする信頼の表れでもある。コットン書記長は大会のホスト国を務めてくれたシンガポールの加盟組合協議会に感謝し、次のように述べた。自動化や新技術、仕事の未来などについて議論し、異議を示し、ソリューションに合意する上で、シンガポールは正しくふさわしい場所といえる。

海運産業でのITFの名声は高く、このことをITFは誇りに思っている。ITFはITFの海運界での評判をさらに改善すべく努力し、またその評判を活用して自信を高め、全ての産業や地域で影響力を行使しようと努めてきた。ソフィア大会では、ITFは加盟組合からより透明性

と説明責任を高め、またより多くの代表者になることを求められた。これまでも厳しい局面があり、加盟組合は継続的にITFを改善すべく求めていく必要があるが、シンガポール大会に443人の女性と400人の青年が集ったという数を見れば、真の意味で前進したことが分かる。2018年はITF女性交通運輸労働者委員会設置から20周年にあたり、今日、女性交運労働者の問題に対応すべく、ITFはかつてないほど強く決意している。

各地域が特有の活力と活気をもたらしてくれたおかげでITFが唯一無二の存在になっている。大会は加盟組合が友情と一体感を構築し、交運労働者の力を構築するための活動計画を策定する場である。

## 執行委員の選挙

各地域の選挙グループの勧告に基づき、次の通り執行委員が選出された。

### アフリカ

Jack Mazibuko (SATAWU、南アフリカ)  
Marcel Zante (FESTAB、ブルキナファソ)  
Maryam Bello Yassin (NURTW、ナイジェリア)  
Stephen Abima (ATGWU、ウガンダ)  
Juliana Mpanduji (COTWU、タンザニア) (女性議席)

### アラブ

Seddik Berrama (FNNT、アルジェリア)  
Meryan Halouani (UMT、モロッコ) (女性議席)



### アジア太平洋

Abdulgani Serang (NUSI、インド)  
 Ajay Kumar Rai (NETWON、ネパール)  
 CA Rajasridhar (AIRF、インド)  
 Conrad Oca (AMOSUP、フィリピン)  
 Kam Soon Huat (SOS、シンガポール)  
 Paddy Crumlin (MUA、オーストラリア)  
 Tae Kil Chung (FKSU、韓国)  
 住野敏彦 (私鉄総連、日本)  
 森田保己 (全日本海員組合、日本)  
 Mary Liew (SMOU、シンガポール) (女性議席)

### 欧州

Alexander Kirchner (EVG、ドイツ)  
 Brigitta Paas (FNV、オランダ)  
 Christine Behle (ver.di、ドイツ)  
 Ekaterina Yordanova (FTTUB、ブルガリア)  
 Frank Moreels (BTB、ベルギー)  
 Henryk Piatowski (PSU、ポーランド)  
 Jan Villadsen (3F、デンマーク)  
 Joe O'Flynn (SIPTU、アイルランド)  
 Lars Johnsen (NTF、ノルウェー)  
 Len McCluskey (UNITE、英国)  
 Mark Piirainen (AKT、フィンランド)

Mick Cash (RMT、英国)  
 Miguel Angel Cilleros Sanchez (SMC-UGT、スペイン)  
 Mykhailo Kiryeyev (MTWTU、ウクライナ)  
 Neven Melvan (SUC、クロアチア)  
 Nikolay Nikiforov (ROSPROVZHEL、ロシア)  
 Remo di Fiore (FIT-CISL、イタリア)  
 Roman Hebenstreit (VIDA、オーストリア)  
 Zainil Nizeraly (FEETS-FO、フランス)  
 Valerie Latron (FGTE-CFDT、フランス) (女性議席)

### 中南米・カリブ海地域

Benito Bahena y Lome (ATM、メキシコ)  
 Julio Adolfo Sosa (LA FRATERNIDAD、アルゼンチン)  
 Pablo Moyano (FEDCAM、アルゼンチン)  
 Severino Almeida (CONTTMAF、ブラジル)  
 Janaina Fernandes (FNTE、ブラジル) (女性議席)

### 北米

Bob Orr (UNIFOR、カナダ)  
 John Baker (ILA、米国)  
 Robert Scardelletti (TCU、米国)  
 Sito Pantoja (IAM、米国)  
 Terri Mast (ILWU、米国) (女性議席)

## 部会・委員会議長

Joe Tiberi (IAM、米国) (民間航空)  
Paddy Crumlin (MUA、オーストラリア) (港湾)  
Johnny Hansen (NSU、ノルウェー) (水産)  
Yuri Sukhorukov (SUR、ロシア) (内陸水運)  
David Gobé (CFT、フランス) (鉄道)  
Tony Sheldon (TWU、オーストラリア) (2019年6月1日  
日まで) James Hoffa (チームスター、米国) (2019年  
6月1日から) (路面)  
Dave Heindel (SIU、米国) (船員)  
David Massiah (ABWU、アンティグア・バーブダ) (観光)  
John Mark Mwanika (ATGWU、ウガンダ) (都市交通)  
Diana Holland (UNITE、英国) (女性)  
Dorotea Zec (SUC、クロアチア) (青年) (共同議長)  
Alex Tokhi (UNIFOR、カナダ) (青年) (共同議長)

2009年、ITFはFIOST加盟組織の一部を受け入れた。これらの執行委員に加え、以下のオブザーバーを執行委員会に招聘することが承認された。

## 承認されたオブザーバー

John Mark Mwanika (都市交通委員会議長)  
Anu Hietela (北欧運輸労連議長)  
Jan Coolbrandt (FIOST代表)  
Koen de May (FIOST代表)

全体会議を中断し、会長、副会長、内部監査人を大会に勧告するための新執行委員会が開催された。

## 会長の選出

新執行委員会の勧告に基づき、パディ・クラムリンが会長に選出された。

## 副会長の選出

新執行委員会の勧告に基づき、次の通りが副会長が選出された。

Najeem Usman Yasin (NURTW、ナイジェリア) (アフリカ地域)  
Seddik Berrama (FNNT、アルジェリア) (アラブ地域)  
Pablo Moyano (FEDCAM、アルゼンチン) (中南米地域)  
Frank Moreels (BTB、ベルギー) (欧州地域)  
住野敏彦 (私鉄総連、日本) (アジア太平洋地域)  
John Baker (ILA、米国) (北米地域)  
Mary Liew (SMOU、シンガポール) (女性)

## 内部監査人の選出

新執行委員会の勧告に基づき、次の通りが内部監査人が選出された。

Simon Weller (ASLEF、英国)  
Mick Carney (TSSA、英国)  
Olu Tunde (NIUK、英国)

## 運営委員会

規約に基づき、新執行委員会が運営委員の構成を次の通り承認した。

ITF会長	Paddy Crumlin (MUA、オーストラリア)
副会長	Najeem Usman Yasin (NURTW、ナイジェリア) (アフリカ地域)
副会長	Seddik Berrama (FNNTT、アルジェリア) (アラブ地域)
副会長	Pablo Moyano (FEDCAM、アルゼンチン) (中南米地域)
副会長	Frank Moreels (BTB、ベルギー) (欧州地域)
副会長	住野敏彦 (私鉄総連、日本) (アジア太平洋地域)
副会長	John Baker (ILA、米国) (北米地域)
副会長	Mary Liew (SMOU、シンガポール) (女性)
書記長	スティーブ・コットン
部会・ 委員会の議長	Dave Heindel (SIU、米国) (船員部会)

部会・ 委員会の議長	Paddy Crumlin (MUA、オーストラリア) (港湾部会)
部会・ 委員会の議長	Tony Sheldon (TWU、オーストラリア) (路面運輸部会)
委員	Christine Behle (ver.di、ドイツ)
委員	Jan Villadsen (3F、デンマーク)
委員	Len McCluskey (UNITE、英国)
委員	Mick Cash (RMT、英国)
委員	森田保己 (全日本海員組合、日本)

また、内部監査人と加盟人員検証グループ (MVG) の代表者も執行委員会に招聘することが承認された。

## ITF本部所在地

執行委員会の勧告に基づき、ITF本部所在地を引き続きロンドンとすることが承認された。

## 青年交運労働者総会、女性交運労働者総会、各産別総会の報告

モハメド・ドーファ・サフィヤヌ (NUATE、ナイジェリア) が民間航空部会総会の報告書を提案し、そのまま採択された。

ダン・カスク (ILWU、カナダ) が港湾部会総会の報告書を提案し、そのまま採択された。

ジョージ・アレクサンドラ・バルガス (SOMU、アルゼンチン) が水産部会総会の報告書を提案し、そのまま採択された。

シンシア・ディアス (CPOFPCM、アルゼンチン) が内陸水運部会総会の報告書を提案し、そのまま採択された。

ドロテア・ゼック (SUC、クロアチア) が船員港湾合同総会の報告書を提案し、そのまま採択された。

ルチアノ・サロモン (ASFA、アルゼンチン) が鉄道部会総会の報告書を提案し、そのまま採択された。

ジャスティナ・マツゼウスカ (UNITE、英国) が路面運輸部会総会の報告書を提案し、そのまま採択された。

トマス・アブラハムソン (SEKO、スウェーデン) が船員部会総会の報告書を提案し、そのまま採択された。

デービッド・マシア (AWU、アンティグア・バーブーダ) が観光部会総会の報告書を提案し、そのまま採択された。

ビンセント・オムバチ (MWU、ケニア) が都市交通委員会の報告書を提案し、そのまま採択された。

ジャスミン・ラ・バルダ (AMOSUP、フィリピン) が女性総会の報告書を提案し、そのまま採択された。

ドロテア・ゼック (SUC、クロアチア) とフリアン・ソーサ (友愛、アルゼンチン) が青年総会の報告書を提案し、そのまま採択された。





## 金バッジ

世界の交通運輸労働者の利益擁護・促進や、労働組合の自由と権利の擁護に顕著な貢献をした個人10名に金バッジが贈呈された。

- Tomas Abrahamsson (SEKO、スウェーデン)
- 故Ann Anderson (CCWU、ガイアナ)
- Øystein Aslaksen (NLF、ノルウェー)
- Nick Bramley (NI、スイス)
- Peter Kennedy (UNIFOR、カナダ)
- Bob McEllrath (ILWU、米国)
- 故Hanafi Rustandi (KPI、インドネシア)
- Thomas Tay (SMOU、シンガポール)
- Steve Todd (RMT、英国)
- Asbjørn Wahl (Fagforbundet、ノルウェー)

## 閉会

パディ・クラムリン会長が全職員とシンガポールのボランティアスタッフをステージに招いた。大会運営を支えた全職員に謝辞が送られた。また、通訳者にも深い感謝の意が表明された。

ホスト組合のメアリー・リューが大会に関与した全ての人の努力に感謝した。

パディ・クラムリン会長が第44回世界大会の閉会を宣言した。

# 第44回世界大会で 採択された決議

# 第1号決議：非公式労働者の組織化

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 働く男女が、自身とその家族のために尊厳ある生活を送ることができるよう、ディーセントな（人間らしい働き甲斐のある）仕事を持つ必要があることを認識する。
- 2 悪徳使用者の方法の一つとして、新たな採用枠が発生した時に正規労働者を非公式労働者に置き換えたりするということがあり、このような非公式化が恒常的に増加していることを認識する。
- 3 非公式の交通運輸労働者の組織化を「大きな課題」とし、「非公式の交通運輸労働者の組織化の手法に関する訓練を組合に実施する特定のプログラム」を提案する第43回ITF世界大会の声明に留意する。
- 4 ITF「非公式の交通運輸組織化プロジェクト」の非常に大きな成果や「メンター組合（指導者・助言者としての役割を果たす組合）」の組織化モデルの成功に留意するとともに、同プロジェクトを主導した5つのメンター組合－ATGWU（ウガンダ）、NCTU（フィリピン）、NETWON および ITWAN（ネパール）、SNTT（コロンビア）、SYNATRA（ニジェール）－を称賛する。
- 5 以下の通り、プロジェクトを通じて、非公式の交通運輸労働者の組織化に成功した加盟組織の事例に留意する。
  - プロジェクトに参加した全ての加盟組織が非公式の交通運輸労働者計10万人以上を組織した。
  - 非公式の交通運輸労働者を組織する組合が新たに3つ誕生した。
- 6 6か国の全国レベルの交通運輸労組の委員会で、非公式の女性労働者を代表する**女性役員**が選出された。
- 7 6か国で非公式経済の交通運輸部門で働く女性の組合員数が 300% 以上増加した。
- 8 6か国の組合が非公式労働者を包含する規約や手続きを新たに**採択**した。
- 9 9か国の15労組が非公式労働者をターゲットとする新たな組織戦略を**策定**した。
- 10 6か国で非公式の交通運輸労働者を対象とする団体協約が新たに締結された。
- 11 非公式の交通運輸労働者への警察の嫌がらせに対して大きな勝利を収めた。
- 12 2018年7月28日にカンパラ（ウガンダ）で開催された、同プロジェクトの評価ワークショップに参加した16のITF加盟組織が**採択**した「非公式交通運輸労働者憲章」の要求事項を支持する。
- 13 「私たちの公共交通」キャンペーンの成功、特に、アフリカのバス高速輸送システム（BRT）の導入に伴う、非公式の交通運輸労働者の組織化の重要性に留意する。
- 14 自動化やデジタル化が交通運輸部門の非公式・不安定労働の増加に及ぼす影響や、労働組合の保護を必要とする非公式労働者の組織化戦略やプラットフォーム経済の交通運輸労働者の組織化技術から学ぶ機会に留意する。このような支援は、労働組合の生き残りや連帯という、より大きな利益にかなうものである。
- 15 定期的、効率的、かつ説明可能な方法で組合費を収集・管理し、組合の持続可能性と自立を確保することが非常に重要であることに留意する。

10 ITFに以下を要請する。

- 交通運輸およびその他の産業の非公式労働者の組織化を支援する長期的なプログラムを開発し、メンター組合の経験を基に、他の国や地域にも活動を拡大すること。
- ITF加盟組織が経験を共有し、未組織労働者の組織化を支援すること。
- 非公式の女性労働者がより専門的で安定した雇用を得る機会や、非公式の女性労働者の利益代表やリーダーシップ、非公式職場における女性への暴力・嫌がらせの取り組みを強化するために、非公式労働者組織化プログラムの「女性を目に見える存在に」の要素を拡充すること。
- 非公式部門と公式部門を組織する組合間の協力、特に、デジタル化や自動化を踏まえて組織化を行っている組合間の協力を強化すること。
- これまでは、路面運輸や都市交通が非公式労働者の組織化の中心だったが、他の交通運輸部門やサプライチェーン、特に、港湾、鉄道、ロジスティクス、水産、観光の非公式労働者にも支援を拡大すること。
- 大勢の非公式労働者を組織する組合の持続可能性を強化するために、組合費の徴収、警備、事務・管理の革新化、例えば、バンキングアプリや組合事務管理ソフトの導入やそれらの研修(「持続可能な組合プロジェクト」)を支援すること。
- ILO第204号勧告で**謳われている**ように、非公式から公式経済への移行について交渉できるよう、組合の能力を強化すること。
- 非公式の交通運輸労働者の代表者を、ITFの政策策定や、地域および世界レベルでの主要機関(世界銀行、国際労働機関(ILO)、国連開発計画(UNDP)等)における利益代表に全面的に関与させること。

## 第2号決議：グローバルデリバリーサプライチェーンとEコマース

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は以下を決議する。

- 1 ITF-UNIグローバル・デリバリー・ネットワークは、1997年以来、大手グローバル・デリバリー企業のDHL、FEDEX、GeoPost、Toll/日本郵便、UPSで働く労働者を代表する組合同士の連帯と情報交換を円滑にしてきた。同ネットワークは、これらの企業で働く労働者の連帯と組合の力を拡大する取り組みを発展させている。同ネットワークは、グローバル貨物輸送、宅配便、ロジスティクス産業の主な課題に対するITFの革新的な対応である。郵便労組とその使用者である郵便事業者は、グローバル・デリバリー産業の重要な参加者であるため、ITFはUNIグローバルユニオンと協力している。こうした企業に着目した国際産別同士の協力関係から、国際産別による共同アプローチが育まれている。これらのグローバル・デリバリー企業は、道路、航空、鉄道、海運、サプライチェーン・マネジメントを融合させ、貨物の一貫輸送システムを構築している。
- 2 Eコマースは2020年までに3,150億ユーロ産業へと成長することが予測されており、現在、年15%以上拡大している。グローバルEコマースはAmazon、JD.com、アリババなどの少数の巨大企業によって占有されている。これらの企業による大量の個人データの管理により、中小Eコマース業者は競争には及ばず、大企業は零細企業に比べて益々競争優位をもつようになっている。配送の価格とスピードはオンラインで買い物をする顧客にとって最も重要な要素である。したがって、こうしたEコマースの巨大企業は、DHL、Fedex、トール、UPSや郵便サービス業者などと契約を結ぶことでロジスティクスのアウトソーシングを拡大するとともに、社内のロジスティクス・ネットワークを益々発展させている。したがって、Eコマース企業自体が小売り企業であると同時に、ロジスティクス企業のようにもなっている。
- 3 Eコマースの急速な拡大により、倉庫やラストマイル配送の仕事が増えていくことになりそうだ。しかし、こうして生まれた仕事の多くが派遣労働や偽りの自営業など、不安定な雇用状況に置かれる。仕事の指令をスマホのアプリを通じて行う実験も行われ、配送の仕事の不安定性が増している。
- 4 2013年以降、Amazonは数十億ドルを自社の貨物・宅配便輸送ネットワークの構築に投資している。米国では、例えば、少なくとも40基の貨物航空機をリースしたり、Amazonのブランド入りのトレーラーを4,000台以上購入したり、中小の輸送会社と直接契約を結ぶことを含め、ラストマイル配送サービスの実験を行ったり、Amazonフレックスアプリによる配送システムを構築したりしているが、これも偽りの自営業者を振り所としている。さらに、Amazonは既に数多く存在するフルフィルメントセンター、仕分けセンター、配送センターなどを継続的に増やしている。2017年、自社の航空機の新たな貨物ハブとすべく、ケンタッキー空港に15億ドルの投資をするとAmazonが発表した。同空港には、最終的にプライムエア貨物機100機と従業員2,700人を配置する予定でいる。

5 ITF-UNIグローバル・デリバリー・ネットワークはロジスティクス産業の主なグローバル企業について、多モードに焦点をあてた議論を展開する独特の場であり、グローバル交通運輸産業の急速な変化にITFが対応する上で、不可欠な要素となっている。同ネットワークが刺激となり、組織化、労使交渉、運動展開、ネットワークづくり、リサーチ、情報交換、教育、使用者との対話において新しいアプローチが生まれてきた。

6 したがって、第44回ITF世界大会はITFが以下を行うことを決議する。

- 進化するロジスティクス環境の中で、組織化、コミュニケーション、リサーチ、戦略的キャンペーン展開において、ネットワークに参加する組合同士の協力関係強化を促進することを通じ、グローバル・デリバリー・ネットワークの実施を支援する。
- ITFはUNIと協力し、年次グローバル・デリバリー・ネットワーク会議を開催し、Amazon、DHL、DHL、FEDEX、GeoPost、Toll/日本郵便、UPSで働く労働者と、その関連サプライ

チェーンで働く労働者を組織する組合同士の連帯、戦略策定、情報交換を促進する。

- 同ネットワークの戦略を実施する上で、グローバル・サウスの加盟組合を支援するための教育プログラムを作成する。
- グローバル・デリバリー・ネットワークを支援するため、ITF部会間の継続的な協力関係を奨励する。
- ITFとUNIの同ネットワークに関する協力関係を維持し、適宜、他の国際産別(GUFs)との協力関係も維持する。
- 進化しつつあるIT、倉庫、小売、サプライチェーン、ロジスティクスの変化と、それが労働者や使用者にもたらす影響を監視し、業界の進化とともに、同ネットワークの活動範囲を調整する。

## 第3号決議：セーフレート(安全報酬)と顧客責任を追及するグローバル闘争の強化

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は以下を決議する。

- 1 世界中で、商用車の運転手は長時間労働を強いられ、一方で、低賃金と、「経済的使用者」が押し付ける経費削減策ゆえに、疲労、速度の出しすぎ、貨物の過積載などの危険な運転をせざるを得ない。「経済的使用者」とはすなわち、サプライチェーンの頂点に君臨する顧客企業や政府、大手輸送業者のことだ。こうした状況が商業運転手と全ての道路利用者を大変なリスクに晒しているにも関わらず、複雑な重層下請け構造と、サプライチェーン全体を通じて説明責任を明確にする規制が欠如している結果、経済的使用者は責任を追及されずにいる。
- 2 これに対抗し、学者、弁護士、政治家、労働組合がこの20年間、連携してきた結果、顧客企業と輸送業者にサプライチェーン全体を通じ、公正なレート(運賃)を支払い、ディーセントな(人間らしい)労働条件を担保することを強要し、そうすることで、危険運転せざるを得ないといったプレッシャーからトラック運転手を解放し、事故を大幅に低減させるモデルが考案されてきた。このモデルは、セーフレート(安全報酬)として知られるが、道路の安全を向上させ、グローバル・サプライチェーンにおいて、適正労働(ディーセントワーク)を保障する上での最良慣行として、国際労働機関(ILO)から認識され、運輸業界や使用者、各国政府、労働組合の代表者からも支持されている。
- 3 さらに、セーフレート・モデルは、オーストラリア、韓国、カナダなどの国の法律に部分的に導入されており、顧客企業と国内レベルおよび国際レベルで締結された合意書にも盛り込まれている。より最近では、2018年に、オーストラリア運輸労組(TWU)とITFが輸送大手のトール社とグローバル協定を締結した。また、TWUとオーストラリアの小売大手、コーン社が全国に適用される一連のサプライチェーン原則に調印した。さらに、韓国公共運輸労組のトラック貨物連帯部(KPTU-TruckSol)は、限定的だがセーフレートシステムを韓国の国会で承認させることに成功した。欧州では、ITF、欧州運輸労連(ETF)および両組織の加盟組織が組織化と、大手小売り企業のサプライチェーンにおける説明責任を追及する運動を拡大し、国境を越えて運転するトラック運転手にも、一定の国で運転するなら、その国の労働条件を適用することを求めている。米国では、チームスター労組がロサンゼルス港で画期的な勝利を収め、運転手の権利を獲得する闘いを継続している。アルゼンチンでは、政府に輸送業界の社会正義を促進させる闘いを労働組合が率いた。
- 4 こうした進歩は、セーフレートを制限のない形で国内法に盛り込み、国際基準のモデルを構築する闘いを強化する上での基盤となる。こうした基盤の上に積み上げる形で、向こう2～3年間に、TWUとKPTU-TruckSolは、オーストラリアと韓国で、ストライキや抗議行動を激化させる計画を立てている。

- 5 最近の成功例と今後国内で計画される闘争によってもたらされる機会を認識し、ITFと加盟組合は、次の世界大会までの期間において、以下の行動を含む、グローバル・セーフレート・キャンペーンを展開することを約束する。
- 次の世界大会までの期間にアジア太平洋地域でセーフレート・シンポジウムを開催する。
  - 大使館前での連帯行動や、大規模なストライキや抗議行動に連帯のための代表団を派遣することを通じ、オーストリア、韓国、その他の国において展開される、無制限のセーフレート法制を勝ち取り、顧客企業の責任を追及するための闘争を支援する。
  - 越境運転手の国境を越えた組織化と、「現地の仕事には現地の労働条件を求め」取り組み、欧州の主な顧客企業に圧力をかける取り組みを継続的に支援する。
  - 政府の支出や契約など、経済的使用者として、各国政府が影響力をもつか管理しているサプライチェーンに圧力をかけるよう努力する。
  - 欧州、北米、アフリカの全域で抗議行動と実力行使を支援する。
  - 主要な三者会議に関係加盟組合が参加をするなど、路面輸送の安全についてILOで行われる議論や、グローバル・サプライチェーンにおけるディーセントワークに関する会議で、労働組合が影響力をもてるよう取り組む。
  - セーフレートを支持する運輸業界の使用人や他のステークホルダーと継続的に関係を構築し、協力することを通じ、セーフレートシステムの導入と実施に向けて努力する。
  - これらの活動を実施するにあたり、適切な人材と資金を充当する。



# 第4号決議：ITF加盟組合協議会 (NCC) と各国の連絡窓口 (NPC)の役割

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 加盟組合がITF加盟組合協議会 (NCC) を設置し、各国のITF活動について議論し、調整することをITF規約 (第2条3項d) が奨励していることを想起し、
  - 2 NCCの目的は、ITF加盟組合が結束し、調整のもとにITF活動に一丸となって貢献し、国内レベルでお互いを支援することであると認識し、
  - 3 NCCの存在により、加盟組合がITFの活動計画に当事者意識をもつようになり、加盟組合同士のコミュニケーションやインタラクションが改善され、個々の加盟組合が強化されるなど、前向きな影響があることを認識し、
  - 4 ITF地域事務所の支援のもと、以下の目的で加盟組合協議会(NCC)を設置・発展させることをITF加盟組合に求める。
    - ITFのグローバルレベル、地域レベルの戦略に貢献するための国内の活動計画の策定と実施を議論する。
    - 関係するITFプロジェクトやキャンペーンの実施に貢献し、その進捗状況を監視する。
- ITF加盟費の支払いを含め、各国のITF加盟人員を監察し、既存の加盟組合のITF登録人員を増やしたり、ITF未加盟組合を探して関係を構築するなど、ITFの加盟人員を拡大するための戦略を構築する。
  - 必要に応じて国内外で連帯を動員する。
  - 国内の組合間で最良慣行に関する情報を共有する。
  - 女性や青年組合員の参加を促すための機構や活動を構築するよう加盟組合を奨励・支援する。
  - 可能であれば、全国民に関係する労使問題や政治問題などの国内問題について共通の立場を構築する。
  - 可能であれば、国内の産業別の戦略を構築・調整し、ITFの多国籍企業、ハブと交通回廊(コリドール)、各都市の統合公共交通の発展などに関するITFの活動に貢献する。
  - **選挙に基づくITF内の役職への立候補者を決め、ITFに連絡する。**

- 国内の加盟組合同士のコミュニケーションを円滑化し、その国の加盟組合協議会(NCC)の活動や、重要な国内の動向について、ITF書記局に常時連絡する。
- 5 ITF地域事務所の支援のもと、各NCCが以下を行うことを求める。
- 少なくとも一年に一度は会合をもつが、必要であればより頻繁に会合する。
  - 議長と書記長を選出し、うち1名は各国の連絡担当者(NPC)を務める。
  - 連絡担当者(NPC)が他国のNCCに属する他国のNPCと連絡を取り、情報交換し、共通の課題を見つけ、経験を共有し、活動計画策定にあたり調整を行うよう担保する。
  - NPCが収集した情報が、その国のNCCに参加する組合やNCC不参加のITF加盟組合へ、国内レベルで行き渡るよう担保する。
  - 加盟組合協議会(NCC)には女性交運労働者と青年交運労働者の代表も入るよう担保する。
  - 全てのITF加盟組合がその国のNCCに加入し、NCCの会議に出席するよう促す。
- 適切な場合、ITF未加盟組合もNCCの会議に招待する。
  - 将来のNCC会議の議題について、加盟組合やITF地域事務所の書記局と連絡を取る。
  - 主な論点、決定事項、合意された行動など、全てのNCC会議の記録を残し、それを周知することで、国内のITF加盟組合とITF書記局が常に情報を得られるようにする。
  - ITF書記局が加盟組合について(組織人員数、主な役員名、連絡担当者などの)最新の情報を確実に入手できるよう担保することを国内の全てのITF加盟組合に奨励する。
- 6 ITF地域事務所の書記局に以下を求める：
- 可能な場合、要請に応じ、NCCのロジ面や運営面の支援を提供する。
  - 各国のNCCNCCとの折衝役を務める地域事務所の担当者を任命する。
  - NCC会議開催の調整について、各国のNCCの議長や書記局を支援する。
  - ITFの地域の活動計画の実施の進捗状況を各NCCに報告する。
  - 可能であれば全てのNCC会議に出席する。少なくとも一年に一回は出席する。
  - NCCの活動をITFの地域レベル、グローバルレベルの活動計画と連携させる。また、情報を確実に共有する。
  - 適切な場合、他の国際産別組織(GUFs)との協力を促す。

# 第5号決議：レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー・クィア・インターセックス（LGBTQI）に関する他の国際産別組織（GUF）の労働組合の方針の促進

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

## 1 以下を認識し、

- ITFは、国際公務労連（PSI）、教育インターナショナル（EI）と共に、LGBTQIの権利を積極的に促進するとともに、性的指向やジェンダー・アイデンティティー（性自認）に基づく差別と闘い、この問題に関する取り組みを行うことを加盟組合に呼び掛ける伝統を確立してきた。
- 最近、国際レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー・インターセックス協会（ILGA）が発行した年次報告書によると、2016年、世界の75カ国が同性愛を犯罪とし、そのうち13カ国が死刑を適用している。
- 正確な数字は公表されていないが、多くの国で、トランスジェンダーやインターセックスの人々の状況を認識する法律が不十分あるいは不適切である。
- LGBTQIの人々に対する差別を禁止し、彼（女）らを守る法律や政策を導入している国でさえ、LGBTQIに対する社会的排

除、ハラスメント、いじめ、不当解雇、その他、LGBTQIを忌み嫌う事件が日常的に発生している。

- 労働組合は、労働市場あるいは職場の人々を守り、あらゆる差別に反対する役割を担っているという原則は依然として有効である。

## 2 以下を決議する。

- 引き続きPSIおよびEIと共に、LGBTQIへの差別に反対する闘いを方針に盛り込ませることを他の国際産別組織（GUF）に呼び掛ける。
- LGBTQIの権利を守るために活発に活動する組合員で構成され、行動や活動のアイデアを交換したり、GUFの職員を支えたりする、GUFの枠を超えた合同国際作業グループを設置し、ITF/EI/PSIのLGBTフォーラムの経験を活動の参考とすることを提案・促進する。

# 第6号決議：朝鮮半島および東アジアの平和への支持と交通運輸労働者の役割

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は以下を決議する。

- 1 朝鮮半島の最近の動向は、朝鮮半島および北東の平和が望める新しい時代の到来を告げている。70年におよぶ分断と対立を経て、最近行われた南北首脳会談および米朝首脳会談は、朝鮮半島の非核化および東アジアにおける平和体制の樹立に向けての新たな方向性が築かれた。ITF世界大会は、これらの動向が、韓国および東アジアの労働者や市民による平和への努力なくしては不可能だったであろうことを認識する。
- 2 しかし、恒久平和体制の樹立のためには、最近、南北朝鮮および米朝の間で締結された軍事的緊張の緩和や平和関係の構築に関する規定を含む合意書が実施されなければならない。また、朝鮮戦争を終結させる和平協定が締結されなければならない。さらに、このプロセスに労働者の関与が保障されなければならない。
- 3 交通運輸労働者にとって最も重要なのは、南北を結ぶための東・西海線鉄道・道路連結の着工を今年末までに実施するという南北合意書が締結されたことである。
- 4 交通運輸労働者、特に鉄道労働者は、南北鉄道連結を通じた東アジア鉄道ネットワークの完成を基に、この地域の平和のための共通ビジョンを構築することで、この歴史的瞬間が生み出す機会と課題に率先して対応することができる。東アジア鉄道ネットワークの完成は、労働者の労働条件と、安全かつ便利で安価な交通運輸を利用できる利用者の権利を確保しながら達成されなければならない。
- 5 そのために、ITFとITF加盟組織は以下を決議する。
  - 朝鮮半島および東アジアの平和を求めるITF加盟組織の活動を支援する。
  - 平和で平等な社会、およびそのような社会を支える安全かつ安価で労働者に優しい統合大陸鉄道のための共通のビジョンを構築するために、東アジアおよびユーラシアの鉄道および交通運輸労働者の交流を支援・支持する。

## 第7号決議：パレスチナの交通運輸労働者の支援

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は以下を決議する。

- 1 パレスチナの交通運輸労働者は、旅客と貨物の双方の輸送において、極めて過酷で、しばしば予期せぬ制約が設けられる困難な環境の中で仕事をしている。
  - 2010年のメキシコ大会および2014年のソフィア大会の決定を実施する中で、ITFがパレスチナの交通運輸労働者に対して、例えば、以下のようなパレスチナ交運労組支援プログラムを行い、支援を提供してくれたことを認識する。
  - カナダのユニフォー労組とITFの支援で、イルターのトラックターミナル(バック・トゥー・バック・ターミナル)で行われたトラックドライバー支援プロジェクト。
  - スウェーデンの運輸労組およびユニオン・ツー・ユニオン労組、ITFの支援で、あらゆる交通運輸産業で労働組合を増やすことを目指した、2017年の組織化プロジェクト。
  - 例えば、ITFアラブ地域事務所の調整で、かつて2回行われた人道的支援を、現在でも継続的にITFと加盟組合がガザに提供してくれる用意があること。
  - ITFのパディ・クラムリンITF会長、スティーブ・コットン書記長をはじめ、加盟組合の指導者から成るITFハイレベル代表団をパレスチナに派遣し、パレスチナの交運労働者に連帯を表明してくれたこと
  - パレスチナ運輸労組の招聘で、ITF青年代表2名がパレスチナを訪問し、パレスチナの青年労働者とITF青年代表団に参加した青年の間の友情と連帯が構築されたこと。
- 2 2018年のシンガポール大会では、以下の内容を含む、パレスチナ交通運輸労組支援のための包括的な5か年計画を策定することをITFに要請する。
  - イルターのバック・トゥー・バック・ターミナルを活用し、運転手のためのイルター・プロジェクトの支援を継続するよう努力する。
  - パレスチナ労働組合総連盟(PGFTU)とともに、パレスチナ交通運輸労組を支援し、パレスチナの他のバック・トゥー・バック・ターミナルや、主なトラック停車ターミナルでトラック運転手を組織する。
  - 国境を越えた違法トラック輸送によって、パレスチナのトラック運転手が悪影響を被っている問題に対応するため、パレスチナ交通運輸労組が展開している運動を支援する。
  - 交通運輸労組を拡大し、あらゆる陸上輸送産業へと組織対象を広げ、組織人員を増やし、組合が財政的な持続性を確立できるようにするためのユニオン・ツー・ユニオン労組プロジェクトの支援を維持する。
  - 次の大会までの期間に、再びITFのハイレベル代表団をパレスチナに派遣し、ITF加盟組合にも同様の代表団を派遣するよう奨励する。
  - 青年労働者代表団を再びパレスチナに派遣する。
  - ガザ運転手組合復活のため、具体的な支援策を探る。
  - 必要に応じて追加のプロジェクトの実施を支援するため、パレスチナ交通運輸労組とその組合員のための、ITFと加盟組合の出資による連帯基金を維持する。

# 第8号決議:勤務地固定の倉庫ロジスティック ターミナル労働者

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 2018年ITF世界大会のテーマ文書(CTD)に記されている通り、倉庫業務は「ITFの対サプライチェーンの戦略的アプローチにおいて最も重要度が高い」ことに同意する。倉庫業務は交通運輸の自動化、成長するEコマース、国際交通運輸の将来の動向の影響を真っ先に受けることになる。
  - 2 ITFの活動範囲を倉庫に拡大し、この方面の活動を発展させるために、2017年4月の執行委員会で初めて合意された通り、当該運営グループを設置するという決意をITFと執行委員会が維持していることを支持する。
  - 3 ITFに加盟する倉庫労働者は部会横断的にあまねく存在することを認識する。勤務地固定の倉庫、ロジスティックス、ターミナルで働くITFメンバーは現在、民間航空部会、内陸運輸部会、海事部会に加盟している。
  - 4 2018年2-3月に、倉庫産業で働く労働者の規模と組織状況についてITF加盟組合を対象に行った調査結果を認識する。65組合が調査に回答し、回答した組合は少なくとも3万人の倉庫労働者を組織していることが判明した。
  - 5 この調査にまだ協力していない加盟組合には、回答することを奨励する。
  - 6 勤務地固定の倉庫、ロジスティックス、ターミナル労働者の一般委員会を設置することをITFに要請する。この一般委員会は以下の通りとする。
    - 当該の労働者を組織する全ての加盟組合に開かれたものとする。
- 年一回会合をもち、向こう一年の活動計画に合意する。
  - 議長(執行委員会に議席をもつ)1名と2名の副議長から成る。
  - 資金と人材の両面で専門の資源を割り当てられる。
  - ITFの他の部門や主要委員を出すITF加盟組合と連絡を継続的に取るために「連絡担当者」を設置する。
- 7 現行の全ての活動を維持し、活動計画を実施する責任を「勤務地固定の倉庫・ロジスティックス・ターミナル労働者運営委員会」に委ねることをITFに要請する。運営委員会は以下の構成員から成るものとする:
    - ITFの各地域委員会が指名した、各地域の代表者(一地域につき2名)
    - ITFの各産別部会(観光部会を除き、各部会から1名)、女性委員会、青年委員会のそれぞれから指名された代表者
    - 場合に依り、一般組合員
    - 可能であれば、倉庫の側面に焦点をあてた各優先プロジェクトから代表者1名
    - 倉庫関係の活動に立ち上げ当初から関わってきた国と組合。この規則は次の世界大会以降は無効となるものとする。
    - 議長への事前相談に基づく、オブザーバー組織や個人

## 第9号決議：抗議とブラジル政府の評判— 労働改革に関する憂慮

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 労働組合や労働者の団体交渉権を制限および（または）否定するために、世界中で政府が法律を利用した介入を行うケースが急増していることに留意する。
- 2 労働者の基本的権利を制限し、否定する後退的な法律改正を糾弾する。
- 3 2017年7月13日に公布されたブラジル連邦法13.467は、長年にわたり、労働者が勝ち取ってきた権利を含む、ブラジル人労働者の権利をなく奪うものだ。また、この悪名高い労働改革法は、労働者階級には到底支払えない多額の費用を義務付けることで、労働裁判所を利用し、裁判所に提訴する労働者の権利をも制限している。
- 4 Avenida Passos, 91 - 9º.Andar – Centro, Rio de Janeiro, RJ, Brazilに所在するブラジル全国鉄道労連（FNTF）は、鉄道労組の連合体であり、加盟組織を代表して、以下を要請する：
  - 5 2018年10月14～20日にシンガポールで開催される第44回ITF世界大会の動議提出期限に従い、ブラジル全国鉄道労連（FNTF）は、以下の「抗議とブラジル政府の評判に関する動議」を提出する。
  - 6 提出根拠： 2004年12月8日の憲法修正第45条により、企業が団体交渉を拒否した場合、労働裁判所の判断に従うことを要件とする、1988年制定の憲法第114条2項が修正された。2017年の法律13.429号は、アウトソーシング法として知られるが、これにより、いかなる企業活動のアウトソーシングも可能となり、不安定雇用が促進され
  - 7 た。2017年の連邦法13.467号は労働改革法であり、総合労働法（CLT）の100条余りの条項を改正した。その結果、ブラジル憲法、とりわけ、都市部および田園部の労働者について規定する第7条に抵触する結果となった。
  7. 労働者への悪影響：1988年制定の憲法第114条2項を修正する2004年12月8日の憲法修正第45条が承認されたため、労働者の司法へのアクセスが制限される法律が通過したことになる。なお、憲法第114条2項は以下のように定めている。「労使どちらかが団体交渉も仲裁も拒否した場合、共通の合意により、経済的性質の紛争について、労働裁判所の判断を求めることができる。労働裁判所は労使紛争の解決にあたり、法律が定める最低限の規定と、雇用保護に関する以前に合意された契約条項に準拠する」
  - 8 憲法修正第45条により、使用者は労使交渉を拒否することが可能になり、ばかげたことに、労働組合は使用者の合意があった場合のみ、労使紛争の解決を労働裁判所に求めることができるため、使用者が団体交渉を完全に管理することができるようになった。使用者が労使紛争の判断を裁判所に委ねることに合意した試しはない。労働改革法案が国会を通過したため、以前に合意された契約条項の継続的法的効力（「先行性」）が、労働時間などの特定の労働条件に関する労使の直接交渉という選択肢とともに排除され、労使交渉においては最低限の規定すら拘束力をもたなくなった。
  - 9 2017年の法律13.429号により、あらゆる業務（エンド業務とプロセス業務）の無制限かつ完全に無規制のアウトソーシングが可能になった。この法律は、外注先企業は連帯責任ではなく、副次的

責任を負うと定めている。すなわち、外注元企業の責任が期限切れとなった場合、労働者が訴訟を起こせる相手は外注先企業のみということになるが、これには何年にもわたる法的手続きが必要となり、裁判所への提訴にまつわる費用も労働者が負担しなければならない。

- 10 総合労働法 (CLT) を改正する、2017年の連邦法13.467号、すなわち労働改革法はブラジル憲法、とりわけ、都市部および田園部の労働者について規定する第7条に抵触することになり、ブラジルのあらゆる労働者に即座に悪影響を及ぼしている。強行採決された改革法は、労働組合の連合体の資金調達に関する規則を変更することで、また、労働者が到底支払えない費用を負担させ、労働者の労働裁判所へのアクセスを困難にすることで、労働組合やその連合体を弱体化させている。
- 11 連邦最高裁では、この法律の違憲性を問う5件の事案が争われているが、この決着がつくには13年もの月日がかかることになるだろう。一方、無数の労使紛争案件が、企業経営者が当該の労使紛争を裁判所に持ち込むことに合意しないため、きちんとした判決も出ないまま、終了したものと見なされている。また、労働法改革を憲法的見地から疑問視する違憲性裁判も20件行われている。

本来の法律とは裏腹に、改革労働法は組合費の支払いに関する特定の事前承認を要件とすることにより、労働組合をその基盤、すなわち、ブラジルの労働関係組織の維持に不可欠な資金源から切り離す条項を導入することで、労働者の保護をさらに手薄にさせている。

- 12 2017年の連邦法13.467号の一部条項が、ブラジルが1952年および1922年にそれぞれ批准した、ILO98号条約および154号条約に直接違反することに憂慮をもって留意する。
- 13 我々の主張をより深く分析してもらうため、当該の法律と改正法、政府側の根拠をこの動議に添付する。

#### 結論

- 14 上述の法律の導入により、直ちに明確な悪影響が労働者に及んでいることを考慮し、ブラジル全国鉄道労連 (FNTF)とその加盟労組は、「抗議とブラジル政府の評判に関する本動議」を承認することと、第44回ITF世界大会からブラジル当局に本動議を提出することを要請する。ブラジル当局はブラジル憲法とブラジルの法律に従う憲法上の義務と、他者がそれらに従うことを担保する憲法上の義務を負っているからだ。



## 連邦最高裁

連邦最高裁判所は、ブラジル司法制度の最高当局である。

所在地: Supremo Tribunal Federal, Praça dos Três Poderes, Brasília, DF – CEP 70175-900

## ブラジル議会

ブラジル議会は連邦国会議員を任命し、上下両院を通じ、法律で定められた権力を行使する。

所在地: Congresso Nacional, Praça dos Três Poderes, Brasília, DF – CEP 70160-900

## ブラジル連邦政府および大統領官邸

所在地: Governo Federal – Palácio do Planalto, Praça dos Três Poderes, Brasília, DF – CEP 70150-900

## 15 ITFに以下を要請する。

- 2017年の連邦法13.467号の徹底的見直しを管轄当局が行い、適切な政労使による協議を行い、また国際法や憲法上の義務を遵守するために必要な修正を実施することにより、ブラジル憲法および関係するILO条約のもとに規定された義務を確実に遂行することをブラジル政府に求める。
- さらに、加盟組合、国際労働組合総連合(ITUC)、ITF以外の国際産別組織(GUF)、関連する非政府組織などと協力し、ブラジルの労働者の基本的権利のために闘う。

# 第10号決議:ベネズエラボリバル共和国に対する国際的な攻撃と封鎖に反対する動議

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 ベネズエラ・ボリバル共和国の機関や民主的に選出された政府（労働組合を含む）に対して、国際的かつ組織的な攻撃や意図的な経済・金融封鎖が行われていることに留意する。
- 2 これらは、国際的なメディアによって強化され、帝国主義者の利益のために、主権を有するベネズエラ・ボリバル共和国国民に対する激しいキャンペーンが行われており、同国の労働者や労働者組織に影響が及んでいることに留意する。
- 3 チャベス司令官の伝説に鼓舞されたベネズエラ国民が、自分たちの政治・経済に関する決定に関して、自治と主権を享受する権利を有することに留意する。
- 4 ベネズエラ国民の生活の質に影響を及ぼす経済・社会問題は、一部の外国による介入行為－外国の軍事介入の条件を作り出すことを目的とする違法かつ一方的な強圧手段および残忍な経済戦争の実施が原因であることに留意する。
- 5 ベネズエラが他国で生産される医薬品、食品、消費財、生活必需品を購入することを禁ずる米国の制裁は、ベネズエラの国民に死と苦悩をもたらし、深刻な人権侵害に相当することに留意する。
- 6 帝国主義国とその同盟国によるこの継続的な侵略に対するベネズエラの国民および労働組合の闘いは、ボリバルと、独立、正義、そして我が祖国をラテンアメリカの偉大な力の枠組の中でより偉大なものとするためのチャベスのプロジェクトを維持、強化することを目的とすることに留意する。
- 7 そのためには、我々は階級を超え、断固たる決意を持ち、彼らのキャンペーンが我々を混乱させるのを阻止し、我々の団結を強化する必要があることに留意する。
- 8 ベネズエラの交通運輸労働者は全交通運輸部門を対象とする強力な全国的な組織を作り上げてきたが、国際的な封鎖によって、彼らの雇用や彼らの家族の未来が危険にさらされていることに留意する。
- 9 以下を決議する。
  - ベネズエラ・ボリバル共和国の自由かつ主権的かつ独立的地位と国民の民族自決権を支持する。
  - ベネズエラ・ボリバル共和国の国民に影響を及ぼす軍事的、経済的、金融的、その他いかなる形態の介入を拒否する。
  - ベネズエラ・ボリバル共和国の国民に負担を強いる、違法かつ国際的な封鎖の中止を要求する。
  - ベネズエラ・ボリバル共和国の国民、特に男女労働者への支持を表明する。

# 第11号決議：イランのトラック運転手のストに関する死刑判決

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 以下に留意する。
  - a. イランのトラック運転手の雇用保障が脅かされ、35万人ものトラック運転手が数ヶ月間、賃金未払いや極度のインフレに苦しんでいる。
  - b. 2018年5月、25州、160都市の自主的に団結したトラック運転手が、低賃金、諸経費の増加、通行料やその他の手数料の値上げをめぐり、ストを実施した。
  - c. 2018年9月22日以降、自主的に団結したトラック運転手約50万人が、苦境を訴えるために、31州、290都市で行動を起こしている。トラック運転手らは、政府に対して、彼らの苦境に対処するとともに、彼らの生活に影響を与える決定に労働者が意見を言うことができるようにすることを要請している。
  - d. ストが開始されてから16日間に、様々な州のトラック運転手200人以上が、ストに参加したために拘束されたと報告されている。
- 2 さらに以下に留意する。
  - a. グローバル・ユニオンは、イランにおける労働権の侵害について、ILOを通じて、一貫して苦情を申し立ててきた。イランは、ILOの創設メンバーであり、理事国でもある。昨年9月、グローバル・ユニオンは、「早急にイラン政府に介入し、ILO加盟国の義務として上述の人権・労働組合権侵害を是正することをイラン政府に要請すること」をILOに再度促した。
  - b. ITFは、この問題に関するイラン政府の公式な回答を待っている。
- 3 ITFは、カズヴィーン州検察がストに参加しただけで逮捕された者のうち17人に死刑を求刑したというイラン国営メディアの10月8日付の報道を可能な限り強い表現で非難する。
- 4 以下を要請する。
  - a. 投獄されているトラック運転手を解放するとともに、労働者に恐怖心を植えつける作戦を直ちに止め、代わりに、トラック運転手の要求を聞くとともに、彼らが家族を養うための最終手段として直接行動を取るに至り、経済的手段が必要であるという彼らの訴えを聞くよう、イラン政府に要請する。
  - b. イラン政府に直ちに介入し、報道されている刑を中止し、無実の労働者を解放し、労働者の指導者と対話を行い、独立的な労働組合の労働組合権を実現させるという目的を強固なものにするようイラン政府に求めることをILOに要請する。
  - c. イラン政府に労働者の権利の尊重を説得するために、書簡の送付や戦略的なキャンペーン（運動）を含む可能な限りの圧力をかけるよう、ITF加盟組織に要請する。

# 第12号決議:アルゼンチンの組合の自由を守る動議

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 反労組の政府の弾圧により、アルゼンチンの労働組合運動が苦境に追いやられている状況に鑑み、この緊急動議を大会に提案する。
- 2 アルゼンチンの労働者の生活の質や購買力に影響を及ぼすインフレをもたらした政府の誤った決定の結果として、アルゼンチン国民が厳しい経済危機に直面していることに留意する。
- 3 アルゼンチン政府が反労組の弾圧や抑圧を加え、違法かつ非道徳的な方法で司法制度を利用し、組合指導者を弾圧していることに驚愕する。これらの「介入」は、軍事政権の時代が終わってからは、発生していなかった。これらの「介入」を通じて、政府は政治家の親族を組合の資源の責任者に任命し、彼らに法外な給与を支払い、組合規約や、ILO第87号条約および第98号条約に規定される組合の自由に関する全ての原則に違反している。組合指導者が違法に拘束されているだけでなく、これらの拘束が法的な手続きを経ずに何年も続くことがしばしばある。
- 4 最も活発な組合の一つである、ITF加盟トラック運転手労連とその指導者のヒューゴ・マヤノおよびパブロ・マヤノがアルゼンチン大統領に直接、攻撃されていることを懸念する。
- 5 アルゼンチンのある州裁判所は、明らかに政府の要請を受け、トラック運転手労連が労働者の賃下げ受け入れを拒否したことを理由に、パブロ・マヤノに逮捕状を出したと言われていることを深刻に懸念している。この逮捕状は、抑圧的なマウリシオ・マクリ政権の非道徳的な行為が継続していることを表している。
- 6 第44回ITF世界大会は以下を決議する。
  - 労働者階級の原則に背くことを拒否することで、組合の責任を遂行した無実の組合指導者を訴追するために司法制度を利用するなど結社の自由の侵害は、いかなる形においても非難する。
  - 組合に対する弾圧・脅迫のシステムを実施し、組合指導者を投獄し、労働者の資源を盗むアルゼンチン政府に対する非難を表明する。
  - アルゼンチン政府の非道徳的かつ違法な行為を非難するとともに、法の支配を尊重し、組合に対する弾圧を止め、政治的な理由を他の理由でカモフラージュしながら拘束されている組合指導者の解放を要求することをITF加盟組織に求める。連帯表明の運動は、アルゼンチンの大使館、大統領、政治家に書簡を送り、国会での支持演説や欧州委員会(EC)の支持行動を要請することなどであるが、これらに限らない。
  - アルゼンチンの労働組合運動全般、特に、トラック運転手労連とその指導者のヒューゴ・マヤノとパブロ・マヤノに連帯を表明する。

## 第13号決議：競争法を通じた団体交渉に対する攻撃

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は以下を決議する。

- 1 スペイン労働者委員会 (CCOO) 海事部門は、国家市場競争委員会 (CNMC) による労使交渉に対する攻撃を非難する。CNMCは、港湾サービス事業者間の自由競争の確保を理由に制裁手続きを取った。(ビゴ港の組合と企業に対し、2018年7月30日に最終的な制裁措置。)
- 2 CNMCが果たしている役割や、港湾サービスを提供する会社の変更の場合の労働者に対する強制執行の可能性は、新たな制裁を恐れるあまりに団体交渉の停止につながる。
- 3 彼らのために、シンガポールに集うITF加盟組織に以下を要請する。
  - CNMCの行動を否定すること。
  - 港湾労働者の正当な団体交渉権を支持すること。

## 第14号決議:イエメン

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 紛争によって、イエメンの国民と労働者が苦しんでいることに留意し、
- 2 イエメンの空港や港を管理、封鎖する連合軍の行動に留意し、
- 3 食料や医薬品を含む必要最低限の人道支援を保障するためにできる限りのことをしようとする海事・交通運輸労働者の努力に留意し、
- 4 女性や子供含む何千人ものイエメン国民が命を落したり、負傷したりしたことに留意し、
- 5 我々、イエメンのITF加盟組合は、
  - イエメンの交通運輸労組に対するITFの支援や、
  - 国際社会による必要な食料の提供や人道支援に感謝し、
- 6 以下を要請する。
  - 人道支援物資の輸送のために空港や港湾を開けておくよう、ITF世界大会が国際社会や連合軍に圧力をかけること。
  - 全イエメン国民の移動の自由を保障するために、全ての港湾と空港を開けておくこと。
  - ITFがイエメンの加盟組合への支援を継続すること。

## 第15号決議：業務上過失致死罪

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は以下を決議する。

- 1 職場の安全手順・対策が完全に欠如しているために、世界の労働者が命を落としている。
- 2 大会動議の締切日以降、ニュージーランドのオークランドで1名、ギズボーンで1名の港湾労働者が命を落とした。
- 3 この問題は全部門に共通する問題である。路面運輸部門では、オーストラリアのトラック運転手の死亡事故が増えており、最近では、2018年9月13日に2人のトラック運転手が死亡した。
- 4 我々は、全ての労働者は、職場から家族の元に無事に帰宅する権利があると信じる。
- 5 本大会は、労働者が職場から愛する者の元に無事に帰宅する権利を求めることを全面的に支持する。
- 6 意図的に安全をないがしろにした使用者やサプライチェーンの有罪が確定した場合、高額の罰金刑か実刑を規定する法律を、可能な限り全ての国で制定させる世界的な戦略の構築を支持するよう、本大会に要請する。

# 第16号決議：船員のためのビザに関するグローバルな方針の促進

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 船員がディーセントな労働条件を与えられる権利や、船員の権利に対する包括的かつ世界的な保護について規定する2006年の海上労働条約を想起し、
- 2 船員には、2003年の船員の身分証明書条約（改正）（185号）の他、船員が上陸休暇や乗り換えのために寄港した国への入国を拒否されるといふ喫緊の課題の解決を支援する、近代的な保安機能を備えた船員の身分証明書の導入を規定する他のILO条約が適用されることに留意し、
- 3 船員は、就労のため、あるいは、契約満了後の帰国や上陸休暇の取得のために、迅速かつ柔軟なビザの申請・発行手続きを必要とする、特殊な旅行者であることを認識し、
- 4 数年前から、労働供給国の船員が、シェンゲン協定加盟国を含む様々な国に入国、再入国、通過するためのビザを取得する上で、手続き上の問題や規則の解釈の相違により、実務上、深刻な困難に直面しており、船員や雇用主にとって、事務および運行面での深刻な問題となっていることを懸念と共に留意し、
- 5 現状を遺憾かつ不当であると判断し、
- 6 世界各地の港湾で上下船する船員のためのビザに関する規定を促進させるためのあらゆる努力を促す。2003年の船員の身分証明書条約（改正）（185号）の実施に向け、各国の行政と関係する国際組織に対してロビイングを行うことを全ての関係加盟組合に要請する。こうすることでビザ不要の選択肢を生み出し、船員にとって国際的に認められている身分証明書（SID）ができることになる。世界各地の港を通過するためには、SIDと有効なクルーリストで足りると判断する。



## 第17号決議：船員の権利

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 自動化や破壊的技術が国際海運産業における商業的決定・運営にますます影響を及ぼす時代において、船員の権利を促進、保護、向上させ、使用者を拘束する国際法を支持し、
- 2 世界の164万人の船員の大多数は、船員の安全衛生の観点から、搾取的、差別的、有害といえる賃金および乗船期間で雇われていると確信し、
- 3 今後しばらく続くと見られる部員の余剰は、今後20年間で倍増すると見込まれる国際海上貿易の成長に吸収されるものと確信し、
- 4 履行可能な船員の雇用の権利の強化と世界の船員の雇用レベルと訓練の確保のための国際法規の改正を支持することを決議し、
- 5 ILO海上労働条約改正のための文案を国際機関レベルで提案する方法についての戦略を構築するための作業グループを設置し、船員部会委員会の承認を求めることをITFに提案し、
- 6 船員の同一労働同一賃金の原則や、現在業界で認められている雇用条件および労働時間の改善等を主な検討分野とする。

## 第18号決議:地中海 - 便宜の海

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 地中海は3大陸、24か国に囲まれる内海であり、船の交通量の多い複数の港が共存していることを認識し、
- 2 地中海を航行する船舶の多くが、船齢30年以上、6千総トン以下で、保守状態も良くなく、環境面からも危険なサブスタンダード船（基準を満たさない船）である点もさらに認識し、
- 3 FOC(便宜置籍) 船に加えて、最も重要な問題は、一定の国の旗を掲げつつ、国際海事機関(IMO)の要件を遵守せず、ポートステートコントロール(PSC)の管理を絶えず必要とする船舶であることを想起し、(例えば、パラオ、トーゴ、シアラレオネ、クック諸島籍船など)、
- 4 これらの船舶に乗り組む船員は、しばしば、船員の訓練及び資格証明書並びに当直の基準に関する国際条約(STCW)の要件となっている資格を持たず、賃金も定期的に支払われず、またその額がILO最低賃金を下回り、多くの場合、本国に帰ることもできないまま、12か月以上乗船させられ、適切な雇用契約もなく、国内協約と、ITFが承認する団体協約のいずれの適用も受けないことを認識し、
- 5 これらの船舶に乗り組む多くの船員が、きちんとした宿泊設備を与えられず、衛生状態も適正ではなく、良質の食糧や飲み水を提供されることもないことも認識し、
- 6 何も知らないまま、または脅されて、非合法的な移民の輸送や、禁止かつ(又は)無申告の貨物の輸送に携わってしまうことにより、しばしば船員が犯罪人扱いされることを考慮し、
- 7 これらの事実は2018年2月12-13日にモロッコのカサブランカで開催された、ITFインスペクター会議で議論され、地中海に連れてこられ、働かされている船員を支援し、これらの船員の基準以下の労働生活条件と闘うための団結と決意を同会議の参加者が表明したことを確認し、
- 8 ITF船員部会、ITF港湾労働者部会、ITF世界大会に参加する代議員に以下を求める。
  - 常設のITF地中海・海運委員会を設置することを支援する。
  - 地中海で働く船員の労働生活条件を改善するために必要なあらゆる手段を講じる権限をITF地中海・海運委員会に委任する。

# 第19号決議：ノルウェー人船員の雇用に対する攻撃

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 ノルウェー政府が最近、旅客フェリーのノルウェー国際船籍（NIS）を認める提案を行い、このことが、ノルウェー人船員の雇用喪失、不公正競争、ソーシャルダンピングという形で、ノルウェーのフェリー産業に悪影響を及ぼすだろうことを大きな懸念と共に留意する。
- 2 この提案は恐らく、バルト海や北海を含む北欧全体のフェリー部門にドミノ効果をもたらし、何千人もの船員やその家族に深刻な社会的影響を及ぼすことに留意する。
- 3 また、ノルウェー政府がこの提案の結果を深く分析していないことに留意する。
- 4 さらに、2018年10月10日にノルウェーの首相が国会で、船内のケータリング要員は船員ではないので、雇用を失う船員はいないと発言したが、これは、ノルウェー政府が批准する海上労働条約（MLC）に違反することに留意する。
- 5 ノルウェー政府がこの提案を撤回し、代わりに、ノルウェーのフェリー産業の今後について、ノルウェーの海運部門の労使と意義ある対話を行うことを要請する。

# 第20号決議：青年船員および青年港湾労働者の権利の保護

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 青年交通運輸労働者は、ITFの現在および未来の指導者である点を認識し、
- 2 より多くの青年交通運輸労働者をITF活動に参加させる点で進歩があったことを認識し、
- 3 青年労働者は、適正労働（ディーセントワーク：働きがいのある人間らしい仕事）を確保するための闘いにおいて、組合の支援を必要としていることを確認し、
- 4 若い船員や港湾労働者の権利を守るための懸案事項に対応するにあたり、各地域に適切な青年労働者機構を設置することが重要であり、恩恵もあるだろうことを認識し、
- 5 若い船員と港湾労働者が初めて仕事に就いた際に、平等な権利と労働条件を確保できるよう、専門家のネットワークや交渉基盤、共通プロジェクトを構築する加盟組合の取り組みで、ITF加盟組合の間の緊密な関係づくりを求め、
- 6 船内、港湾、海事カレッジ、海事大学における訓練と発展を促進すること、国際労働機関（ILO）と緊密に協力しながら、船員や港湾労働者のために訓練教育施設の建設と発展を支援・促進すること、ILO条約の効果的実施や、訓練資材の活用を奨励することを求め、
- 7 青年船員の公正な処遇、彼らの労働条件の質を高めること、最低賃金と権利の保障を船舶の種類や旗国に関わらず促進することを求め、
- 8 性別、国籍、人種、肌の色、年齢、性的志向、障害の有無、信条に関わらず、全ての青年船員および青年港湾労働者が、使用者や使用者の利益を代弁する者の搾取から保護されるよう担保することを求め、
- 9 青年交通運輸労働者の活動を拡大するために、青年部門を設置することを全ての加盟組合に奨励することをITFに求め、
- 10 加盟組合と連携し、組織化の取り組みで青年交通運輸労働者を支援し、全ての加盟組合がより体系的な方法で、青年交通運輸労働者を組織することに焦点をあてるようになるようITFに求め、
- 11 青年交通運輸労働者について、組織人員の統計の分析と、グローバル青年交通運輸労働者のネットワークの拡大を継続することを求め、
- 12 ITF本部を通じて行う活動と、地域の優先活動の間の極めて重要な連携を確保し、地域レベルで青年交通運輸労働者の参加を支援することを求める。

## 第21号決議：河川クルーズキャンペーン2.0

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 戦略的レバーに関する、2014年世界大会の決議を想起し、
- 2 河川クルーズ産業には約5万人の労働者が就労しているが、彼らの労働条件や船内の居住条件は何ら改善されていないこと、また、欧州の水上警察、財務当局、労働当局が連携して実施した多くの査察で、組織犯罪や人身売買に近い慣行が報告されていることを深い懸念とともに留意し、
- 3 多くの河川クルーズ会社が戦術を変え、宿泊やケータリングのサービスを税制や社会保障制度が最も有利な国の事業者にアウトソースしていることを認識し、
- 4 海上クルーズ産業と河川クルーズ産業は、所有者、運行業者、労務供給業者に関して、関連性が強まっていることに留意し、
- 5 また、以下を認識し、
  - 当該加盟組織の相当な努力、および過去10年間におよぶITFの財政的支援や後方支援にかかわらず、限られた進展や成果しか記録されていないこと
  - キャンペーン運営グループが詳細な分析を行ったところ、河川クルーズ産業は、その季節労働的な性格や、法律の適用が不明確なことから、組織化が難しいことが確認されたこと。
- 透明性の欠如、つまり、所有者、運行業者、マンニング会社、ツアーチャーターが幾重にも存在する産業構造により、組合の責任も不明瞭であること
- 当該加盟組織が、河川クルーズ産業の劇的な状況に対して、国・地方自治体やその他の利害関係者の目を向けさせようと継続的な努力をしていること
- 6 欧州河川クルーズのイベントの際、メディアの注目が河川クルーズ産業に注がれたことや、欧州水上警察の連合体であるアクアポールとの良好かつ組織的な協力体制がプラスの影響を及ぼしたことが、国境を越えた、複数の当局による、効果的な管理・査察に重要な役割を果たしたことを想起し、
- 7 このキャンペーンの成功のために、訪船の実施、ITF/ETF河川クルーズ・キャンペーンへの積極的な関与、よく調整された国際協力を通じた船員の問題解決支援等、目に見える形で時間・資源を投資するという、欧州の当該加盟組織の明確かつ文書による新たなコミットメントを表明し、
- 8 また、あらゆる仲介的な活動を記録する専用データベースの開発や、利用者に幅広く配布するための冊子やビラの作成も表明し、

- 9 河川クルーズ産業のホテル、レストラン、ケータリング部門に従事する労働者の多くが不安定雇用であることについて、市民に対する一層の意識啓発を行い、支援を深める必要性を強調し、
- 10 IGリバークルーズ（欧州河川クルーズ企業協会）や業界団体のEBUと、最低基準の設置や河川クルーズ産業の質やイメージの全体的向上について、意義あるコミュニケーションや関係を構築することを追求し、
- 11 ITF加盟組織の関与やITF加盟組織に対する財政的・後方的支援を通じて、このキャンペーンの正しい方向性を導くことで、このキャンペーンを一層支援することをITFに要請する。

# 第22号決議：開発途上国の内陸水運労働者のための国際および地域の労働福利安全基準の向上

- 2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、
- 1 2010年および2014年のITF世界大会で採択された、世界の内陸水運労働者のための国際労働基準の必要性に関する決議を想起し、
  - 2 内陸水運部門は、アジアだけでも29万キロを超える水路で、毎年、10憶トンを超える貨物と5億6千万人を超える旅客が運送されており、アジアの内陸水運フリートは、船舶45万隻以上、総輸送能力4千万トン以上を有し、また、全労働者数は不明だが、例えば、バングラデシュには、6千5百キロを超える水路に少なくとも460万人が就労していることに留意し、
  - 3 貨物および旅客の両面において、持続可能な輸送モードとしての国際水運の重要性を認識し、
  - 4 海運と内陸水運は密接に関連しており、両部門は輸送サプライチェーンにおいても連携していることに留意し、
  - 5 途上国の内陸水運部門の死亡事故件数は、海運部門の死亡事故件数をはるかに上回り、河川における死亡事故を削減するために緊急対策が取られなければならないことに留意し、
  - 6 内陸水運の商業的将来のためには、資格のある人物による水路の継続的保守が不可欠であることに留意し、
  - 7 途上国の内陸水運船舶乗組員の適切な労働・福利・安全基準が欠如していることを考慮し、
  - 8 途上国、特にアジアおよび南アジアのITF内陸運輸部会加盟組織が実施する、乗組員のための適切な福利施設の整備やディーセントな活動条件の確保のための活動をさらに支援するよう、ITFに要請し、
  - 9 以下に関して、国際労働機関（ILO）、国際海事機関（IMO）、その他の機関に圧力をかけるよう、ITFの執行委員会や内陸水運部会に要請し、
    - 内陸水運労働者のための国際基準の設置
    - 既存の基準の改正または促進
  - 10 これらの基準は、最低基準として、以下を扱うべきである。
    - 内陸水運労働者の社会保障および最低賃金
    - 安全および保安
    - 配乗定員および労働時間
    - 訓練および資格

# 第23号決議：内陸運輸部会の活動の効果を改善する

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 最近のITF世界大会の決定と、内陸水運に関する様々なテーマに関する活動計画や決議が採択されたことを想起し、
- 2 国境を越えて働く労働者の安全衛生、訓練、労働時間、新技術、配乗レベル、事故防止、労働法制など、国をまたいで労働者を団結させる主なテーマがあることを認識し、
- 3 内陸水運産業は例えば、パナマ運河、港湾内のタグボート、河川や湖沼をベースとしたガンジス川・パドナ川、ライン川、パラグアイ・パラナ川、北米などの国際ロジスティクス・チェーンにおいて主な役割を果たしていることを認識し、
- 4 他の貨物輸送手段に比べて持続可能かつ環境に影響を及ぼしにくい代替交通として、各国の政府が内陸水運にさらに注目するようになっていくことを認識し、

- 5 都市公共交通として、フェリーが拡大していることを認識し、
- 6 河川クルーズ船産業が国際化し、大手企業が関与を深めていることを認識し、
- 7 国際労働機関（ILO）による国際基準や国際規制機関が存在せず、河川委員会が台頭する中でも社会委員会が欠如していることを考慮し、
- 8 内陸水運部会の活動の強化と改善を求め、
- 9 ITF規約に沿って、部会運営委員会を設置することを決議する。内陸水運部会運営委員会は定期的に会合し、様々な地域の利害や内陸運輸産業の広範なすそ野産業も反映した委員を構成員とするべきだ。



## 第24号決議：タグボートとトウボート

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 トウボートとタグボートで働く労働者を組織するITF加盟組合は、組合の機構や規約により、船員、内陸水運、港湾の3つの異なる部会に人員を登録していることに留意し、
- 2 世界進出している企業で雇用されるタグボートとトウボートの労働者の労働条件に関して、攻撃が増えていることを懸念し、
- 3 従来の「労使」関係を変更し、通常であれば乗組員に適用される労働条件を侵食し、それによってディーセントワークと安全な雇用という基本原則を蝕む「ビジネスパートナー」モデルへと雇用モデルを移行しようとする圧力が、いくつかのグローバル・タグボート・トウボート運航会社から続いていることを認識し、
- 4 乗組員の権利を守り、改善するため、タグボート・トウボート部門のためのグローバル組織化戦略を策定するようITFに要請し、
- 5 FPCにより設置されたタスクフォースに沿って「タグボート・トウボート・タスクフォース」を設置することで、タグボート・トウボート業界の組織化戦略を調整し、雇用モデルや新技術の導入などの業界の問題に対応するよう公正慣行委員会（FPC）に促す。

## 第25号決議:水産

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は以下を決議する。

- 1 西アフリカ、コートジボアール、セネガル、ガーナ出身の遠洋漁船員と、インド洋、セイシェル、モーリシャス、マダガスカル出身の遠洋漁船員は今日、団結し、アフリカ大陸の東西に存在する賃金格差をなくそうと呼びかけている。
- 2 マグロ漁船の船主から金銭を得て自分たちの国が利益を蓄える一方で、労働者同士は競争を強いられる状況に海事労働者はうんざりしている。
- 3 遠洋漁場の国内船員を漁船員として使っていることは、労働者間の賃金ダンピングを激化させる言い訳にはならない。
- 4 フランス、スペイン両国の漁船主は、相当の対価を支払わずにスキル労働者を利用している。
- 5 アフリカの東西両側の遠洋漁船員が、ここで働くアフリカ人漁船員の団体協約締結を求めている。
- 6 海事労働者はこの要求を支援し、これらの労働者を全力で支援し、国際レベルで交渉に基づく約束を確保することをITFに求める。
- 7 遠洋漁船員はまた、ITF加盟組合にもこの正当な要求の達成のために努力することを求める。

## 第26号決議:デルタ航空の組織化に対するITFの全面的支援の再確認

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 デルタ航空は世界最大規模の航空会社であることを認識し、
- 2 デルタ航空は世界最大の反労組の航空会社であることを認識し、
- 3 デルタ航空の全労働者は、組合に加入する基本的人権を持っていることを認識し、
- 4 デルタ航空の労働者は毎日、組合加入を阻止され、世界の全ての航空労働者と同様に、苦しんでいることを認識し、
- 5 デルタ航空労働者が組合を結成する権利を享受するためのカギは、ITFが調整するグローバル・キャンペーンであることを認識し、
- 6 国際機械工・航空宇宙産業労働者組合 (IAM) がデルタ航空の客室乗務員や、グランドスタッフの組織化のためのキャンペーン (運動) を継続していることに留意し、
- 7 デルタ航空客室乗務員の組織化に特化したIAMのキャンペーンが非常に重要な段階にあり、アメリカ労働総同盟産別会議 (AFL-CIO) がIAMにこのキャンペーンの専属的管轄権を与えたことに留意し、
- 8 ITFおよびITF加盟組織がIAMのデルタ航空組織化の取り組みを全面的に支援することを決議する。
- 9 ITFおよびITF加盟組織が、デルタ航空の未組織労働者の組合加入を目指すIAMを支援するための取り組みを調整することを決議する。
- 10 ITF書記ITFが、デルタ航空労働者に正義と尊厳をもたらすために、引き続きIAMと密接に協力することを決議する。

## 第27号決議：安全で利用しやすい鉄道

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 鉄道の公共所有を支持することを繰り返し表明し、
- 2 安全で利用しやすい鉄道のためのキャンペーン（運動）を実施し、ワンマン運行の拡大に反対し、安全にとって必要不可欠な車掌の運行上の役割を擁護することを新執行委員会に指示し、
- 3 ワンマン運行は安全性が低下する運行手法であることを確信し、
- 4 行動を取る車掌およびその他の鉄道労働者に最大限の支援を行うとともに、全ての列車に車掌を確保するキャンペーン（運動）を行うことを執行委員会に指示することを決議し、
- 5 ワンマン運行を導入する民間の鉄道運行事業者を支援する政府を断固非難し、
- 6 全ての列車に車掌を確保することは、安全、サービス、保安のためだけでなく、障害者や高齢者にとって不可欠であると確信し、
- 7 旅客団体のみならず、障害者や年金生活者の活動家・団体が利用しやすい鉄道を支持してくれたことを歓迎し、全ての人が利用しやすく、公共所有の下に、公共の利益のために運行される安全な鉄道に対する世論の支持を拡大させるために、今後も彼らと共に運動を継続することを決議する。

## 第28号決議：トランスデブ

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 多国籍企業のトランスデブの最近の行動を非難する。トランスデブは現在、不当な賃金・労働条件を西オーストラリア州のオーストラリア交通運輸労組（TWU）のバス運転手に押し付けようとしている。
- 2 公共交通ネットワークにおけるバス運転手は、我々のコミュニティの中で重要かつ不可欠な役割を担っていることに留意する。バス運転手は、毎日、社会の中で最も弱い立場におかれている多くの人々の安全を担っている。よって、彼らに対する攻撃は、全ての乗客および道路利用者の安全にとって重大なリスクとなる。
- 3 ITF世界大会は、トランスデブが押し付けようとしている低賃金、疲労をもたらす労働条件、不安定な非正規労働、20時間契約に反対し、直接行動を起こしている西オーストラリア州の何百人ものバス運転手を支援する。勤勉なバス運転手の首を絞めるような、西オーストラリア州におけるトランスデブの行動の背景には、ビクトリア州およびニューサウスウェールズ州における同様の争議がある。
- 4 トランスデブの評判や行動は国境を越える。それらは大きく非難されなければならない。トランスデブは今年、100億ドルを超える収入を記録している。しかしながら、RATP（パリ交通公団）デブ/トランスデブは労働者の権利を抑圧し、安全を切り下げようとしている。韓国（KPTU）やニュージーランド（RMTUNZ）における最近の闘争は、組合の団結がいかに重要かを示している。ITF世界大会は、ライン9（ソウル地下鉄9号線）の公営化を求めるKPTUの運動に連帯を表明するとともに、RATPデブ/トランスデブの訴訟の脅しを非難する。
- 5 ITF世界大会は、交通運輸産業に基準引き下げ競争を起こす企業とは契約しないよう、経済的使用者（公共交通の場合は政府であることが多い）に圧力をかけなければならない。
- 6 ITF世界大会は、トランスデブと闘う世界の組合を支援するとともに、西オーストラリア州のTWU組合員の闘いに敬意を表する。

# ITF第44回世界大会に提案された決議の 審議結果

動議の番号	表題	審議機関	結果	決議の番号	備考
1	河川クルーズキャンペーン2.0	内陸水運部会 総会	提案通り <b>採択</b>	21	
2	独立国家共同体 (CIS) 地域の交通運輸労組およびそれらの連合体とITFとの協力		撤回	—	
3	非公式労働者の組織化		第1号合体動議 参照	—	第5号動議と 統合
4	加盟組合間の平等と団結		撤回	—	
5	ITF加盟組合の未組織労働者の組織化の責任		第1号合体動議 参照	—	第3号動議と 統合
6	各国のITF加盟組合協議会による連絡窓口 (NPC) の指定		第2号合体動議 参照	—	第27号動議と 統合
7	船員のためのビザに関するグローバルな方針の促進	船員部会総会	修正を経て <b>採択</b>	16	第二回決議委員会報告書参照 (別紙5)
8	LGBTQIに関する、他の国際産別組織 (GUF) の労働組合の方針の促進	全体会議	提案通り <b>採択</b>	5	
9	船員の権利の保護 – 国際連帯の促進 - メキシコシティ・ポリシーの効果的実施の確保	船員部会総会	撤回	—	船員部会総会報告書参照
10	安全で利用しやすい鉄道	鉄道部会総会	提案通り <b>採択</b>	27	
11	船員の権利	船員部会総会	修正を経て <b>採択</b>	17	第1回決議委員会報告書参照 (別紙1)
12	開発途上国の内陸水運労働者のための国際および地域の労働・福利・安全基準の向上	内陸水運部会 総会	修正を経て <b>採択</b>	22	第二回決議委員会報告書参照 (別紙5)

動議の番号	表題	審議機関	結果	決議の番号	備考
13	デルタ航空の組織化に対するITFの全面的支援の再確認	民間航空部会 総会	修正を経て <b>採択</b>	26	第二回決議委員会報告書参照(別紙5)
14	ITF世界大会CGT提案動議	船員港湾合同 総会	支持者なしで 廃案	—	船員港湾合同総会報告書参照
15	要求の統合	鉄道部会総会	次回鉄道部会 運営委員会に 付託	—	鉄道部会総会報告書参照
16	地中海-便宜の海	-船員部会総会 -港湾部会総会 -船員港湾合同 総会	提案通り <b>採択</b>	18	
17	労働組合員の利益を代表する目的で、国内の労働組合の対話を通じた二国間関係を促進する	船員部会総会	撤回	—	船員部会総会報告書参照
18	青年船員および青年港湾労働者の権利の保護	-船員港湾合同 総会 -青年交通運輸 労働者総会	提案通り <b>採択</b>	20	
19	朝鮮半島および東アジアの和平への支持と交通運輸労働者の役割	全体会議	修正を経て <b>採択</b>	6	第1回決議委員会報告書参照(別紙1)
20	内陸水運部会の活動の効果を改善する	内陸水運部会 総会	提案通り <b>採択</b>	23	

動議の番号	表題	審議機関	結果	決議の番号	備考
21	カボタージュ	船員部会総会	撤回	—	船員部会総会報告書参照
22	グローバル・デリバリー・サプライチェーンと E コマース	全体会議	提案通り <b>採択</b>	2	
23	パレスチナの交通運輸労働者の支援	全体会議	提案通り <b>採択</b>	7	
24	タグボートとトウボート	内陸水運部会 総会	修正を経て <b>採 択</b>	24	第二回決議委員会報告書参照(別紙5)
25	コミュニケーション・ネットワークの強化		撤回	—	
26	水産	水産	提案通り <b>採択</b>	25	
27	ITF 加盟組合協議会(NCC)の役割		第2号合体動議参照	—	第6号動議と統合
28	勤務地固定の倉庫、ロジスティクス、ターミナル労働者	全体会議	提案通り <b>採択</b>	8	
29	抗議とブラジル政府の評判- 労働改革への憂慮	全体会議	修正を経て <b>採 択</b>	9	第1回決議委員会報告書参照(別紙1)
30	中南米の活動の強化(パナマ)		撤回	—	
31	セーフレット(安全報酬)と顧客責任を迫及するグローバル闘争の強化	-全体会議 -路面運輸部会 総会	修正を経て <b>採 択</b>	3	第二回決議委員会報告書参照(別紙5)
32	内航海運支援のための措置	船員部会総会	次回船員部会総会に付託	—	船員部会総会報告書参照



動議の番号	表題	審議機関	結果	決議の番号	備考
第1号合体動議参照	非公式労働者の組織化	-全体会議 -都市交通委員会 -女性労働者総会	提案通り採択	1	第1回決議委員会報告書参照(別紙1)
第2号合体動議参照	ITF加盟組合協議会(NCC)および連絡担当者(NPC)	全体会議	提案通り採択	4	第1回決議委員会報告書参照(別紙1)
第1号緊急動議	ベネズエラ・ボリバル共和国に対する国際的な攻撃と封鎖に反対する動議	全体会議	提案通り採択	10	
第2号緊急動議	イランのトラック労働者のストに関する死刑宣告	全体会議	修正を経て採択	11	第2回決議委員会報告書参照(別紙3)
第3号緊急動議	アルゼンチンの組合の自由を守る動議	全体会議	提案通り採択	12	
第4号緊急動議	競争法を通じた、団体交渉に対する攻撃	全体会議	提案通り採択	13	
第5号緊急動議	ルウエー人船員の雇用に対する攻撃	船員部会総会	提案通り採択	19	
第6号緊急動議	イエメン	全体会議	提案通り採択	14	
第7号緊急動議	トランスデブ	都市交通委員会	提案通り採択	28	
第8号緊急動議	業務上過失致死罪	全体会議	提案通り採択	15	
A	投票手続き	全体会議	提案通り採択	—	
B	選挙	全体会議	提案通り採択	—	
C	決議委員会の役割	全体会議	提案通り採択	—	
D	世界大会	全体会議	提案通り採択	—	
E	加盟組合のITF大会代議員により多くの青年交運労働者を含める	全体会議	提案通り採択	—	
F	ITF機構と規約における青年交運労働者と女性交運労働者の位置づけ	全体会議	提案通り採択	—	

# 資格審査委員会報告書

1 2018年10月14日に資格審査委員会が開催された。資格審査委員は次の通り。

アフリカ	Adewale Adeyanju (MWUN、ナイジェリア)
アラブ	Dorsaf Sayhi (FNT、チュニジア)
	CA Rajasridhar (AIRF、インド) Gwee Guo Duan (SMOU、シンガポール)
欧州	Agis Tselentis (PNO、ギリシャ) Karsten Kristensen (3F、デンマーク) Jaine Peacock (UNITE、英国) Torben Seebold (ver.di、ドイツ)
中南米・カリブ海	David Massiah (ABWU、アンチグバ・バーブーダ)
北米	Leslie Dias (UNIFOR、カナダ) Mike Murphy (TWU、米国)
オブザーバー	Simon Weller (加盟問題検証グループ)

2 ギー・グオ・ドウアン (SOMU、シンガポール) が議長に**選出**された。議長が資格審査委員会の報告者を兼任することが確認された。

3 執行委員会の勧告が承認され、以下が合意された。

- 2018年度までの加盟費を完納しているか、未納加盟費の支払計画を加盟問題検証グループ(MVG)が承認している加盟組合の大会参加資格を認めるよう大会に勧告する。
- 加盟問題検証グループ(MVG)の決定の実施を資格審査委員会に付託するよう大会に勧告する。

4 資格審査委員会は、2018年10月14日(日)午前10時までに参加登録を済ませた代議員の資格を審査し、440組織の資格が規約第17条(4)に則っているため直ちに承認すべきであり、また、MVGが支払計画に合意した2組織の資格を直ちに承認すべきであると判断した。

5 規約第17条(4)に反していると判断された1組織は、オブザーバー資格で登録することになるだろう。資格審査委員会は、大会期間中に加盟費を完納した組織の参加資格の変更権限を議長とMVGに与えた。

- 6 また、2018年10月14日（日）10:00以降に到着した代議員の資格を資格審査委員会に代わって審査、決定する権限を議長とMVGに与えた。
- 7 表1の加盟組織が委任投票を要請していることが確認された。14組織のうち5組織が大会開始の4週間前までに委任状を提出した。残りの9組織は、2018年9月14日の締切日を過ぎてから委任状を提出した。
- 8 1組織が規約第17条(4)に違反していることが判明したため、委任投票を認めないことにした。

加盟組織	国	投票権	委任コード	受任組織の略称	受任組織の国	受任組織の加盟費	委任組織の加盟費
Trade Union of Georgian Railwaymen	ジョージア	2	THE009	KAZPROFTRANS	カザフスタン	支払済	支払済
ACOD/CGSP Telecom Vliegwezen/Aviation	ベルギー	1	SEC001	CGSP/ACOD Cheminots	ベルギー	支払済	支払済
Sindicato Electricistas Electronicistas Navales	アルゼンチン	1	CEN006	CJOMN	アルゼンチン	支払済	支払済
Sindicato Único de Técnicos Aeronáuticos de Lan Perú (SITALANPE)	ペルー	1	ASO005	APA	アルゼンチン	支払済	支払済
Seafarers & Maritime Workers' Union of Western Russia	ロシア	1	SEA006	SUR	ロシア	支払済	支払済
Confédération Camerounaise du Travail (CCT)	カメルーン	2	SYN094	SNTTAAC	カメルーン	支払済	支払済
Sindicato de Trabajadores de Aerolane	エクアドル	1	ASO005	APA	アルゼンチン	支払済	支払済
Union Nationale des Syndicats Autonomes (UNSA Transports)	フランス	3	FED001	CGT Cheminots	フランス	支払済	支払済
Asociación Colombiana de Aviadores Civiles	コロンビア	1	ASO005	APA	アルゼンチン	支払済	未納
younion_Die Daseinsgewerkschaft	オーストリア	8	GEW003	vida	オーストリア	支払済	支払済

Unión Panameña de Aviadores Comerciales	パナマ	1	SIN048	SIELAS	パナマ	支払済	過払い
Sindicato Panameño de Auxiliares de Abordo (SIPANAB)	パナマ	2	SIN048	SIELAS	パナマ	支払済	支払済
Panama Area Metal Trades Council (PAMTC)	パナマ	1	UNI053	UCOC	パナマ	支払済	支払済
Sindicato Nacional de Trabajadores de Transporte de Pasajeros, Carga En General Y similares De La Republica De Panama (SINTRAPACASIPA)	パナマ	1	UNI053	UCOC	パナマ	支払済	支払済

- 9 資格審査委員会の勧告と資格審査委員会議長の対応に基づく代議員名簿を配布する。この名簿は、126カ国の456組織（そのうち13組織が代理出席）から代議員838人、アドバイザー1,018人が出席していることを示している。総票数は、総登録人員数570万人の約9割に相当する5,216,205票だった。
- 10 これまでに女性代議員129名、女性アドバイザー314人の登録があった。資格審査委員は、大半の組織（98%）が、代表団が3人以上で構成される場合は少なくとも1人を女性代議員とするよう努力することを規定するITF規約第4条(5)を遵守していることを嬉しく思った。
- 11 資格審査委員会は、大会の青年参加者数の増加を目指す執行委員会提案動議Eと、大会のみならずITFの各機構および加盟組織における青年の利益代表の強化を目指す執行委員会提案動議Fを確認した。
- 12 これまでに35歳以下の青年代議員73名、青年アドバイザー207人の登録があった。資格審査委員は、大半の組織（98%）が、代表団が5人以上で構成される場合は少なくとも1人を青年とするよう努力することを規定するITF規約第4条(5)を遵守していることを嬉しく思った。

- 13 表2・表3は、女性あるいは青年の大会参加者の割合の点で規約を遵守していない組織を列挙したものである。

加盟組織	国	参加費補助	参加者数 (代議員数)	期待される女 性代議員数	参加登録された女 性代議員数	女性アド バイザー数	女性登録人 員数の割合	女性代議員 数の割合	所見
オーストラリア交通運輸労組 (TWU)	オーストラリア	有	12 (4)	1	0	0	13%	10%	女性代議員数 0
民間航空労連	ブラジル	Y	3 (3)	2	1	0	70%	33%	登録女性人員数と比較して女性代議員数が少ない
チームスターカナダ	カナダ	無	9 (3)	1	0	0	19%	0%	女性代議員数 0
設備環境運輸サービス労連 (FEETS-FO)	フランス	無	4 (4)	2	0	0	46%	0%	女性代議員数 0
汎ギリシャ船員連盟 (PNO)	ギリシャ	無	3 (3)	1	0	0	3%	0%	女性代議員数 0
航空連合	日本	無	3 (3)	2	1	0	51%	33%	登録女性人員数と比較して女性代議員数が少ない
日本鉄道労働組合連合会 (JR 連合)	日本	無	10 (6)	1	0	0	6%	0%	女性代議員数 0
サービス・ツーリズム産業労働組合連合会	日本	無	7 (4)	1	0	0	33%	0%	女性代議員数 0
韓国自動車交通労連	韓国	無	3 (3)	1	0	0	2%	0%	女性代議員数 0
客室乗務員組合 (AFA) - 全米通信労組 (CWA)	米国	無	4 (4)	3	1	0	69%	50%	登録女性人員数と比較して女性代議員数が少ない

加盟組織	国	参加費補助	参加者数 (代議員数)	期待される 青年代議員数	参加登録された青 年代議員数	青年アドバイザー数
ACV - Transcom	ベルギー	無	6 (5)	1	0	0
フィンランド交通運輸労組	フィンランド	無	12 (6)	1	0	0
3 F	デンマーク	無	12 (6)	1	0	0
韓国船員連盟 (FKSU)	韓国	無	16 (6)	1	0	0
日本私鉄労働組合総連合会 (私鉄総連)	日本	無	15 (7)	1	0	0
日本鉄道労働組合連合会 (JR 連合)	日本	無	10 (6)	1	0	0
Seko	スウェーデン	無	9 (5)	1	0	0
ロシア鉄道運輸建設労組	ロシア	無	21 (9)	1	0	0

- 14 規約遵守を促すため、資格審査委員会は、規約違反の組合から代議員カードを取り上げること、次回世界大会準備を監督する機関が検討することを提案した。
- 15 資格審査委員会は、規約第17条(4)に則た書記長推薦179件が受理されたことを確認した。
- 16 資格審査委員会は、ITFの役職者の推薦に関しては、被推薦者の所属組織が規約第17条(4)を遵守しているか、加盟費の支払い計画が加盟人員検証グループ (MVG) によって承認されている場合に限り受理されることを確認した。
- 17 資格審査委員会は、動議の提案者および賛同者は代議員資格を有する参加者のみから承認されるため、それらの所属組織は規約第17条(4)を遵守しているか、加盟費の支払い計画が加盟人員検証グループ (MVG) によって承認されていることを確認した。

## 議長

ギー・グオ・ドゥアン

# 第1回決議委員会報告書

- 2014年に結成された決議委員会は2018年10月14日に開催された。
- 2014年に結成された決議委員会のメンバーは次の通り。

アフリカ	Tabudi Abner Ramakgolo (SATAWU、南アフリカ)
アラブ	George Turkieh (LCCA、レバノン)
アジア太平洋地域	P.M. Mohammed Haneef (CPSA、インド) Max Abad (AMOSUP、フィリピン) Mich-Elle Myers (MUA、オーストラリア)
欧州	Mark Dickinson, NIUK, Great Britain (chair) Brigitta Paas, FNV, Netherlands Diana Holland, UNITE, Great Britain Dorotea Zec, SUC, Croatia Fleming Schmidt, 3F, Denmark
中南米・カリブ海	Julian Sosa, SLF, Argentina
北米	Owen Herrnstadt, IAM, USA Peter Kennedy, UNIFOR, Canada

- 決議委員会は、大会の準備にあたり、動議で提起された関連事項を大会のテーマ文書に盛り込むことを含め、決議委員会の報告書を執行委員会が検討・承認したことに留意した。
- 決議委員会は以下の動議を第44回ITF世界大会の全体会議に付託することに合意した。

動議	表題	修正
8	LGBTQIに関する、他の国際産別組織 (GUF) の労働組合の方針の促進	なし
22	グローバル・デリバリー・サプライチェーンと E コマース	なし
23	パレスチナの交通運輸労働者の支援	なし
28	勤務地固定の倉庫、ロジスティクス、ターミナル労働者	なし
31	セーフレート (安全報酬) と顧客責任を追及するグローバル闘争の強化	あり - 承認済み

- 5 決議委員会は、以下の編集後および再起草後の動議(別紙1を参照)を、元の動議の提案者との合意に基づき、第44回ITF世界大会の全体会議に付託することに合意した。

動議	表題
3+5	インフォーマル交運労働者の組織化
6+27	ITF加盟組合協議会 (NCC) および連絡担当者 (NPC)の役割
19	朝鮮半島および北東アジアの和平への支持と交通運輸労働者の役割
29	抗議とブラジル政府の評判- 労働改革への憂慮

- 6 決議委員会は以下の動議を船員部会総会に付託することに合意した。

動議	表題	修正
7	船員のためのビザに関するグローバルな方針の促進	あり - 承認済み
11	船員の権利	再起草(別紙1参照)
16	地中海-便宜の海	なし

- 7 決議委員会は以下の動議を港湾部会総会に付託することに合意した。

動議	表題	修正
16	地中海-便宜の海	なし

- 8 決議委員会は以下の動議を船員港湾合同総会に付託することに合意した。

動議	表題	修正
16	地中海-便宜の海	なし
18	青年船員および青年港湾労働者の権利の保護	なし

9 決議委員会は以下の動議を内陸運輸部会総会に付託することに合意した。

動議	標題	修正
1	河川クルーズキャンペーン2.0	なし
12	開発途上国の内陸水運労働者のための国際および地域の労働・福利・安全基準の向上	あり - 承認済み
20	内陸運輸部会の活動の効果を改善する	なし
24	タグボートとトウボート	あり - 承認済み

10 決議委員会は以下の動議を水産部会総会に付託することに合意した。

動議	表題	修正
26	水産	あり

11 決議委員会は以下の動議を鉄道部会総会に付託することに合意した。

動議	標題	修正
10	安全で利用しやすい鉄道	なし

12 決議委員会は以下の動議を路面運輸部会総会に付託することに合意した。

動議	表題	修正
31	セフレート（安全報酬）と顧客責任を追及するグローバル闘争の強化	あり - 承認済み

13 決議委員会は以下の動議を民間航空部会総会に付託することに合意した。

動議	表題	修正
13	デルタ航空の組織化に対するITFの全面的支援の再確認	あり - 承認済み

14 決議委員会は以下の編集後の動議を都市交通委員会に付託することに合意した。

動議	標題
3+5	インフォーマル交運労働者の組織化



15 決議委員会は以下の編集後の動議を女性交通運輸労働者総会に付託することに合意した。

動議	標題
3+5	インフォーマル交運労働者の組織化

16 決議委員会は以下の編集後の動議を青年交通運輸労働者総会に付託することに合意した。

動議	表題	修正
18年	青年船員および青年港湾労働者の権利の保護	なし

17 決議委員会は、以下の動議が提出者によって取り下げられたことを確認した。

動議	標題
2	独立国家共同体 (CIS) 地域の交通運輸労組およびそれらの連合体とITFとの協力
30	中南米の活動の強化

18 決議委員会は以下の動議の提案者と議論を継続し、取り下げを検討してもらうが、合意に達せない場合は再起草することを交渉している。

動議	表題	修正
4	加盟組合間の平等と団結	あり - 承認済み
25	コミュニケーション・ネットワークの強化	なし
14	ITF世界大会CGT提案動議	なし

19 決議委員会は以下の動議の差し戻しを検討している。

動議	表題	部会	修正
9	船員の権利の保護	船員部会総会および船員港湾合同総会	あり
17	国内の労働組合の対話を通じた二国間関係の促進	船員部会および船員港湾合同総会	なし
21	カボタージュ	船員部会および船員港湾合同総会	あり
32	内航海運支援のための措置	船員部会	あり
15	要求の統合	鉄道部会	なし

- 20 差し戻しのプロセスについて決議委員会が合意に達し、動議の提案者と修正動議の提案者に大会期間中に行われる当該の部会総会において発言の機会を与えることとした。その後、当該の動議や修正動議は、シンガポールに居る間に関係する組合間で大会後のプロセスについて合意することを前提に、大会以降に開催される次の当該部会の総会や会議に差し戻されることになる。
- 21 決議委員会は、以下の緊急動議を受容したことを確認した（別紙2を参照のこと）。以下の動議は真に緊急性があるとして基準を満たしていることが合意された。

動議	表題	修正
第1号緊急動議	ベネズエラ・ボリバル共和国に対する国際的な攻撃と封鎖に反対する	全体会議
第2号緊急動議	イランのトラック労働者のストに関する死刑宣告	全体会議
第3号緊急動議	アルゼンチンにおける結社の自由の擁護	全体会議
第4号緊急動議	競争法を通じた、団体交渉へ攻撃	全体会議
第5号緊急動議	ルウェー人船員の雇用に対する攻撃	船員部会

- 22 第5号緊急動議の最終版は決議委員会開催時まで完成していなかった。時間の制約により、決議委員会は、次の決議委員会の前に開催される予定の船員部会総会に本動議を付託し、文言を決定する権限を船員部会議長に与えた。
- 23 決議委員会は緊急動議の提出期限を踏まえ、さらに会合を持つことで合意した。次の会合では、各動議の提出者との交渉の最新情報とさらに提出された緊急動議について議論ができるようになるだろう。この会合の後、報告書が再度出されることになろう。

## 別紙1

## 第1号合体動議：非公式労働者の組織化

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 働く男女が、自身とその家族のために尊厳ある生活を送ることができるよう、ディーセントな（人間らしい働き甲斐のある）仕事を持つ必要があることを認識する。
- 2 悪徳使用者の方法の一つとして、新たな採用枠が発生した時に有期契約の非公式労働者を採用したり、正規労働者を非公式労働者に置き換えたりするということがあり、このような非公式化が恒常的に増加していることを認識する。
- 3 非公式の交通運輸労働者の組織化を「大きな課題」とし、「非公式の交通運輸労働者の組織化の手法に関する訓練を組合に実施する特定のプログラム」を提案する第43回ITF世界大会の声明に留意する。
- 4 ITF「非公式の交通運輸組織化プロジェクト」の非常に大きな成果や「メンター組合（指導者・助言者としての役割を果たす組合）」の組織化モデルの成功に留意するとともに、同プロジェクトを主導した5つのメンター組合－ATGWU（ウガンダ）、NCTU（フィリピン）、NETWON および ITWAN（ネパール）、SNTT（コロンビア）、SYNATRA（ニジェール）－を称賛する。
- 5 以下の通り、プロジェクトを通じて、非公式の交通運輸労働者の組織化に成功した加盟組織の事例に留意する。
  - プロジェクトに参加した全ての加盟組織が非公式の交通運輸労働者計10万人以上を組織した。
  - 非公式の交通運輸労働者を組織する組合が新たに3つ誕生した。
- 6か国の全国レベルの交通運輸労組の委員会で、非公式の女性労働者を代表する**女性役員**が選出された。
- 6か国でインフォーマル経済の交通運輸部門で働く女性の組合員数が 300% 以上増加した。
- 6か国の組合が非公式労働者を包含する規約や手続きを新たに**採択**した。
- 9か国の15労組が非公式労働者をターゲットとする新たな組織戦略を**策定**した。
- 6か国で非公式の交通運輸労働者を対象とする団体協約が新たに締結された。
- 非公式の交通運輸労働者への警察の嫌がらせに対して大きな勝利を収めた。
- 6 2018年7月28日にカンパラ（ウガンダ）で開催された、同プロジェクトの評価ワークショップに参加した16のITF加盟組織が**採択**した「非公式交通運輸労働者憲章」の要求事項を支持する。
- 7 「私たちの公共交通」キャンペーンの成功、特に、アフリカのバス高速輸送システム（BRT）の導入に伴う、非公式の交通運輸労働者の組織化の重要性に留意する。
- 8 自動化やデジタル化が交通運輸部門の非公式・不安定労働の増加に及ぼす影響や、労働組合の保護を必要とする非公式労働者の組織化戦略やプラットフォーム経済の交通運輸労働者の組織化技術から学ぶ機会に留意する。このような支援は、労働組合の生き残りと言帯という、より大きな利益にかなうものである。

9 定期的、効率的、かつ説明可能な方法で組合費を収集・管理し、組合の持続可能性と自立を確保することが非常に重要であることに留意する。

10 ITFに以下を要請する。

- 交通運輸およびその他の産業の非公式労働者の労働者の組織化を支援する長期的なプログラムを開発し、メンター組合の経験を基に、他の国や地域にも活動を拡大すること。
- ITF加盟組織が経験を共有し、未組織労働者の組織化を支援すること。
- 非公式の女性労働者がより専門的で安定した雇用を得る機会や、非公式の女性労働者の利益代表やリーダーシップ、非公式職場における女性への暴力・嫌がらせの取り組みを強化するために、非公式労働者組織化プログラムの「女性を目に見える存在に」の要素を拡充すること。
- 非公式部門と公式部門を組織する組合間の協力、特に、デジタル化や自動化を踏まえて組織化を行っている組合間の協力を強化すること。
- これまでは、路面運輸や都市交通が非公式労働者の組織化の中心だったが、他の交通運輸部門やサプライチェーン、特に、港湾、鉄道、ロジスティクス、水産、観光の非公式労働者にも支援を拡大すること。

- 大勢の非公式労働者を組織する組合の持続可能性を強化するために、組合費の徴収、警備、事務・管理の革新化、例えば、バンキングアプリや組合事務管理ソフトの導入やそれらの研修(「持続可能な組合プロジェクト」)を支援すること。
- ILO第204号勧告で**謳われている**ように、非公式から公式経済への移行について交渉できるよう、組合の能力を強化すること。
- 非公式の交通運輸労働者の代表者を、ITFの政策策定や、地域および世界レベルでの主要機関(世界銀行、国際労働機関(ILO)、国連開発計画(UNDP)等)における利益代表に全面的に関与させること。

#### 提案者

- **ネパール独立交通運輸労働者団体(ITWAN)**
- **インド船員組合(NUSI)**
- **ネパール独立交通運輸労働者団体(ITWAN)**
- **交通運輸一般労組(ATGWU)(ウガンダ)**
- **公共交通事業者労組(PUTON)(ケニア)**
- **マタトゥ労働組合(MWU)(ケニア)**
- **全国交通運輸労組連合(NCTU)(フィリピン)**
- **シヴァサングラム・タクシー・リキシャ組合(STRU)(インド)**
- **HMS自動車タクシー民間交通労組連盟(ATPSTW HMS)(インド)**
- **パキスタン船員組合(PSU)**
- **インド海事組合(MUI)**

## 第2号合体動議：ITF加盟組合協議会（NCC） および各国の連絡窓口（NPC）の役割

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 加盟組合がITF加盟組合協議会（NCC）を設置し、各国のITF活動について議論し、調整することをITF規約（第2条3項d）が奨励していることを想起し、
  - 2 NCCの目的は、ITF加盟組合が結束し、調整のもとにITF活動に一丸となって貢献し、国内レベルで相互を支援することであると認識し、
  - 3 NCCの存在により、加盟組合がITFの活動計画に当事者意識をもつようになり、加盟組合同士のコミュニケーションやインタラクションが改善され、個々の加盟組合が強化されるなど、前向きな影響があることを認識し、
  - 4 ITF地域事務所の支援のもと、以下の目的で加盟組合協議会(NCC)を設置・発展させることをITF加盟組合に求める：
    - ITFのグローバルレベル、地域レベルの戦略に貢献するための国内の活動計画の策定と実施を議論する。
    - 関係するITFプロジェクトやキャンペーンの実施に貢献し、その進捗状況を監視する。
    - ITF加盟費の支払いを含め、各国のITF加盟人員を監察し、既存の加盟組合のITF登録人員を増やしたり、ITF未加盟組合を探して関係を構築するなど、ITFの加盟人員を拡大するための戦略を構築する。
- 必要に応じて国内外で連帯を動員する。
  - 国内の組合間で最良慣行に関する情報を共有する。
  - 女性や青年組合員の参加を促すための機構や活動を構築するよう加盟組合を奨励・支援する。
  - 可能であれば、全国民に関係する労使問題や政治問題などの国内問題について共通の立場を構築する。
  - 可能であれば、国内の産業別の戦略を構築・調整し、ITFの多国籍企業、ハブと交通回廊(コリドール)、各都市の統合公共交通の発展などに関するITFの活動に貢献する。
  - **選挙に基づくITF内の役職への立候補者**を決め、ITFに連絡する。
  - 国内の加盟組合同士のコミュニケーションを円滑化し、その国の加盟組合協議会(NCC)の活動や、重要な国内の動向について、ITF書記局に常時連絡する。
- 5 ITF地域事務所の支援のもと、各NCCが以下を行うことを求める：
    - 少なくとも一年に一度は会合をもつが、必要であればより頻繁に会合する。
    - 議長と書記長を選出し、うち1名は各国の連絡担当者(NPC)を務める。

- 連絡担当者(NPC)が他国のNCCに属する他国のNPCと連絡を取り、情報交換し、共通の課題を見つけ、経験を共有し、活動計画策定にあたり調整を行うよう担保する。
  - NPCが収集した情報が、その国のNCCに参加する組合やNCC不参加のITF加盟組合へ、国内レベルで行き渡るよう担保する。
  - 加盟組合協議会(NCC)には女性交運労働者と青年交運労働者の代表も入るよう担保する。
  - 全てのITF加盟組合がその国のNCCに加入し、NCCの会議に出席するよう促す。
  - 適切な場合、ITF未加盟組合もNCCの会議に招待する。
  - 将来のNCC会議の議題について、加盟組合やITF地域事務所の書記局と連絡を取る。
  - 主な論点、決定事項、合意された行動など、全てのNCC会議の記録を残し、それを周知することで、国内のITF加盟組合とITF書記局が常に情報を得られるようにする。
- 6 ITF地域事務所の書記局に以下を求める：
- 可能な場合、要請に応じ、NCCのロジ面や運営面の支援を提供する。
  - 各国のNCCNCCとの折衝役を務める地域事務所の担当者を任命する。
  - NCC会議開催の調整について、各国のNCCの議長や書記局を支援する。
  - ITFの地域の活動計画の実施の進捗状況を各NCCに報告する。
  - 可能であれば全てのNCC会議に出席する。少なくとも一年に一回は出席する。
  - NCCの活動をITFの地域レベル、グローバルレベルの活動計画と連携させる。また、情報を確実に共有する。
  - 適切な場合、他の国際産別組織(GUFs)との協力を促す。

#### 提案者

- タイ国鉄労組 (SRUT)
- インド船員組合 (NUSI)

## 賛同者：

- パキスタン船員組合(PSU)
- インド海事組合(MUI)
- タイ国営電鉄労働者組合(SEETU)
- タイ国営運輸従業員労組 (TRAN-U)
- タイ国営高速道路公社労組(LU-EXAT),
- タイ航空国際労組(TG Union)
- タイ空港公社労組 (AOT.SWU)
- ウィングスパン労働者組合(WWU、タイ)
- ナイジェリア商船職員・水運上級職員組合 (NMNO/WTSSA)
- ナイジェリア海運労組
- ナイジェリア全国路面運輸労組
- ナイジェリア鉄道労組
- ナイジェリア鉄道労組
- ナイジェリア航空輸送サービス上級職員組合
- ケニア航空空港サービス労組
- ケニア・ボダボダ・トゥクトゥク・タクシー労組
- ケニア長距離トラック運転手合同労組
- ケニア海運清掃倉庫労組
- マタトゥ労働組合 (ケニア)
- 公共交通事業者労組 (ケニア)
- ケニア鉄道合同労組
- ケニア船員組合
- ケニア運輸労組
- モザンビーク運輸労組
- モザンビーク・ホテル観光産業労組
- モザンビーク民間航空通信労組
- モザンビーク港湾労組
- モザンビーク路面運輸労組

# 第19号動議(修正)朝鮮半島および北東アジアの和平への支持と交通運輸労働者の役割

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 朝鮮半島の最近の動向は、朝鮮半島および北東アジアの和平が望める新しい時代の到来を告げている。70年におよぶ分断と対立を経て、最近行われた南北首脳会談および米朝首脳会談は、朝鮮半島の非核化および北東アジアにおける平和体制の樹立に向けての新たな方向性が築かれた。ITF世界大会は、これらの動向が、韓国および東アジアの労働者や市民による平和への努力なくしては不可能だったであろうことを認識する。
- 2 しかし、恒久平和体制の樹立のためには、最近、南北朝鮮および米朝の間で締結された軍事的緊張の緩和や平和関係の構築に関する規定を含む合意書が実施されなければならない。また、朝鮮戦争を終結させる和平協定が締結されなければならない。さらに、このプロセスに労働者の関与が保障されなければならない。
- 3 交通運輸労働者にとって最も重要なのは、南北を結ぶための東・西海線鉄道・道路連結の着工を今年末までに実施するという南北合意書が締結されたことである。

4 交通運輸労働者、特に鉄道労働者は、南北鉄道連結を通じた北東アジア鉄道ネットワークの完成を基に、この地域の和平のための共通ビジョンを構築することで、この歴史的瞬間が生み出す機会と課題に率先して対応することができる。北東アジア鉄道ネットワークの完成は、労働者の労働条件と、安全かつ便利で安価な交通運輸を利用できる利用者の権利を確保しながら達成されなければならない。

- 5 そのために、ITFとITF加盟組織は以下を決議する。
  - 朝鮮半島および北東アジアの和平を求めるITF加盟組織の活動を支援する。
  - 平和で平等な社会、およびそのような社会を支える安全かつ安価で労働者に優しい統合大陸鉄道のための共通のビジョンを構築するために、北東アジアおよびユーラシアの鉄道および交通運輸労働者の交流を支援・支持する。

## 提案者

- 韓国公共サービス交通運輸労組(KPTU)
- KPTU-韓国鉄道労組(KRWU)
- 全日本鉄道労働組合総連合会(JR総連)



# 第29号動議(修正)抗議とブラジル政府の評判— 労働改革に関する憂慮

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 労働組合や労働者の団体交渉権を制限および(または)否定するために、世界中で政府が法律を利用した介入を行うケースが急増していることに留意する。
- 2 労働者の基本的権利を制限し、否定する後退的な法律改正を糾弾する。
- 3 2017年7月13日に公布されたブラジル連邦法13.467は、長年にわたり、労働者が勝ち取ってきた権利を含む、ブラジル人労働者の権利を奪うものだ。また、この悪名高い労働改革法は、労働者階級には到底支払えない多額の費用を義務付けることで、労働裁判所を利用し、裁判所に提訴する労働者の権利をも制限している。
- 4 Avenida Passos, 91 - 9º. Andar – Centro, Rio de Janeiro, RJ, Brazilに所在するブラジル全国鉄道労連 (FNTF)は、鉄道労組の連合体であり、加盟組織を代表して、以下を要請する：
- 5 2018年10月14～20日にシンガポールで開催される第44回ITF世界大会の動議提出期限に従い、ブラジル全国鉄道労連 (FNTF)は、以下の「抗議とブラジル政府の評判に関する動議」を提出する：
- 6 提出根拠： 2004年12月8日の憲法修正第45条により、企業が団体交渉を拒否した場合、労働裁判所の判断に従うことを要件とする、1988年制定の憲法第114条2項が修正された。2017年の法律13.429号は、アウトソーシング法として知られるが、これにより、いかなる企業活動のアウトソーシングも可能となり、不安定雇用が促進された。2017年の連邦法13.467号は労働改革法であり、総合労働法 (CLT) の100条余りの条項を改正した。その結果、ブラジル憲法、とりわけ、都市部および田園部の労働者について規定する第7条に抵触する結果となった。
- 7 労働者への悪影響：1988年制定の憲法第114条2項を修正する2004年12月8日の憲法修正第45条が承認されたため、労働者の司法へのアクセスが制限される法律が通過したことになる。なお、憲法第114条2項は以下のように定めている：「労使どちらかが団体交渉も仲裁も拒否した場合、共通の合意により、経済的性質の紛争について、労働裁判所の判断を求めることができる。労働裁判所は労使紛争の解決にあたり、法律が定める最低限の規定と、雇用保護に関する以前に合意された契約条項に準拠する」
- 8 憲法修正第45条により、使用者は労使交渉を拒否することが可能になり、ばかげたことに、労働組合は使用者の合意があった場合のみ、労使紛争の解決を労働裁判所に求めることができるため、使用者が団体交渉を完全に管理することができるようになった。使用者が労使紛争の判断を裁判所に委ねることに合意した試しはない。労働改革法案が国会を通過したため、以前に合意された契約条項の継続的法的効力（「先行性」）が、労働時間などの特定の労働条件に関する労使の直接交渉という選択肢とともに排除され、労使交渉においては最低限の規定すら拘束力をもたなくなった。

- 9 2017年の法律13.429号により、あらゆる業務（エンド業務とプロセス業務）の無制限かつ完全に無規制のアウトソーシングが可能になった。この法律は、外注先企業は連帯責任ではなく、副次的責任を負うと定めている。すなわち、外注元企業の責任が期限切れとなった場合、労働者が訴訟を起こせる相手は外注先企業のみということになるが、これには何年にもわたる法的手続きが必要となり、裁判所への提訴にまつ費用も労働者が負担しなければならない。
- 10 総合労働法 (CLT) を改正する、2017年の連邦法13.467号、すなわち労働改革法はブラジル憲法、とりわけ、都市部および田園部の労働者について規定する第7条に抵触することになり、ブラジルのあらゆる労働者に即座に悪影響を及ぼしている。強行採決された改革法は、労働組合の連合体の資金調達に関する規則を変更することで、また、労働者が到底支払えない費用を負担させ、労働者の労働裁判所へのアクセスを困難にすることで、労働組合やその連合体を弱体化させている。
- 11 連邦最高裁では、この法律の違憲性を問う5件の事案が争われているが、この決着がつくには13年もの月日がかかることになるだろう。一方、無数の労使紛争案件が、企業経営者が当該の労使紛争を裁判所に持ち込むことに合意しないため、きちんとした判決も出ないまま、終了したものと見なされている。また、労働法改革を憲法的見地から疑問視する違憲性裁判も20件行われている。本来の法律とは裏腹に、改革労働法は組合費の支払いに関する特定の事前承認を要件とすることにより、労働組合をその基盤、すなわち、ブラジ

ルの労働関係組織の維持に不可欠な資金源から切り離す条項を導入することで、労働者の保護をさらに手薄にさせている。

- 12 2017年の連邦法13.467号の一部条項が、ブラジルが1952年および1922年にそれぞれ批准した、ILO98号条約および154号条約に直接違反することに憂慮をもって留意する。
- 13 我々の主張をより深く分析してもらうため、当該の法律と改正法、政府側の根拠をこの動議に添付する。

#### 結論

- 14 上述の法律の導入により、直ちに明確な悪影響が労働者に及んでいことを考慮し、ブラジル全国鉄道労連 (FNTF)とその加盟労組は、「抗議とブラジル政府の評判に関する本動議」を承認すること、第44回ITF世界大会からブラジル当局に本動議を提出することを要請する。ブラジル当局はブラジル憲法とブラジルの法律に従う憲法上の義務と、他者がそれらに従うことを担保する憲法上の義務を負っているからだ。

連邦最高裁

連邦最高裁判所は、ブラジル司法制度の最高当局である。

所在地: Supremo Tribunal Federal, Praça dos Três Poderes, Brasília, DF – CEP 70175-900



#### ブラジル議会

ブラジル議会は連邦国会議員を任命し、上下両院を通じ、法律で定められた権力を行使する。

所在地: Congresso Nacional, Praça dos Três Poderes, Brasília, DF – CEP 70160-900

#### ブラジル連邦政府および大統領官邸

所在地: Governo Federal – Palácio do Planalto, Praça dos Três Poderes, Brasília, DF – CEP 70150-900

#### 15 ITFに以下を要請する。

- 2017年の連邦法13.467号の徹底的見直しを管轄当局が行い、適切な政労使によ

る協議を行い、また国際法や憲法上の義務を遵守するために必要な修正を実施することにより、ブラジル憲法および関係するILO条約のもとに規定された義務を確実に遂行することをブラジル政府に求める。

- さらに、加盟組合、国際労働組合総連合(ITUC)、ITF以外の国際産別組織(GUF)、関連する非政府組織などと協力し、ブラジルの労働者の基本的権利のために闘う。

#### 提案者

- **ブラジル全国鉄道労連 (FNTF)**

# 第11号動議(修正)船員の権利

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 自動化や破壊的技術が国際海運産業における商業的決定・運営にますます影響を及ぼす時代において、船員の権利を促進、保護、向上させ、使用者を拘束する国際法を支持し、
- 2 世界の164万人の船員の大多数は、船員の安全衛生の観点から、搾取的、差別的、有害といえる賃金および乗船期間で雇われていると確信し、
- 3 今後しばらく続くと見られる部員の余剰は、今後20年間で倍増すると見込まれる国際海上貿易の成長に吸収されるものと確信し、
- 4 履行可能な船員の雇用の権利の強化と世界の船員の雇用レベルと訓練の確保のための国際法規の改正を支持することを決議し、

5 ILO海上労働条約改正のための文案を国際機関レベルで提案する方法についての戦略を構築するための作業グループを設置し、船員部会委員会の承認を求めることをITFに提案し、

6 船員の同一労働同一賃金の原則や、現在業界で認められている雇用条件および労働時間の改善等を主な検討分野とする。

## 提案者

- 全英鉄道海事交通労組 (RMT)

## 別紙2

# 第1号緊急動議：ベネズエラ・ボリバル共和国に対する国際的な攻撃と封鎖に反対する

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 ベネズエラ・ボリバル共和国の機関や民主的に選出された政府（労働組合を含む）に対して、国際的かつ組織的な攻撃や意図的な経済・金融封鎖が行われていることに留意する。
- 2 これらは、国際的なメディアによって強化され、帝国主義者の利益のために、主権を有するベネズエラ・ボリバル共和国国民に対する激しいキャンペーンが行われており、同国の労働者や労働者組織に影響が及んでいることに留意する。
- 3 チャベス司令官の伝説に鼓舞されたベネズエラ国民が、自分たちの政治・経済に関する決定に関して、自治と主権を享受する権利を有することに留意する。
- 4 ベネズエラ国民の生活の質に影響を及ぼす経済・社会問題は、一部の外国による介入行為－外国の軍事介入の条件を作り出すことを目的とする違法かつ一方的な強圧手段および残忍な経済戦争の実施が原因であることに留意する。
- 5 ベネズエラが他国で生産される医薬品、食品、消費財、生活必需品を購入することを禁ずる米国の制裁は、ベネズエラの国民に死と苦悩をもたらし、深刻な人権侵害に相当することに留意する。
- 6 帝国主義国とその同盟国によるこの継続的な侵略に対するベネズエラの国民および労働組合の闘いは、ボリバルと、独立、正義、そして我が祖国をラテンアメリカの偉大な力の枠組の中でより偉大なものとするためのチャベスのプロジェクトを維持、強化することを目的とすることに留意する。
- 7 そのためには、我々は階級を超え、断固たる決意を持ち、彼らのキャンペーンが我々を混乱させるのを阻止し、我々の団結を強化する必要があることに留意する。
- 8 ベネズエラの交通運輸労働者は全交通運輸部門を対象とする強力な全国的な組織を作り上げてきたが、国際的な封鎖によって、彼らの雇用や彼らの家族の未来が危険にさらされていることに留意する。



9 以下を決議する。

- ベネズエラ・ボリバル共和国の自由かつ主権的かつ独立的地位と国民の民族自決権を支持する。
- ベネズエラ・ボリバル共和国の国民に影響を及ぼす軍事的、経済的、金融的、その他いかなる形態の介入を拒否する。
- ベネズエラ・ボリバル共和国の国民に負担を強いる、違法かつ国際的な封鎖の中止を要求する。

- ベネズエラ・ボリバル共和国の国民、特に男女労働者への支持を表明する。

**提案者**

- **Federación Bolivariana de los Trabajadores y Trabajadoras de Transporte Afines y Conexos (FBTTT)ベネズエラ**

## 第2号緊急動議：イランのトラック労働者のストに関する死刑判決

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 以下に留意する。
  - a. イランのトラック運転手は、イランの他の労働者と同様に、ここ数十年間、賃金および生活水準の継続的な低下に直面している。雇用保障も脅かされ、35万人ものトラック運転手が数ヶ月間、賃金未払いや極度のインフレに苦しんでいる。
  - b. 2018年5月、25州、160都市の自主的に団結したトラック運転手が、低賃金、諸経費の増加、通行料やその他の行政手数料の値上げをめぐり、ストを実施した。
  - c. 2018年9月22日以降、自主的に団結したトラック運転手約50万人が、苦境を訴えるために、31州、290都市で行動を起こしている。トラック運転手らは、政府に対して、彼らの苦境に対処するとともに、彼らの生活に影響を与える決定に労働者が意見を言うことができるようにすることを要請している。
  - d. ストが開始されてから16日間に、様々な州のトラック運転手200人以上が、ストに参加したために拘束されたと報告されている。
- 2 さらに以下に留意する。
  - a. イラン政府は、労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言や、ILO結社の自由委員会が出した勧告にたびたび違反している。
  - b. グローバル・ユニオンは、これらの違反に対して、ILOを通じて、一貫して苦情を申し立ててきた。イランは、ILOの創設メンバーであり、理事国でもある。昨

年9月、グローバル・ユニオンは、「早急にイラン政府に介入し、ILO加盟国の義務として上述の人権・労働組合権侵害を是正することをイラン政府に要請すること」をILOに再度促した。

- 3 また、「カズヴィーン州の裁判所が、スト中に逮捕された者のうち17人に死刑判決を出したというイラン国営メディアの10月8日付の報道を可能な限り強い表現で非難すること」をILOに再度促した。これは、トラック運転手に恐怖心を植えつけるための政府の姑息な作戦である。
- 4 以下を要請する。
  - a. 投獄されているトラック運転手を解放するとともに、労働者に恐怖心を植えつける作戦を直ちに止め、代わりに、トラック運転手の要求を聞くとともに、彼らが家族を養うための最終手段として直接行動を取るに至り、経済的手段が必要であるという彼らの訴えを聞くよう、イラン政府に要請する。
  - b. イラン政府に直ちに介入し、報道されている刑を中止し、無実の労働者を解放し、労働者の指導者と対話を行い、独立的な労働組合の労働組合権を実現させるという目的を強固なものにするようイラン政府に求めることをILOに要請する。
  - c. イラン政府に労働者の権利の尊重を説得するために、書簡の送付や戦略的なキャンペーン（運動）を含む可能な限りの圧力をかけるよう、ITF加盟組織に要請する。

### 提案者

- ・ スウェーデン運輸労組 (STF)

## 第3号緊急動議:アルゼンチンの組合の自由を守る動議

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 反労組の政府の弾圧により、アルゼンチンの労働組合運動が苦境に追いやられている状況に鑑み、この緊急動議を大会に提案する。
- 2 アルゼンチンの労働者の生活の質や購買力に影響を及ぼすインフレをもたらした政府の誤った決定の結果として、アルゼンチン国民が厳しい経済危機に直面していることに留意する。
- 3 アルゼンチン政府が反労組の弾圧や抑圧を加え、違法かつ非道徳的な方法で司法制度を利用し、組合指導者を弾圧していることに驚愕する。これらの「介入」は、軍事政権の時代が終わってからは、発生していなかった。これらの「介入」を通じて、政府は政治家の親族を組合の資源の責任者に任命し、彼らに法外な給与を支払い、組合規約や、ILO第87号条約および第98号条約に規定される組合の自由に関する全ての原則に違反している。組合指導者が違法に拘束されているだけでなく、これらの拘束が法的な手続きを経ずに何年も続くことがしばしばある。
- 4 最も活発な組合の一つである、ITF加盟トラック運転手労連とその指導者のヒューゴ・マヤノおよびパブロ・マヤノがアルゼンチン大統領に直接、攻撃されていることを懸念する。
- 5 アルゼンチンのある州裁判所は、明らかに政府の要請を受け、トラック運転手労連が労働者の賃下げ受け入れを拒否したことを理由に、パブロ・マヤノに逮捕状を出したと言われていることを深刻に懸念している。この逮捕状は、抑圧的なマウリシオ・マクリ政権の非道徳的な行為が継続していることを表している。
- 6 第44回ITF世界大会は以下を決議する。
  - 労働者階級の原則に背くことを拒否することで、組合の責任を遂行した無実の組合指導者を訴追するために司法制度を利用するなど結社の自由の侵害は、いかなる形においても非難する。
  - 組合に対する弾圧・脅迫のシステムを実施し、組合指導者を投獄し、労働者の資源を盗むアルゼンチン政府に対する非難を表明する。



- アルゼンチン政府の非道徳的かつ違法な行為を非難するとともに、法の支配を尊重し、組合に対する弾圧を止め、政治的な理由を他の理由でカモフラージュしながら拘束されている組合指導者の解放を要求することをITF加盟組織に求める。連帯表明の運動は、アルゼンチンの大使館、大統領、政治家に書簡を送り、国会での支持演説や欧州委員会(EC)の支持行動を要請することなどであるが、これらに限らない。
  - アルゼンチンの労働組合運動全般、特に、トラック運転手労連とその指導者のヒューゴ・マヤノとパブロ・マヤノに連帯を表明する。
- 提案者**
- トラック・自動車貨物輸送・ロジスティクス・サービス労働者全国連盟 (FNTCOTAC、アルゼンチン)**
- 賛同者**

- オーストラリア交通運輸労組(TWUA)

## 第4号緊急動議：競争法を通じた、団体交渉に対する攻撃

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 ス페인労働者委員会 (CCOO) 海事部門は、国家市場競争委員会 (CNMC) による労使交渉に対する攻撃を非難する。CNMCは、港湾サービス事業者間の自由競争の確保を理由に制裁手続きを取った。(ビゴ港の組合と企業に対し、2018年7月30日に最終的な制裁措置。)
- 2 CNMCが果たしている役割や、港湾サービスを提供する会社の変更の場合の労働者に対する強制執行の可能性は、新たな制裁を恐れるあまりに団体交渉の停止につながる。

- 3 彼らのために、シンガポールに集うITF加盟組織に以下を要請する。

- CNMCの行動を否定すること。
- 港湾労働者の正当な団体交渉権を支持すること。

**提案者**

- **FSC-CCOO(スペイン)**

**賛同者**

- FeSMC-UGT(スペイン)

# 第5号緊急動議：ノルウェー人船員の雇用に対する攻撃

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 ノルウェー政府が最近、旅客フェリーのノルウェー国際船籍 (NIS) を認める提案を行い、このことが、ノルウェー人船員の雇用喪失、不公正競争、ソーシャルダンピングという形で、ノルウェーのフェリー産業に悪影響を及ぼすだろうことを大きな懸念と共に留意する。
- 2 この提案は恐らく、バルト海や北海を含む北欧全体のフェリー部門にドミノ効果をもたらし、何千人もの船員やその家族に深刻な社会的影響を及ぼすことに留意する。
- 3 また、ノルウェー政府がこの提案の結果を深く分析していないことに留意する。
- 4 さらに、2018年10月10日にノルウェーの首相が国会で、船内のケータリング要員は船員ではないので、雇用を失う船員はいないと発言したが、これは、ノルウェー政府が批准する海上労働条約 (MLC) に違反することに留意する。

- 5 ノルウェー政府がこの提案を撤回し、代わりに、ノルウェーのフェリー産業の今後について、ノルウェーの海運部門の労使と意義ある対話を行うことを要請する。

## 提案者

- ノルウェー船員組合 (NSU)

## 賛同者：

- 3F (デンマーク)
- BLJ (デンマーク)
- デンマーク客室乗務員組合 (CUD)
- CO-Søfart (デンマーク)
- デンマーク金属労組
- ノルウェー機械工組合
- ERTO (フィンランド)

## 第2回決議委員会報告書

- 1 ITF第44回世界大会期間中の2018年10月15日に、2014年に結成された決議委員会の第2回会合が開催された。
- 2 この会議では、2018年7月26日に開催された決議委員会の報告書が想起された。同報告書には、次の大会までの期間における決議委員会の任務が、この大会の閉会をもって開始する旨の大会動議に関するITF方針（別紙1）を採択するよう大会に促す執行委員会の提案が掲載されていた。
- 3 第1回会議で議論された5つの緊急動議に加え、2018年10月14日午後5時の締め切りまでにさらに以下の3つの緊急動議（別紙2）が提出された点が確認された。

動議	表題	付託先
第6号緊急動議	イメン	全体会議
第7号緊急動議	トランスデブ	都市交通委員会
第8号緊急動議	業務上過失致死罪	全体会議

- 4 第7号緊急動議は都市交通委員会に、第6号緊急動議と第7号緊急動議は全体会議に付託することが決まった。第8号緊急動議は書き直しを行い、提案者とともに議長が最終版を作成する必要があることが合意された。
- 5 第2号緊急動議は提案者とともに書き直しを行ったので、修正版（別紙3）を添付する。
- 6 現時点でも、以下の7つの動議について提案者との協議が続いていると議長が報告した。

動議	表題	勧告
第4号動議	加盟組織の間の平等と団結	撤回を要請
第9号動議	船員の権利の保護 – 国際連帯の促進 – メキシコシティ・ポリシーの効果的実施の確保	公正慣行委員会（FPC）に付託
第14号動議	ITF世界大会CGT提案動議	撤回を要請
第17号動議	労働組合員の利益を代表する目的で、国内の労働組合の対話を通じた二国間関係を促進する	公正慣行委員会（FPC）に付託
第21号動議	カポタージュ	公正慣行委員会（FPC）に付託
第25号動議	コミュニケーション・ネットワークの強化	撤回を要請
第32号動議	内航海運支援のための措置	大会後の船員部会総会に付託



- 7 注:その後、第4号、9号、17号、21号、25号動議は提案者により撤回され、第32号動議は大会後に開かれる次回の船員部会総会に付託された。
- 8 第14号動議は修正された形で大会後の公正慣行委員会(FPC)に付託することを勧告することとした。また、同動議の提案者が動議について船員港湾合同総会にて発言する機会を設けることを提案した(別紙4)。
- 9 動議の提案者が修正案に合意した動議については、最終版を大会アプリを介して大会参加者に公開することを決めた(別紙5)。
- 10 議長は決議委員会の議長に再度立候補する意向がない旨を伝え、より若い世代がかじ取りをするべき時だと述べた。議長はこれまで決議委員会の活動を支援してくれたことに対する謝辞を述べた。

## 別紙1

## 大会動議に関する方針(案)

この方針は、大会動議に関して、全ての加盟組織に適用される規則・要件を示すものである。

## 動議について

- 動議とは、採択してもらうことを目指し、ITFの機関組織や機関会議に提出される政策提案のことである。大会で採択されると、決議として位置づけられる。大会で決議として採択されると、その決定は、将来の大会で覆されるまで有効となる。
- ITF規約によると、各定期大会の議題には動議が含まれることになっている。
- 大会決議は、他の戦略文書と共に、次回大会までのITFの活動を主導・形成する。

## 形式と言語

- 動議は規定の様式で提出されなければならない。動議が受け付けられたことを知らせる通知文が送付される。
- 組合の名前で提出された動議のみ、受け付けられる。(地域や部会の名前では提出できない。)
- 各動議は、1000字以内に収めなければならない。
- 各動議は、1つのテーマあるいは密接に関連する複数のテーマを扱うべきである。異なる2つのテーマを扱う場合は、2つの動議に分けて提出しなければならない。
- 各加盟組合は、動議の提出を、最大3件までにしなければならない。
- 加盟組合は複数の言語で動議を提出できるが、その解釈に関する全ての問題については、英語版が正式版とみなされる。

## 内容

- 全ての動議はITF規約に則ったものでなければならない。
- 動議は、ITFあるいはITFの構成機関(部会や地域等)にある種の行動(キャンペーン、ロビー活動、公に批難する等)を要請するものでなければなりません。
- 動議は既存の方針と重複するものであってはならない。
- 動議は、実務的かつ4年の期間で無理なく達成可能なものであるべきである。
- 国内の争議に関する動議は、主要戦略あるいは労働組合権問題を扱っている場合にのみ、提出されるべきである。
- 動議は、交通運輸産業に関する主要問題を扱ったものでなければならず、より限定的、専門的、産業別の問題は、産別部会等の場所で取り扱うことができる。幅広い方針や政治問題に関する動議は、決議委員会がITFの既存の方針に照らし合わせて検討する。
- 規約改正動議も他の動議と同様に扱われる。唯一の違いは、規約改正動議は、組合員数投票に附され、有効投票数の3分の2以上の賛成がなければ承認されないという点である。
- 大会テーマ文書の中身に関して、問題や要請がある場合は、修正案を提出することが求められる。

## 締切

- 大会動議の締切日は、ITF規約第4条(14)により、大会開始の4カ月前に設定されている。

(14) 定期大会の審議にかけられる動議は、遅くとも大会開始の4ヶ月前までに書記長に届くよう、提出されなければならない。定期大会の最終的議題は、遅くとも大会開始の2ヶ月前までに加盟組織に配布されなければならない。

- 修正動議の締切日は、規約第4条(15)により、大会開始の4週間前に設定されている。

(15) 定期大会の議題に入れられた動議に対する修正案は、遅くとも大会開始の4週間前までに書記長に届けられなければならない。

- 各定期大会の前に、執行委員会が動議の提出期限のスケジュールを確認する。決議委員会の作業を容易にするため、4か月前の締切日より早く提出することを奨励する。

## 修正動議

- 規定の締切日までに提出された修正動議は、原案の提案者に受け入れられれば、決議委員会がまとめることとなる。
- 大会、あるいは動議が付託された各種総会の場合での修正は、原案の提案者の合意を得て、決議委員会のみが行うことができる。

## 緊急動議:

- 規約第4条(14)は、「緊急動議を定期大会に提出することができるが決議委員会が、真に緊急性があり、前述の規定による提出が不可能であ

ったと判断した場合に限り、審議される。」と定める。

- 緊急動議は、大会の初日までに、大会使用言語のいずれかで提出されなければならない。

## 動議に関する決定

- 決議委員会は、付託事項に基づき、本方針および本方針に含まれる規則を適用する権限を執行委員会から付与される。
- 問題や要請が大会テーマ文書の中身に関する場合は、決議委員会が、その動議の代わりに、大会テーマ文書を修正することを提案することがあります。
- 複数の組合が類似のテーマで動議を提出することがあるかもしれない。その場合は、当該動議の合体について協議するために、決議委員会が提出組合に連絡を取る。
- 決議委員会は、提出された動議の修正や調整について協議するために、提出組合に連絡を取ることがある。修正の相談は、当該動議を基準に則ったものとするために、中身に関するものである場合もあれば、文言を明確、明瞭にし、他の大会言語に翻訳しやすくするためのものである場合もある。
- 動議は、提出組合の合意を得て、執行委員会あるいはその他のITF機関(部会委員会等)に「付託」あるいは「照会」することができる。これは、原案に議論の余地があったり、合意形成ができなかったりする場合に、その動議に検討の機会を与えるメカニズムとして機能する。このようにして、「付

託]あるいは「照会」された動議は、一旦採択されると、大会決議として位置づけられることはない。

- 動議が基準を満たしていなかったり、動議の提出組合が修正や合体に応じない場合は、当該動議を大会に提案しないことを決議委員会が執行委員会に勧告することがある。

### 異議申立て

- 決議委員会の決定に対して、(1)ITF会長あるいは(会長が指名する)副会長1名と、(2)議事規則委員2名以上で構成される異議申立委員会に異議を申し立てることができる。
- 異議申立委員会のメンバーは、決議委員あるいは異議申立て組合の代表者であってはならない。
- 決議委員会の決定に対する異議申立てを希望する組合は、大会開始の10日前までに書記長にその旨、通知しなければならない。ただし、緊急動議に関する決定に対する異議については、この限りでない。
- 異議申立てがなされた場合は、大会初日に異議申立委員会が開かれる。
- 異議申立委員会の決定が最終決定となる。

### 採決

- 動議は、決議委員会の決定に基づき、全体会議、部会総会、女性総会、あるいは青年総会で採決される。
- 動議は、採決の前に、正式に提案され、セコンド(支持)され、議論されなければならない。議長が賛成、反対、棄権を問う。
- 動議が決議として採択されるためには、単純過半数の賛成が必要である。(ただし、規約改正動議は組合員数投票に附され、有効投票数の3分の2以上の賛成がなければ承認されない)

### 加盟組合のための指針

- 動議に関する指針が加盟組合に送付される。指針は、合意された基準に則ったものとなる。指針は、動議の提出案内と共に加盟組合に送付される。また、大会のウェブサイト等に掲載される。

### 決議委員会

決議委員会の役割は、大会動議に関する方針を遵守させることである。決議委員会の付託事項は、同方針と同等の位置づけをもつ。

## 別紙2

# 追加の緊急動議—第6号緊急動議イエメン

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 紛争によって、イエメンの国民と労働者が苦しんでいることに留意し、
- 2 イエメンの空港や港を管理、封鎖する連合軍の行動に留意し、
- 3 食料や医薬品を含む必要最低限の人道支援を保障するためにできる限りのことをしようとする海事・交通運輸労働者の努力に留意し、
- 4 女性や子供含む何千人ものイエメン国民が命を落としたり、負傷したりしたことに留意し、
- 5 我々、イエメンのITF加盟組合は、
  - イエメンの交通運輸労組に対するITFの支援や、
  - 国際社会による必要な食料の提供や人道支援に感謝し、

6 以下を要請する。

- 人道支援物資の輸送のために空港や港湾を開けておくよう、ITF世界大会が国際社会や連合軍に圧力をかけること。
- 全イエメン国民の移動の自由を保障するために、全ての港湾と空港を開けておくこと。
- ITFがイエメンの加盟組合への支援を継続すること。

### 提案者

- チュニジア交通運輸労連(FNT)



## 第7号緊急動議：トランスデブ

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 多国籍企業のトランスデブの最近の行動を非難する。トランスデブは現在、不当な賃金・労働条件を西オーストラリア州のオーストラリア交通運輸労組 (TWU) のバス運転手に押し付けようとしている。
- 2 公共交通ネットワークにおけるバス運転手は、我々のコミュニティの中で重要かつ不可欠な役割を担っていることに留意する。バス運転手は、毎日、社会の中で最も弱い立場におかれている多くの人々の安全を担っている。よって、彼らに対する攻撃は、全ての乗客および道路利用者の安全にとって重大なリスクとなる。
- 3 ITF世界大会は、トランスデブが押し付けようとしている低賃金、疲労をもたらす労働条件、不安定な非正規労働、20時間契約に反対し、直接行動を起こしている西オーストラリア州の何百人ものバス運転手を支援する。勤勉なバス運転手の首を絞めるような、西オーストラリア州におけるトランスデブの行動の背景には、ビクトリア州およびニューサウスウェールズ州における同様の争議がある。
- 4 トランスデブの評判や行動は国境を越える。それらは大きく非難されなければならない。トランスデブは今年、100億ドルを超える収入を記録している。しかしながら、RATP (パリ交通公団) デブ/トランスデブは労働者の権利を抑圧し、安全を切り下げようとしている。韓国 (KPTU) やニュージーランド (RMTUNZ) における最近の闘争は、組合の団結がいかに重要かを示している。ITF世界大会は、ライン9 (ソウル地下鉄9号線) の公営化を求めるKPTUの運動に連帯を表明するとともに、RATPデブ/トランスデブの訴訟の脅しを非難する。
- 5 ITF世界大会は、交通運輸産業に基準引き下げ競争を起こす企業とは契約しないよう、経済的使用者 (公共交通の場合は政府であることが多い) に圧力をかけなければならない。
- 6 ITF世界大会は、トランスデブと闘う世界の組合を支援するとともに、西オーストラリア州のTWU組合員の闘いに敬意を表する。

### 提案者

- ・ オーストラリア交通運輸労組 (TWUA)

## 第8号緊急動議：業務上過失致死罪

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 職場の安全手順・対策が完全に欠如しているために、世界の労働者が命を落としている。
- 2 大会動議の締切日以降、ニュージーランドのオークランドで1名、ギズボーンで1名の港湾労働者が命を落とした。
- 3 この問題は全部門に共通する問題である。路面運輸部門では、オーストラリアのトラック運転手の死亡事故が増えており、最近では、2018年9月13日に2人のトラック運転手が死亡した。
- 4 我々は、全ての労働者は、職場から家族の元に無事に帰宅する権利があると信じる。

5 本大会は、労働者が職場から愛する者の元に無事に帰宅する権利を求めることを全面的に支持する。

6 意図的に安全をないがしろにした使用者やサプライチェーンの有罪が確定した場合、高額の罰金刑か実刑を規定する法律を、可能な限り全ての国で制定させる世界的な戦略の構築を支持するよう、本大会に要請する。

### 提案者

- オーストラリア海事組合(MUA)

### 賛同者

- ニュージーランド海事組合(MUNZ)
- オーストラリア交通運輸労組(TWUA)

## 別紙3

# 修正緊急動議—第2号緊急動議(修正)

## イランのトラック運転手のストに関する死刑判決

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 以下に留意する。
  - a. イランのトラック運転手の雇用保障が脅かされ、35万人ものトラック運転手が数ヶ月間、賃金未払いや極度のインフレに苦しんでいる。
  - b. 2018年5月、25州、160都市の自主的に団結したトラック運転手が、低賃金、諸経費の増加、通行料やその他の手数料の値上げをめぐり、ストを実施した。
  - c. 2018年9月22日以降、自主的に団結したトラック運転手約50万人が、苦境を訴えるために、31州、290都市で行動を起こしている。トラック運転手らは、政府に対して、彼らの苦境に対処するとともに、彼らの生活に影響を与える決定に労働者が意見を言うことができるようにすることを要請している。
  - d. ストが開始されてから16日間に、様々な州のトラック運転手200人以上が、ストに参加したために拘束されたと報告されている。
- 2 さらに以下に留意する。
  - a. グローバル・ユニオンは、イランにおける労働権の侵害について、ILOを通じて、一貫して苦情を申し立ててきた。イランは、ILOの創設メンバーであり、理事国でもある。昨年9月、グローバル・ユニオンは、「早急にイラン政府に介入し、ILO加盟国の義務として上述の人権・労働組合権侵害を是正することをイラン政府に要請すること」をILOに再度促した。
  - b. ITFは、この問題に関するイラン政府の公式な回答を待っている。
  - 3 ITFは、カズヴィーン州検察がストに参加しただけで逮捕された者のうち17人に死刑を求刑したというイラン国営メディアの10月8日付の報道を可能な限り強い表現で非難する。
  - 4 以下を要請する。
    - a. 投獄されているトラック運転手を解放するとともに、労働者に恐怖心を植えつける作戦を直ちに止め、代わりに、トラック運転手の要求を聞くとともに、彼らが家族を養うための最終手段として直接行動を取るに至り、経済的手段が必要であるという彼らの訴えを聞くよう、イラン政府に要請する。
    - b. イラン政府に直ちに介入し、報道されている刑を中止し、無実の労働者を解放し、労働者の指導者と対話を行い、独立的な労働組合の労働組合権を実現させるという目的を強固なものにするようイラン政府に求めることをILOに要請する。
    - c. イラン政府に労働者の権利の尊重を説得するために、書簡の送付や戦略的なキャンペーン（運動）を含む可能な限りの圧力をかけるよう、ITF加盟組織に要請する。

### 提案者

- ・ スウェーデン運輸労組 (STF)

## 別紙4

# 第14号動議(修正)ITF世界大会 CGT提案動議

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 海事労働者および船舶職員を組織するCGTは、フランスのITF加盟組織が直面する規制緩和の問題を本大会に訴える。現状を是正し、外国人船員の権利を最大限に保護するために、CGTは以下に対する大会の支持を求める。
- 2 我々は、船主と組合代表者がより良い協約を締結することをITF執行部が阻止しないことを求める。
- 3 我々は、ITFインスペクターが査察の48時間前までに船主に事前通告する義務は、船主が船員に対する規制緩和の事例を隠ぺいする最大の機会を与えるため、廃止することを要求する。

国際交渉フォーラム(IBF)の覚書  
14En0605lbf2014MoaFinal.pdf

「ITFの船舶査察は、特定の船員の苦情に対応するためにITFインスペクターの訪船が要請された場合を除き、可能な限り、査察の少なくとも48時間前までに、IBF協約締結船に対して、事前通告が行われるべきである」

- 4 我々は、CGTのITFインスペクターが協約を遵守しない船舶に対して実施する査察を不当な理由で阻止されることなく、適切に仕事を完了できるようにすることを要求する。残念ながら、我々はこのような状況にしばしば直面している。

### 提案者

- UGICT-CGT商船職員連盟(FOMM UGICT CGT)(フランス)
- CGT海事組合連盟(FNSM-CGT)(フランス)

## 別紙5

# 第7号動議(修正合意後の最終版): 船員のためのビザに関するグローバルな方針の促進

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 船員がディーセントな労働条件を与えられる権利や、船員の権利に対する包括的かつ世界的な保護について規定する2006年の海上労働条約を想起し、
- 2 船員には、2003年の船員の身分証明書条約(改正)(185号)  その他、船員が上陸休暇や乗り換えのために寄港した国への入国を拒否されるという喫緊の課題の解決を支援する、近代的な保安機能を備えた船員の身分証明書の導入を規定する他のILO条約が適用されることに留意し、
- 3 船員は、就労のため、あるいは、契約満了後の帰国や上陸休暇の取得のために、迅速かつ柔軟なビザの申請・発行手続きを必要とする、特殊な旅行者であることを認識し、
- 4 数年前から、労働供給国の船員が、シェンゲン協定加盟国を含む様々な国に入国、再入国、通過するためのビザを取得する上で、手続き上の問題や規則の解釈の相違により、実務上、深刻な困難に直面しており、船員や雇用主にとって、事務および運行面での深刻な問題となっていることを懸念と共に留意し、
- 5 現状を遺憾かつ不当であると判断し、
- 6 世界各地の港湾で上下船する船員のためのビザに関する規定を促進させるためのあらゆる努力を促す。2003年の船員の身分証明書条約(改正)(185号)の実施に向け、各国の行政と関係する国際組織に対してロビイングを行うことを全ての関係加盟組合に要請する。こうすることでビザ不要の選択肢を生み出し、船員にとって国際的に認められている身分証明書(SID)ができることになろう。世界各地の港を通過するためには、SIDと有効なクルーリストで足りると判断する。

## 提案者

- ロシア船員組合(SUR)

## 賛同者

- ノルウェー船員組合(NSU)
- クロアチア船員組合(SUC)
- ギリシャ船員連盟(PNO)
- リトアニア船員組合(LSU)
- インド船員組合(NUSI)

# 第12号動議: 開発途上国の内陸水運労働者のための国際および地域の労働・福利・安全基準の向上

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 2010年および2014年のITF世界大会で採択された、世界の内陸水運労働者のための国際労働基準の必要性に関する決議を想起し、
- 2 内陸水運部門は、アジアだけでも29万キロを超える水路で、毎年、10億トンを超える貨物と5億6千万人を超える旅客が運送されており、アジアの内陸水運フリートは、船舶45万隻以上、総輸送能力4千万トン以上を有し、また、全労働者数は不明だが、例えば、バングラデシュには、6千5百キロを超える水路に少なくとも460万人が就労していることに留意し、
- 3 貨物および旅客の両面において、持続可能な輸送モードとしての国際水運の重要性を認識し、
- 4 海運と内陸水運は密接に関連しており、両部門は輸送サプライチェーンにおいても連携していることに留意し、
- 5 途上国の内陸水運部門の死亡事故件数は、海運部門の死亡事故件数をはるかに上回り、河川における死亡事故を削減するために緊急対策が取られなければならないことに留意し、
- 6 内陸水運の商業的未来のためには、資格のある人物による水路の継続的保守が不可欠であることに留意し、
- 7 途上国の内陸水運船舶乗組員の適切な労働・福利・安全基準が欠如していることを考慮し、
- 8 途上国、特にアジアおよび南アジアのITF内陸運輸部会加盟組織が実施する、乗組員のための適切な福利施設の整備やディーセントな労働条件の確保のための活動をさらに支援するよう、ITFに要請し、
- 9 以下に関して、国際労働機関 (ILO)、国際海事機関 (IMO)、その他の機関に圧力をかけるよう、ITF の執行委員会や内陸水運部会に要請し、
  - 内陸水運労働者のための国際基準の設置
  - 既存の基準の改正または促進
- 10 これらの基準は、最低基準として、以下を扱うべきである。
  - 内陸水運労働者の社会保障および最低賃金
  - 安全および保安
  - 配乗定員および労働時間
  - 訓練および資格

## 提案者

- **バングラデシュ内陸水運労働者連盟 (BNSF)**

# 第13号動議: デルタ航空の組織化に対するITFの全面的支援の再確認

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 デルタ航空は世界最大規模の航空会社であることを認識し、
- 2 デルタ航空は世界最大の反労組の航空会社であることを認識し、
- 3 デルタ航空の全労働者は、組合に加入する基本的人権を持っていることを認識し、
- 4 デルタ航空の労働者は毎日、組合加入を阻止され、世界の全ての航空労働者と同様に、苦しんでいることを認識し、
- 5 デルタ航空労働者が組合を結成する権利を享受するためのカギは、ITFが調整するグローバル・キャンペーンであることを認識し、
- 6 国際機械工・航空宇宙産業労働者組合 (IAM) がデルタ航空の客室乗務員や、グランドスタッフの組織化のためのキャンペーン (運動) を継続していることに留意し、

- 7 デルタ航空客室乗務員の組織化に特化したIAMのキャンペーンが非常に重要な段階にあり、アメリカ労働総同盟産別会議 (AFL-CIO) がIAMにこのキャンペーンの専属的管轄権を与えたことに留意し、
- 8 ITFおよびITF加盟組織がIAMのデルタ航空組織化の取り組みを全面的に支援することを決議する。
- 9 ITFおよびITF加盟組織が、デルタ航空の未組織労働者の組合加入を目指すIAMを支援するための取り組みを調整することを決議する。
- 10 ITF書記長が、デルタ航空労働者に正義と尊厳をもたらすために、引き続きIAMと密接に協力することを決議する。

## 提案者

- **国際機械工・航空宇宙産業労働者組合 (IAM) (米国)**

## 第24号動議: タグボートとトウボート

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

- 1 トウボートとタグボートで働く労働者を組織するITF加盟組合は、組合の機構や規約により、船員、内陸水運、港湾の3つの異なる部会に人員を登録していることに留意し、
- 2 世界進出している企業で雇用されるタグボートとトウボートの労働者の労働条件に関して、攻撃が増えていることを懸念し、
- 3 従来の「労使」関係を変更し、通常であれば乗組員に適用される労働条件を侵食し、それによってディーセントワークと安全な雇用という基本原則を蝕む「ビジネスパートナー」モデルへと雇用モデルを移行しようとする圧力が、いくつかのグローバル・タグボート・トウボート運航会社から続いていることを認識し、

4 乗組員の権利を守り、改善するため、タグボート・トウボート 部門のためのグローバル組織化戦略を策定するようITFに要請し、

5 FPCにより設置されたタスクフォースに沿って「タグボート・トウボート・タスクフォース」を設置することで、タグボート・トウボート業界の組織化戦略を調整し、雇用モデルや新技術の導入などの業界の問題に対応するよう公正慣行委員会 (FPC)に促す。

### 提案者

- ・ オーストラリア海事組合(MUA)



# 第31号動議: セーフレート(安全報酬)と顧客責任を追及するグローバル闘争の強化

2018年10月14日～20日にシンガポールで開催された第44回ITF世界大会は、

1 世界中で、商用車の運転手は長時間労働を強いられ、一方で、低賃金と、「経済的使用者」が押し付ける経費削減策ゆえに、疲労、速度の出しすぎ、貨物の過積載などの危険な運転をせざるを得ない。「経済的使用者」とはすなわち、サプライチェーンの頂点に君臨する顧客企業や政府、大手輸送業者のことだ。こうした状況が商業運転手と全ての道路利用者を大変なリスクに晒しているにも関わらず、複雑な重層下請け構造と、サプライチェーン全体を通じて説明責任を明確にする規制が欠如している結果、経済的使用者は責任を追及されずにいる。

2 これに対抗し、学者、弁護士、政治家、労働組合がこの20年間、連携してきた結果、顧客企業と輸送業者にサプライチェーン全体を通じ、公正なレート(運賃)を支払い、ディーセントな(人間らしい)労働条件を担保することを強要し、そうすることで、危険運転せざるを得ないといったプレッシャーからトラック運転手を解放し、事故を大幅に低減させるモデルが考案されてきた。このモデルは、セーフレート(安全報酬)として知られるが、道路の安全を向上させ、グローバル・サプライチェーンにおいて、適正労働(ディーセントワーク)を保障する上での最良慣行として、国際労働機関(ILO)から認識され、運輸業界や使用者、各国政府、労働組合の代表者からも支持されている。

3 さらに、セーフレート・モデルは、オーストラリア、韓国、カナダなどの国の法律に部分的に導入されており、顧客企業と国内レベルおよび国際レベルで締結された合意書にも盛り込まれている。より最近では、2018年に、オーストラリア運輸労組(TWU)とITFが輸送大手のトール社とグローバル協定を締結した。また、TWUとオーストラリアの小売大手、コール社が全国に適用される一連のサプライチェーン原則に調印した。さらに、韓国公共運輸労組のトラック貨物連帯部(KPTU-TruckSol)は、限定的だがセーフレートシステムを韓国の国会で承認させることに成功した。欧州では、ITF、欧州運輸労連(ETF)および両組織の加盟組織が組織化と、大手小売り企業のサプライチェーンにおける説明責任を追及する運動を拡大し、国境を越えて運転するトラック運転手にも、一定の国で運転するなら、その国の労働条件を適用することを求めている。米国では、チームスター労組がロサンゼルス港で画期的な勝利を収め、運転手の権利を獲得する闘いを継続している。アルゼンチンでは、政府に輸送業界の社会正義を促進させる闘いを労働組合が率いた。

4 こうした進歩は、セーフレートを制限のない形で国内法に盛り込み、国際基準のモデルを構築する闘いを強化する上での基盤となる。こうした基盤の上に積み上げる形で、向こう2～3年間に、TWUとKPTU-TruckSolは、オーストラリアと韓国で、ストライキや抗議行動を激化させる計画を立てている。

- 5 最近の成功例と今後国内で計画される闘争によってもたらされる機会を認識し、ITFと加盟組合は、次の世界大会までの期間において、以下の行動を含む、グローバル・セーフレート・キャンペーンを展開することを約束する：
- 次の世界大会までの期間にアジア太平洋地域でセーフレート・シンポジウムを開催する。
  - 大使館前での連帯行動や、大規模なストライキや抗議行動に連帯のための代表団を派遣することを通じ、オーストリア、韓国、その他の国において展開される、無制限のセーフレート法制を勝ち取り、顧客企業の責任を追及するための闘争を支援する。
  - 越境運転手の国境を越えた組織化と、「現地の仕事には現地の労働条件を求める」取り組み、欧州の主な顧客企業に圧力をかける取り組みを継続的に支援する。
  - 政府の支出や契約など、経済的使用者として、各国政府が影響力をもつか管理しているサプライチェーンに圧力をかけるよう努力する。
- 欧州、北米、アフリカの全域で抗議行動と実力行使を支援する。
  - 主要な三者会議に関係加盟組合が参加をするなど、路面輸送の安全についてILOで行われる議論や、グローバル・サプライチェーンにおけるディーセントワークに関する会議で、労働組合が影響力をもてるよう取り組む。
  - セーフレートを支持する運輸業界の使用者や他のステークホルダーと継続的に関係を構築し、協力することを通じ、セーフレートシステムの導入と実施に向けて努力する。
  - これらの活動を実施するにあたり、適切な人材と資金を充当する。

#### 提案者

- **韓国公共サービス交通運輸労組 (KPTU)**



## 民間航空部会総会報告書

民間航空総会が2018年10月15日にシンガポールで開催された。

### 議題1：議題の採択

提案通り、議題が採択された。

### 議題2：報告者、投票検査人、投票集計人の選出

モハメッド・ダウダ・サフィヤヌ（ナイジェリア）が報告者に選出された。

キャロル・ウン（香港）とジャス・ジル（英国）が投票検査人に選出された。

ロバート・ヘングスター（Ver.di、ドイツ）とエンリク・カルモナ（スペイン）が投票集計人に選出された。

### 議題3：大会テーマ文書

書記長が大会テーマ文書を紹介し、民間航空部会の優先活動について説明した。活動計画の基となった背景調査の詳細な報告も行われた。

大会テーマ文書が採択された。

## 議題4: 活動計画

民間航空部長が2019年～2023年の民間航空部会の優先活動について説明した。これを受け、多くの発言がなされた。提起された主な問題は次の通り。

- ITFとITF加盟組織は、アジア太平洋地域の地理的シフトと航空作業の成長に伴い、オルグや組合の能力強化に投資をする必要がある。
- 特に、ローコストキャリアの急成長、未組織分野、ローコストキャリアではないが反労組の航空会社への対応が課題である。
- アフリカの小地域機関にロビーイングをする必要がある。
- 客室の空気の質に関するITFのロビー活動の結果、先週、米議会で法案が可決し、汚染に関する調査が可能となった。

2019年～2023年の民間航空部会の優先事項が承認された。

## 議題5: 動議

決議委員会から付託された以下の動議について議論した。

第13号動議:デルタ航空の組織化に対するITFの全面的支援が再確認され、

本動議が全会一致で採択された。(第1号修正動議を含む)

## 議題6: 選挙

以下の役員が選出された。

**議長:** Joseph Tiberi (IAMAW、米国)

**共同副議長:** Oliver Richardson (ユナイテッド、英国)

**共同副議長:** Edgardo Llano (APA、アルゼンチン)

**女性代表:** Dorsaf Sayhi (FNT、チュニジア)

**青年代表:** Shauna McCormack (フォールサ、アイルランド)

### 一般委員

Katharina Wesenick (ver.di、ドイツ)

Sara Nelson (AFA、米国)

Moustapha Abani (SAMAC、ニジェール)

Francisco Luiz Xavier de Lemos (SINA、ブラジル)

Anneli Nyberg (Parat、ノルウェー)

Luigi Mansi (FIT-CISL、イタリア)

Steve Purvinas (ALAEA、オーストラリア)

各地域の加盟組織が各地域の役員を以下の通り確認した。

**アフリカ地域**議長：Mohammed Daufa Safiyanu (NUATE、ナイジェリア)

**アラブ地域**議長：Chahira Mostafai (FNNT、アルジェリア)

**アジア太平洋地域**議長：Jacqueline Tuwanakotta (IKAGI、インドネシア)

#### 欧州地域 (ETF民間航空部会)

議長：Oliver Richardson (UNITE、英国)

**中南米・カリブ海地域**議長：Luiz Sergio de Almeida Dias (FENTAC、ブラジル)

**北米地域**議長：Owen Herrnstadt (IAMAW、米国)

民間航空部会委員会の構成が別紙1の通り承認された。

## 議題7: その他

### 緊急声明：香港の客室乗務員について

英国航空香港ベースの突然の閉鎖に伴う客室乗務員85人の突然の解雇に関し、これらの客室乗務員のための連帯基金の一部をITFに寄付することに合意する声明が全会一致で採択された。民間航空部会は今後、同様の困難に直面したアジア太平洋地域の客室乗務員を支援するためにこれを活用することとなった。

**行動**：民間航空部会がキャロル・ウン (BAHKCCA、香港) と連絡を取りながら、寄付に関する調整を行う。

### 声明：日本のエミレーツ争議

エミレーツ航空の日本の予約係員3名の不当解雇をめぐる争議に関する声明が全会一致で採択された。3名は、裁判で判決が出た後、復職し、給料も支払われているものの、組合のオルグ活動の結果、働くことを拒否されている。

**行動**：民間航空部会がエミレーツ航空に抗議文を送る。

### 声明：パナマの争議

パナマの空港事業者とパナマ政府によるスト権制限に関する声明が全会一致で採択された。

**行動**：民間航空部会が連帯のメッセージを送付する。

### 声明：マリオットグループのホテル労働者のスト (米国)

全米のマリオットホテルグループの労働者が現在実施しているストに関する声明が全会一致で採択された。スト中は、AFA-CWAの客室乗務員は他のホテルを使用することができている。

**行動**：ブルックス・ピターマン (ユナイテッド・ヒア、米国) がITF客室乗務員員会と連絡を取りながら、スト中は可能な限り、客室乗務員が米国のマリオットホテルグループを利用しないようにする等の連帯行動について調整する。

退任するオリバー・リチャードソン議長に謝意が表明された。

# 民間航空部会委員会

2018年10月15日現在

役員	
議長	Joseph Tiberi (IAMAW、米国)
第一副議長	Oliver Richardson (UNITE、英国)
第二副議長	Edgardo Aníbal Llano (APA、アルゼンチン)
女性代表	Dorsaf Sayhi (FNT、チュニジア)
青年代表	Shauna McCormack (フォルサ、アイルランド)
アフリカ	
議長	Mohammed Daufa Safiyanu (NUATE、ナイジェリア)
アラブ	
議長	Chahira Mostafai (FNNT、アルジェリア)
アジア太平洋地域	
議長	Jacqueline Tuwanakotta (IKAGI、インドネシア)
欧州	
議長	Oliver Richardson (UNITE、英国)
中南米・カリブ海	
議長	Luiz Sergio de Almeida Dias (FENTAC、ブラジル)
北米	
議長	Owen Herrnstadt (IAMAW、米国)
一般委員	
一般委員	Sara Nelson (AFA-CWA、米国)
一般委員	Katharina Wesenick (VER.DI、ドイツ)
一般委員	Moustapha Abani (SAMAC、ニジェール)
一般委員	Francisco Luiz Xavier de Lemos (SINA、ブラジル)
一般委員	Anneli Nyberg (Parat、ノルウェー)
一般委員	Luigi Mansi (FIT-CISL、イタリア)
一般委員	Steve Purvinas (ALAEA、オーストラリア)

以上に加え、民間航空部会の小委員会（グランドスタッフ、客室乗務員、航空管制）の議長も民間航空部会委員会に参加する。



## 港湾部会総会報告書

港湾部会総会が2018年10月16日に開催された。

### 議題1: 議題の採択

提案通り、議題が採択された。

### 報告者、投票検査人、投票集計人の選出

ダン・カスク (カナダ) が報告者に選出された。

アダム・タイルスキ (ポーランド) とビクトリア・ヘルプス (オーストラリア) が投票検査人に選出された。

ダニエル・オウス・コランテング (ガーナ) とマヨ・ウルグアイ オフェルナンデス (ブラジル) が投票集計人に選出された。

### 議題3: 大会テーマ文書

書記長が大会テーマ文書を紹介し、港湾部会の優先活動について説明した。議題4の活動計画と合わせて、大会テーマ文書に関する議論が行われた。

大会テーマ文書が採択された。

### 議題4: 活動計画

トルトラノが「大会テーマ文書」に記載されている港湾部会の優先活動について説明した。海事コーディネーターがICTSIキャンペーンの最新状況を次の通り報告した。

- ICTSIグローバル・ネットワーク・ターミナルは、労働者の権利侵害の点で、最悪の実績を持つ。
- もともとのキャンペーン計画では、マダガスカル、パキスタン、パプアニューギニア、インドネシア、オーストラリアが重視されていた。
- マダガスカルは、当該労組内部の法律問題のために一時的に停止している。
- パプアニューギニアとパキスタンでは、引き続き団体協約交渉を支援していく。
- 今後は、ITFインスペクターの支援を要請しながら、中南米諸国やイラクをターゲットにすることを検討している。
- 次回の執行委員会で、異議申し立てがなされているインドネシアの組合のITF新規加盟についての対応が協議されるだろう。

ICTSIキャンペーンの成果として、カラチのICTSIの組織化に成功した3つのITF新規加盟組合を歓迎した。

メルボルン港のビクトリア・インターナショナル・コンテナターミナル (VICT) を便宜港湾 (POC) に指定することを求めるオーストラリア海事組合 (MUA) の意見と、オーストラリア海事職員組合 (AMOU) の反論に留意した。また、2018年5月の要請を受けて実施されたITFの調査結果に関するITF内部監査人の報告に留意した。

本件に関する議論を経て、同ターミナルをPOCに指定するかどうかをめぐり、組合員数投票が実施された。秘密投票で実施された組合員数投票の結果は次の通り。

賛成：75組合 213,067票 (97.87%) 反対：3組合 2,040票 (0.94%) 棄権：3組合 2,594票 (1.19%) 無効票：3票

組合員数投票の結果、メルボルン港のビクトリア・インターナショナル・コンテナターミナル (VICT) は便宜港湾 (POC) に指定された。本件は10月17日の船員港湾合同総会に照会されることとなった。

「大会テーマ文書」、特に、自動化や、自動化が港湾労働者に及ぼす影響について長時間議論した。多くの代議員が「組合つぶし」や「規制緩和」の問題を提起し、自動化はもはや「組合つぶし」や「規制緩和」につながらないとの意見が出された。「大会テーマ文書」に盛り込ませるとともに、ITFの今後の戦略に反映させることとなった。

2019年～2023年の港湾部会の優先事項が承認された。

## 議題5：動議

### 第16号動議：地中海－便宜の海

時間が限られていたため、また、本動議は船員港湾合同総会にも提案されていたため、17日の船員港湾合同総会で議論することが合意された。



## 議題6: 選挙

以下の役員が選出された。

**議長** : Paddy Crumlin (MUA、オーストラリア)

**第一副議長** : Torben Seebold (ver.di、ドイツ)

**第二副議長** : Willy Adams (ILWU、米国)

**女性代表** : Monique Verbeeck (BTB、ベルギー)

**共同青年代表** : Nick Loridan (BTB、ベルギー)

**共同青年代表** : Viri Gomez (ILWU、カナダ)

港湾部会委員会の一般委員16人が地域ごとに選出され、港湾部会委員会の構成が別紙1の通り承認された。

## 議題7: その他

ITF書記長が、世界の交通運輸労働者の正義と利益の追求、労働組合の自由と権利の擁護に努めた以下の人物に金バッジを贈呈した。

- アン・アンダーソン (ガイアナ事務・商業労働者組合 (CCWU)) (シャーウッド・クラークが代わりに受け取った)
- ロバート・マッケラス (ILWU、米国)

# 港湾部会委員会

2018年10月16日現在

## 役員

議長	Paddy Crumlin (MUA、オーストラリア)
第一副議長	Torben Seebold (ver.di、ドイツ)
第二副議長	Willie Adams (ILWU、米国)
女性代表	Monique Verbeeck (BTB、ベルギー)
青年代表	Viri Gómez (ILWU、カナダ)
青年代表	Nick Loridan (BTB、ベルギー)

## アフリカ

議長	Jackie Doe (DOWUL、リベリア)
一般委員	Simon Sang (DWU、ケニア)
一般委員	Phillipe Djoula (USYTZPOG、ガボン)

## アラブ

議長	Mahmoud Mansour Edbeis (GUPW、ヨルダン)
一般委員	Salman Al Saad (GFBTU、バーレーン)

## アジア太平洋

議長	Sang Sik Kim (KFPTWU、韓国)
一般委員	Arasu Duraisamy (SPWU、シンガポール)
一般委員	Joe Fleetwood (MUNZ、ニュージーランド)
一般委員	糸谷欽一郎 (全国港湾、日本)
一般委員	P M Mohammed Haneef (CPSA、インド)

## 欧州 (ETF海事部会)

議長	Terje Fenn-Samuelsen (NTF、ノルウェー)
一般委員	Marc Loridan (BTB、ベルギー)
一般委員	Steve Biggs (UNITE、英国)
一般委員	Aleksejs Holodnuks (UTAF、ラトビア)
一般委員	Niek Stam (FNV、オランダ)
一般委員	José Manuel Perez-Vega (SMC-UGT、スペイン)

## 中南米・カリブ海

議長	Mayo Uruguai Fernandes (CONTMAF、ブラジル)
一般委員	ディオヌヌ・ハワード (BWU、バルバドス)
一般委員	Roberto Coria (SGGM、アルゼンチン)
一般委員	Maynor Sijes Barillas (STEPW、Guatemala)

## 北米

議長	John Baker (ILA、米国)
一般委員	Rob Ashton (ILWU、カナダ)



## 水産部会総会報告書

水産部会総会が2018年10月16日に開催された。

### 議題1：議題の採択

提案通り、議題が採択された。

### 議題2：報告者、投票検査人、投票集計人の選出

ジョージ・アレジャンドロ・ヴァーガス（アルゼンチン）が報告者に選出された。

近英男（日本）とカティシ・マセモーラ（南アフリカ）が投票検査人に選出された。

ヴァレリー・ラトロン（フランス）とジェロニモ・ダヴィッド・モリーナ（アルゼンチン）が投票集計人に選出された。

### 議題3：大会テーマ文書

書記長が大会テーマ文書を紹介し、水産部会の優先活動について説明した。このプレゼンを受け、会場から多くの発言があったが、その概要は以下の通りだった。

- アルゼンチンでは、自動化について詳細な検討が必要である。漁船の半数が老朽化しているため、アルゼンチンでは自動化を想定できていなかった。
- 持続可能な漁業政策が存在しなければ、自動化によって漁船刷新の資源ゼロ、労働者ゼロに結び付き得る。
- 技術革新面ではアジアに主な注目が集まるが、特に中南米など他の地域にも注目する必要がある。
- 自動化は国によって異なる影響を及ぼす。
- 水産部会のITF組織人員は2014年以降、微増しており、進歩は見られるが、まだまだやるべき事は多い。
- ILO188号条約の批准国は12か国になった。

大会テーマ文書が採択された。

## 議題4: 活動計画

ジョン・ハートウがソウ・ボウ・フトゥーとともにタイのプロジェクトに関する近況を報告を行い、アジア全域で見られるアジア人移民労働者の搾取や、そこで起きている問題、フィッシャーズ・ライツ・ネットワーク（漁船員の権利ネットワーク）の活動について紹介した。

ケン・フレミングがアイルランドの移民労働者の条項について近況を報告した。水産業に関する裁判が司法省において11月下旬に行われる予定であった。

議論の中で以下の点が提起された。

- 水産業界のテクノロジーの発展は、強制労働を排除するのに役立つという意味では主に前向きなものである。
- 労働者の組織化と小売部門に焦点をあてた、標的を定めたキャンペーン展開が重要だ。
- タイが行いを改めたように、アジアの他の国がこれに続くことが想定される。
- タイでの紛争はメディアによって助けられた。
- ITFはジョン・ウェストやキング・オスカーなどのブランドを販売するタイユニオン社と協力し、同社の行動規範を監視し、確実に実施が行われるよう、インスペクター制度を発展させる。

2019年～2023年の水産部会の優先事項が承認された。

## 議題5: 動議

決議委員会より水産部会に付託された以下の動議が審議された。

## 第26号動議: 水産

提案通り採択された。第1号修正動議はSYGMMA労組が内部の問題で大会に出席できなかったため、提案者がいなかった。したがって、第1号修正動議は次の水産部会委員会で議論することが決まった。

## 議題6: 選挙

以下の役員が選出された。

議長: Johnny Hansen (NSU、ノルウェー)

第一副議長: 高橋健二 (全日本海員組合、日本)

第二副議長: Angel Juan Navarro (SOMU、アルゼンチン)

女性代表: Sylvie Roux (CFDT、フランス)

青年代表: Jorge Alejandro Vargas (SOMU、アルゼンチン)

総会参加者は、地域分布を反映し、16名の部会運営委員の候補者を確認するよう書記局に委任していたが、最終的に別紙1の水産部会運営委員会の構成に合意した。

## 議題7: その他

その他の審議案件はなかった。

# 水産部会運営委員会

2018年10月16日現在

役員	
議長	Johnny Hansen (ノルウェー、NSU)
第一副議長	高橋健二 (全日本海員組合、日本)
第二副議長	Angel Juan Navarro (SOMU、アルゼンチン)
女性代表	Sylvie Roux, France (CFDT、フランス)
青年代表	Jorge Alejandro Vargas (SOMU、アルゼンチン)
アフリカ	
議長	Harinony Lucien Razafindraibe (SYGMMA、マダガスカル)
副議長	Abdou-Derman Adam Mouhamadou (FESYTRAT、トーゴ)
副議長	空席
アラブ	
議長	空席
アジア太平洋	
議長	高橋健二 (全日本海員組合、日本)
副議長	Tae Kil Chung (FKSU、韓国)
副議長	Genta Sumarlan (KPI、インドネシア)
副議長	空席
欧州 (ETF海事部会)	
議長	Juan Manuel Trujillo (CC.OO、スペイン)
第一副議長	Flemming Smidt (3F、デンマーク)
女性代表	Sylvie Roux (CFDT、フランス)
委員	Árni Bjarnason (FFSÍ、アイスランド)
委員	Michel Claes (ACV-Transcom、ベルギー)
委員	Petr Osichansky (SUR、ロシア)
委員	空席
中南米・カリブ海	
議長	Angel Juan Navarro (SOMU、アルゼンチン)
副議長	Eric Alberto Riffo Paz (SIOMOT、チリ)
副議長	ルイス・ペンテアド (FNTTAA、ブラジル)
副議長 (青年)	Hernan Valera (CJOMN、アルゼンチン)
北米	
議長	空席



## 内陸水運部会総会報告書

内陸水運部会総会が2018年10月18日に開催された。

### 議題1: 議題の採択

提案通り、議題が**採択**された。

### 議題2: 報告者、投票検査人、投票集計人の選出

シンシア・マガリ・ディアズ (アルゼンチン) が報告者に**選出**された。

リチャード・クレーズ (英国)とイヴァン・デラ・グアルディア (パナマ) が投票検査人に**選出**された。

ヴァディム・イワノフ (ロシア)とマヤ・シュヴィーガースハウゼン・ギューズ (ドイツ) が投票集計人に**選出**された。

### 議題3: 大会テーマ文書

書記長が大会テーマ文書を紹介し、内陸水運部会の優先活動について説明した。議題4の活動計画と合わせて、大会テーマ文書に関する議論が行われた。

大会テーマ文書が**採択**された。

### 議題4: 活動計画

マリタイム・コーディネーターが以下の通り、最新の活動計画を紹介した。

- 組織人員の拡大と活性化
- 革新的な運動 (キャンペーン) の展開
- グローバルおよび地域レベルの政策に影響を及ぼす

次長が以下の部会の優先分野について最新情報を提供した。

- タグボート・ネットワーク
- 河川クルーズキャンペーン2.0
- 社会保障と安全衛生

2019年～2023年の水産部会の優先事項が承認された。

## 議題5：動議

決議委員会より内陸水運部会に付託された以下の動議が審議された。

### 第1号動議河川クルーズキャンペーン2.0

提案通り採択された。

### 第12号動議：開発途上国の内陸水運労働者のための国際および地域の労働・福利・安全基準の向上

第1号修正動議とともに、同動議が提案通り採択された。

### 第20号動議：内陸運輸部会の活動の効果を改善する

提案通り採択された。

### 第24号動議：タグボートとトウボート

第1号修正動議とともに、同動議が提案通り採択された。

## 議題6：選挙

以下の役員が選出された。

**議長**：Yuri Sukhorukov (SUR、ロシア)

**副議長 (アジア太平洋)**：Ashiqul Alam Chowdhury (BNSF、バングラデシュ)

**副議長 (欧州)**：Joris Kerkhofs (ACV Transcom、ベルギー)

**副議長 (中南米・カリブ海)**：Julio Gonzalez Insafran (CPOFPCM、アルゼンチン)

**副議長 (北米)**：Terri Mast (ILWU、米国)

**女性代表**：Valerie Latron (CFDT、フランス)

**青年代表**：Cinthia Diaz (CPOFPCM、アルゼンチン)

内陸水運部会委員会の構成が別紙1の通り承認された。

## 議題7：その他

### 金バッチ授与

書記長が世界中の交通運輸労働者とその利益、労働組合の自由と権利の維持のために類まれな貢献を行ったことを称え、議長を退任するニック・ブライムリーに金バッチを授与した。

# 内陸水運部会委員会

2018年10月18日現在

役員	
議長	Yuri Sukhorukov (SUR、ロシア)
副議長 (アジア太平洋)	Ashiqul Alam Chowdhury (BNSF、バングラデシュ)
副議長 (欧州)	Joris Kerkhofs (ACV Transcom、ベルギー)
副議長 (中南米・カリブ海)	Julio González Insfran (CPOFPCM、アルゼンチン)
副議長 (北米)	Terri Mast (ILWU、米国)
女性代表	Valérie Latron (CFDT、フランス)
青年代表	Cinthia Diaz (CPOFPCM、アルゼンチン)
アフリカ	
議長	空席
アラブ	
議長	空席
アジア太平洋	
議長	Ashiqul Alam Chowdhury (BNSF、バングラデシュ)
欧州地域 (ETF内陸水運部会)	
議長	Joris Kerkhofs (ACV Transcom、ベルギー)
副議長・女性代表	Valérie Latron (FGTE-CFDT、フランス)
副議長・青年代表	Luka Misic (SPH、クロアチア)
副議長・社会対話議長	Jacques Kerkhof (BTB、ベルギー)
中南米・カリブ海地域	
議長	Julio González Insfran (CPOFPCM、アルゼンチン)
副議長	Ricardo Ponzi (CONTTMAF、ブラジル)
副議長	Daniel Hevia (FBTTT、ベネズエラ)





## 船員港湾合同総会報告書

船員港湾合同総会が2018年10月17日に開催された。

### 議題1: 議題の採択

提案通り、議題が採択された。

### 議題2: 報告者、投票検査人、投票集計人の選出

ドロテア・ゼック (クロアチア) が報告者に選出された。

アダム・タイルスキ (ポーランド) とレナ・ダイリング (ノルウェー) が投票検査人に選出された。

マヤ・シュウィージャーショーセン・グス (ドイツ) とロブ・アシュトン (カナダ) が投票集計人に選出された。

### 議題3: 活動計画

ITF海事コーディネーターが2019年～2023年の優先課題と活動計画について説明するとともに、現在、FOC行動週間の基準を検討中であることを報告した。

ITFインスペクターに関する要請は、書面で海事コーディネーターに提出されなければならない、その後、募集と任命のプロセスが開始されることが確認された。

活動計画についての議論の後、以下の発言がなされた。

- グローバル・ネットワーク・ターミナル (GNT) をもっと重視すべきだ。
- 特に港湾出身のインスペクター (コンタクト) を新たに任命する余地がある。

- ・ ウインドファーム(集合型風力発電所)プロジェクトについてFPCで議論し、オフショア・タスクフォースに付託すべきである。
- ・ 組合員の家族との接触が組合をより強くする。
- ・ 港湾の自動化は、専門的な問題なので、港湾部会で議論すべきである。
- ・ 女性と青年を優先活動に位置付けることが重要だ。

10月16日の港湾部会総会で実施された組合員数投票の結果に留意し、メルボルン港のビクトリア・インターナショナル・コンテナ・ターミナル(VICT)を便宜港湾(POC)に指定することを承認した。

大会テーマ文書と船員・港湾合同活動計画をそのまま採択した。

## 議題4: 動議

決議委員会より付託された以下の動議が審議された。

### 第16号動議: 地中海-便宜の海

提案通り採択された。

### 第18号動議: 青年船員および青年港湾労働者の権利の保護

提案通り採択された。

### 第9号動議: 船員の権利の保護 - 国際連帯の促進- メキシコシティ・ポリシーの効果的実施の確保

**第17号動議: 労働組合員の利益を代表する目的で、国内の労働組合の対話を通じた二国間関係を促進する**

### 第21号動議: カボタージュ

これらの動議は、船員総会で撤回され、本総会で以下の提案を検討することとなった。

### メキシコシティ・ポリシーの見直し

第44回世界大会時に開催された船員総会は、メキシコシティ・ポリシーの見直し(自国籍船ポリシーやカボタージュ・ポリシーを含む)を検討する作業グループの設置を勧告し、第44回世界大会時に開催される船員港湾合同総会で承認を求めることとした。

この作業グループの付託事項は、書記局が加盟組合の意見を考慮しながら共同議長と相談して作成し、次回公正慣行委員会運営委員会(FPCSG)に提案し、メキシコシティ・ポリシーの改定案は第45回世界大会で承認を求めることとなった。

上記の提案が承認された。

### 第14号動議: ITF世界大会CGT提案動議

本動議は、支持者がいなかったため、取り扱われなかった。

## 議題5: 選挙

船員総会および港湾総会での選挙の結果に留意し、船員港湾合同部門の職権上の役員として以下を確認した。

**港湾部会議長:** パディ・クラムリン(MUA、オーストラリア)

**港湾部会第一副議長:** トーベン・シーボルト(ver.di、ドイツ)

**港湾部会第二副議長:** ウィリー・アダムス (ILWU、米国)

**港湾部会女性代表:** モニク・ヴァーバック (BTB、ベルギー)

**港湾部会共同青年代表:** ニック・ロリダン (BTB、ベルギー)

**港湾部会共同青年代表:** ヴィヴィ・ゴメス (ILWU、カナダ)

**船員部会議長:** デービッド・ハインデル (SIU、米国)

**船員部会第一副議長:** コンラッド・オカ (AMOSUP、フィリピン)

**船員部会第二副議長:** マーク・ディキンソン (NLUK、英国)

**船員部会女性代表:** レナ・ダイリング (NSU、ノルウェー)

**船員部会青年代表:** ドロテア・ゼック (SUC、クロアチア)

公正慣行委員会 (FPC) の構成が別紙1の通り承認された。

公正慣行委員会 (FPC) 運営委員会 (SG) の構成が別紙2の通り承認された。

## 議題6: その他

メルボルン港で482日間ロックアウトされている港湾労働者に連帯のメッセージを送り、多国籍企業に対して団結して闘う決意を表明した。

前日にスプルセグレン号に乗船中に亡くなった、SIU (カナダ) の組合員、アルフレッド・フレディ・アシエンに追悼の意を表明した。

また、以下に対する支持を表明した。

- 政治的危機の中で困難な状況に置かれているイランの組合
- 劣悪な安全衛生状況に抗議するスウェーデン港湾労組
- 地中海の外国人労働者の問題に関する会議の開催 (2018年11月15日にCGT本部にて)

## 金バッジ

ITF会長および書記長が、世界の交通運輸労働者の正義と利益の追求、労働組合の自由と権利の擁護に努めた以下の人物に金バッジを贈呈した。

- ハナフィ・ラスタンディ (KPI、インドネシア) (マティアス・タンピンが代理で受賞)
- スティーブ・トッド (RMT、英国)
- トーマス・アブラハムソン (SEKO、スウェーデン)
- トーマス・テイ (SMOU、シンガポール)

## 別紙1

## 公正慣行委員会(FPC)

2018年10月17日現在

国	職権上の委員	船員	港湾
<b>アフリカ</b>			
ガーナ			Daniel OwusuKorateng MDU
ケニア	Stephen Owaki SUK 地域の議長(船員)		Gladys Chepkorir DUK
リベリア	Jackie Doe 地域の議長(港湾)		
マダガスカル		Lucian Razafindraibe SYGMMA	
ナイジェリア		Douglas Eromobor MWUN	Adewale Adeyaju MWUN
南アフリカ		空席	
タンザニア		Josiah Mwakibuja TASU	
<b>アラブ</b>			
アルジェリア		Seddik Berrama FNNT/UGTA	
バーレーン			Salman Al Saad GFBTU
ヨルダン	Mahmoud Mansour Edbeis 地域の議長(港湾)		
リビア	Nermin Al Sharif 地域の議長(船員)		
モロッコ			Mustapha Ourdanne UMT
<b>アジア太平洋</b>			
オーストラリア	Paddy Crumlin 部会の議長(港湾)	Martin Byrne AIMPE	Warren Smith MUA
バングラデシュ		SM Shafiqur Rahman BSA	
香港		Tung Tong Chung MNOG	Khu Hon Chung HKSTLSA
インド		Abdulgani Serang NUSI	PM Haneef CPSA
インドネシア		Mathius Tambing KPI	Suryansyah Bahar Usmansyah JICT
日本	森田保己 地域の議長(船員)	渡辺裕之 全日本海員組合	玉田雅也 全国港湾
韓国	Sang Sik Kim 地域の議長(港湾)	Tae Kil Chung FKSU	Sang Sik Kim KFPTWU
マレーシア			Alagu Balasubramaniam UNEPASS
ミャンマー		Linn Kyaw Aung IFOMS	

ニュージーランド			Joe Fleetwood MUNZ
パキスタン		Adam Panjri PSU	Abdul Razzaki KPT DWU
パプアニューギニア			Daniel Mathew PNGMWIU
フィリピン	Conrad Oca 第一副議長（船員）	Johnny Oca AMOSUP	Robert Oca PWUP
シンガポール		Thomas Tay SMOU	Benjamin Tang Chun Wai POU
南太平洋（ツバル/キリバス）		Ioata Tim* KIOSU Tusaga Iosefa* TOSU	
スリランカ			Palitha Atukorale NUSS
台湾		Chen Jane Long NCSU	Yang Yao-Chang TDWF
<b>欧州</b>			
ベルギー	Monique Verbeeck 女性代表 （港湾） Nick Loridan 共同青年代表（港湾）	Frank Moreels BTB	Marc Loridan BTB
クロアチア	Dorotea Zec 青年代表（船員）	Vladimir SvalinaSUC	
キプロス			Pantelis Stavrou FTPAW
デンマーク		A Ole Philipsen Co-Sofart	Jan Villadsen 3F
エストニア		Jyri Lember ESIU	空席
フィンランド		Simo Zitting FSU	Marko Piirainen AKT
フランス		Thierry Le Guevel* CFDT Jean Philippe Chateil* CGT	Lilian Torres FO
ドイツ	Torben Seebold 第一副議長（港湾）	Maya Schwiengershausen- Guth ver.di	Thomas Mendrzik ver.di
英国	Mark Dickinson NIUK 第二副 議長（船員）	Danny McGowan* NIUK Darren Procter RMT	Steve Biggs ユナイテッド
ギリシャ	Agis Tselentis 地域の議長（船員）	John Halas PNO	
アイルランド		Greg Ennis SIPTU	Jerry Brennan SIPTU
イスラエル		Avi Levy ISOU	Avi Edri HISTADRUT
イタリア		Franesco di Fiore FIT-CISL	Berardina Tommasi FIT-CGIL
ラトビア		Igors Pavlovs LSUMF	Aleksejs Holodnuks UTAF
リトアニア		Remigijus Kalnius LSU	Romas Liaudanskas IDU
マルタ			Jason Deguara GWU
モンテネグロ		Mitar Miseljic IUWMST	Savo Nikotic IUWMST
オランダ		Marcel van den Broek NINL	Niek Stam FNV
ノルウェー	Terje Fenn-Samuelsen 地域の議長（港湾） Lena Dyring 女性代表（船員） Johnny Hansen 水産部会議長	Hans Sande NSF	Lars Morten Johnsen NTF

ポーランド		Jacek Cegielski NSZZ	Adam Tylski NSZZ
ポルトガル		Antonio A P Delgado SITEMAQ	
ルーマニア		Aurel Stoica RSFU	Petre Costel FNSP
ロシア	Yuri Sukhorukov 内陸水運部 会議長	Yuri Sukhorukov SUR	Vasilij Kozarenko DUR
スペイン		Jose Manuel Perez Vega UGT	Jose Perez Dominguez CC.OO
スウェーデン		Kenny Reinhold SEKO	Peter Lökvist STF
スイス		Holger Schatz NICH	
トルコ		Ural Cagirici* DAD-DER Hasan Pekdemir* TDS	
ウクライナ		Mikhael Kiryeyev MTWTU	Oleg Grigoryuk MTWTU
<b>中南米・カリブ海</b>			
アルゼンチン		Marcos Castro* – CCUOMM Geronimo Molina* – SOMU	Roberto Coria GMGM
ブラジル	Severino Almeida 地域の議長(船員) Mayo Uruguai 地域の議長(港湾)	Severino Almeida CONTTMAF	Mayo Uruguai SINDCONF
チリ		Hector Azua SOSS	
コスタリカ			Liroy Perez SINTRAJAP
グアテマラ			Maynor Sijes Barillas STEPQ
ガイアナ			Sherwood Clarke CCWU
ジャマイカ			Wesley Nelson BITU
メキシコ		Ysmael Garcia Munoz ORDENCAP	
パナマ		Vladimir Small UIM	
トリニダード			Michael Annisette SWWTU
<b>北米</b>			
カナダ	Jim Given 地域の議長(船員) Viri Gómez 共同青年代表(港湾)	Patrice Caron SIU-CAN	Rob Ashton ILWU
米国	Dave Heindel 部会の議長(船員) Willie Adams 第一副議長(港湾) John Baker 地域の議長(港湾)	J Michael Murphy AMO	Bobby Olvera Jr. ILWU
小計	25組織	51組織	51組織
<b>合計127</b>			

## 別紙2

# 公正慣行委員会運営委員会 (FPCSG)

2018年10月17日現在

国	職権上の委員	船員	港湾
<b>アフリカ</b>			
ガーナ			Daniel OwusuKorateng MDU
ケニア	Stephen Owaki SUK 地域の 議長（船員）	-	-
リベリア	Jackie Doe 地域の議長（港湾）	-	-
マダガスカル		Lucien Razafindraibe SYGMMA	-
<b>アラブ</b>			
アルジェリア		Seddik Berrama FNNT/UGTA	-
ヨルダン	Mahmoud Mansour Edbeis 地域の議長（港湾）	-	-
リビア	Nermin Al Sharif 地域の議長（船員）	-	-
モロッコ		-	Mustapha Ourdanne UMT
<b>オーストラリア</b>			
オーストラリア	Paddy Crumlin 部会の議長（港湾）	-	-
香港		Tung Tong Chung MNOG	-
インド		Abdulgani Serang NUSI	PM Haneef CPSA
日本	森田保己 地域の議長（船員）	-	玉田雅也 全国港湾
韓国	Sang Sik Kim 地域の議長（港湾）	-	-
ニュージーランド		-	Joe Fleetwood MUNZ
フィリピン	Conrad Oca 第一副議長（船員）	-	
シンガポール		Thomas Tay SMOU	-
<b>欧州</b>			
ベルギー	Monique Verbeeck 女性代 表（港湾） Nick Loridan 共同青年代表（港湾）		Marc Loridan BTB
クロアチア	Dorotea Zec 青年代表（船員）		
キプロス			Pantelis Stavrou FTPAW

フィンランド		Simo Zitting FSU	
ドイツ	Torben Seebold 第一副議長 (港湾)		
英国	Mark Dickinson 第二副議長 (船員)		
ギリシャ	Agis Tselentis 地域の議長 (船員)		
イタリア		Francesco di Fiore FIT-CISL	
ラトビア			Aleksejs Holodnuks UTAF
オランダ			Niek Stam FNV
ルウェー	Terje Fenn-Samuelsen 地域の議長 (港湾) Lena Dyring 女性代表 (船員) Johnny Hansen 水産部会議長		
ロシア	Yuri Sukhorukov 内陸水運部会議長	Yuri Sukhorokov SUR	
スウェーデン		Kenny Reinhold SEKO	
<b>中南米・カリブ海</b>			
アルゼンチン		Marcos Castro CCUOMM	
ブラジル	Severino Almeida 地域の議長 (船員) Mayo Urugaio 地域の議長 (港湾)		
トリニダード			Michael Annisette SWWTU
<b>北米</b>			
カナダ	Jim Given 地域の議長 (船員) Viri Gómez 共同青年代表 (港湾)		Rob Ashton ILWU
米国	Dave Heindel 部会の議長 (船員) Willie Adams 第一副議長 (港湾) John Baker 地域の議長 (港湾)	Don Marcus IOMMP	



# 鉄道部会総会報告書

鉄道部会総会が2018年10月16日に開催された。

## 議題1: 議題の採択

提案通り、議題が採択された。

## 議題2: 報告者、投票検査人、投票集計人の選出

ルシア・サルモン（アルゼンチン）が報告者に選出された。

ティム・ピーター（米国）、ヘンリック・ホルアップ（デンマーク）、カトリーナ・ミンドウム（クロアチア）、ウエイン・バトソン（ニュージーランド）が投票検査人および投票集計人に選出された。

## 議題3: 大会テーマ文書

書記長が大会テーマ文書を紹介し、鉄道部会の優先活動について説明した。書記長は、ITF鉄道部会は今後も民営化反対闘争を主導し、将来の鉄道に合わせて手段や標的を適応させていくと述べた。また、独立国家共同体（CIS）の加盟組合がアジアや欧州を横断する新たなサプライチェーンに沿って大人数の組織化を行っている点に焦点をあてた。

大会テーマ文書が承認された。

## 議題4: 活動計画

議長が5年間の活動計画は作成途中のものであり、鉄道産業の変化に応じて変えていかなければならないと述べた。また、組織化、アウトソーシング、不安定労働、自動化、仕事を変化させる新技術などをめぐり、鉄道産業の組合が直面しなくてはならないさらなる課題に言及し、鉄道の将来はこうした変化を労働者が形づくり、影響を及ぼしていくことにかかっていると述べた。さらに、世界の鉄道システムは国によってその発展の段階が異なること、鉄道会社の所有と構成も異なること、交通運輸のモデルは国ごとに異なるが、自動化の影響もそうであるように、鉄道産業の問題に対応するにあたっては、紋切り型の対策はあり得ないため、順応性を高

くする必要があること、民営であれ公営であれ、組織化を進めることに集中し、万人に資する国民の鉄道のために、ITFが確実に闘い続ける必要があることを強調した。

大会代議員は以下を含むITF鉄道部会の現在および計画されている活動を確認した。

- インドの青年鉄道員の訓練を継続し、暴力やハラスメントと闘い、女性の権利を擁護するための政策を構築する。
- 技術的専門家のネットワークを設置し、加盟組合が連絡を取り合い、特定の質問を投げかけ、早急に返答をえることができるようにする。このネットワークは戦略的な助言を提供し、国際連帯を動員し、法的な支援を提供することを目指し、必要であれば、ILOへの問題提起を行うものとする。
- 情報と組合の民営化対応の最善慣行を共有するデータベースを構築する。
- 鉄道の動向と、民営化への組合の対応や安全問題、スト情報に関するITF鉄道Facebookページを定期的に更新する。
- 独立国家共同体（CIS）の組合とITFの間の相互理解と同地域全体で組織人員の大幅増員の可能性を重視する。

議論の中で以下の点が提起された。

- インドの新しい年金制度は今後青年や女性労働者に影響を及ぼすだろう。
- 鉄道産業全体で引き下げられ、民営化によって労働者の生活が脅かされており、安全衛生が大きな懸案事項だ。
- 青年労働者を参加させ、教育し、組織化する必要がある。

- 世界の鉄道労組とその能力、組織率についてより深い分析を行う必要がある。
- アウトソーシングが進み、非常に多くの加盟組合が鉄道産業の分断の影響を受けている。

2019年～2023年の鉄道部会の優先事項が承認された。

## 議題5：動議

決議委員会より鉄道部会に付託された以下の動議が審議された。

### 第10号動議：安全で利用しやすい鉄道

提案通り採択された。

フランス労働総同盟 (CGT) による「要求の統合」に関する動議も鉄道部会に提出されていたが、次回のITF 鉄道部会運営委員会に付託することが合意された。

## 議題6：選挙

選挙前の欧州の役員名に誤りがあったことが確認され、誤りを訂正した上で、役員構成が承認された。

以下の役員が選出された。

議長：デビット・ゴベ (CGT Cheminots、フランス)

第一副議長：フリオ・ソーサ (友愛、アルゼンチン)

第二副議長：C J ラジャスリダール(AIRF、インド)

第三副議長：ラウル・ゼンゴ(SINPOCAF、モザンビーク)

女性代表：シミラル・シン(AIRF、インド)

青年代表：ルチアノ・サロモン (ASFA、アルゼンチン)

別紙1の鉄道部会委員会の構成が承認された。

## 議題7：その他

### 金バッチ授与

書記長が世界中の交通運輸労働者とその利益、労働組合の自由と権利の維持のために類まれな貢献を行ったことを称え、オイステン・アスラクセンに金バッチを授与した。

# 鉄道部会委員会

2018年10月16日現在

役員	
議長	David Gobé (CGT Cheminots、フランス)
第一副議長	Julio Sosa (友愛、アルゼンチン)
第二副議長	C A Rajasridhar (AIRF、インド)
第三副議長	Raul Sengo (SINPOCAF、モザンビーク)
女性代表	Simi Lalsingh (NFIR、インド)
青年代表	Luciano Salomon (ASFA、アルゼンチン)
アフリカ	
副議長	Jean Bedel Ndundula (CSC、コンゴ民主共和国)
副議長	Irene Nthulane (SATAWU、南アフリカ)
副議長	Raphael Benjamin Okoro (NUR、ナイジェリア)
アラブ	
議長	Ahmed Rachid Sennouni (UMT、モロッコ)
副議長	Larbi Yacoubi (SNCF、チュニジア)
アジア太平洋	
議長	Wayne Butson (RMTU、ニュージーランド)
副議長	Pinyo Rueanpetch (SRUT、タイ)
副議長	C A Rajasridhar (AIRF、インド)
副議長	空席
女性代表	Jaya Agarwal (AIRF、インド)
青年代表	Banpot Sungkasuk (SRUT、タイ)
欧州	
議長	Georgio Tuti (SEV、スイス)
副議長	Maria Cristina Marzola (FILT-CGIL、イタリア)
一般委員	David Gobé (CGT Cheminots、フランス)
一般委員	Marion Carstens (EVG、ドイツ)
女性代表	Daniela Zlatkova (FTTUB、ブルガリア)
青年代表	Christian Tschigg (FIT-CISL、イタリア)
中南米・カリブ海	
議長	Julio Adolfo Sosa (友愛、アルゼンチン)
副議長	Edison Alvarado (FENTRAFEVE、ベネズエラ)
副議長	Helio de Souza Regato de Andrade (FNTF、ブラジル)
副議長	空席
北米	
共同議長	Bob Orr (ユニフォー、カナダ)
共同議長	Joseph Condo (TCU、米国)

# 路面運輸部会総会報告書

路面運輸部会総会が2018年10月15日に開催された。

## 議題1: 議題の採択

議題が採択された。

## 議題2: 報告者、投票立会人、投票集計人の選出

ジャスティナ・マツゼウスカ(英国)が報告者に選出された。

マット・ドレイパー(英国)とマヌガス・フォルク(スウェーデン)が投票検査人および投票集計人に選出された。

## 議題3: 大会テーマ文書

書記次長が路面運輸部会の優先課題に焦点をあてた大会テーマ文書についてプレゼンを行った。大会テーマ文書に関する議論は議題4「活動計画」に関する議論とともに行われた。

大会テーマ文書が採択された。

## 議題4: 活動計画

会場から多くの発言があったが、その概要は以下の通りだった。

- XPO、DHL、IKEAといった小売業者や経済的供給業者を標的としたキャンペーンを展開することが重要だ。
- インドのDHLでは依然として法律違反や非倫理的な労働慣行が実施されている。
- 意味ある進展が見られず、IKEAとの対話は途絶えた。総会参加者は対IKEAキャンペーンを継続することを承認した。

- 警察の汚職や路面運輸労働者への嫌がらせについて、引き続きアフリカの労働者を支援するよう議長が訴えた。
- フィリピンの加盟組合からジープニーの労働者の窮状が続いていると訴えた。議長はフィリピンの紛争について受け止め、書記局が支援を提供すると提案した。
- NURTW労組がナイジェリアでの大きな進歩について報告した。また、政府から支援を受けたことで、向こう5年間も継続的に組織人員の拡大を図れそうだと述べた。
- インドのマハラシュトラ州の路面運輸労働者は組合員の労働条件の引き上げに成功したが、依然として組合活動に参加したことを理由に解雇される恐怖に晒されていると報告した。

2019年～2023年の鉄道部会の優先事項が承認された。

## トール憲章

議長が最近調印された、トール・グローバル憲章について報告した。同憲章の詳細を全ての路面運輸加盟労組に共有することが決まった。

## パネルディスカッション: 「水準を上げる」

路面運輸産業内の「水準を上げる」をテーマとしたパネルディスカッションを行った。路面運輸部会副議長のフランク・モラーレスが討論のファシリテーターを務めた。以下のパネリストが登壇した。

- ウンバルト・デプレット (国際路面運輸使用者協会: IRU)
- リック・ウィルモット (トール)
- ルーワン・スバシング (ITF法務部長。ILOの活動について講演)

- ウィルマ・クレメント (女性代表)
- サム・マッキントッシュ (青年代表)

総会参加者は以下を**確認**した。

- 最も倫理的かつ組織化された企業が成功できる条件を整える必要がある。
- サプライチェーンにおいて経済的使用者が果たす役割ゆえに、彼らに責任を取らせる必要がある。
- 実施の徹底とセイフレート (安全報酬) の両方が今後、交通運輸労働が力を構築していく上で重要だ。

### 都市交通委員会の構成

路面部会総会参加者は、部会を代表する都市交通委員会 (UTC) 委員のポストを新設することを**承認**した。

### DHLに関する近況

TUMTIS労組がトルコのDHLの状況について近況を報告し、ITFの継続的支援に感謝の言葉を述べた。しかし、闘いは終わっていないと伝えた。議論の中で、会場から以下のような意見が出た。

- DHLを組織する加盟組合は、DHLとの協定書は一般に言えば進捗しているが、DHLのサプライチェーンと下請けのモデルには依然として問題がある連を確認した。
- 中南米と北米のDHLネットワークを強化する必要がある。
- 議長はDHLエクスプレス・トルコを解雇された7人の労働者を支援するTUMTIS労組の闘いに引き続き連帯を差し伸べるよう求めた。

## 議題5: 動議

決議委員会より鉄道部会に付託された以下の動議が審議された。

### 第31号動議: セイフレート (安全報酬) と顧客責任を迫るグローバル闘争の強化

提案通り採択された。

## 議題6: 選挙

以下の役員が選挙行うことなく**選出**された。

**議長:** トニー・シェルダン (TWU、オーストラリア、2019年6月1日まで) ジェームズ・ホッフア (チームスター、米国、2019年6月1日以降)

**第一副議長(旅客):** フレミング・オーバーガード (3F、デンマーク)

**第二副議長(貨物):** ビクター・ルイス・ベラスケス (FNTCOTAC、アルゼンチン)

**第三副議長(都市交通):** ウォルサン・リエム (KPTU、韓国)

**女性代表:** ウィルマ・クレメント (BWU、バルバドス)

**青年代表:** ジャスティナ・マツゼウスカ (ユナイト、英国)

総会参加者は、アフリカ、アラブ、アジア太平洋の路面運輸委員会のメンバーの候補者の確認を書記局に委任し、別紙1の路面運輸部会運営委員会の構成を**承認**した。

議長は2019年6月1日に路面運輸部会の議長を辞任する予定だと発表し、これまでの支援に対し、総会参加者に謝辞を述べた。

総会参加者は、2019年6月1日以降はジェームズ・ホッパ（米国、チームスター労組）が議長を引き継ぐことを承認した。

総会参加者と内陸運輸部会ヘッドは議長のこれまでの活動と支援に謝辞を述べた。

## 議題7:その他

### 小売りのサプライチェーン

総会参加者は、次の大会までの期間、活動する小売サプライチェーン作業部会を設置することと、その構成は当該キャンペーンの参加組合とすることを承認した。

この作業部会の活動報告については、2019年に開催する路面運輸運営委員会に提出することとなった。ま

た、サプライチェーン関係のプログラムに参加している主なリーダーをプロジェクトの継続期間に限り、路面運輸委員会の委員に新たに加えることも決まった。

### 倉庫

倉庫・ターミナル労働者作業部会の活動は重要であるため、当該プロジェクトの継続期間に限り、路面運輸委員会の委員に以下のメンバーを新たに加えることも決まった。

- 議長：ピーター・ロブキスト（ST、スウェーデン）
- 副議長（倉庫）：マット・ドレイパー（ユナイテッド、英国）

総会参加者はこの勧告を承認した。

# 路面運輸部会運営委員会

2018年10月15日現在

## 役員

議長	Tony Sheldon (TWU、オーストラリア) (2019年6月1日まで) James Hoffa (チームスター、米国) (2019年6月1日から)
第一副議長 (旅客)	Flemming Overgaard (3F、デンマーク)
第二副議長 (貨物)	Victor Luis Velazquez (FNTCOTAC、アルゼンチン)
第三副議長 (都市交通)	Wol-san Liem (KPTU、韓国)
女性代表	Wilma Clement (BWU、バルバドス)
青年代表	Justyna Matuszewska (ユナイテッド、英国)

## アフリカ

議長	Fuseini Iddrisu (GTPCWU、ガーナ)
副議長	Gora Khouma (URS、セネガル)
副議長	Shanitah Birungi (AGTWU、ウガンダ)

アラブ	
議長	Amine Affane (FNCGP、アルジェリア)
副議長	Kais Mlouah (FNT、チュニジア)
アジア太平洋	
議長	Michael Kaine (TWU、オーストラリア)
副議長	Ajay Kumar Rai (Netwon、ネパール)
副議長	K.Natarajan (GTCEPUF、インド)
副議長	杉山豊隆 (運輸労連、日本)
女性代表	Sheela Naikwade (MSTKS、インド)
青年代表	空席
欧州 (ETF路面運輸部会)	
議長	Roberto Parrillo (ACV-Transcom、ベルギー)
副議長	Fleming Overgaard (3F、デンマーク)
副議長	Adrian Jones (ユナイト、英国)
女性代表	Myriam Coulet (FO運輸部門、フランス)
青年代表	空席
中南米・カリブ海	
議長	Benito Bahena y Lome (ATM、メキシコ)
副議長	Pablo Hugo Moyano (FNTCOTAC、アルゼンチン)
副議長	Lourival Vieira (CNTTT、ブラジル)
副議長	Wilma Clement (BWU、バルバドス)
北米	
共同議長	Len Poirier (ユニフオー、カナダ)
共同議長	James Hoffa (チームスター、米国)
委員	
小売りサプライチェーン作業部会議長	未定
倉庫・ターミナル労働者作業グループ議長	Peter Lökvist (STF、スウェーデン)
倉庫・ターミナル労働者グループ副議長	Matt Draper (ユナイト、英国)

# 船員部会総会報告書

船員部会総会が2018年10月15日に開催された。

## 議題1: 議題の採択

提案通り、議題が採択された。

## 議題2: 報告者、投票検査人、投票集計人の選出

トーマス・アブラハムソン (スウェーデン) が報告者に選出された。

カルロス・アウグスト・ムラー (ブラジル) とラウル・センゴ (モザンビーク) が投票検査人に選出された。

レナ・ダイリン (ノルウェー) とアマー・シン・タクール (インド) が投票集計人に選出された。

## 議題3: 大会テーマ文書

書記長が大会テーマ文書を紹介し、船員部会の優先課題について説明した。大会テーマ文書についての議論の中で、以下の発言がなされた。

- モデルCBAを準備するとともに、自動化について船員に教育することが重要だ。
- 目的は、リスクを認識し、解決策を見つけることだ。
- 自動化は船員の雇用に影響を及ぼすだろうが、近い将来に大勢の船員が影響を被ることはないだろう。
- IMOが、自動化の法規制への影響について分析している。

クレオパトラ・ドンビア・ヘンリーと世界海事大学 (WMU) のジェン・ウ・シュルデー・ハインリッヒが交通

運輸の自動化についてのプレゼンテーションを行った。大会テーマ文書についての議論の後、以下の発言がなされた。

- 労働運動として、集団で取り組むことが重要だ。
- 自動化されたとしても、船員の需要はある。
- 自動化はテクノロジー企業の商品だ。
- 保安や安全の観点から、完全自動化船は、一部の内航を除いて、実現しないだろう。
- 将来、技術の向上や訓練の重要性が高まる。そのコストを誰が負担するかを明確にする必要がある。
- 海運は、技術革新に最もさらされてきた産業の一つだ。
- 早期に政府と関与することが極めて重要だ。
- 交渉なしの自動化を許さないことが重要だ。しかし、同時に、力の弱い組合を支援する必要がある。
- 技術は、女性船員により多くの機会をもたらす可能性がある。
- 自動化で、より高度なコンピューター技術が必要とされるだろう。
- 世界海事大学 (WMU) は、適切な技術の獲得を支援するために、各国の教育機関で教えるトレーナーを養成している。
- 自動化政策の策定には明確性が重要だ。



WMUは、プレゼンテーションを行った後、2件のライブポール（オンラインの会場アンケート）を実施した。

### 1 今後、あなたの組合員の雇用は自動化やテクノロジーの影響を受けると考えますか？

a. いいえ	1%
b. はい。ただし、遠い将来において。	33%
c. はい。間もなく。	34%
d. はい。組合員の仕事は既に変化している。	31%

### 2 自動化のプロセスに組合はどう関与したらよいと思いますか？

a. 関与しても組合が得るものは何もない。	2%
b. 早期から積極的に関与し、政界の意思決定権者と協議する。	31%
c. 新たに必要とされるスキルを開発するための再訓練・教育に着目する。	53%
d. 労働者への影響を減らすための公的支援や補助金に着目する。	7%
e. 正当な意見を主張するために、さらに調査を実施する。	9%

大会テーマ文書が**採択**された。

## 議題4: 活動計画

海事コーディネーターと船員部次長が2019年～2023年の活動計画と優先課題について説明した。その後、特にカボタージュや領海および大陸棚における自国籍船員の雇用問題について、詳しい議論が行われた。この問題は現在取り組み中で、FOCキャンペーンの活動計画にも盛り込まれており、10月17日の船員港湾合同総会でさらに議論することとなった。

2019年～2023年の鉄道部会の優先事項が**承認**された。

## 議題5: 動議

決議委員会から付託された以下の動議について議論した。

### 第7号動議: 船員のためのビザに関するグローバルな方針の促進

提案通り**採択**された。

### 第11号動議: 船員の権利

提案通り**採択**された。

### 第16号動議: 地中海—便宜の海

提案通り**採択**された。

### 第9号動議: 船員の権利の保護 – 国際連帯の促進 – メキシコシティ・ポリシーの効果的実施の確保

本動議を大会後に開催される関連総会あるいは関連会議に付託するとともに、大会後のプロセスについてシンガポール滞在中に当事者間で合意することを決議委員会が勧告したことを受け、本動議の提案者および修正動議の提案者と船員部会議長との間で協議が行われた結果、以下が**確認**された。

第44回世界大会時に開催された船員総会は、メキシコシティ・ポリシーの見直し（自国籍船ポリシーやカボタージュ・ポリシーを含む）を検討する作業グループの設置を勧告し、第44回世界大会時に開催される船員港湾合同総会で承認を求めることとした。

この作業グループの付託事項は、書記局が加盟組合の意見を考慮しながら共同議長と相談して作成し、次回公正慣行委員会運営委員会(FPCSG)に提案し、メキシコシティ・ポリシーの改定案は第45回世界大会で承認を求めることとなった。

この提案を基に、本動議は撤回され、メキシコシティ・ポリシーの見直しの一環として検討されることとなった。

### 第17号動議: 労働組合員の利益を代表する目的で、国内の労働組合の対話を通じた二国間関係を促進する

第9号動議に関する提案を基に、本動議は撤回され、メキシコシティ・ポリシーの見直しの一環として検討されることとなった。

### 第21号動議: カボタージュ

第9号動議に関する提案を基に、本動議は撤回され、メキシコシティ・ポリシーの見直しの一環として検討されることとなった。

### 第32号動議: 内航海運支援のための措置

本動議の趣旨に留意するとともに、大会後に開催される次回船員総会に付託するという決議委員会の勧告を承認した。

### 第14号動議: ITF世界大会CGT提案動議

本動議はFOCキャンペーンに関係しているため、10月17日の船員港湾合同総会に付託することが合意された。

### 第5号緊急動議: ノルウェー人船員の雇用に対する攻撃

提案通り採択された。

## 議題6: 選挙

以下の役員が選出された。

議長: デビッド・ハインデル (SIU、米国)

第一副議長: コラッド・オカ (AMOSUP、フィリピン)

第二副議長: マーク・ディキンソン (NI、英国)

女性代表: レナ・ダイリン (NSU、ノルウェー)

青年代表: ドロテア・ゼック (SUC、クロアチア)

議案書に記載されている地域の役員について、当該地域の加盟組合に確認することを書記局に任命し、船員部会委員会の構成を別紙1の通り承認した。

## 議題7: その他

### 金バッジ

時間に限りがあるため、本件は、10月17日の船員港湾合同総会で取り扱うことが合意された。

# 船員部会委員会

2018年10月15日現在

役員	
議長	David Heindel (SIU、米国)
第一副議長	Conrad Oca (AMOSUP、フィリピン)
第二副議長	Mark Dickinson (NIUK、英国)
女性代表	Lena Dyring (NSU、ノルウェー)
青年代表	Dorotea Zec (SUC、クロアチア)
アフリカ	
議長	Adewale Adeyanju (MWUN、ナイジェリア)
副議長	Innocent Gouanfo (SYNIMAC、カメルーン)
副議長	Stephen Owaki (SUK、ケニア)
アラブ	
議長	Nermin Al Sharif (GFLTU、リビア)
副議長	Seddik Berrama (FNNT/UGTA、アルジェリア)
アジア太平洋	
議長	森田保己 (全日本海員組合、日本)
副議長 (東南アジア)	Thomas Tay (SMOU、シンガポール)
副議長 (東南アジア)	Abdulgani Serang (NUSI、インド)
副議長 (太平洋)	空席
欧州	
議長	Agis Tselentis (PNO、ギリシャ)
副議長	Jacek Cegielski (NSZZ、ポーランド)
副議長	Yuri Sukhorukov (SUR、ロシア)
アドバイザー	Mark Dickinson (NI、英国)
アドバイザー	Kenny Reinhold (SEKO、スウェーデン)
アドバイザー	Francesco di Fiore (FIT-CISL、イタリア)
アドバイザー	Maya Schwiegershausen-Güth (ver.di、ドイツ)
中南米・カリブ海	
議長	Severino Almeida (CONTTMAF、ブラジル)
副議長	Horacio Dominguez (CJOMN、アルゼンチン)
副議長	Julia Liliana Becerra (CCUOMM、アルゼンチン)
副議長 (カリブ地域)	Michael Annisette (SWWTU、トリニダード・トバゴ)
北米	
議長	James Given (SIU、カナダ)
副議長	Mike Murphy (AMO、米国)
副議長	Marshal Ainley (MEBA、米国)

# 観光サービス部会総会報告書

観光サービス部会総会が2018年10月17日(水)に開催された。

## 議題1: 議題の採択

議題が採択された。

## 議題2: 報告者、投票検査人、投票集計人の選出

デーブ・デービッド・マシア (AWU、アンティグア・バーブーダ)が報告者に選出された。

マカラ・ベックルス・ジョーダン (NUPW、バルバドス) が投票検査人に選出された。

## 議題3: 大会テーマ文書

観光部長が「仕事の未来と観光」と題するプレゼンテーションを行い、観光部会の課題について説明した。特に以下に言及した。

- 気候変動、グローバル化、技術変化等、観光産業だけでなく、世界全体に強い影響を及ぼす動向
- 急速な変化と労働市場への影響
- 労働者保護法の必要性と観光労働者にとってのマイナスの側面
- 伝統的な雇用形態の変化
- サービスとしてのモビリティ (MAAS)
- ITFの戦略・方針: 「組織拡大」「革新的な運動(キャンペーン) 展開」「グローバルおよび地域レベルの政策に影響を及ぼす」

書記次長が大会テーマ文書を紹介し、観光部会の優先課題について説明した。大会テーマ文書についての議論の中で、以下の発言がなされた。

- ITFの全部会を通じて、観光産業で働く組合員をマッピング(現状分析) する必要がある。
- 世界規模の災害や緊急事態は、国際社会だけでなく、観光に依存するコミュニティに大きな影響を及ぼす。影響に関する情報を正確に、かつ責任ある形で伝え、観光産業に不必要なダメージを与えないようにすることが重要だ。
- 環境保護を重視する必要がある。観光地によっては、その存続が脅かされていることもある。
- 戦略を構築し、変化を引き起こすために、他部会や他の労連の代表者を関与させる必要がある。
- 観光労働者の影響力を増大させるために、大手航空会社やクルーズ会社等、他産業と協力する必要がある。
- Maasやプラットフォーム・テクノロジーの影響を検討すべきだ。

ETFのジョセフ・モーラー活動マネージャーが観光産業の仕事の未来についてプレゼンテーションを行った。議論の中で、以下の発言がなされた。

- 不安定労働、ハラスメント、非正規化に関するプログラムを増やすべきだ。
- 社会の持続可能性が求められる。
- 団体交渉力を弱めることなく、産業の変化を鑑みたEU法の明確化が必要だ。
- フェアホテル(公正なホテル) の取り組みを継続・拡充させる必要がある。

大会テーマ文書が採択された。

## 議題4: 活動計画

観光部会次長が2019年～2023年の活動計画と優先活動について説明した。

2019年～2023年の鉄道部会の優先事項が承認された。

## 議題5: 動議

決議委員会によって本総会に付託された動議はなかった。

## 議題6: 選挙

以下の役員が選出された。

**議長** : デービッド・マシア (AWU、アンティグア・バーブーダ)

**共同副議長** : ブリギッタ・パス (FNV、オランダ)

**共同副議長** : 長縄将幸 (サービス連合、日本)

**女性代表**: パラヴィーナ・シン(AIRF、インド)

**青年代表**: ネデダ・スタネヴァ (FTTUB、ブルガリア)

## 一般委員

- マニエル・コルテス (TSSA、英国)
- ニナ・リッチ (USYTZPOG、ガボン) - 前半
- ルイ・マチュアンゴ・マクアクア (SINTIHOTS、モザンビーク) - 後半
- リ・イン・ヤオ (TTLU、台湾)

アフリカ地域の一般委員は、前半をニナ・リッチ (USYTZPOG、ガボン) が、後半をルイ・マチュアンゴ・マクアクア (SINTIHOTS、モザンビーク) が務めることが承認された。

観光サービス部会委員会の構成が別紙1の通り承認された。

## 議題7: その他

退任する議長が、これまでの4年間の観光部会委員の支援に感謝した。一方、新議長が旧議長のこれまでの取り組みに謝意を表明した。

新議長は、自分を信頼して議長に推薦してくれたカリブ海地域の仲間や観光部会の全加盟組織に謝辞を述べた。

# 観光サービス部会委員会

2018年10月17日現在

役員	
議長	Dane David Massiah (AWU、アンチグア・バブーダ)
共同副議長	Brigitta Paas (FNV、オランダ)
共同副議長	長縄将幸 (サービス連合、日本)
女性代表	Praveena Singh (AIRF、インド)
青年代表	Nedezhda Staneva (FTTUB、ブルガリア)
一般委員	
Manuel Cortes (TSSA、英国)	Nina Ricci (USYTZPOG、ガボン) - 前半
Li Yin Yao (TTLU、台湾)	Luis Machuango Macuacua (SINTIHOTS、モザンビーク) - 後半



## 都市交通委員会報告書

都市交通委員会が2018年10月17日に開催された。

### 議題1: 議題の採択

委員会参加者は議題を採択するよう求められた。

### 議題2: 報告者、投票検査人、投票集計人の選出

ヴァインセント・オンバティ(MWU、ケニア)が報告者に選出された。

スワンカナ・タングラチェット (SRUT、タイ) とウィルマ・クレメント (BWU、バルバドス) が投票検査人に選出された。

アラン・ストゥール (CGT、フランス) とジョセフ・ディリトゥ (PUTON、ケニア) が投票集計人に選出された。

### 議題3: 大会テーマと今後の戦略

大会テーマ文書に関する議論は議題4「活動計画」に関する議論とともに行われた。

大会テーマ文書が採択された。

### 議題4: 活動計画

議長が前回大会以降、私たちの公共交通(OPT)プログラムの中で行われてきた活動について簡潔な報告を行い、今後の戦略と活動計画を紹介した。この報告が終わるとすぐに場内にいた青年が会議を「ハイジャック」する形で将来の労働運動における青年の重要性を訴えた。若者は「私たちの組合であり、私たちの大会だから、私たちの意見が重要だ!」と叫んだ。議長はこの行動を歓迎し、青年労働者がこのように自発的に戦闘的な行動を起こすことが不可欠であること強調し、様々な分野でこのように自発的に行動するよう青年を促した。

都市交通委員がテクノロジーと自動化、組織化、多国籍企業、ジェンダーと雇用についてプレゼンテーションを行った。

議論の中では主に以下の点が提起された:

- 都市交通委員会の活動と世界の組合の組織化、将来の労働運動にとって青年労働者は不可欠な存在である。

- ジェンダー平等は私たちの公共交通(OPT)プログラムの欠かせない要素であり、女性のリーダーシップを構築し、性別による職域分離や女性に対する暴力をなくすことは世界中のITF加盟組合の基本である。
- 世界中で多くの加盟組合が公共交通の組織化やインフォーマル労働者の組織化、複合公共交通や多国籍企業の組織化に成功している。
- しかし、公共交通を「私たちのもの」にするためには、まだ多くのことを成し遂げなければならない。インフォーマル労働者は正規の雇用状況をもたず、搾取され、弱い立場にある。公共交通は公共所有であるべきであり、労働者と利用者の利益のために存在すべく、民主的な管理がなされるべきだ。とりわけ女性は新技術によって孤立化されることを余儀なくされ、その安全が脅かされている。
- 多国籍企業における組織化について、本社を活動の標的とし、国境をまたいで急速に行うことができれば大きな力となる。
- 国際団結が必要であり、世界中で国際連帯を活用し、仲間の経験から学び、より多くの労働者、女性、青年を組織し、組合の力と強みを倍増させ、将来に向けて労働運動を強化する必要がある。

委員会の参加者は、大会テーマ文書に記されている2019年～2023年の都市交通委員会の優先事項を採択した。

委員会参加者は「市民のための公共交通政策」を採択した。

## 議題5：動議

### 第1号合体動議非公式労働者の組織化

本動議を全体会議で採択することを勧告することとした。

### 第7号緊急動議：トランスジェンダー

提案通り、採択された。

## 議題6：選挙

議長が都市交通委員会の新たな役割に言及し、今後は都市交通委員会が都市交通総会となることや、この構想は既に路面運輸総会および鉄道総会で承認されていることを説明した。

都市交通運営委員会の創設と別紙1の構成が承認され、以下が選出された。

議長：ジョン・マーク・ムワニカ (ATGWU、ウガンダ)

## 議題7：その他

**求められる行動：**多国籍企業での急速な組織化を進めるため、多国籍企業で働く労働者を組織する加盟組合に対して、連絡担当者氏名をITF書記局に知らせてくれるよう要請がなされた。

### 金バッチ授与

書記長が世界中の交通運輸労働者とその利益、労働組合の自由と権利の維持のために類まれな貢献を行ったことを称え、アズビヨン・ウォールに金バッチを授与した。

# 都市交通委員会

2018年10月17日現在

役員	
議長	John Mark Mwanika (AGTGWU、ウガンダ)
第1副議長 (路面運輸部会の副議長 (旅客))	Wol-San Liem (KPTU、韓国)
第2副議長 (鉄道部会の副議長)	未定
女性代表	ITF女性委員会が決定
青年代表	ITF青年委員会が決定
アフリカ	
コーディネーター	未定
アラブ	
コーディネーター	未定
アジア太平洋	
コーディネーター	未定
欧州	
議長 (ETF都市交通委員会の議長)	アラン・ストゥール (フランス、CGT)
中南米・カリブ海地域	
コーディネーター	未定
北米	
コーディネーター	未定

加盟組合や地域事務所と相談の上、書記長が委員会のメンバーおよび作業グループのコーディネーターを決定することとなる。



# 女性総会報告書

女性総会が2018年10月18日に開催された。

女性委員会のダイアナ・ホランド議長が開会の挨拶を述べた後、シンガポール加盟組合協議会のメアリー・リュン議長が歓迎の挨拶を述べた。

## 議題1: 議題の採択

提案通り、議題が採択された。

## 議題2: 報告者、投票検査人、投票集計人の選出

ジャスミン・ラバルダ (AMOSUP、フィリピン)が報告者に選出された。

アストリッド・ケーニツヒ (Kommunal、スウェーデン) とティナ・オーグスチン (SPKA、インドネシア) が投票検査人に選出された。

ガエベペ・モラオディ (BTGWU、ボツワナ) とアナ・マリア・オレラナ・モラレス (STCLP、ペルー) が投票集計人に選出された。

## 議題3: 大会テーマ文書

書記長が女性関連の優先活動に焦点を当てながら大会テーマ文書について説明し、女性活動に対するITFのコミットメントを確認した。議題4の活動計画と合わせて、大会テーマ文書に関する議論が行われた。

大会テーマ文書が採択された。

## 議題4: 活動計画

代議員は、次の3つの文書に注目した。

- 2017年11月にマラケッシュで開催された女性総会の結果と勧告をまとめた文書「女性交通運輸労働者の力の構築—私たちにも!」が承認された。
- 2018年世界大会のテーマ文書「交通運輸労働者の力の構築」に記載されている女性関連の優先活動が支持された。
- 「公共交通部門の女性労働者に対する仕事の未来に関する影響」と題する2018年の報告および勧告がITFの戦略や女性活動を強化する画期的な調査報告書として歓迎された。

その後、ITFの女性活動と今後の優先課題について、次の通り、報告が行われた。

- 導入: プリギッタ・パス (FNV、オランダ)
- 物故者: テリー・マスト (ILWU、米国)
- ロジスティクス・倉庫: ヴァレリー・ラトロン (FGTE-CFDT、フランス)
- ジェンダーに基づく職業分離: ローラ・カルドバ (FNTCOTAC、アルゼンチン)
- 民間航空の組織化: レスリー・ディアス (Unifor、カナダ)
- 我々の公共交通: ウィルマ・クレメント (BWU、バルバドス)

- 女性の権利提唱、職場におけるDV、職場の暴力・ハラスメントに関するILO条約・勧告：シーラ・ナイワデ (MSTKS、インド)
- 国連女性の地位委員会 (UNCSW) と世界女性デーに関する活動：ドロシー・ナンデラ (ATGWU、ウガンダ)
- 女性のリーダーシップ：エカテリーナ・ヨルダノバ (FTTUB、ブルガリア)

参加者は、ネルミン・アルシャリフ (リビヤ港湾船員組合書記長) の出席を称えるとともに、彼女に対するITFおよび加盟組織の圧倒的支援を祝した。また、あらゆるレベルでの女性のリーダーシップ発揮を訴える彼女の発言を支持した。さらに、世界の組合活動家に対する迫害を断固非難した。

議長が2本の柱から成る活動計画を紹介した。

- **女性交運労働者の経済力を構築する：世界の交通運輸産業で男女の職域分離をなくす – 「この世界は私たち女性のものである！」**：業界に影響力を持つ使用者や国際金融機関をターゲットにする。
- **労働組合の力を構築し、女性交運労働者に対する暴力を阻止する**：グローバルレベル、地域レベル、国レベル、産業レベルで暴力阻止を訴えるとともに、職場における暴力とハラスメントに関するILO条約・勧告の採択、批准を実現するために、以下等を行う。
- 既にジェンダーの要素がしっかりと盛り込まれている「私たちの公共交通」プログラムを推進する。
- ジェンダー平等政策を促進し、女性のリーダーシップ育成と女性労働者の組織化を進めることで、倉庫、ハブ、インフォーマル労働者のプログラムを強化する。

- ITFやITF女性部の優先活動を推進するために、国際女性デー (3月8日)、女性に対する暴力撤廃の国際デー (11月25日)、女性にとって安全な都市の国際デー、世界トイレデー (11月19日) 等の国際デーを活用する。

その後の議論において、以下の問題が提起された。

- デジタル・テクノロジーに対応するための訓練を通じて、女性交通運輸労働者の力をつける
- 女性交通運輸労働者の組織化
- 賃金と労働条件の平等
- 更年期が女性労働者に及ぼす影響を認識し、更年期に関する方針の導入を会社に訴える
- 女性に対する暴力 (国際的な女性の権利提唱プログラムとDV有給休暇)
- 執行部や意思決定機関に女性を参加させるとともに、女性のための機構を整備する
- ジェンダーに基づく職域分離を終わらせる
- 交通運輸労働者がトイレを安全に利用する権利を確保する

中南米・カリブ海地域の複数の女性参加者が、週頭に実施された中南米・カリブ海地域選挙グループ会議で敵意や軽蔑の風潮が感じられたことについて、懸念を表明した。ITFのいかなる行事においてもこの種の行為は許されないことの再確認を求める彼女たちの要請が強く支持された。

2019年以降の女性関連優先活動が承認された。

## 金バッジ

ITF執行委員、ITF女性委員会副議長、CCWU（ガイアナ）書記長を務めたアン・アンダーソンの貢献を称えた。ITF書記長が、世界の交通運輸労働者の正義と利益の追求、労働組合の自由と権利の擁護に努めたアン・アンダーソンに金バッジを贈呈した。

## 議題5: 動議

決議委員会が女性総会に付託した動議はなかった。しかし、全体会議で議論されることになっている1件の動議が、女性労働者に言及しているため、女性総会で審議することとなった。

## 第1号合体動議：非公式労働者の組織化

ギーサ・シュレスタバタライ(NETWON、ネパール) が第1号合体動議を提案した。本動議を強く支持するとともに、本動議の採択を全体会議に勧告することが確認された。

## 議題6: 選挙

### 女性委員会

以下の役員が**選出**された。

アフリカ	
地域代表	Anika Manavi (SYNTRAPAL、トーゴ)
地域代表	Maryam Jummai Bello Yassin (NURTW、ナイジェリア)
地域代表	Wendy Mwaonanyi Kavolo (RWUM、マラウイ)
アラブ	
地域代表	Kalthoum Barkallah (FNCT、チュニジア)
アジア太平洋地域	
地域代表	Mich-Elle Myers (MUA、オーストラリア)
地域代表	Heity Ariaty (2019年末の退任まで)、Tina Agustien (2020年～次回大会まで) (両者ともSPKA、インドネシア)
地域代表	Enktugs Bat-Erdene (FMRWU、モンゴル)
地域代表	Sheela Naikwade (MSTKS、インド)
欧州	
地域代表	Nuria Belengeur (UGT、スペイン)
地域代表	Susanne Gallhagen (Kommunal、スウェーデン)
地域代表	Diana Holland (ユナイテッド、英国)
地域代表	Maya Schwiegershausen-Güth (VER.DI、ドイツ)
地域代表	Olga Vakulenko (ROSPROVZHEL、ロシア)
地域代表	Madlen Yordanova (FTTUB、ブルガリア)
中南米・カリブ海	
地域代表	Alma Teresa Gonzalez (ATM、メキシコ)
地域代表	Laura Cordoba (FNTCOTAC、アルゼンチン)
地域代表	Dionne Howard (BWU、バルバドス)
北米	
地域代表	Sara Gonzales (IAM、米国)
地域代表	Joy Thomson (CMSG、カナダ)
地域代表	Leslie Dias (UNIFOR、カナダ)

産別部会代表	
民間航空部会	Dorsaf Saihi (FNT, Tunisia)
港湾部会	Monique Verbeeck (BTB、ベルギー)
水産部会	Sylvie Roux (FGTE-CFDT、フランス)
内陸水運部会	Valérie Latron (FGTE-CFDT、フランス)
鉄道部会	Simi Lalsingh (NFIR、インド)
路面運輸部会	Wilma Clement (BWU、バルバドス)
船員	Lena Dyring (NSU、ノルウェー)
観光部会	Praveena Singh (AIRF、インド)
各地域選出の女性執行委員	
アフリカ	Juliana Mpanduji (COTWUT、タンザニア)
アラブ	Merym Halouani (UMT、モロッコ)
アジア太平洋	Mary Liew (SMOU、シンガポール)
欧州	Valérie Latron (FGTE-CFDT、フランス)
中南米・カリブ海	Fernandes (FNTEF、ブラジル)
北米	Terri Mast (ILWU、米国)
青年部門の女性代表	
	Jasmin Labarda (AMOSUP、フィリピン)

新女性委員会が開催され、議長および副議長が次の通り選出された。

議長	Diana Holland (UNITE、英国)
副議長	Kalthoum Barkallah (FNCT、チュニジア)
副議長	Mich-Elle Myers (MUA、オーストラリア)
副議長	Wilma Clement (BWU、バルバドス)

## 議題7:その他

その他の審議案件はなかった。

# 青年総会報告書

青年総会が2018年10月17日に開催された。

## 議題1: 議題の採択

提案通り、議題が採択された。

## 議題2: 報告者、投票検査人、投票集計人の選出

ドロテア・ゼック (クロアチア) とジュリアン・ソーサ (アルゼンチン) が報告者に選出された。

ファチマ・アジュズ (レバノン) とダン・カスク (カナダ) が投票検査人に選出された。

ベラディナ・トマシ (イタリア) とスティック・ス・カンブル (スワジランド) が投票集計人に選出された。

## 議題3: 大会テーマ文書

書記長が大会テーマ文書について説明し、青年の重要性を強調するとともに、ITFが青年に役職を与える機会を増やしていくと述べた。また、青年労働者の77%が非正規雇用 (労働者全体では58%) であり、移民労働者の70%が30歳未満であり、青年男性の失業率は54%、青年女性の失業率は37%であると説明した。

さらに、青年労働者はITFのグローバルな運動をリードし、運動の中心とならなければならないと述べ、青年が声を上げ、青年のネットワークを構築し、政策・戦略を立案するよう促した。

また、青年活動に対するITFのコミットメントの一環として、青年部長の任命が執行委員会で承認され、2019年初頭に面接を実施することを確認した。

大会テーマ文書が採択された。

## 議題4: 活動計画

仕事の未来および自動化・デジタル化が青年交通運輸労働者に及ぼす影響に関するパネルディスカッションが行われた。概要は次の通り。

- 技術は機会と課題をもたらす。オルグのために労働者に直接コミュニケーションを行うことが可能となるとともに、幅広い人に迅速にメッセージを伝えることができる。
- 既に雇用喪失が始まっている。しかし、技術の導入で新規に雇用が創出された場合は、それを要求していかなければならない。
- 技術が監視目的で使われることが多くなり、プライバシーに影響が出ている。
- 技術や所有に関する規制強化が必要だ。技術が導入されるときには、労働組合が交渉に参加し、意見を言わなければならない。
- デジタル化や自動化の雇用への影響に対応するためには、技能再教育や訓練が不可欠だ。
- 新技術の導入に伴い、3か月間の労使協議期間を労働協約に盛り込ませる提案が、本総会参加者に評価された。

料理宅配運転手の組織化を含む5か年活動計画に関するプレゼンテーションが行われた後、UNSW (オーストラリア) のジャック・ブトロスがギグ・エコノミーとプラットフォーム労働者の権利について発表した。UNSWが食事宅配運転手200人以上から収集したデータによると、最低賃金を下回る賃金で働いている運転手は75%、18歳~30歳の運転手は90%に達し、平均年齢は24歳であった。NSWUは、政府にロビーイングをしたり、不当解雇を裁判に訴えたりする運動を展開していた。また、産業全体を対象とする権利憲章の策定やデジタルオルグのツールの開発を行っていた。

ITF青年グローバル・コーディネーターは、若年非正規労働者の組織化、ローコストキャリア（特にライオンエア）の組織化、訓練と技能再訓練（特に海事部門）を活動計画に加える必要があると述べた。また、政策立案者に影響力を行使することが重要であり、公正で持続可能な変化をもたらす政策や規制を勝ち取るために組合は闘わなければならないと述べた。さらに、労働基準は、雇用主や雇用形態にかかわらず、全ての交通運輸労働者に適用されなければならないと主張し、青年運動を継続し、青年のリーダーを養成し、青年の連帯を強化することが重要であると述べた。

AWU（オーストラリア）のダニエル・ウォルトンがオルグとリーダーシップについて述べ、強力な青年ネットワークの構築を継続していくよう促した。また、青年のリーダーが組合運動を現代的なものにしていくことが重要であると述べた。

総会代議員は2019年～2023年の優先活動を承認した。

## 議題5：動議

決議委員会より青年総会に付託された以下の動議が審議された。

### 第18号動議：青年船員および青年港湾労働者の権利の保護

本動議が採択され、海事部門だけでなく、全部門の青年労働者に適用されなければならないことが確認された。

## 議題6：選挙

ITF青年委員会の選挙、構成、委員の役割、運営規則の改定案が承認された。

各地域の選挙グループで以下の委員が選出された。新委員会が招集され、2名の共同議長が選出された。

### 共同議長

- Dorotea Zec (SPH-SUC、クロアチア)
- Alexandros Tokhi (ユニフォー、カナダ)

### 委員

- Ivanilda Madade (SINTAC、モザンビーク)
- Moussa Sangare (SYNACCI、コートジボワール)
- Usman Sherif (NURTW、ナイジェリア)
- Vincent Ombati (MWU、ケニア)
- Mohamed El Younoussi (UMT、モロッコ)
- Arwa Mejri (FNT、チュニジア)
- Danny Cain (MUA、オーストラリア)
- Preeti Singh (AIRF、インド)
- Dominic Young (SMOU、シンガポール)
- Shun Kwan Shenky Wong (MNOG、香港)
- Lisa Gniesse (Ver.di、ドイツ)
- Nick Loridan (BTB、ベルギー)
- Vana Bosto (SPH、クロアチア)
- Enis Kaya (LİMAN-İŞ、トルコ)
- Kamil Butler (PSU、ポーランド)
- Gaby Boulou (FGTW – CFDT、フランス)
- Ignacio Orsi (友愛、アルゼンチン)
- Horacio Calculli (AAA、アルゼンチン)
- Phelia Wilson (NWU、セントルシア)
- Claudia Pinilla (SNTT、コロンビア)
- Brianna Gregory (IAMAW、米国)
- Heather Morse (AFA-CWA、米国)
- Matthew Dwyer (MEBA、米国)
- Alexandros Tokhi (ユニフォー、カナダ)

青年委員会の構成が別紙1の通り承認された。

## 議題7:その他

多くの発言がなされた。概要は以下の通り。

- EVG (ドイツ) が、「騒ぎを起こす運動」の一環として、労働条件向上を求めて闘っているEVG組合員への国際連帯を要請した。
- Vida (オーストリア) が、オーストリア政府の青年労使協議会廃止計画に反対する署名活動への連帯を要請した。
- 青年総会開催時点において、中南米・カリブ地域選出のITF副会長がアルゼンチンに帰国する時に、逮捕状が出されることとなっていた。しかし、組合員や国際労働組合運動の連帯によって、逮捕状は出されなかった。
- デジタル化や自動化で重要な点は、生産手段を誰が所有するのかということである。
- デジタル化の難点は、個人情報収集される点である。
- 第8号動議の支持の呼び掛けレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クィア、インターセックス (LGBTQI) に関する、他の国際産別組織 (GUF) の労働組合の方針の促進
- I T F 女 性 部 門 の プ ロ ジ ェ ク ト 「#ThisIsOurWorldToo」と所属組合での女性の活躍の支持の呼びかけ

## 青年委員会

2018年10月17日現在

役員	
共同議長	Alexandros Tokhi (ユニフォー、カナダ)
共同議長	Dorotea Zec (SPH-SUC、クロアチア)
女性代表	Jasmin Labarda (AMOSUP、フィリピン)
委員	Franco Nervegna (UPSA、アルゼンチン) He-Jun Eugene Guo (SOS、シンガポール)
	Alexandra Shubina (ROSPROFZHEL、ロシア)
地域代表	
アフリカ	Ivanilda Madade (SINTAC、モザンビーク) Moussa Sangare (SYNACCI、コートジボワール) Usman Sherif (NURTW、ナイジェリア)
アラブ	Vincent Ombati (MWU、ケニア) Mohamed El Younoussi (UMT、モロッコ) Arwa Mejri (FNT、チュニジア)
アジア太平洋	Danny Cain (MUA、オーストラリア) Preeti Singh (AIRF、インド) Dominic Young (SMOU、シンガポール) Shun Kwan Shenky Wong (MNOG、香港)

欧州	Lisa Gniesse (Ver.di、ドイツ)
	Nick Loridan (BTB、ベルギー)
	Vana Bosto (SPH、クロアチア)
	Enis Kaya (LİMAN-İŞ、トルコ)
	Kamil Butler (PSU、ポーランド)
中南米・カリブ海	Gaby Boulou (FGTW – CFDT、フランス)
	Ignacio Orsi (友愛、アルゼンチン)
	Horacio Calculli (AAA、アルゼンチン)
	Phelia Wilson (NWU、セントルシア)
北米	Claudia Pinilla (SNTT、コロンビア)
	Brianna Gregory (IAMAW、米国)
	Heather Morse (AFA-CWA、米国)
	Matthew Dwyer (MEBA、米国)
	Alexandros Tokhi (ユニフォー、カナダ)
<b>産別部会代表</b>	
民間航空部会	Shauna McCormack (フォルサ、アイルランド)
港湾部会 (共同代表)	Nick Loridan (BTB、ベルギー)
	Viri Gómez (ILWU、カナダ)
水産部会	Jorge Alejandro Vargas (SOMU、アルゼンチン)
内陸水運部会	Cinthia Magali Diaz (CPOFPCM、アルゼンチン)
鉄道部会	Luciano Salomon (ASFA、アルゼンチン)
路面運輸労働者部会	Justyna Matuszewska (ユニイト、英国)
船員部会	Dorotea Zec (SPH-SUC、クロアチア)
観光サービス部会	Nedezhda Staneva (FTTUB、ブルガリア)



# 世界大会参加者

国	所属組織	代議員 (団長*) アドバイザー ITFコーディネーター/インスペクター
Algeria	Fédération Nationale des Cheminots	<b>Albane, Abdeslam*</b> Chekroud, Karima Ladjali, Ahmed Yerboub, Abdelhamid
Algeria	Fédération Nationale des Travailleurs des Transports - Union Générale des Travailleurs Algériens	<b>Abdelmoumene, Hayat</b> Belkacemi, Ahmed <b>Berrama, Seddik*</b> Dabbagh, Firas Khelifi, Abderahmane <b>Mezali, Bilal</b> <b>Mostefai, Chahira</b>
Algeria	Fédération Nationale des Travailleurs du Pétrole et du Gaz, de la Chimie	Boucekine, Oumelkheir <b>Haffane Benarmas, Amine</b> Hammani, Messaoud <b>Kreri, Lamia</b> <b>Touahria, Hamou*</b>
Algeria	Federation Nationale Travailleurs Ports Algériens -UGTA	Ahmed, Arki <b>Boulassel, Noureddine</b> <b>Hachemi, Malika</b> Meknaci, Rachid <b>Meliani, Mohammed*</b>
Antigua & Barbuda	Antigua & Barbuda Workers' Union	<b>Massiah, Dane David</b>
Argentina	Asociación de Personal Aeronáutico	<b>Llano, Edgardo Anibal*</b> Mella, Rafael Alfredo
Argentina	Asociación de Pilotos de Líneas Aéreas	<b>Bianco, Daniel</b>
Argentina	Asociación de Señaleros Ferroviarios Argentinos	<b>Salomon, Luciano Patricio</b>
Argentina	Asociación Técnicos y Empleados de Protección y Seguridad a la Aeronavegación	<b>Doino, Jonatan</b>
Argentina	Centro de Capitanes de Ultramar y Oficiales de la Marina Mercante	<b>Castro, Marcos Ricardo*</b> Del Curto, Monica Gisela <i>Alarcon, Roberto Jorge</i>
Argentina	Centro de Jefes y Oficiales Maquinistas Navales	<b>Dominquez, Horacio Enrique*</b> Mayotti, Eduardo Oscar Suarez, Andrea
Argentina	Centro de Patronos y Oficiales Fluviales, de Pesca y Cabotaje Marítimo	Bianchi, Jorge Diaz, Cinthia Magali <b>González Insfran, Julio Benjamín*</b>

Argentina	Federación Nacional de Trabajadores Camioneros y Obreros del Transporte Automotor de Cargas, Logística y Servicios	Casas Ponce, Fernando Gabriel Cavalli, Lorena <b>Cordoba, Laura Graciela</b> Encina, Pablo Antonio Garcia, Jose Luis Guaymas, Martin Guzman, Elias Limpes Duarte, Oscar Jose Francisco Mordiglia, David Santiago <b>Moyano, Hugo</b> <b>Moyano, Pablo Hugo Antonio</b> Ruiz Vargas, Gabriela Analia Velazquez, Juan Eduardo <b>Velazquez, Victor Luis*</b>
Argentina	Sindicato Conductores Navales de la República Argentina	<b>Vilar, Mariano</b>
Argentina	Sindicato de Guincheros y Maquinistas de Grúas Móviles de la República Argentina	Aguirre, Jonatan Ruben <b>Coria, Roberto Eduardo*</b>
Argentina	Sindicato de obreros Maritimos Unidos	Valderrama, Jose David Diaz, Damian Enrique Fojo, Sandra Noemi <b>Mereles, Daniel</b> <b>Molina, Geronimo David*</b> <b>Navarro, Angel Juan</b> Vargas, Jorge Alejandro
Argentina	Sindicato del Personal de Dragado y Balizamiento	<b>Aruto, Jorge Daniel*</b> Diaz, Mauricio Milio, Roberto Andrés Schmid, Juan Carlos
Argentina	Sindicato Encargados Apuntadores Marítimos y Afines de la República Argentina	<b>Raymond, Ricardo</b>
Argentina	Sindicato Flota Petrolera e Hidrocarburifera	Grigera, Rafael Carlos <b>Ocampo, Hector Daniel*</b>
Argentina	Sindicato La Fraternidad	Coria, Nicolas Antonio Galeano, Nicolas Octavio Maturano, Omar Aristides Maturano, Sebastian Orsi Iszczuk, Ignacio Elias <b>Sosa, Julio Adolfo*</b> <b>Sosa Cappello, Julian Ariel</b>
Argentina	Sindicato Único de los Trabajadores de los Peajes y Afines	<b>Sanchez, Sergio Julian</b>
Argentina	Unión del Personal Superior y Profesional de Empresas Aerocomerciales	Cestoni, Paolo Dotta, Sergio <b>Fernandez, Ruben*</b> <b>Trotta, Patricia Graciela</b>
Argentina	Unión Ferroviaria	Alegre, Emmanuel Julio Alberto <b>Benemerito, Karina Fabiana*</b> Galeano, Matias Francisco <b>Sasia, Sergio Luciano</b> Veliz, Damian Ezequiel

Australia	Australian Institute of Marine & Power Engineers	<b>Byrne, Martin*</b> McAllister, Ian
Australia	Australian Licensed Aircraft Engineers' Association	Derndorfer, Wayne Gill, Peter <b>Purvinas, Steve*</b>
Australia	Australian Maritime Officers Union	<b>Davis, Mark*</b> Higgs, Tim
Australia	Australian Rail, Tram & Bus Industry Union	Allen, Peter Cubit, Byron <b>Doogan, Owen</b> Gorman, Leanne Graveson, Amy Lamont, Darren <b>McCallum, Joanne</b> Moore, Victor Ofner, Dominic*
Australia	Maritime Union of Australia	Andrikopoulos, Tyrone Bin Haji Sahari, Sunario Cain, Chris Campbell, Jason Carter, Scott Clifton, Mark William Clothier, Clement Cross, Michael Geoffrey <b>Crumlin, Paddy*</b> Deakin, Lionel Joseph Doleman, Michael Duignan, Campbell Dunn, Jerome Luiz Evans, Adrian Fagan, Dean Matthew John Farrelly, Bernard Frew, Glenn Gallagher, Paul Giddins, William Gough, Jason James Gore, Terence Gray, Ann Helps, Victoria Italia, Joseph Martin Jones, Mark Keane, Garry Krausert, Frederick Lee, Adam MacPherson, Michael <i>Maguire, Sarah</i> Mayor, Thomas McGibbon-Thompson, Ryan McMechan, Jamie Scott Myers, Mich-Elle Nealan, Anthony Newlyn, Jamie Outram, Dennis Pedler, Nick Prout, Mary <i>Purcell, Matt</i>

		Shumba, Abigail Sharon <b>Smith, Warren</b> Sperring, Aaron <i>Summers, Dean</i> <b>Tracey, Will</b> Verhoeff, Murray Wattam, Allen
Australia	The Australian Worker's Union	<b>Walton, Daniel</b>
Australia	Transport Workers' Union of Australia	Boutros, Jack Dawson, Timothy Forbes, Michael <b>Kaine, Michael</b> McDine, Scott <b>McIntosh, Sam</b> McIntyre, Scott Olsen, Richard* Pieri, Michael Pinkas, Klaus Pirc, Robert <b>Sheldon, Tony</b> Trevillian, Mark
Austria	Gewerkschaft vida	<b>Delfs, Karl</b> <b>Hebenstreit, Roman*</b> Hofmanninger, Christian <b>Janisch, Oliva</b> <b>Rathgeb, Maria</b> <b>Schwarcz-Breuer, Johannes</b> <b>Tauchner, Gerhard</b>
Bahrain	General Federation of Bahrain Trade Unions	Aladhum, Saleh <b>Al-Saad, Salman*</b> Mohamed, Shukri
Bangladesh	Bangladesh Biman Employees Union	<b>Islam, Zahirul*</b> Khan, Abdul Mannan Mannan, Abdul
Bangladesh	Bangladesh Biman Flying Services Association of Cabin Crew	<b>Gani, Md Tanvirull*</b> Hossain, S M Anwar Urmee, Sanjeeda Parveen
Bangladesh	Bangladesh Biman Officers' Association	<b>Hossain, Mohammed*</b> Md Abu, Taher MD Tarek, Mahmood
Bangladesh	Bangladesh Noujan Sramik Federation	<b>Chowdhury Ashiqul, Alam*</b> MD Faruk Hossain, Shikder Mohammed Jahangir, Alam Mohammed Nabi, Alam Shahalam, Bhuiyan
Bangladesh	Bangladesh Railway Employees' League	<b>Akand, Mohammad</b> <b>Enayet Hossain*</b> Haque, Kazi Anowarul Mazumder, Aysha Pervin Uddin, Mohammad Sayeed Zaman, Ashaduz

Bangladesh	Bangladesh Railway Sramik League	Akand, Md Habibur Rahman Billah, Mohammad Masum <b>Kabir, Mohammad Humayun*</b> Nahar, Shamsun Rahman, Md Anisur Rahman, Md Habibur Shaili, Khadija Akter
Bangladesh	Bangladesh Road Transport Workers' Federation	<b>Ali, Osman</b>
Bangladesh	Biman Sramik League	Ahmed, Afsana Ahmed, Golam Kyser Akhter, Farhana Azaharul Islam, Mohammad Bari, Lablu Md Abdul Benu, Asma Khanam Chowdhury, M Mohib Uddin Hafizul, Haque MD Haque, Mohammad Mohsinul Haque, Mohammed Majedul Harun Ur Rashid, Mohammad Hossain, Mohammad Anwar Islam, Mohammed Firozol Munshi, Abdur Rahman Parveen, Rozina Rahman, Md Mojibur <b>Rahman, Md Mosikur*</b> Rahman, Md. Atiqur Roy, Rajsree Shahina, Aktar Msd Sharmin, Husne Ara Sila, Farhana Aziz Subhan, Mohammed Abdus
Bangladesh	Jatio Rickshaw Van Sramik League	<b>Ali, Md Insur*</b> Islam, Md Monirul Khokan, Mohammad Hanif Razu, Md Nazim Uddin
Barbados	National Union of Public Workers	<b>Beckles - Jordan, Makala</b>
Barbados	The Barbados Workers' Union	Clement, Wilma <b>Howard, Dionne*</b>
Belarus	Belarussian Trade Union of Transport and Communications' Workers	<b>Ring, Vladimir</b>
Belgium	ACOD/CGSP Telecom Vilegwezen Aviation	<b>Reniers, Christine</b>
Belgium	ACV - Openbare Diensten	<b>Hamelinck, Luc</b> <b>Coolbrandt, Jan*</b>
Belgium	ACV - Transcom	<b>Callaerts, Kurt</b> <b>De Mey, Koen*</b> Deville, Roger <b>Guillemy, Bernadette</b> <i>Roos, Christian</i> <b>Smeyers, Didier</b> <b>Verboven, Liesbet</b>

Belgium	Belgische TransportBond	Cockx, Patrick <b>De Roeck, Veronique</b> Dierckx, Carine Huijsmans, Rino <b>Kerkhof, Jacques</b> <b>Loridan, Marc</b> Loridan, Nick Maratta, Daniele Moreels, Frank* Reynaert, John Van De Velde, Ronald Van Noten, Marc Verbeeck, Monique Verrept, Kevin
Belgium	Landelijke Bedienden Centrale - Nationaal Verbond voor Kaderleden	De Borger, Daniel <b>Gelens, Elke</b> <b>Gielis, Wannes*</b>
Belgium	Secteur Cheminots de la Centrale Générale des Services Publics	Abdissi, Michel <b>Blauwens, Gunther</b> Deschaepmeester, Claude <b>Libert, Etienne*</b> Martin, Christian <b>Sempels, Ludo</b>
Belgium	Syndicat des Employés, Techniciens et Cadres de Belgique	<b>Boninsegna, Jean-Pierre</b> <b>De Deyn, Erwin*</b> Hens, Stan Peeters, Rita
Benin	Federation des Syndicats des Travailleurs de l'Asecna	<b>d'Almeida, Richard</b>
Benin	Syndicat Autonome des Jeunes Transitaires Indépendants du Bénin	<b>Sanni, Bonaventure</b>
Botswana	Botswana Transport & General Workers Union	Matlhadisa, Gosatla <b>Molaodi, Gaebepe*</b>
Brazil	Confederação Nacional dos Trabalhadores em Transportes Aquaviários e Aéreos, na Pesca e nos Portos	<b>Almeida Filho, Severino*</b> <b>Melgrarejo Freitas, Sales Eurico</b> <b>Pintor Silva, Lorena</b> <b>Rech, Eduardo Antonio</b>
Brazil	Federação Nacional dos Trabalhadores em Aviação Civil	<b>de Almeida Dias, Luiz Sergio*</b> <b>Maciel, Rodrigo</b> <b>Ribeiro, Adriana</b>
Brazil	Federação Nacional dos Trabalhadores em Transportes Aquaviários e Afins	<b>Leite Goulart Ponzi, Ricardo</b>
Brazil	Federação Nacional dos Trabalhadores Ferroviários	Calegari de Moraes, João Edacir De Freitas, Maria Elizeti Domingos, Pedro Paula Felicio, Francisco Aparecido Fernandes de Freitas, Antônio Carlos <b>Fernandes, Janaina*</b> Francisco, Paulo Pinto, Osvaldo Vianna, Ciro Cesar
Brazil	FETROPASSEGEIROS - Federação dos Trabalhadores nas Empresas Transporte Passageiros do Estado do Para	<b>Batista da Silva, João*</b> <b>Da Silva, Thiago</b>

Brazil	Sindicato dos Conferentes de Carga e Descarga nos Portos do Estado do Rio de Janeiro	<b>Machado Fernandes, Mayo Uruguao</b>
Brazil	Sindicato dos Trabalhadores nas Empresas de Transporte Aéreo do Município do Rio de Janeiro	<b>Menezes, Alexandre*</b> Schmidt, Marcelo
Brazil	Sindicato Nacional dos Empregados em Empresas Administradoras de Aeroportos	<b>Bertordo, Shirley</b> De Freitas, Mauricio <b>De Lemos, Francisco Luiz Xavier*</b> <b>Tavares de Jesus Amaro, Mara Meiry</b>
Brazil	Sindicato Nacional dos Oficiais da Marinha Mercante	<b>Muller, Carlos Augusto</b> <b>Válido Azevedo da Conceição, José*</b>
Bulgaria	Federation of Transport Trade Unions in Bulgaria	Angelova, Iskra Bachvarov, Dimitar Dimitrov, Rostislav Drazhev, Ivan Ivanova, Emilia Kostova, Milka <b>Kulev, Kalin</b> Sidov, Ivaylo Sidova, Aneta <b>Staneva, Nadezhda</b> <b>Yordanova, Ekaterina*</b> Yordanova, Madlen
Bulgaria	National Union of Railway Workers - PODKREPA	<b>Yordanov, Zorincho*</b> Yordanova, Liliya
Burkina Faso	Fédération des Syndicats des Travailleurs et Auxiliaires du Transport du Burkina	<b>Zante, Marcel</b>
Burkina Faso	Federation National des Taximen et des Travailleurs du Secteur des Transports du Burkina	<b>Kiema, Oumarou</b>
Burkina Faso	Syndicat Unique de la Météorologie, de l'Aviation Civile et Assimilés	<b>Lamizana, Ahmed*</b> Soubeiga, Roselyne
Cambodia	Cambodian Transportation Workers' Federation	<b>Kimhun, Ean</b>
Cambodia	Independent Democratic of Informal Economy Association	<b>Long, Vuthy</b>
Cameroon	Syndicat National des Inscrits Maritimes et Assimilés du Cameroun	<b>Gouanfo, Innocent</b>
Cameroon	Syndicat national des travailleurs du transport aérien catering et activités connexes du Cameroun	<b>Bwelle Epse Diboti, Doualla Yondo Charlotte*</b> Ebede Metila Epse Simeu Etoundi, Josiane Nathalie
Canada	B C Ferry & Marine Workers' Union	<b>Johnston, Graeme</b>
Canada	Canadian Merchant Service Guild	<b>Thomson, Joy</b>
Canada	International Brotherhood of Electrical Workers - Local 2228	<b>Cupples, Dave*</b> Kautz, Glen
Canada	International Longshore and Warehouse Union (ILWU Canada)	<b>Ashton, Rob*</b> <b>Engler, Terry</b> Gault, Gerry Kask, Dan <i>Lahay, Peter</i>

Canada	Seafarers' International Union of Canada	Aubry, Charles Etienne Borins, David <b>Caron, Patrice</b> <i>Giannopoulos, Vincent</i> Given, Christopher Given, Diane <b>Given, James</b> <b>Given, Michael*</b> Sanders, Joshua
Canada	Syndicat des débardeurs de Montreal, SCFP Local 375	Lalonde, Jean Langlois, Éric <b>Lapierre, Martin*</b>
Canada	Teamsters Canada	Boutin, Gerry <b>Cooper, David*</b> Gill, Richard <b>Hennessy, Stan</b> Kitchen, Gary <b>Laporte, Francois</b> McCann, John
Canada	Unifor	<b>Dias, Jerome</b> <b>Dias, Leslie</b> Duffey, Patty <b>Duffey, Peter</b> Gdanski, Sharon Kennedy, Peter Leonard, Euila Leonard, Frank Orr, Kelly-Anne <b>Orr, Robert*</b> <b>Risser, Karl</b> Risser, Nancy <b>Tokhi, Alexandros</b>
Chile	Asociación Nacional de Funcionarios de la Dirección General de Aeronáutica Civil	Flores, Lucrecia <b>Norambuena Morales, Javier*</b>
Chile	Federación de Tripulantes de la Marina Mercante de Chile	<b>Mancilla Navarro, Diógenes</b>
Chile	Federación Nacional de Empresa e Interempresas de Trabajadores del Holding Latin American - Network	<b>Chavez, Luis</b>
Chile	Federación Nacional de Sindicatos de Conductores de Buses, Camiones, Actividades Afines y Conexas de Chile	<b>Sandoval Pino, José Clodomiro</b>
Chile	Sindicato de Trabajadores Interempresas de Compañías Navieras	<b>Cajales Rojas, Pablo</b>
Chile	Sindicato Interempresa de Oficiales de Marina Mercante	<b>Azúa Almeida, Héctor</b>
Chile	Sindicato Nacional de Trabajadores DHL Chile S.A.	Hernandez, Alejandra <b>Silva, Juan*</b>
Chile	Sindicato Nacional de Tripulantes de Cabina de la Empresa LATAM Airlines Group	Contreras, Roicen Ferrer, Gonzalo <b>Pradenas, Cesar*</b> Ricci, Alberto San Juan, Cristian Zenteno, Patricia



Colombia	Asociación Colombiana de Auxiliares de Vuelo y demás Trabajadores de la Industria del Sector Aéreo Colombiano	<b>Cadavid Barbera, Maria Cristina</b>
Colombia	Sindicato de los Trabajadores del Transporte Aéreo Colombiano	<b>Limas Limas, Carmenza</b>
Colombia	Sindicato Nacional de Trabajadores de Rama, Servicios de la Industria del Transporte y Logística de Colombia	Acosta Rusinque, Vivian Johanna <b>Palencia, Esteban Barboza*</b> Pinilla Paez, Claudia Patricia
Congo	Fédération Syndicale des Professionnels de Transport du Congo	<b>Dzoundou, Carel Cyrille Claudin</b>
Côte d'Ivoire	Collectif National des Dockers et Dockers Transit pour la Defense de Leurs Droits	<b>Guehi, Adehi Ka Plike*</b> Konan, Kouassi Bruno
Côte d'Ivoire	Syndicat des Aiguilleurs du Ciel en Côte d'Ivoire	<b>Sangare, Moussa</b>
Côte d'Ivoire	Syndicat des Conducteurs de Taxi de Côte d'Ivoire	<b>Coulibaly, Ladji</b>
Côte d'Ivoire	Syndicat des Marins Pêcheurs de Côte d'Ivoire	<b>Kouassi, Barthelemy Yao</b>
Côte d'Ivoire	Syndicat du Personnel de l'Aéroport International FHB d'Abidjan	<b>Sere, Guy Georges</b>
Côte d'Ivoire	Syndicat Unique des Travailleurs du Port Autonome d'Abidjan	Obri, Mel Hippolyte Ouattara Epse Adjobi, Guecourgo Aby Sarah Danielle <b>Yao, Konan Auguste*</b>
Croatia	Railway Workers Trade Union of Croatia	<b>Mindum, Katarina</b>
Croatia	Sindikát Pomoraca Hrvatske (Seafarers' Union of Croatia)	<b>Melvan, Neven*</b> <i>Peric, Romano</i> <b>Svalina, Vladimir</b> Zec, Dorotea
Cyprus	Federation of Transport, Petroleum and Agricultural Workers	<b>Avgousti, Charalampos Stavrou, Pantelis</b>
Czech Republic	Odborové Sdružení Železničáru (Czech Railway Workers' Trade Union)	<b>Maly, Martin</b> <b>Nekola, Radek</b> <b>Romanova, Helena*</b>
DR Congo	Centrale des Travailleurs du Transport et Communications	<b>Bedel Ndundula, Jean</b>
DR Congo	Solidarité Syndicale des Travailleurs et Cadres du Congo	<b>Mputu Meba, Joelle</b>
DR Congo	Union pour la Solidarité Agissante	<b>Mukishi Kambulu, Liévin William</b>
Denmark	Centralorganisationen Søfart	Carlsen, Kurt Kjemtrup Ibsen, John Eichstedlund Petersen, Christian Homaa <b>Philipsen, A Ole*</b>
Denmark	Danish Aviation and Railway Federation	Andersen, Kirsten Marianne Frederiksen, Claus Moeller <b>Horup, Henrik*</b> Jensen, Anders Mark <b>Pedersen, Preben Steenholdt</b>
Denmark	Dansk Metal	<b>Hansen, Keld Bækkelund*</b> <b>Rosshou, Ole</b>

Denmark	Fagligt Fælles Forbund (3F)	<b>Bondebjerg, John</b> Frederiksen, John Graversen, Hans Christian Hedengran, Jørn Knudsen, Charlotte <b>Kristensen, Karsten*</b> <b>Kristensen, Karsten John</b> <b>Madsen, Tina Møller</b> Nielsen, Peter Lykke <b>Overgaard, Flemming</b> Petersen, Tina <b>Villadsen, Jan</b>
Denmark	HK Trafik & Jernbane	<b>Jørgensen, Dennis Alex*</b> Riis, Lone
Denmark	HK/Privat	Ansbjerg, Vibeke <b>Jensen, Henny Fiskbæk</b> <b>Jensen, Tony Bugel*</b>
Ecuador	Federación Nacional de Transporte Liviano Mixto y Mediano del Ecuador	<b>Cabrero Ymba, Napoleon</b>
Egypt	Egyptian Federation of Free Transport for Workers	<b>Khalil, Ragab Mosad Abdelazim Mohamed</b>
Egypt	General Egyptian Flight Attendant Union	<b>Nweashe, Ossama Abdel-Basset</b>
Egypt	General Independent Trade Union of Public Transport Authority and Great Cairo Bus Network	<b>Elbarag, Magdy</b>
Estonia	Estonian Seamen's Independent Union	<b>Kuiv, Jaanus</b>
Ethiopia	Transport & Communication Workers' Unions Industrial Federation	<b>Mena Alaro, Zeleke Sahele, Abathun Takele*</b>
Faroe Islands	Føroya Fiskimannafelag	<b>Højgaard, Jan</b>
Fiji	Federated Airlines Staff Association	Ratuvili, Manasa <b>Turagabaleti, Semisi*</b>
Fiji	National Union of Hospitality, Catering & Tourism Industries Employees	Mataibeci, Maciu Latabu
Fiji	Transport Workers' Union	<b>Kumar, Kamlesh</b>
Finland	Auto-ja Kuljetusalan Työntekijäliitto - AKT r.y. (Bil-och Transportbranschens Arbetareförbund i Finland)	<b>Adamsson, Vili-Petteri</b> <b>Hemming, Tom</b> <b>Hook, Katri</b> Jokela, Arto Juntunen, Johanna Laaksonen, Kai <b>Lehtonen, Pekka*</b> <i>Orn Jan</i> <b>Pasanen, Harri</b> <b>Sorvali, Arto</b>
Finland	Federation Of Special Service and Clerical Employees ERTO	<b>Aaltonen, Juri*</b> Nurmi, Marko
Finland	Finnish Seafarers' Union	<i>Bengts, Kenneth</i> <b>Bondas, Kenneth</b> <b>Zitting, Simo*</b>
Finland	Rautatievirkamiesliitto R.Y. (Railway Salaried Staff's Union)	<b>Juselius, Seppo*</b> Vähäuski, Kari

Finland	Suomen Konepäälystöliitto/Finlands Maskinbefälsförbund/Finnish Engineers Association	Alatalo, Joachim <b>Nyman, Robert*</b>
Finland	Suomen Laivanpäälystöliitto r.y.(Finlands Skeppsbefälsförbund)	<b>Ramsland, Johan</b>
Finland	Suomen Veturimiesten Liitto VML, ry.(Finska Lokmannaförbundet) (Finnish Locomotive Drivers Union)	<b>Palomäki, Tero</b>
Finland	The Trade Union for the Public and Welfare Sectors (JHL)	<b>Ekström, Håkan*</b> <b>Järnstedt, Teppo</b>
France	Fédération CGT des Cheminots	<b>Brun, Laurent</b> <b>Donnez, David</b> <b>Gobe, David*</b>
France	Fédération des Officiers de la Marine Marchande UGICT CGT	<b>Chateil, Jean-Philippe*</b> Flecher, Claire
France	Fédération FO de l'Équipement, de l'Environnement, des Transports et des Services	<b>Dague, Didier</b> <b>Le Floch, Laurent</b> <b>Nizaraly, Zainil*</b> <i>Pouille Pascal</i> <b>Torres, Lilian</b>
France	Fédération Générale des Transports et de l'Environnement - CFDT	<i>Archambaud, Corine</i> Aufrere, Remi Boulou, Gaby <b>Cabrera, François</b> Crochemore, Kevin <b>Latron, Valérie*</b> Le Nezet, Olivier <b>Leguevel, Thierry</b> L'huilliere, Gwenaëlle Pringent -Leguevel, Armelle <b>Rouaux, Alfred</b> Roux, Sylvie <b>Stemer, Edgar</b>
France	Fédération Nationale des Syndicats de Transports CGT	<b>Bauge, Stanislas</b> <b>Boucheix, Arnaud</b> <b>Sutour, Alain*</b>
France	Fédération Nationale des Syndicats Maritimes CGT	<b>Delacroix, Fabien*</b> <i>Tallonneau, Laure</i>
France	Fédération Nationale des Transports et de la Logistique Force Ouvrière	<b>Angulo, José</b> <b>Coulet, Myriam*</b> <b>Lefebvre, Bruno</b> Vancaeneghem, Thierry
Gabon	Syndicat Autonome des Taximens du Gabon	<b>Choukou Leboundou, Jean Stanislas</b>
Gabon	Syndicat National des Travailleurs du Secteur des Industries Extractives	<b>Kouamba, Rufin</b>
Gabon	Union des Syndicats et des Travailleurs du secteur multimodal du Gabon	Agotino Razingue Ep Toumba Moussadji, Linga Gaëlle Lepanda, Estelle Blanche Mikala-Mikala, Steeve Bernard Minguie Ep Moutendy, Nina Ricci Nyare Mendogo Ep Toung Ondo, Roselyne <b>Djoula, Philippe*</b>

Georgia	Georgian Seafarers' Union	<b>Davitiani, Otar</b>
Georgia	Georgian Railway Workers New Trade Union	<b>Giorgadze, Vitali*</b> lzhava, ilia
Germany	Eisenbahn-und Verkehrsgewerkschaft	<b>Albers, Erika</b> <b>Bunk, Rupert</b> <b>Carstens, Marion</b> <b>Frank, Alois Josef</b> <b>Kirchner, Alexander*</b> <b>Leuschner, Torsten</b> <b>Neumann, Hans Willi</b> <b>Tari, Anna Elisabeth</b> <b>Trost, Tanja Theresia</b>
Germany	Vereinte Dienstleistungsgewerkschaft (ver. di)	<b>Amier, Claudia</b> <b>Ball, Mira</b> <b>Behle, Christine*</b> Böyükmeşe, Hakan Brechtelsbauer, Moritz <b>Felsmann, Klaus Manfred</b> Fontana, Natale <i>Friedrich, Karin</i> Gehring, Thomas <b>Gneiß, Lisa</b> <i>Hemme, Sven</i> <b>Hengster, Robert</b> Kobow, Silke <i>Linderkamp, Susan</i> <b>Mendrzik, Thomas</b> Näser, Andreas Reimers, Stefan Richter, Ulrich Schwiegershausen-Güth, Maya Schwirn, Carola <b>Seebold, Torben</b> <b>Sorg, Thomas</b> Tatura, Taro Atanas <b>Thyroke, Stefan</b> <b>Worbs, Heike</b>
Ghana	General Transport, Petroleum & Chemical Workers' Union of TUC	<b>Iddrisu, Fuseini*</b> Owusu, Bernard <b>Baah, Cynthia*</b>
Ghana	Maritime and Dockworkers' Union (Ghana)	Abudu Nelson Baani, Salwa Ankomah, Muriel Anita Aubyn, Lois Nana Adjoa Ayee Kissi, Alethea Baidoo, Abdul-Rahman Bramah, Shirley Kwashie, Rita <b>Owusu-Koranteng, Daniel*</b> Yakubu, Musa Yarboi, Hannah
Ghana	National Union of Teamsters and General Workers	<b>Osabutey, Ebenezer</b>

Great Britain	Associated Society of Locomotive Engineers & Firemen	Calfe, Dave <b>Comfort, Gary</b> <b>Holloway, Cliff*</b> <b>Reay, Deborah</b> Weller, Simon Whelan, Mick Wilkinson, Terry
Great Britain	National Union of Rail, Maritime and Transport Workers	<b>Apedo-Amah, Millicent</b> Carty, Michael <b>Cash, Mick*</b> <b>Dempsey, Edward</b> <b>Hoyle, Sean</b> <b>Proctor, Darren</b> <b>Reynolds, Brian</b> <b>Todd, Stephen</b> <b>Tooley, Lorna</b>
Great Britain	Nautilus International (UK)	<b>Dickinson, Mark*</b> <b>McGowan, Danny</b>
Great Britain	Prospect	Curtis, Aaron <b>Mooney, Andy</b> <b>Winstanley, Paul*</b>
Great Britain	Public and Commercial Services Union	<b>Budd, Geoff</b>
Great Britain	Transport Salaried Staffs' Association	Carney, Bernard Michael <b>Cortes, Manuel*</b> <b>Jukes, Nicola</b> <b>Turvey, Jason</b>
Great Britain	Unite The Union	Beatty, Sean Casey, Mick <b>Crease, Richard</b> <b>Draper, Matt</b> <b>Gill, Jas</b> <b>Haworth, Alexandra</b> <b>Holland, Diana*</b> <b>Matuszewska, Justyna</b> <b>McCluskey, Len</b> <b>Mitchell, James</b> <b>Peacock, Jaine</b> <b>Richardson, Oliver</b> <b>Stevens, James</b> <b>Terry, Kevin</b> <b>Turner, Steve</b> <b>Woodhouse, Tony</b>
Greece	Pan-Hellenic Seamen's Federation	<b>Chalas, John*</b> <b>Kourakos, Stamatis</b> <b>Tselentis, Agis</b>
Guatemala	Sindicato de Trabajadores de Empresa Portuaria Quetzal	<b>Siajes Barillas, Maynor</b> <b>Armando</b>
Guinea-Bissau	Amigos Irmãos dos Homens do Mar	<b>Biague, Januario Jose</b>
Guinea-Bissau	Sindicato Nacional dos Motoristas e Ciclomotorista da Administração Publica Privado e Afins	<b>Jamanca, Alage</b>
Guinea-Conakry	Fédération Syndicale Libre des Travailleurs du Transport et Entretien Mécanique de Guinée	<b>Bah, Mariame</b> Bourouno, Tamba Abel Camara, Mohamed Macire <b>Diallo, Amadou*</b> Doukansy, Sekou

Guinea-Conakry	Fédération Syndicale Professionnelle Nationale des Transports et Mécaniques Générales	<b>Balde, Mamadou Yaya*</b> Kanté, Sidy Mohamed
Guyana	Clerical and Commercial Workers' Union	<b>Clarke, Sherwood</b>
Hong Kong	Amalgamated Union of Seafarers, Hong Kong	Cheung, Lung Chi Chick, Poon Lun Antony <b>Ho, Kai Hung Dominic</b> Ho, Sun Man <b>Kam Lung, Au Yeung*</b> Lai, Kwail Yau Lau, Chong Him Frederick Ngai, Chi Hing Tong, Ka Lee
Hong Kong	British Airways Hong Kong International Cabin Crew Association	<b>Ng, Carol*</b> Yau, Wahsung
Hong Kong	Cathay Pacific Airways Flight Attendants' Union	Cheng, Wai Tung Kwok, Chin Hang Kenneth Lai, Dora Tang, Mun Yeong Jenny Wong, Lai Cheung Tim <b>Wu, Yee Mei Vera*</b> <b>Yau, Chi Hung Julian</b>
Hong Kong	Federation of Hong Kong Transport Workers' Organizations	<b>Tam, Kum Fai</b>
Hong Kong	Hong Kong Dragon Airlines Flight Attendants Association	Lam, Kim <b>Sy, Rebecca*</b> Wong, Kin Chung Wong, Wai Ting Yip, Cho Yan
Hong Kong	Hong Kong International Terminal Groups Employees General Union	Lam, Kwok Wai Leung, Wing Keung Sin, Hiu Yan <b>Wong, Kwai Ting*</b>
Hong Kong	Hong Kong Seamen's Union	<b>Cheung, Sai Teng</b> Chiu, Emma Li, Chi-Wai* Liao, Bowen Yang, Kaiqiang <b>Zhou, Wei</b>
Hong Kong	Hong Kong Storehouses, Transportation & Logistics Staff Association	<b>Li, Chi Yung*</b> Lun, Siu Yi Ellen
Hong Kong	Merchant Navy Officers' Guild - Hong Kong	Chan, Kitty <b>Chung, Tung Tong*</b> <i>Lam Wai Hong, Jason</i> <b>Lau, Mang Tak</b> <b>Tam, Shing Chieh</b> <b>Wong, Shun Kwan Shenky</b>
Iceland	Félag Skipstjórnamanna.	<b>Bjarnason, Arni*</b> Einarsson, Gudjon Gudmundsdottir, Elin Sigurðardóttir, Steinunn

India	All India Railwaymen's Federation	<b>Agarwal, Jaya</b> Arora, Vishal Chaubey, Dhrub Narayan Chaubey, Mahender Pratap Chaubey, Rajesh Kumar Chauhan, Gaurav Chhaya, Mahesh Dixit, Vaijayanti Harsh, Perinsophiya Sunilkumar Jaggi, Sunita Khan, Zubair Kumar, Ajay Kumar, Sumit Malhotra, Priyanka <b>Mishra, Shiva Gopal*</b> <b>Nair, Venu Purushothaman</b> Oommen, John Pandey, Avshesh Pawar, Santosh Pillai, Kumar Pochikiyamudu, Laxmipathi <b>Rajasridhar, Canjeevaram</b> <b>Ananthakrishnan</b> Ram, Dola Rawat, Durga <b>Sharma, Divya</b> Sharma, Mahendra Sharma, Puneet Sharma, Ramesh Chandra Shukla, Snehlata Singh, Ajit Singh, Jagjit Singh, Jitendra pal Singh, Lakhan <b>Singh, Praveena</b> <b>Singh, Preeti</b> Singh, Rana Puran Chandra Deep <b>Singh, Vivek Kumar</b> Srivastava, Shyambabu Tiwari, Sudhir Tripathi, Prajakta Tyagi, Narendra Kumar Vyas, Anil Kumar
India	Bambai Mazdoor Union	<b>Vadhavkar, Sanjay</b>
India	Calcutta Port Shramik Union	<b>Bhowmick, Bisakha</b>
India	Chennai Container Terminal Employees Union	<b>Rajmohan, Natrajan</b>
India	DHL World Wide Express (I) Pvt. Ltd. Employees' Union	Baskaran, Lakshmanan <b>Praveen Kumar, S*</b>
India	Federation of All India Aviation	<b>Menon, Pradeep</b>
India	Forward Seamen's Union Of India	Deorukhkar, Sushil Narendra <b>Lalufandage, Mohammed</b> <b>Yadav, Manoj Kumar*</b>

India	Government Transport Corporations Employees Progressive Unions' Federation	<b>Alphonse, Vedamuthu</b> Balasubramanian, Chinnathambi <b>Farook, Peerukan</b> Kannan, Soorapoundy Palani Panneerselvam, Pakkiri
India	Indian National Port & Dock Workers Federation	Balaraman, Arumugam Prakash, Govindan Ansari, Hanifa <b>Elavia, Gulshan F.*</b>
India	Maharashtra State Transport Kamgar Sanghatana	<b>Naikwade, Sheela*</b> <b>Shinde, Sandeep</b> Tate, Hanumant Krishna
India	Mumbai Port Trust, Dock and General Employees' Union	<b>Apraj, Sudhakar*</b> Duraphe, Yogini
India	National Federation of Indian Railwaymen	Ajay Kumar, Singh Amit, Bhatnagar Ashok Kumar, Sharma Baruah, Diganta Kumar <b>Bhatnagar, Rajendra Prasad</b> Bipen Chand, Sharma Chand, Subhash Damodaran, Srinivasan Dileep Kumar, Chawla Gobinath, Krishnamoorthy Gunendra, Baruah Kumar, Rajesh <b>Lalsingh, Simi</b> <b>Mahurkar, Jaywantrao Gulabrao</b> <b>Munindra, Saikia</b> Nayan Kumar, Barman Praveen Chandra, Bajpai Prem Kumar, Solanki <b>Raghavaiah, Marri*</b> Rama Pallavi, Iragavarapu Ramji Gagji, Kabar Sharifkhan Gulamnabikhan, Pathan Shesh Babu, Allmuru Somnath, Malik <b>Sukuru, Gayatri</b> Trivender Kumar, Sharma Vikram Singh, Solanki Vinod Kumar, Bhatt <b>Vishnu, Kona</b> Yadav, Girraj Prasad
India	National Union of Seafarers of India	Bappaithotty, Shaik Abdul Hafeez <b>Chandran, Sooraj</b> Dasan, Jude Fernando, Sudha <b>Gomes, Louis</b> <b>Kandalgaonkar, Milind</b> Khan, Mohamed Noor Mohammed Krishnaraj, Rangaraj <b>Nair, Sunil</b> <b>Serang, Abdulgani Y*</b> <b>Sonawane, Abhilasha</b>



		Swathanthiran, Kalaikovan Thakur, Prakash Utekar, Vrushank <b>Vimalson, Louis</b>
India	New Mangalore Port Staff Association	Achar, Dinesh Esakimuthu, Sudalaiyandi Shettigar, Sadashiva Bolna <b>Shetty, Sureshchandra</b> Sudhakara, Sudhakara
India	New Maritime & General Kamgar Sanghatana	Bhagat, Amrut Vitthal Bhagat, Banubai Amrut Bhoir, Umesh Chavaji Bhosale, Nanda Madhavrao Bhurke, Bhagyashree Bhalchandra Bhurke, Kadambari Bhalchandra Dabhane, Vijay Ganpat Damade, Hareshwar Baburao Damade, Harishchandra Bapu Deherkar, Sai Vijay Dharane, Yogesh Balaram Gaikar, Rohidas Namdev Galande, Shrimant Dagadu <b>Gharat, Mahendra Tukaram*</b> Gharat, Shubhangi Gharat, Sonali Mahendra Kadam, Godavari Ananda Kadam, Nilesh Krisnajirao Kamble, Sachin Kashinath Kathawale, Rajesh Pandurang Koli, Arun Madhukar Kothandaraman, Ambal <b>Kothandaraman, Padmanabhan</b> Mane, Lahu Rangrao Mhaskar, Anant Shankar Mhatre, Mayur Vithal Mhatre, Pramod Savalaram Mhatre, Prit Vishwanath Mokal, Rupesh Shivram Paritosh, Biswas Patil, Haresh Pandurang Patil, Jaywant Gangaram Patil, Kirit Prabhakar Patil, Raja Gajanan Patil, Rajesh Vishnu Patil, Samarat Arun Patil, Sneha Kirit Patil, Vaibhav Chandrakant Porji, Ramesh Hasha Rasal, Yogesh Tukaram Tandel, Ashish Bharat Thakur, Anand Narayan Thakur, Kalpana Mahadeo Thakur, Shakuntala Tulshiram Thakur, Shobha Shyam Thakur, Shyam Kanha Thakur, Tulshiram Balaram Zavare, Prajesh Krishna

India	Rashtriya Mazdoor Sangh	<b>Shinde, Sunil</b>
India	Shivsangram Taxi and Rickshaw Union	<b>Ambonkar, Udaykumar</b>
India	Tamil Nadu Road Transport Workers' HMS Federation	<b>Pillai, M Subramonia</b>
India	The Cochin Port Staff Association	<b>PM, Mohammed Haneef*</b> Saleem, Razia Sebastian, Thomas Stephen, Manju Maria
India	The Madras Port Trust Employees' Union	<b>Ganta Munuswami, Krishnamurthi</b>
India	The Maritime Union of India	Bharucha, Hormaz Hoshang <b>Colaco, Dores</b> Colaco, Freny Imaculada Conceicao Khan, Akbar Aslam <b>Pagar, Sudhir</b> <b>Thakur, Amar Singh*</b> Thakur, Harpreet Kaur Amar Singh
India	The Tuticorin Psa-Sical Container Terminal Staff Union	<b>Guruswamy, Chidambaranathan</b>
India	The Visakhapatnam Port Employees' Union	<b>Sarma, Deevi Koteswara</b>
India	Transport & Dock Workers Union, Kandla	<b>Bellani, Manohar*</b> Mohan, Seema
India	Transport & Dock Workers' Union, Mumbai	Patil, Chandrakant Bhoir, Chandrakant Bhosale, Mahadev Chavan, Shamrao <b>Desai, Kalpana</b> Devkate, Bira Dhumal, Nivrutti Jagadale, Sonaba Kachare, Appa <b>Kotwal, Kishor*</b> Metete, Baban More, Jagannath Mudhe, Shivaji Murthy, Ravluri Mallikarjuna Shinde, Rajaram Swami, Venkatesh Yadav, Shreeram
Indonesia	Ikatan Awak Kabin Garuda Indonesia (Garuda Indonesia Flight Attendant Association)	Eclesia, Josephine Muttaqin, Zaenal <b>Tuwanakotta, Jacqueline*</b>
Indonesia	Indonesia Railway Workers Union (Serikat Pekerja Kereta Api)	Agustien, Tina <b>Ariaty, Heity*</b> Badaari, Imron Hamdani, Dani Mursito, Wahyu Siahaan, Lucyana
Indonesia	Kesatuan Pelaut Indonesia	<b>Dewa Nyoman Budiasa, I Krisnadewi, Luh Pasek Tambing, Mathius* Trisno, Wasilan Slamet</b>

Indonesia	Serikat Karyawan PT Garuda Indonesia (Persero) Tbk	Anggraeni, Dewi Rohanah Kurniawan, Novrey <b>Nasution, Ahmad Irfan*</b> Rachmat, Anna Rosliana Saragih, Gloria Syahry, Ali Yudiawan, Jaka
Indonesia	Serikat Pekerja Terminal Petikemas Koja	<b>Suryadi Slamet*</b> Mukmin, Mr
Indonesia	Trade Union of Jakarta International Container Terminal	Ariastiningrum, Nevy Dewi, Lulita Kartini, Santi Kesuma, Indah Nuraini, Nuraini Siregar, Maryati <b>Usmansyah, Suryansyah Bahar*</b>
Iran	Iranian Merchant Mariners Syndicate	<b>Berenji, Mohammad</b>
Iraq	Kurdistan Transport Unions	<b>Hassan, Mohammed</b>
Iraq	Workers Union & Affiliation of Iraqi Ports Company	<b>Al Hammoodi, Zaki Abdulaali Zabbari*</b> Al Idan, Kareema
Ireland	Irish Municipal, Public and Civil Trade Union	<b>McCormack, Shauna</b>
Ireland	Services, Industrial, Professional and Technical Union	<b>Ennis, Greg</b> <i>Fleming, Ken</i> <b>O'Flynn, Joe*</b> <b>Ryan, Ann</b>
Israel	Israeli Sea Officers' Union	<b>Levy, Avi</b>
Israel	Transport Workers' Division of Histadrut	<b>Edri, Avraham*</b> Shapira, Avital
Italy	Federazione Italiana Lavoratori dei Trasporti FILT-CGIL	<b>Colombai, Maurizio</b> Gaggiano, Leo <b>Gigliarelli, Elisa</b> <b>Guida, Giulia</b> <b>Modonesi, Daniela</b> Mosetti, Patrizia <b>Siligato, Paolo</b> <b>Tommasi, Berardina*</b> <b>Tripodi, Sara</b>
Italy	Federazione Italiana Sindacati Terziario (FIST-CISL)	Campeotto, Dario <b>Raineri, Pierangelo*</b>
Italy	Federazione Italiana Trasporti - CISL	<b>Di Felice, Francesca</b> <b>Di Fiore, Francesco*</b> <b>Di Fiore, Remo</b> <b>Diamante, Orazio</b> <b>Mascia, Monica</b> <b>Mansi, Luigi</b> <b>Tschigg, Christian</b>
Italy	UILTRASPORTI	<b>Baiocchi, Francesca*</b> <b>Fantappiè, Paolo</b>

日本	全日本運輸産業労働組合連合会(運輸労連)	<b>Kuroda, Tomomi</b> <b>Matsuo, Kyoko</b> <b>Namba, Junsuke</b> <b>Narita, Yukitaka</b> <b>Sugiyama, Toyotaka*</b> Takamatsu, Nobuyuki <b>Takayanagi, Koji</b> <b>Toyota, Naoki</b>
日本	全日本自治団体労働組合(自治労)	Fukuda, Satoshi Kokugan, Keizo <b>Kusagawa, Mika</b> <b>Miyazaki, Masaharu*</b> <b>Shishido, Hideki</b> Yamada, Nobuya
日本	全日本海員組合	Endo, Masami Endo, Taisuke Fukano, Daiju Fukui, Kazuo Goto, Yuichirou Hiraoka, Hidehiko Iida, Mieko <b>Ikeya, Yoshiyuki</b> Inoue, Fumihito Inoue, Yusuke <i>Ishino, Junya</i> Kakuchi, Shigeru Kamaishi, Takashi Kamogashira, Akito Kanna, Taisaku Kanno, Naoki Kawabe, Hiroyuki Kawamoto, Shota Kawamura, Shiho Kimura, Toshiaki Kobayashi, Yasuyuki Kon, Hideo <b>Kondo, Masahiro</b> Kono, Tetsuro Matsuura, Yoshiko Miyakawa, Yuma Mizukoshi, Mariko Morita, Hideko <b>Morita, Yasumi</b> Nagano, Takuma Noguchi, Daisuke Oguri, Yukihiro <b>Ohori, Fusao</b> Oikawa, Takatoshi Osaki, Akio Oyama, Hirokuni Saito, Hiroshi Sato, Muneaki Satomura, Arisa Shimizu, Shun <b>Shimmi, Yoshinori</b> Sumi, Shigenobu Suzuki, Junzo Suzuki, Kei

		Suzuki, Koichi Suzuki, Satoru Suzuki, Takayuki Takahashi, Kenji Takahashi, Masayuki Tanaka, Shinichi <b>Toyomitsu, Yoshihiro*</b> <b>Tsuchiya, Bumpei</b> Tsuda, Kouki <b>Watanabe, Hiroyuki</b>
日本	日本私鉄労働組合総連合会(私鉄総連)	Hosokawa, Ken Kawajiri, Yoshimi Koshiba, Takeshi Matsui, Kinya <b>Noguchi, Masayuki</b> <b>Oki, Nobukatsu</b> <b>Okubo, Akira</b> Okutsu, Toshiyuki <b>Shibata, Tadayuki</b> <b>Sumino, Toshihiko*</b> Takahashi, Hiroyuki Tani, Hiroshi Tani, Masaki <b>Tanobe, Koichi</b> <b>Yanagihara, Hiroshi</b>
日本	全日本鉄道労働組合総連合会(JR総連)	<b>Enomoto, Kazuo</b> <b>Mukawa, Tomoko</b> <b>Yamada, Satoru*</b>
日本	航空連合	<b>Matsuo, Kana</b> <b>Nakayama, Yoshinari</b> <b>Shima, Hirotaka*</b>
日本	航空労組連絡会(航空連)	Akasaka, Junichiro <b>Chikamura, Kazuya*</b> Hagiwara, Reiko Hashimoto, Akihide Hoshizaki, Satomi Ishida, Aki Iwata, Katsuo Kikuchi, Fujio Ko, Senyo Okamoto, Takurou Toya, Hirokazu Watanabe, Shin
日本	サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)	Goto, Tsuneyasu <b>Ishikawa, Soichirou*</b> <b>Kadowaki, Yoshikazu</b> <b>Naganawa, Masayuki</b> <b>Tsuwazaki, Koji</b> Udaka, Makoto Yamaguchi, Tomohiro

日本	日本鉄道労働組合連合会(JR連合)	<b>Hano, Atsushi</b> Ishidahara, Kiyoshi <b>Kamada, Shigeru</b> Kawabata, Junichi Kawahara, Takayoshi <b>Kimura, Tomotaka</b> <b>Mandokoro, Daisuke*</b> <b>Matsuoka, Yuji</b> <b>Otani, Kiyoshi</b> Sawada, Daisuke
日本	全国港湾労働組合連合会(全国港湾)	Endou, Kazuyuki Fujiki, Shigeru <b>Ichikawa, Kohtaro</b> <b>Itoya, Kinichiro</b> Kashiwagi, Kimihiro Kawamura, Shun Matsumoto, Kozo Matsuya, Tetsuji Niizuma, Hideki Sato, Fumiaki Seto, Osamu Suzuki, Ryuichi Takano, Hiroshi Tamada, Masaya Tamura, Atsuko <b>Yamada, Masatoshi*</b> Yanagino, Daisuke
日本	国鉄労働組合	<b>Kikuchi, Tadasu*</b>
Jordan	General Trade Union of Air Transport and Tourism	<b>Al Qadi, Hani</b>
Jordan	General Union of Port Workers	<b>Edbeis, Mahmoud*</b> <b>Khatatneh, Emad</b>
Jordan	General Union of Road and Mechanic Workers	<b>Al Amad, Reham</b>
Kazakhstan	The Transport Industry Trade Union of Rail, Road, Air and Inland Navigation Workers of the Kazakhstan Republic (KAZPROFTRANS)	<b>Akhmetbayev Tulepbekovich, Orazgali*</b> <b>Askarbayev, Nurzhan Nurgisayevich</b> <b>Orazovich, Nesipbayev Gafu</b> Rashidovich, Sabarov Rafail Sadykov, Gabit Salykbayeva, Nagima Sarsekeyev, Serik Zhakeyev, Saparbek
Kenya	Aviation & Airports Services Workers Union (Kenya)	<b>Baraza, Nicholas</b>
Kenya	Dockworkers' Union Kenya	Iddi, Zuhura Kesero, Raphael Obillo Kurgat, Irene <b>Langat, Gladys Chepkorir</b> Mohamed Mote, Nana Mwaegwa, Jeremia Mwakireti, Matreda <b>Sang, Simon*</b>

Kenya	Kenya Bodaboda, Tuktuk and Taxi Workers Union	<b>Wanyonyi, Cynthia</b>
Kenya	Kenya Long Distance Truck Drivers & Allied Workers Union	Emma Atieno, Opiyo <b>Nicholas Ndungu, Mbugua*</b>
Kenya	Matatu Workers Union	Kidweye, Abigael Ombati, Vincent <b>Omoga, Henry Nyabuto*</b>
Kenya	Public Transport Operators Union	Ndiritu Karobia, Joseph <b>Okonji, Fenus*</b>
Kenya	Railway and Allied Workers' Union	<b>Chumo, John</b>
Kenya	Transport Workers Union Kenya	<b>Mihadi, Dan</b>
Korea, Republic of	Federation of Korean Seafarers' Unions	<b>Ahn, Yi Moon</b> <b>Chung, Tae Kil*</b> Hwang, Chunok <i>Hyeokjin, Moon</i> <b>Kim, Dooyoung</b> <i>Kim, HK</i> Kim, Hanseog Kim, Sang Gi Kim, Suheon Kwon, Giheung <b>Lee, Bong Cheol</b> <b>Lee, Im Su</b> Lee, Kwangchon Lee, Sanghee Park, Hyunjun <b>Park, Seongyong</b> Park, Tae Min Yoon, Kapsik
Korea, Republic of	Federation of Korean Taxi Transport Workers' Unions	<b>Kang, Shiinpyo</b>
Korea, Republic of	Korea Expressway Corp. Labour Union	<b>Lee, Ji Ung*</b> Lee, Seunghern
Korea, Republic of	Korean Air Labour Union	<b>Cho, Young Nam</b>
Korea, Republic of	Korean Automobile & Transport Workers' Federation	<b>Jeong, Chan Hyeok</b> <b>Jin, Beongjun</b> <b>You, Gwonchung</b>
Korea, Republic of	Korean Federation of Port & Transport Workers' Unions	Kang, Chan Soo <b>Chi, Yong Soo*</b> Hwang, Young Hoon Kim, Chulsung Kim, Dae Sik Kim, Hae Duk <b>Kim, Sang Sik</b> Kim, Suk Ju Lee, Haewoo Lee, Hee Cheol Lee, Jungwon Lee, Youngwoo Park, Daesoo
Korea, Republic of	Korean Federation of Tourist & Service Industry Workers' Unions	<b>Seo, Jae Soo</b>

Korea, Republic of	Korean Postal Workers' Union	<b>Lee, Dong Ho</b>
Korea, Republic of	Korean Public Service and Transport Workers' Union	Bahc, Heung Su Cho, Yoonsu Choi, Jaehwan Jeong, Unkyo Jo, Sangsu Joung, Jiho Kim, Gabsoo Kim, Jeonghan Kim, Joonwoo Kim, Jungchol Kim, Seung Kwon Kim, Youngchang Lee, Seungmin Lee, Suyeol Lee, Wonjeong <b>Liem, Wol-san*</b> Lim, Jaegab Noh, Jaejun Park, Namwook <b>Park, Sanghyeon</b> Park, Yeon Su Ra, Kiwon Shim, Dongjin
Korea, Republic of	Korean Railway Industry Trade Union	<b>Bang, Hyeongseok</b>
Kuwait	Workers Union in the Ministry of Transportation	<b>Shnaiter, Jaber</b>
Kuwait	Workers Union of Kuwait Airways & Subsidiaries	Al Hajiri, Talal Hanif, Fahad Jouhar, Abdullah <b>Shalash, Mohammad*</b>
Kyrgyzstan	Trade Union of Railwaymen and Transport Construction Workers Union of Kyrgyz Republic	<b>Mazitov, Robert</b>
Latvia	Latvian Seafarers' Union of Merchant Fleet	<b>Agoura, Aija</b> <b>Pavlovs, Igors*</b> <i>Petrovskis, Norberts</i>
Latvia	Latvian Trade Union of Public Services and Transport Workers	<b>Kalnins, Juris</b>
Latvia	Latvijas Udenstransporta darbinieku federatīva arodbiedrība – Federative Water transport workers union	<b>Holodnuks, Aleksejs*</b> Holodnuks, Deniss Holodnuks, Olegs Kronbergs, Oliveris Panasjuks, Viktors
Lebanon	Lebanese Cabin Crew Association	Ajouz, Fatima Hammoud, Fatima <b>Turkieh, George*</b>
Lebanon	Syndicate of Middle East Airlines and Affiliate Companies	Abou Shami, Fadi <b>Chaya, Chibly*</b>
Liberia	Dock Workers' Union of Liberia	<b>Doe, Jackie N W*</b> Flomo, Priscilla Sundayway Kai, Rancy Paye, Jackquiline



Liberia	United Seamen, Ports and General Workers' Union of Liberia	<b>Gargar, Ernest Lumah*</b> Guidy, Alban S. Siaffa, Samuel
Liberia	United Workers' Union of Liberia	Dixon, Samuel R. E. Nagbe, Tenneh J. <b>Seneh, Dave J*</b>
Libya	Libyan General Federation of Trade Unions	<b>Al Sharif, Nermin</b>
Lithuania	Lithuanian Seafarers' Union	<b>Kalnius, Remigijus</b>
Lithuania	Lithuanian Transport Workers' Federation	<b>Markevicius, Algirdas</b>
Luxembourg	Fédération Nationale des Travailleurs des Transports, du Social et de l'Informel	<b>Merenz, Georges</b>
Malawi	Railways Workers Union of Malawi	<b>Kavalo, Wendy Mwaonanji</b>
Malaysia	Foreign Airlines Employees Union	<b>Krishnasamy, Rajeswary</b>
Malaysia	National Union of Flight Attendants Malaysia	<b>Abdul Wahab, Ismail Nasaruddin*</b> Mohamed Yusof Mancilla, Yusniza Binti
Malaysia	The Railwaymen's Union of Malaysia	<b>Md Hassan, Abdul Razak*</b> Ramakrishnan, Subramaniam
Malaysia	Union of Employees of Port Ancillary Services Suppliers Port Klang	<b>Alagu, Balasubramaniam*</b> Saring, Gelli
Mali	Syndicat des Travailleurs de l'Aéroport	<b>Sissoko, Dramane</b>
Mauritius	Airports of Mauritius Ltd Employees Union	<b>Munboth, Bhavish</b>
Mauritius	Government Services Employees Association	Amiran, Mohammad Iqbal Beeson, Vikramaduth <b>Radhakrisna, Sadien*</b>
Mexico	Alianza De Tranviarios De Mexico	<b>Bahena y Lome, Benito*</b> González Avilez, Alma Teresa
Mexico	Orden de Capitanes y Pilotos Navales de la República Mexicana, Similares y Conexos	<b>Muñoz, Ysmael Garcia</b>
Mongolia	Federation of Mongolian Railway Workers Trade Union	<b>Barkhas, Bayaraa Bat-Erdene, Enkhtugs</b>
Mongolia	Mongolian Transport, Communication & Petroleum Workers' Union	<b>Bayaraa, Ragchaa*</b> Enkhtaivan, Enkhjargal Urgunbaa, Dashkhorol
Montenegro	Independent Union of Workers in Maritime Shipping Trade and Transport of Montenegro	<b>Markolovic, Tomislav*</b> Milosevic, Sasa
Morocco	Union des Syndicats UMT des Transports	<b>Chawki, Ahmed El Younoussi, Mohamed Halouani, Meryem Ouardane, El Mostafa Qarfa, Ibrahim* Sennouni, Ahmed Rachid</b>
Mozambique	Sindicato Nacional dos Profissionais de Estiva e Ofícios Correlativos	Langa, Fatima Eugenio <b>Simango, Damiao*</b>
Mozambique	Sindicato Nacional dos Trabalhadores da Indústria Hoteleira, Turismo e Similares	<b>Macuacua, Luis Muchuango*</b> Nhassengo, Sandra Isabel Teixeira Pedro
Mozambique	Sindicato Nacional dos Trabalhadores de Aviação Civil, Correios e Comunicações	<b>Felisberto, Victória*</b> Madede, Ivanilda

Mozambique	Sindicato Nacional dos Trabalhadores dos Portos e Caminhos de Ferro	Americo, Domingos Licussa, Estevao Machava, Lidia <b>Sengo, Raul*</b>
Mozambique	Sindicato Nacional dos Trabalhadores dos Transportes Rodoviário e Assistência Técnica	<b>Simbine, Naftal David</b>
Myanmar	Independent Federation of Myanmar Seafarers	Aung, Lu Aung, Zaw <b>Lin, Aung Kyaw*</b>
Namibia	Namibian Transport and Allied Workers Union	<b>Kwedhi, Johannes</b>
Nepal	Independent Transport Workers' Association of Nepal	<b>Rai, Bhimkumar</b>
Nepal	Nepal Transport Labour Association (Nepal Yatayat Mazdoor Sangh)	<b>Kumar Rai, Ajay*</b> Lama, Ishwor <b>Shrestha Bhattarai, Geeta</b>
Netherlands	FNV	<b>Atema, Edwin</b> Belfi, Silvana <b>Boer, Michiel</b> <b>Hajjari, Asmae</b> Millenaar, Alex <b>Paas, Brigitta*</b> <b>Stam, Niek</b> <b>Vaessen, Vivian</b> <b>Van Der Lecq, Joost</b> Van Oort, Fred van Tussenbroek, Mark
Netherlands	Nautilus International (NL)	Meijer, Sascha <b>van den Broek, Marcel*</b>
New Zealand	Maritime Union of New Zealand	Clark, Mike Findlay, Carl <b>Fleetwood, Joe*</b> Windsor, Alan
New Zealand	New Zealand Merchant Service Guild Industrial Union of Workers Inc.	<b>Gordon, Bryce*</b> McLeod, John
New Zealand	Rail and Maritime Transport Union Inc.	Blakeley, Ruth <b>Butson, Wayne*</b> Wilkinson, Aubrey
Niger	Fédération Nationale des Transports Postes et Télécommunications	<b>Sako, Mamadou</b>
Niger	Syndicat des Agents de la Météorologie et de l'Aviation Civile	Abani, Moustapha Garba Siddo, Ali <b>Mamoudou, Ibrahim*</b>
Niger	Syndicat National des Travailleurs(euses) Autonomes de l'économie informelle	<b>Habou Barma, Souley Zeinabou</b>
Nigeria	Air Transport Services Senior Staff Association	<b>Ahmadu, Ilitrus*</b> Oluwafunmilayo, Onuoha
Nigeria	Maritime Workers' Union of Nigeria	<b>Adeyanju, Adewale*</b> <b>Eromobor, James Douglas</b>

Nigeria	National Union of Air Transport Employees	Abioye, Olayinka Olusanya Ayeoba, Kemi <b>Dauda Safiyanu, Mohammed*</b> Nnabue, Prince Benjamin Konye Osunkwo, Chibueze Lawrence Popoola, Olanrewaju Monsur
Nigeria	National Union of Road Transport Workers	<b>Adedamola, Salami Oyebode</b> <b>Akeem Alani, Adeosun</b> <b>Alhassan, Haruna</b> <b>Asabe David, Dogo</b> Chinenye Sunday, Akoma Ibrahim, Mohammad Mafara Ifeanyi, Obi <b>Isah Usman, Dahiru</b> <b>Jacob Oluwadunsi, Adebo</b> Kabiru Ado, Yau <b>Kefas Habila, Dogon-Yaro</b> <b>Maryam Jummai, Bello</b> Mohammed Bello, Zubairu <b>Najeem Usman, Yasin*</b> <b>Olalekan, Folorunso</b> <b>Olaniran Teslim, Usman</b> Ozieza, Ahmed Habibat <b>Rashidat Bose, Badaru</b> <b>Salisu, Danauwade</b> Sherif, Usman <b>Tajudeen Badru, Ishola</b> <b>Tajudeen Kolawole, Ibikunle</b> <b>Wetkur, Clement</b> Yahuza Adamu, Yankaba Ibrahim, Bala
Nigeria	Nigeria Merchant Navy Officers and Water Transport Senior Staff Association	Bob Joseph, Yousuo <b>Matthew Adedapo, Alalade*</b> Jeremiah, Obadiah Kemewerigha, Thomas Okubo Okpono, Aleakhue John Oluwatoyin Khadijat, Bello Sadiq, Adeola Olusola
Nigeria	Nigeria Union of Railway Workers	<b>Okoro, Raphael Benjamin*</b> <b>Yusuf, Kazeem Ishola</b>
Norway	Fagforbundet	Amundsen, Linda N. Delingsrud, Carl Ivar Guldbrandsen, Stein Solberg, Ove Andreas <b>Wahl, Asbjørn*</b>
Norway	Fellesforbundet	<b>Eggum, Jørn*</b> Kaurin, Jørgen
Norway	Handel og Kontor i Norge	Beckham, Christopher Ray <b>Mietinen, Bjørn*</b> Pedersen, Jeanette Skårhaug, Barbro Elin
Norway	Industri Energi	<b>Reime, Asle*</b> Sandhåland, Irene <b>Stokka, Ommund</b>

Norway	Norsk Jernbaneforbund	Haaverstad, Torfinn Ness, Kjell Paalerud, Tor Egil <b>Saetre, Jane*</b> <b>Soer-Reime, Audun</b>
Norway	Norsk Lokomotivmannsforbund	Aslaksen, Øystein <b>Ringdal, Rolf Juul*</b>
Norway	Norsk Sjømannsforbund (Norwegian Seafarers' Union)	<b>Angell, Kurt Inge</b> Bakken, John Cato Bryn Kjaer, Erina <b>Dyring, Lena</b> <i>Gjestrup, Angelica</i> Grothe, Stian Hagerupsen, Geir <b>Hansen, Johnny*</b> Hauge, Kirsti Andrea Hernes Pettersen, Terje Oksnes, Ronny Oyen, Johan
Norway	Norsk Sjøoffiserforbund	<b>Folland, Jens</b> <b>Sande, Hans*</b>
Norway	Norsk Transportarbeiderforbund	<b>Fenn Samuelsen, Terje R*</b> <b>Johnsen, Lars Morten</b> <b>Karlsen, Sissel</b> Sivertsen, Dag-Einar
Norway	Norwegian Union of Marine Engineers	Andersen, Helge <b>Malterud, Odd Rune*</b>
Norway	Parat	<b>Einan, Vegard*</b> Linden, Marit <b>Nyberg, Anneli</b> Skjæggerud, Hans-Erik
Norway	Yrkestrafikkforbundet	Jæger, Linda <b>Klunges, Jim*</b> Trond, Jensrud <b>Valle, Trude C</b>
Oman	General Federation of Oman Trade Union	<b>Al Mardhoof Al Saadi, Mohamed Talib Said*</b>
Pakistan	All Pakistan Civil Transport Workers' Union	<b>Ahmed, Mian Shahbaz</b>
Pakistan	Karachi Dock Labour Board	<b>Khan, Niaz Muhammad</b>
Pakistan	Karachi Port Trust Democratic Workers Union	<b>Abdul, Razzak*</b> Sobani, Sadia
Pakistan	Pakistan Merchant Navy Officers' Association	<b>Saeed, Mukarram</b>
Pakistan	Pakistan Seamen's Union	<b>Panjri, Adam</b>
Palestine	General Union for Transport Workers	<b>Abunassar, Ahmed*</b> Kanan, Mahera Saed, Mohammed Shaher
Panama	Sindicato Nacional de Trabajadores de la Industria de la Aviación, Logística, Similares y Conexos de la República de Panamá	Parfait, Fernando <b>Santiago Sousa, Cristobal*</b>
Panama	Unión de Capitanes y Oficiales de Cubierta	<b>de la Guardia, Ivan*</b> Feurtado, Roberto Rey

Panama	Unión de Ingenieros Marinos	<b>Small o, Vladimir A*</b> Small, Brenda
Papua New Guinea	National Airline Employees' Association	<b>Nul, Samson*</b> Temu, Christine Madeline Aisa, Mary
Papua New Guinea	Papua New Guinea Maritime and Transport Workers Union	<b>Mathew, Daniel</b>
Peru	Sindicato de Tripulantes de Cabina de Lan Perú S.A	<b>Orellana Morales, Ana María</b>
Philippines	Associated Labor Union	Capoy, Archie Cardenio, Samuel Mendoza, Raymond <b>Seno, Gerard*</b>
Philippines	Associated Marine Officers' and Seamen's Union of the Philippines	<b>Abad, Maximo Jose Luigi</b> Abadicio, Camille Dyan Cruz, Niza Geneva Da Silva, Nina Sue Domingo, Ricardo Kevin Gaviola, Ricky Gianchand, Irish Ibarra, Anna Liza Jiloca, MA. Elena Gysrell <b>Labarda, Jasmin</b> <b>Oca, Conrado*</b> <b>Oca, Johnny Jr.</b> Panganiban, Lorwell Alma <b>Partido, Emmanuel</b>
		Penales, Desiree <b>Ragonjan, Alexander</b> <b>Rebustes, Felixberto</b> Roque, Maricris <b>Sale, Jesus Jr</b> <b>Santos, Eduardo</b> Tionloc, Ramon Zamora, Henry Zurbito, Adiotor Caesar
Philippines	Associated Philippine Seafarers' Union	<b>Mendoza, Michael*</b> <b>Pascua Jr, German N</b> Ribo, Ricardo Jr Villanueva, Melchor Zabate, Ophelia
Philippines	Bagong Kapisanan ng mga Manggagawa sa Philippine National Railways	Alonzo, Jimmy <b>Bilayon, Edgar John P*</b>
Philippines	National Confederation of Transport Workers' Union	<b>Aguilar, Jose P</b>
Philippines	Philippine Airline Employees' Association	<b>Rivera, Gerardo</b>
Philippines	PISTON Land Transport Coalition	Ranjo, Juanito Jr. <b>San Mateo, George*</b>
Philippines	Port Workers' Union of the Philippines	Buranday, Joseph Nathaniel <b>Oca, Jr., Jose Eduardo*</b> Oca, Ronald James B
Poland	National Maritime Section NSZZ 'Solidarnosc'	<b>Kosciak, Andrzej*</b> <i>Mazurkiewicz, Adam</i> <b>Tylski, Adam</b>

Poland	Polish Seafarers' Union (Ogólnopolski Związek Zawodowy Oficerów I Marynarzy)	<b>Butler, Kamil</b> <b>Piatkowski, Henryk*</b>
Portugal	Sindicato da Mestrança e Marinhagem da Marinha Mercante, Energia e Fogueiros de Terra	<b>Delgado, Alexandre</b>
Portugal	Sindicato dos Engenheiros da Marinha Mercante	<b>Gomes Pires, João de Deus</b>
Romania	Federatia Nationala a Sindicatelor Portuare	<b>Burlacu, Mircea*</b> Lita, Sorin
Romania	Federation Of Transport, Transloc And Public Services ATU Romania	Artimon, Marian Belovan, Tiberiu Crisu, Florian Dumitrica, Constantin Ghita, Nichifor Minea, Elena-Claudia Picu, Marin <b>Radoi, Ion*</b> Sapera, Dumitru <b>Visulescu, Razvan</b>
Romania	Romanian Seafarers' Free Union	Dan, Gabriela <b>Mihalcioiu, Adrian</b> Plesa, Corina Gabriela Sterian, Maria Stici, Costica <b>Stoica, Aurel*</b>
Russia	Dockers' Union of Russia	<b>Kozarenko, Vasilij Vasilevich</b>
Russia	Seafarers' Union of Russia	<i>Ananina, Olga</i> <b>Belyakov, Alexey</b> <b>Berezinskii, Valerii</b> Boev, Artem <i>Fishov, Sergey</i> Ivanov, Vadim <b>Kovalchuk, Igor</b> <b>Krasnoshtan, Alexander</b> Miroshnichenko, Vitaly Orlova, Natalie Osichanskiy, Petr <b>Popov, Nikolay</b> <b>Sukhanov, Nikolay</b> <b>Sukhorukov, Yuri*</b>
Russia	Trade Union of Railwaymen and Transport Construction Workers of Russia	<b>Babintsev, Andrei</b> Burova, Nataliya Dankovtsev, Nikolai Elanskii, Vladislav <b>Garashchenko, Anatolii</b> Golubev, Aleksandr <b>Iakhien, Oksana</b> <b>Iurchenko, Olga</b> Kireeva, Elena

		Kulinich, Evgeniya <b>Medzhidov, Vadim</b> Mololkin, Dmitrii <b>Nikiforov, Nikolay*</b> <b>Pavlenko, Kristina</b> Premilov, Albert <b>Pruzhina, Mikhail</b> Shashkov, Nikolay Shtronda, Sergey Starodubtsev, Alexander Startsev, Aleksandr <b>Vakulenko, Olga</b>
Senegal	Fédération des Transports de l'UDTS	<b>Diallo, Mariama*</b> <b>Kane, Yoro</b>
Senegal	Syndicat Démocratique des Techniciens du Sénégal-Secteur d'Activité Professionnelle/ Aviation Civile	<b>Barry, Aida</b>
Senegal	Syndicat National des Travailleurs de la Marine Marchande	<b>Diagne, Mouhamed</b>
Senegal	Union des Routiers du Sénégal	<b>Khouma, Gora</b>
Singapore	National Transport Workers' Union	<b>Bin Juraini, Rosmani</b> <b>Chin Poh, Fang*</b> Huat Nelson, Sim Kian Jamunaa Mohamed Rafi, Abdul Lathiff Raj George, Anthony Yew, Ang Eng
Singapore	Port Officers' Union	Bin Zulkepliee, Muhammad Zulhadis Bo Win, Thanda Chee Kin, Gerald Lee Cheng Wen, Donald Lim Chia, Ding Shan <b>Choon Chai, Lim</b> Chun Wai, Benjamin Tang Habib Mohamed, Ashraf Ali Jay Sen, Jaysen Tang Kian Lee, Sia <b>Kian Yew, Michael Lam</b> Kim Chye, Ang Kim Sen, Boo Kim Siah, Benson Low Lee Xiang, Tabitha Gwee Puay Ling, Heng <b>Roselan, Roselan Bin Sudin*</b> Shoo Ging, Lou Sok Lian, Cheong Tiew Khin, Jason Baey Weiquan, Andrew Chua Wong, Josephine Yoke Lan, Gillian Gan Yong Liang, Oh Yong Meng, Lim <b>Zheng Kong, Elsen Yeow</b>

Singapore	Singapore Maritime Officers' Union	<p>Ahamad, Ismail Bin                  Abdullah, Hussein Bin                  Au, Tony                  Balachandran, Shobana                  Binte Mansor, Siti Khaliesah                  Chen, Angie                  Cheong, Alvin                  Chua, Xin Yi                  Foo, Robin                  Geh Ting, Tan  <b>Gwee, Guo Duan</b>                  Han, Joyceline                  Huat, Yong Soon                  Jaffar, Rahim                  Kay, Alex                  Khin, El El                  Koh, Wee Hong                  Lee, Angel                  Lee, Arina                  Lee, Joyce                  Lee, Roy                  Lee, Sang Chiat  <b>Liew, Mary*</b>                  Liew, Michael                  Lim, Evelyn                  Lim, Tau Kok</p>
		<p>Lin, Kelvin                  Loh, Claresta                  Ming Yong, Choo                  Mohamed Rais, Nordin B                  Nimal Kannangara, Don Philip                  Sasidharan, Pachan Pillai                  Sim, Lin Woon Edwin                  Tan, Sherry                  Tan, Tammy                  Tan, Terence                  Tan, Wendy  <b>Tay, Thomas</b>                  Tat, Tan Hung                  Teng Toon, Lim                  Thiam Kwee, Lim                  Yap, Timothy  <b>Yong, Dominic</b></p>
Singapore	Singapore Organisation of Seamen	<p>Abu Bakar, Mohamad Bin                  Chen, Chuanyi                  David Shoo, Weng Leong                  Guo, He-Jun Eugene                  Hor Pheng David, Sim  <b>Huat, Kam Soon*</b>                  Jee Hwee Shena, Foo                  Koh, Cindy                  Lai, Shirley  <b>Li Yingying, Sharon</b>                  Neo, Peiqi Peggie                  Ozaki, Michael                  Phua, Sunny  <b>Tan Keng Hui, Daniel</b>                  Yeo, Evelyn</p>



Singapore	Singapore Port Workers' Union	Abd Rahim, Mohd Taufek Abdul Aziz, Azhar Badar Bajarai, Suhaimi Chee Kiang, Lim <b>Cheow Huat, Phua*</b> Chow Wah, Low Chuan Seng, Tan Chun Meng, Henry Tan Duraismy, Arasu G, Ramatas Hasan, Amir Hamzah HoeTiong, Ng Hong Cheng, Jessie Yeo Jurami, Mahfud Kay Huat, Joseph Wang Keng Khien, Chan Kheng Hua, Alfred Tan Manik, Maliktimboel Meow Tse, Goh Peri, Ibrahim Sinniah, Thangamani T, Ganeshwaran Teng Hong, Tan Woon Kung, Khoo
South Africa	Food & Allied Workers Union	<b>Masemola, Katishi</b>
South Africa	South African Transport & Allied Workers' Union	<b>Abner Ramakgolo, Tabudi*</b> <b>Mazibuko, Jack</b>
Spain	ELA-Zerbitzuak	<b>Arrachedi, Mohamed*</b> <b>Elkoro, Mari Cruz</b>
Spain	Federación de Servicios a la Ciudadanía de CCOO	<b>Aguado, Fatima*</b> Alcocer, Libertad Camino Amilibia, Amaya Carmona, Enrique <i>Galan, Gonzalo</i> Herrera, Jon Nicolas Molina, Manual Maria Perez, Jose Sanchez Rollon, Manuel Trujillo, Juan Manuel
Spain	Federación Estatal de Servicios, Movilidad y Consumo de la Unión General de Trabajadores	<i>Baz, Luz</i> <b>Buenestado, Diego</b> <b>Donate, M<sup>a</sup> Carmen*</b> <b>Fonseca, Laura</b> <b>Perez, Jose Manuel</b>
Sri Lanka	Jathika Sevaka Sangamaya	Mallawaarachchi, Devika Rasadari <b>Somaratne De Silva,</b> <b>Karunakalage*</b>
Sri Lanka	National Union of Seafarers Sri Lanka	Atukorale, Manel <b>Atukorale, Palitha*</b> <b>Perera, Ranjan</b>

Sri Lanka	Sri Lanka Nidahas Sewaka Sangamaya	<b>Devendra, Leslie*</b> Herathge Galkotuwa, Chulani Priyanka Wijayathirathna, Janaka
Sri Lanka	The Ceylon Mercantile, Industrial & General Workers' Union	<b>Jayakody, Maxwell Sylvester</b>
St Lucia	National Workers Union	<b>Wilson, Phelia</b>
Swaziland	Swaziland Transport Communication & Allied Workers Union	Dludlu, Thandukwazi <b>Nkambule, Sticks*</b>
Sweden	Fackförbundet ST	<b>Brunzell, Karin*</b> Wallinder, Christer
Sweden	Seko service och kommunikationsfacket	Abrahamsson, Tomas <b>Åkersten, Karin</b> <i>Barning, Annica</i> <b>Ekeklint, Mats</b> <b>Karlsson, Valle</b> <b>Melez, Eldina</b> <b>Nassar, Chaker</b> Ödebrink, Annika Reinhold, Kenny Saverstam, Jens*
Sweden	Sjöbefälsföreningen (Maritime Officers' Association)	<b>Huss, Mikael*</b> Huss, Monica Lindgren, Annica Lindgren, Oscar
Sweden	Svenska Kommunalarbetareförbundet	Jonsson, Anders <b>Bengtsson, Lisa*</b> <b>Gällhagen, Susanne</b> König, Astrid Kvarnström, Johannes <b>Yanez Villarreal, Eduardo</b>
Sweden	Svenska Transportarbetareförbundet	Bengtsson, Christer <i>Bradd, Fredrik</i> Eriksson, Ludwig <b>Falk, Magnus</b> <b>Hunt Viberg, Lena</b> Jonsson, Tommy Larsson, Ann-Charlotte <b>Larsson, Magnus</b> <b>Lökvist, Peter*</b> <b>Norgren, Per-Olof</b> Östbjerg, Patrik Ryding, Anna <b>Wreth, Tommy</b>
Sweden	Unionen	<b>Ahrén, Helena</b> <b>Iderström, Lise</b> <b>Johansson, Martin</b> <b>Kjellsson, Magnus*</b>
Switzerland	Kapers Cabin Crew Union	<b>Krupitza, Lukas Matthäus</b>
Switzerland	Nautilus International (Switzerland)	Bramley, Nick <b>Schatz, Holger*</b> Tunde, Olu
Switzerland	Schweizerischer Verband des Personals Öffentlicher Dienste	<b>Brülisauer, Stefan</b>

Switzerland	SEV - Gewerkschaft des Verkehrspersonal	<b>Tuti, Caroline</b> <b>Tuti, Giorgio*</b>
Taiwan, China	National Chinese Seamen's Union	<b>Chang, Shiew-Ling</b> Chen, Der-Ming <b>Chen, Jane-Long*</b> Chou, Tso-Chu Hwang, Hung-Chyi <b>Li, Hua-Lung</b> Lin, Yu-Jane Liu, Ying Te-Tsun, Chen Wang, Chuan-I
Taiwan, China	Taipei Travel Labour Union	Chin-Hui, Hsu <b>Ma Chau, Hasan*</b> Ying-Hao, Lee Yin-Yao, Li
Tanzania	Communication & Transport Workers' Union of Tanzania	Mambule, Emilius <b>Mpanduji, Juliana*</b>
Tanzania	Communication and Transport Workers' Union of Zanzibar	<b>Salum, Mohammed Ally</b>
Tanzania	Tanzania Seafarers' Union	Mohamedi Momboka, Kinemo <b>Mwakibuja, Josiah*</b>
Tanzania	Zanzibar Seafarers Union	<b>Omar, Yahya</b>
Thailand	State Enterprise Labour Union of Expressway Authority of Thailand	<b>Janlamlart, Nongnuch</b>
Thailand	State Enterprise Workers' Relations Confederation	Kaewpradap, Ussarin
Thailand	State Railway Workers' Union of Thailand	<b>Rueanpetch, Pinyo*</b> <b>Sungkasuk, Banpot</b>
Thailand	Thai Airways International Union	<b>Manop, Somsak*</b> Pitipornpitoon, Natsinee Rungvachira, Prasit
Thailand	Thai Seafarers' Association	<b>Kaewsuwan, Nopadol*</b> Krailassuwan, Somchart Wanfan, Pinyo
Thailand	The State Enterprise Electrified Train Workers' Union	<b>Pomdontre, Chitpon</b>
Thailand	Transport Company Ltd State Enterprise Employees' Union	<b>Sukbandit, Prajuk</b>
Thailand	Wingspan Workers' Union	<b>Wivatthanasathapat, Ampai*</b> Boonwas, Tawatchai
Togo	Fédération Syndicale des Travailleurs des Transports du Togo	<b>Agbenou, Emmanuel (Komlan)*</b> Awumey, Kodzo Amewuho
Togo	Syndicat des Travailleurs des Compagnies de Navigation Maritimes, Aériennes et de Transit du Togo	<b>Djibirilou, Karimatou</b>
Togo	Syndicat des Travailleurs du Port Autonome de Lomé	<b>Ama, Toyi*</b> Anika, Akosiwa Manavi
Togo	Syndicat National des Transitaires Mandataires du Togo	<b>Aziawor, Yawo</b>
Trinidad	Seamen and Waterfront Workers' Trade Union	<b>Annisette, Michael</b>
Tunisia	Fédération Nationale des Chemins de Fer Tunisiens	Besrou, Saber <b>Yaacoubi, Larbi*</b>

Tunisia	Fédération Nationale des Transports	<b>Ben Romdhane, Moncef*</b> Mejri, Arwa <b>Mlaouah, Kais</b> <b>Mzoughi, Nejmeddine</b> <b>Sayhi, Dorsaf</b>
Turkey	Deniz Çalışanlari Dayanisma Dernegi	<b>Cagirici, Ural</b>
Turkey	Dock, Maritime, Shipyard and Warehouse Workers' Union of Turkey	<b>Avci, Önder*</b> Kaya, Enis Uyanik Foca, Zeynep
Turkey	Tüm Taşıma İşçileri Sendikası (All Transport Workers' Union of Turkey)	Kalyoncu, Berk <b>Öztürk, Kenan*</b> <b>Yilmaz, Gurel</b>
Turkey	Türkiye Denizciler Sendikası (Seafarers' Union of Turkey)	Ozpinar, Fatih <b>Pekdemir, Hasan*</b>
Tuvalu	Tuvalu Overseas Seafarer's Union	<b>Iosefa, Tusaga</b>
Uganda	Amalgamated Transport and General Workers' Union	<b>Birungi, Shantiah</b> <b>Mwanika, John Mark</b> <b>Nandera, Dorothy</b> <b>Owere, Usher Wilson</b> <b>Stephen, Abima*</b>
Ukraine	Marine Transport Workers' Trade Union of Ukraine	<b>Grygoriuk, Oleg</b> Kalashnyk, Maiia Karavan, Elina <b>Kirieleiev, Mykhailo*</b> <b>Kovach, Yulia</b> Liutyk, Viacheslav Losynska, Olga <b>Rozhkov, Serhii</b> Shkamerda, Antonina Shkamerda, Kateryna <b>Shuturmyskyi, Oleksandr</b> <b>Ternavskiy, Valerii</b> Vinogradova, Liudmyla <i>Yefrimenko, Nataliya</i>
Ukraine	Trade Union of Railwaymen and Transport Construction Workers of Ukraine	Bubniak, Vadym <b>Ivanskyi, Sergii*</b> Prokopenko, Anatolii
Ukraine	Vil'na Profspilka Mashynistiv Ukrainy (Ukrainian Free Trade Union of Locomotive Engineers)	Chernykh, Svetlana Fedorenko, Olha <b>Karikov, Semen Grigorevich*</b> Karikova, Iryna
USA	Amalgamated Transit Union	<b>Watt, Ed*</b>
USA	Association of Flight Attendants (AFA) - Communications Workers of America	<b>Morse, Heather</b> <b>Nelson, Sara</b> <b>Schembs, Stephen*</b> <b>Souk, Joshua</b>
USA	Independent Pilots' Association	<b>Pyles, Luke</b>

USA	International Association of Machinists & Aerospace Workers	Carlson, James Corrado, Michael (Canada) <b>Dacosta, Carlos (Canada)</b> <b>Gonzales, Sara</b> <b>Herrnstadt, Owen*</b> Janssen, Dan (Canada) <b>Klima, Timothy</b> <b>Pantoja, Richard</b> <b>Pantoja, Sito</b> <b>Pickthall, Stanley (Canada)</b> Rother, Lawrence <b>Tiberi, Joseph</b>
USA	International Brotherhood of Teamsters	<b>Bailey, Christine</b> <b>Beaty, Timothy*</b> <b>Bourne, David</b> <b>Caldwell, Brent</b> Chang, Chee <b>Farmer, Jeff</b> <b>Gold, Iain</b> <b>Finn, Katie</b> <b>Hoffa, James P</b> Munroe, Galen Thompson, Todd
USA	International Longshore and Warehouse Union	<b>Adams, William</b> Furtado, Wesley <b>Mast, Terri</b> <b>McEllrath, Robert*</b>
USA	International Longshoremen's Association	<b>Baker, John</b>
USA	International Organisation of Masters, Mates & Pilots	<b>Josberger, Donald</b> <b>Marcus, Donald J*</b> Turner, Jeremiah Lars
USA	International Union, United Automobile, Aerospace & Agricultural Implement Workers of America	<b>Feng, Ted</b>
USA	Marine Engineers' Beneficial Association	Bertram, Erin <b>Ainley, Marshall*</b> Dwyer, Matthew Selander, Ake
USA	National Air Traffic Controllers' Association	<b>Gilbert, Patricia*</b> <b>Ortiz, Joel</b> <b>Rinaldi, Paul</b> Weekley, Mike
USA	Seafarers' International Union	<b>Aung, Shwe</b> <b>Connor, Corey</b> <b>Duncan, Daniel</b> <b>Esopa, Enrico</b> <b>Heindel, Dave*</b> <b>Shipley, Barbara</b>
USA	Service Employees' International Union	<b>Allen, Nicholas</b>
USA	Transport Workers' Union of America	<b>Mayes, Mike*</b> <b>Sutton, Andre</b>

USA	Transportation Communications International Union	<b>Boyd, Stanley</b> Dinsdale, John <b>Condo, Joseph</b> <b>Gunn, Mary</b> Johnson, Richard <b>Scardelletti, Robert A*</b> Wrightson, Barbara
USA	UNITE HERE	<b>Bitterman, Brooks</b> <b>Sukthankar, Ashwini*</b> <b>Tran, Natalie</b>
Uruguay	Unión de Trabajadores del Transporte Marítimo, Aéreo, Terrestre y Afines	<b>Fiamene, Diego</b>
Uzbekistan	Aviation Workers' Trade Union of Uzbekistan	<b>Mingaliev, Shawkat</b> <b>Zainabidinovich*</b>
Venezuela	Federación Bolivariana de los Trabajadores y Trabajadoras de Transporte Afines y Conexos	Torrealba, Francisco <b>Rosal, Jose*</b>
Yemen	Employees and Workers Syndicate of Yemen Airways	<b>Ahmed, Arwa Hadi*</b>
Yemen	Labor Committee of Aden Container Terminal	AL Haidari, Hamdan <b>AL Maari, Saeed*</b> Anaam, Mazen
Zambia	National Union of Aviation and Allied Workers	Besa, Mukuka <b>Chuubi, Melva*</b> Phiri, Happy Mzenje
Zambia	National Union of Transport and Allied Workers	<b>Haniga, Anderson*</b> Zimba, Pyela
Zimbabwe	Zimbabwe Amalgamated Railway Workers' Union	<b>Moyo, Kamurai</b>

# 来賓とオブザーバー

国	組織	来賓／オブザーバー
Australia	Hunterlink	Kelso, Gavin
	Toll Group	Willmott, Rick
Belgium	International Trade Union Confederation	Burrow, Sharan
	International Trade Union Confederation	King, Chidi
	International Trade Union Confederation	Swart, Gemma
Canada	International Federation of Air Line Pilots' Associations	Netskar, Jack
China	All-China Federation of Trade Unions	Haishan, Xu
	All-China Federation of Trade Unions	Hongwei, Cao
	All-China Federation of Trade Unions	Wenxin, Cong
	All-China Federation of Trade Unions	Wufang, Bi
	All-China Federation of Trade Unions	Xiaobo, Li
Cuba	Central de Trabajadores de Cuba	Umpierre, Fermin
Dakar	Syndicat d'Entreprise ASEANA	Compaore, Emmanuel Gustave
Finland	Trade Union Solidarity Centre of Finland (SASK)	Ronkainen, Janne
	Trade Union Solidarity Centre of Finland (SASK)	Vauhkonen, Juha
Germany	Friedrich Ebert Stiftung	Herberg, Mirko
	German Parliament	Schmidt, Uwe
Great Britain	ITF (former General Secretary)	Cockroft, David
	International Christian Maritime Association	Zuidema, Jason
	International Maritime Employers' Council	Ahmed, Belal
	International Maritime Employers' Council	Arndt, Steffen
	International Maritime Employers' Council	Belal, Ahmed
	International Maritime Employers' Council	Estaniel, Michael
	International Maritime Employers' Council	Gargiulo, Francesco
	International Maritime Employers' Council	Passey, Navin
	International Maritime Employers' Council	Tandon, Rajesh
	International Maritime Employers' Council	Triantafillou, Greg
	International Maritime Employers' Council	Spacey, Simon
	International Seafarers Welfare and Assistance Network	Harris, Roger
	Seafarers' Rights International	Fitzpatrick, Deirdre
Seafarers' Rights International	Staniland, Hilton	
India	Wallem Ship Management	Passey, Navin

Indonesia	The Alliance Airport Workers Indonesia	Lesmana Suha, Edi
	The Alliance Airport Workers Indonesia	Santo, Haryo
Japan	International Mariners' Management Association of Japan	Akamine, Koichi
	International Mariners' Management Association of Japan	Imada, Shunsuke
	International Mariners' Management Association of Japan	Inoue, Toshihito
Malaysia	Building and Woodworkers' International	Tolentino, Apolinar
New Zealand	New Zealand Educational Institute	Goulter, Paul
	NZ Council of Trade Unions	Windsor, Sue
Philippines	Foscon Shipmanagement, Inc	Heng, Sylvester
	Foscon Shipmanagement, Inc	Lee, Henry
	Positibong Marino Philippines, Inc.	Bero, Paul
	Positibong Marino Philippines, Inc.	Galvez, Jeus
	Positibong Marino Philippines, Inc.	Gamido, Jebesen
Qatar	Qatari Ministry of Administrative Development, Labour and Social Affairs	Al Obaidly, Mohammed Abdulwahed
Russia	International Trade Union Confederation of Railway Workers	Kosolapov, Gennady
Singapore	Air Transport Executive Staff Union	Chandran P, Ravi
	Air Transport Executive Staff Union	Loh, Daniel
	Alfa Ship Managers Pte Ltd	Du, Ray
	Amalgamated Union of Public Employees	Chun Fing, Yeo
	Apex Ship Management Pte Ltd	Maung, Theo
	Asp Crew Management Services Ltd	Walker, Robert
	Asp Crew Management Services Ltd	Chayka, Vitaliy
	Avp(Hr)	Lam, Gerald
	Celeste Holding Pte Ltd	Ohtsubo, Namio
	Columbia Shipmanagement (Singapore) Pte Ltd	Oggel, Ruben
	Epic Ship Management Pte Ltd	Singh, Niraj
	Evergas Ship Management Pte Ltd	Livonius, Eric Von
	Fleet Ship Management Pte Ltd	Chaudhry, Ajay K
	Grace Ocean Private Limited	Heng, Anthony
	Healthcare Services Employees' Union	Thanaletchimi, K
	International Trade Union Confederation - Asia Pacific	Yoshida, Shoya
IRO	Choo, Stephanie	
ISM Pte Ltd	Wang, Tony	



Komaya Shipping Company Pte Ltd	Hasebe, Fusamitsu
M.T.M. Ship Management Pte Ltd	Rangroo, Vijay
Maersk Tankers Singapore Pte Ltd	Agarwal, Amit
Maersk Tankers Singapore Pte Ltd	Mahesh, Saurabh
Maersk Tankers Singapore Pte Ltd	Shinde, Umesh
Maersk Tankers Singapore Pte Ltd	Tandan, Vasishtha
Maritime and Port Authority of Singapore	Tan, Andrew
Maritime and Port Authority of Singapore	Ganasen, Daknashamoorthy
Maritime and Port Authority of Singapore	Sangameswar, IG
Maritime and Port Authority of Singapore	Lim Yew Guan, Mark
Maritime and Port Authority of Singapore	Marini, Martin
Maritime and Port Authority of Singapore	Wong Kai Cheong
Metal Industries Workers' Union	Hock Poh, Toh
Metal Industries Workers' Union	Hong Cheng, Jessie Yeo
Ministry of Manpower	Meng Choo, Lim Tan
Ministry of Manpower	Poey Eng, Ng
Ministry of Manpower	Tze Jiat, Lim
Ministry of Manpower	Yen Her, Ong
Ministry of Transport	Phua, Calvin
MMS Company Ltd	Sood, Pankaj
MMSL Pte Ltd	Shet, Madhusudhan D
National Trades Union Congress	Ang, Jia Da
National Trades Union Congress	Ang, Madaleine
National Trades Union Congress	Choo, Sylvia
National Trades Union Congress	De Payva, John
National Trades Union Congress	Gilbert Tan, Chye Hee
National Trades Union Congress	Guat Kwang, Yeo
National Trades Union Congress	Hee, Lynette
National Trades Union Congress	Ho, Frederick
National Trades Union Congress	Hui Fong, Joanne Cham
National Trades Union Congress	Kae Lip, Goy
National Trades Union Congress	Kie, Ng Eng
National Trades Union Congress	Melvin Yong, Yik Chye
National Trades Union Congress	Ong, Chin Ang
National Trades Union Congress	Sapari, Zainal
National Trades Union Congress	Shi Wei, Liew
National Trades Union Congress	Peng Hoe, Steve Tan

	National Trades Union Congress	Tan Keum Meng, Michael
	National Trades Union Congress	Teck Guan, Patrick Tay
	National Trades Union Congress	Tee Li Fong, Florence
	National Trades Union Congress	Teo Pei Ching, Marilyn
	Norgas Carriers Pte Ltd	Rai, Saunak
	NYK Shipmanagement Pte Ltd	Nakaya, Masao
	PSA International	Lim, Caroline
	Rickmers Shipmanagement (Singapore) Pte Ltd	Mhatre, Ninad
	Shipbuilding and Marine Engineering Employees' Union	Chor Gek, Eileen Yeo
	SIA Engineering Company Engineers and Executives Union	Foo Chin Wei, David
	Singapore Airport Terminal Services Workers Union	Govinden, Sathasivam
	Singapore Industrial & Services Employees' Union	Soon Fatt, Philip Lee
	Singapore Insurance Employees' Union	Wing Wai, Luke Hee
	Singapore Maritime & Port Authority	Mun, Wei Jun
	Singapore National Employers Federation	Peow Yong, Douglas Foo
	Singapore National Employers Federation	Yap Chin Kok, Robert
	Singapore Shipping Association	Phoon, Michael
	Singapore Shipping Association	Poulsso, Esben
	Singh Marine Management Ltd	Singh, Binay
	Synergy Marine Pte Ltd	Banta, Rohit
	Thome Shipmanagement Pte Ltd	Divakaran, Rajesh
	UNI-APRO	Ng, Christopher
	V. Ships (Asia) Group P.L.	Hume, Calum S.
	VP(HR)	Lee, Steven
	Wallem Shipmanagement Singapore Pte Ltd	Khan, Fared
	Wallenius Marine Singapore Pte Ltd	Aun, Lim Swee
	Wallenius Marine Singapore Pte Ltd	Win, San
	World Toilet Organisation	Sim, Jack
South Africa	Friedrich Ebert Stiftung (FES) Sub Sahara Africa	Schulz, Bastian
Spain	Raina Global	Raina, Jyrki
Sweden	Nordic Transport Workers' Federation	Hietala, Anu
	Nordic Transport Workers' Federation	Norfall, Christer

	Union to Union	Ende, Marie
	World Maritime University	Doumbia-Henry, Cleopatra
	World Maritime University	Schröder-Hinrichs, Jens-Uwe
Switzerland	ILO (Global Commission on Future of Work)	Jennings, Philip
	ILO (International Labour Standards)	Vargha, Corinne
	IndustriALL Global Union	Adviento, Annie
	International Road Transport Union	de Pretto, Umberto
	UNI Global Union	Ever Cortina, Rubén
	UNI Global Union	Ocampo, Lorena
Thailand	Fishers Rights Network	Htoo, Saw Baw
	ILO (Ship to Shore Project)	Judd, Jason
Ukraine	Singh Marine Management Ltd	Dr Binay Singh
USA	California State University	Alimahomed-Wilson, Jake
	Centre for Asia Pacific Aviation	DeMarco, Maryanne
	Change to Win	Chu, David

## 書記局

地域	役職	氏名
Africa	Deputy Regional Secretary	Karume, Anna
	ITF DHL Organiser	Kisingu, Stephenson
	Finance and Administration Assistant	Masawa, Moses
	Communications Assistant	Munobwa, Allan
	ITF SASK Project Coordinator	Ouedraogo, Assita
	ITF Francophone representative	Sow, Bayla
Arab World	Deputy Regional Secretary/Youth Global Coordinator	Khundakji, Baker
	Regional Secretary	Malkawi, Bilal
	Palestine Project Manager	Samaroo, Majd
	PA to the Regional Secretary	Sharawi, Farah
	Office Manager	Shishane, Sara
	Regional Education Coordinator	Youssif Safan, Samar
Asia Pacific	Lead Organiser - DHL, Delhi Office	Ashdir, Artika
	Lead Organiser, Sydney Office	Bandara, Jagath
	Fisheries Project Lead, Thailand	Hartough, Jon
	OPT Bangkok Project Coordinator, Thailand	Tungworachet, Su-Angcana
	Finance and Administration Assistant, Delhi Office	Iyer, Geetha

	Head of Hong Kong ITF (FOC) Campaign Office	Kam-Yuen, Ting
	Regional Education and Women Coordinator, Delhi Office	Kapahi, Nishi
	Regional Secretary, Singapore Office	Lamug, Butch
	Office Manager, Singapore	Low, Jullienne
	Digital Campaigning Lead, Sydney Office	Menzies, Luke
	Translator (Japanese NCC)	Oda, Hiroko
	Project Specialist – Women, Mumbai	Prakash, Neha
	Liaison – China relations, Hong Kong Office	Sun, Frank
	Office Assistant, Tokyo Office	Taguchi, Akito
	Head of ITF Tokyo Office	Taki, Katsuji
	Assistant Regional Secretary, Delhi Office	Tripathy, Sangam
Europe (ETF)	Political Secretary for Maritime Transport	Alfonso, Philippe
	Political Secretary for Civil Aviation and Tourism	Ballestero, Francois
	Senior Policy Officer for Inland Waterways and European Works' Councils	Chaffart, Myriam
	General Secretary	Chagas, Eduardo
	Campaign Coordinator	Goedertier, Wouter
	Political Assistant for Road Transport and Gender Equality	Heinisch, Inga Lena
	Senior Operations Manager	Maurer, Josef
	Political Secretary for Dockers and Fisheries	Spera, Livia
	Political Secretary for Road Transport and Gender equality	Tilling, Cristina
	Deputy General Secretary/Political Secretary for Rail and Urban Public Transport	Trier, Sabine
	Policy Officer	Walczak, Natalia
	Communications Officer	Watkins, Bryn
Headquarters	Head of Systems	Aboe, Samantha
	Agreements Unit Section Assistant	Adjagba, Matilda
	Global Administrator, Civil Aviation, Inland Transport, Tourism Services, Union Building, Campaigns	Aitken, Charlotte
	Senior Section Assistant, Inland Transport	Akdogan, Deniz
	Head of Strategic Research	Anderson, Jeremy
	Section Assistant, Strategy Implementation	Ball, Laurence
	Assistant Secretary, Seafarers	Barcellona, Fabrizio
	Campaigns Assistant	Bartholomeusz, James

Union Building Liaison	
ITF Accredited Representative to the IMO	Berlan, Branko
Global Administrator, Office of the General Secretary	Birch, Adrian
Director of Global Campaigns	Blackshaw, Liz
ITF Seafarers' Trust	Bollan, Mary
Communications Director	Brannmark, Petra
Translation Project Specialist	Brechtelsbauer, Kerstin
Systems and IT support	Brogden, Sally
Global Administrator, Office of the General Secretary	Calton, Louise
Head of Maritime Operations	Canias, John
Translation Project Specialist	Cervero Martín, Ester
Strategic Researcher	Chatterjee, Rhea
Global HIV/Aids and Wellbeing Programme Coordinator	Chowdhury, Asif
Women Transport Workers and Gender Equality Assistant	Clarke, Claire
Head of Inland Transport	Coard, Noel
Assistant Secretary, Civil Aviation and Tourism Services	Coates, Eoin
Director of Human Resources	Cocco, Peter
ITF Seafarers' Trust	Cooper, Lucy
Membership Manager	Coote, John
General Secretary	Cotton, Stephen
Inspectorate and Seafarers Support	Craciun, Lucian
Inspectorate and Seafarers Support	Daniel, Jamie
Education Officer/ Priority Programme Lead OPT	Dave, Alana
Global Administrator, Maritime	Dompreh, Lisa
PA to the General Secretary/Global Admin Coordinator	Dunmall, Jo
Women Transport Workers and Gender Equality Officer	Evans, Jodi
Systems and IT support	Finney, Helen
Head of ITF Seafarers' Trust	Higginbottom, Katie
IT Service Desk Engineer	Hird, Kate
Consultant, Palestine Project	Howard, Stuart
Education Assistant	Howes, Ali
Assistant General Secretary	Johnston, Robert

Senior Section Assistant, Seafarers, Fisheries and Inland Navigation	Karavatchev, Rossen
Campaigns Communicator	Khan-Gordon, Andy
Agreements Unit Section Assistant	Koukou, Evi
Campaigns Communicator	Kufel, Ema
Translation Project Specialist	Lacheze, Pauline
Head of Global Admin, Travel and Events	Le Fleming, Helen
Finance Director	Leadbetter, Adam
Consultant, Union Building	Luck, Jenny
Assistant Secretary, Inland Transport	Malinovska, Janina
Union Building Director	Marowsky, Ingo
Global Administrator, Office of the General Secretary	Martin, Joanne
Global Admin Supervisor, Maritime	McNeil, Lynsey
Campaigns and Communications Assistant	Milusheva, Alina
Agreements Union Section Assistant	Minott, Nadene
Section Secretary, Civil Aviation and Tourism Services	Mocho Rodriguez, Gabriel
Management and Systems Accountant	Murray, Tyrone
Global Administrator, Travel and Events	Nasskau, Alicia
Youth Programme Assistant	Navas, Ainara
Strategic Researcher	Payer, Seth
Section Assistant, Strategy Implementation	Pecquex, Courtney
Head of Languages	Peters, Anna
IT Service Desk Analyst	Richardson, Neil
Head of Global Admin, Civil Aviation, Inland Transport, Tourism Services, Union Building, Campaigns	Rogers, Sue
Inspectorate and Seafarers Support	Romanyuk, Oleg
Global Administrator, Maritime	Rundle, Susie
Global Admin Supervisor, Civil Aviation, Inland Transport, Tourism Services, Union Building, Campaigns	Ryan, Toni
Global Admin Supervisor, Office of the General Secretary	Santana, Heder
Section Assistant, Strategy Implementation	Sayer, Sean
Financial Controller	Simpson, Jason
Maritime Coordinator	Smith, Jacqueline
Global Administrator, Civil Aviation, Inland Transport, Tourism Services, Union Building, Campaigns	Spriggs, Helen

	Legal Director	Subasinghe, Ruwan
	Youth Programme Assistant	Theobald, Gareth
	ITF Seafarers' Trust	Tommasi, Luca
	Senior Section Assistant, Dockers	Tortolano, Enrico
	Section Assistant, Strategy Implementation	Tomson, Evelin
	Inspectorate Coordinator	Trowsdale, Steve
	Global Administrator, Travel and Events	Trussler, Andy
	Automation Coordinator	Urata, Mac
	Lead Organiser, Inland Transport	Usher, Lauren
	Priority Programme Leader, Airports Organising	van der Maas, Erin
	Head of Global Admin, Office of the General Secretary	Verberne, Suzanne
	Campaigns Communicator	Vivier, Sarah
	Senior Legal Assistant	Warring, Jonny
	Section Secretary, Seafarers, Fisheries and Inland Navigation	Whitlow, Jon
	Senior Section Assistant, Seafarers, Fisheries and Inland Navigation	Yandell, Steve
	Global Administrator, Office of the General Secretary	Zivkovic, Sandra
	Internal Auditor	Lindgren, Lars
Latin America and Caribbean	Regional Education Coordinator	Addisi, Emiliano
	PA to Regional Secretary	Anselmo, Clarice
	Research and Information Services	Bahena, Alfonso
	Deputy Regional Secretary	Diaz, Edgar
	Regional Secretary	Fritz, Antonio
	Communications Support	Serrano, Diego
North America	Office Manager	Sicoli, Catina

## 通訳者

言語	組織	通訳
Arabic	Freelance	Alqaddoumi, Iyad
	Freelance	Jabaly, Samira
	Freelance	Kohov, Naser
	Freelance	Najjar, Abdellatif
	Freelance	Shorman, Khaled
	Freelance	Tell, Miranda

English	Int'l Association of Conference Interpreters	Allain, Jean-Pierre
	Int'l Association of Conference Interpreters	Grut, Barbara
	Int'l Association of Conference Interpreters	Mork, Hannah
Finland	Auto- ja Kuljetusalan Työntekijäliitto - AKT r.y. (Bil-och Transportbranschens Arbetareförbund i Finland)	Hupli, Anne
	Auto- ja Kuljetusalan Työntekijäliitto - AKT r.y.(Bil-och Transportbranschens Arbetareförbund i Finland)	Sjelogren, Tiina
French	Int'l Association of Conference Interpreters	Bertin-Faull, Odile
	Int'l Association of Conference Interpreters	Collier, Jenny
	Int'l Association of Conference Interpreters	Comte, Françoise
	Int'l Association of Conference Interpreters	Gray de Dax, Anne-Marie
	Int'l Association of Conference Interpreters	Levi-Roos, Sylvie
	Int'l Association of Conference Interpreters	Lopez-Savoure, Patricia
German	Int'l Association of Conference Interpreters	Bethausseur-Conte, Barbara
	Int'l Association of Conference Interpreters	Brasse, Monika
	Int'l Association of Conference Interpreters	Meier, Helene
Japanese	ITF	Fukuda, Takako
	Int'l Association of Conference Interpreters	Graumann-Fujii, Keiko
	All-Japan Seamen's Union	Kakuchi, Shigeru
	All-Japan Seamen's Union	Kawamura, Shiho
	All-Japan Seamen's Union	Matsuura, Yoshiko
	All-Japan Seamen's Union	Kawamura, Shiho
	All-Japan Seamen's Union	Mizukoshi, Mariko
	All-Japan Seamen's Union	Morita, Hideko
	Int'l Association of Conference Interpreters	Niki, Atsuko
	Int'l Association of Conference Interpreters	Yoshida-Ingham, Kazuko
Korean	Freelance	Bae, Jungwon
	Freelance	Jeong, Eunji
	Freelance	Kang, Seunghee
	Freelance	Kim, Eun Young
	Freelance	Lee, Lami
	Freelance	Paek, Jooyeun
Portuguese	Int'l Association of Conference Interpreters	Chobanian, Debora
	Int'l Association of Conference Interpreters	Tate, Patricia



Russian	Int'l Association of Conference Interpreters	Blake, Maria
	Int'l Association of Conference Interpreters	Ladyzhenskaya, Galina
	Int'l Association of Conference Interpreters	Terechenkova, Irina
	Int'l Association of Conference Interpreters	Wright, Marina
Spanish	Int'l Association of Conference Interpreters	Dazin, Roxana
	Int'l Association of Conference Interpreters	Ivens, Maureen
	Int'l Association of Conference Interpreters	Justo-Mirelman, Monica
	Int'l Association of Conference Interpreters	Llanderas, Nuria
	Int'l Association of Conference Interpreters	Luna, Valeria
	Int'l Association of Conference Interpreters	Stevens, Michele
Swedish	Int'l Association of Conference Interpreters	Lamming, Anne
	Int'l Association of Conference Interpreters	Tizard, Yvonne
Thai	Freelance	Suksai, Yasasipa
	Freelance	Suntarak, Parichat

## シンガポールの青年ボランティア

Agarwal, Anika  
 Aiman, Khairul  
 Ali, Muhammad  
 Aliah Atiqah, Nur  
 Amira Ramlan, Nur  
 Anaqi, Harith  
 Asharie, Aireen  
 Azman, Atsirah  
 Bte Ahmad Sinwan, Nursulfa  
 Bte Mohamed Rahim, Kurniaputri  
 Bte Mohammed Indra, Nurzalyna  
 Chen, Natalie  
 Dani, Naufal  
 Danish, Muhammad  
 Ezekiel Zaidanie, Muhammad  
 Fahmi, Muhammad  
 Haritz, Muhammad  
 Hasrin, Muhammad  
 Indra, Nur  
 Iskandar, Emilie  
 Lim, Cheryn  
 Loo, Janice  
 Loo, Priscilla  
 Lu, Calista  
 Nenwari, Nurul'Ain  
 Razip, Sakinah  
 Sabrina, Nur  
 Si Hsien, Lew  
 Sorfina Khair, Putri  
 Syafiq, Muhammad  
 Tay, Angelina  
 Xiaowen, Chen  
 Afini Bte Abdul Kadir, Nur

Ainul Nellisa, Siti  
 Bathmanathan, Suresh  
 Bin Abdul Hamid, Hidrir  
 Bin Yusri, Emir  
 Binte Abdul Rahman, Azie  
 Binte Abdul Rahman, Nadia  
 Boon Swan, Tan  
 Cheng Hong, Yap  
 Chin Woon, Teo  
 Chua Rong Jie, Jay  
 Deng Hao, Leo  
 Fadhil, Muhammad  
 Faith Ong Fei Yi, Isabella  
 Fauzi, Mohamad  
 Gho, Alicia  
 He Feng, Wong  
 Ho Qi Rui, Audric  
 Hoe Wee Kiat, Sebastian  
 Htet Htet Khit, Phyo  
 Huthami, Alsyifa  
 Jia Yin, Tan  
 Jiahong, Dai  
 Jie Xiang Charles, Yao  
 Jin Quan Eric, Yap  
 Jun Wei, Lau  
 Kah Seng, Lai  
 Kai Yung Kacie, Yap  
 Khairul Anuar, Muhammad  
 Kishen Joseph, Gerald  
 Kong Jing Kai, Jack  
 Kor Kai Ling, Kalyn  
 Lauwrel, Lavando  
 Leyao, Liu

Lim Jia Mei, Anna  
 Lim, Sabrina  
 Maine Tay Li Ming, Wesley  
 Mardhiyyah, Ainul  
 Natasya, Nur'ain  
 Ngui, Clarisse  
 Ong Kai Xin, Ariel  
 Phyo Kyaw, Wai  
 Qi Xue, Eugene, Tay  
 Qian Hui Zerlina, Kok  
 Raisarra Bte Md Azlan, Puteri  
 Run Xin, Tan  
 Sen Ning, Chan  
 Shahuddin, Muhammad  
 Shao You, Li  
 Shu Wei Leon, Chua  
 Sim Jet Janis, Ngoh  
 Tan Jie Er, Jess  
 Tan Poh Hua, Sharlene  
 Tan Yan Zuo, George  
 Ting Qi Charis, Lim  
 Wan Yu, Liow  
 Wei Hao, Chua  
 Wenjie, Tian  
 Wong Jie Yin, Kelly  
 Xin Ee Joanne, Toh  
 Xu, Chenchen  
 Yu Lu, Zhang  
 Yun Cui Candice, Lee  
 Yuwen, Liao  
 Zhi Ren, Woo  
 Zulcarlnaen, Muhammad



**i → F**  
**CONGRESS 2018**  
14-20 OCT SINGAPORE